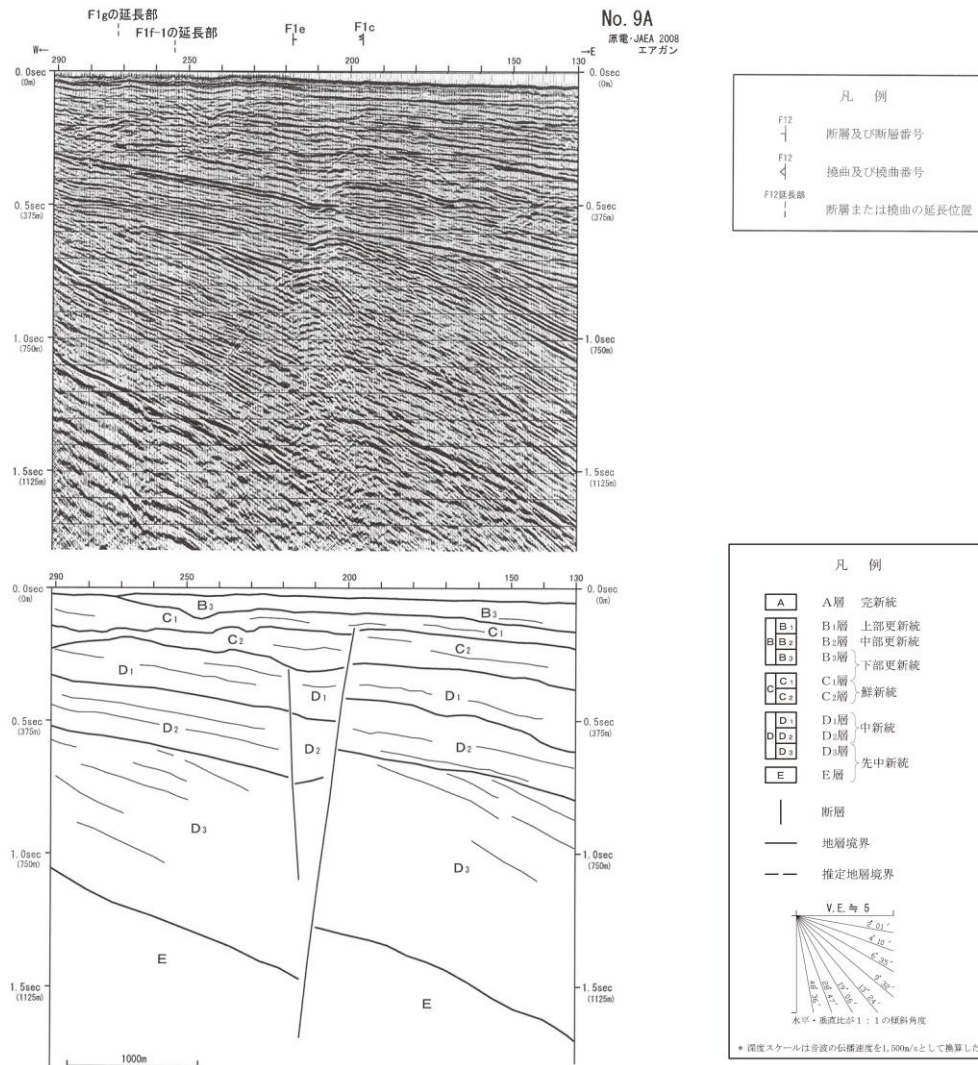
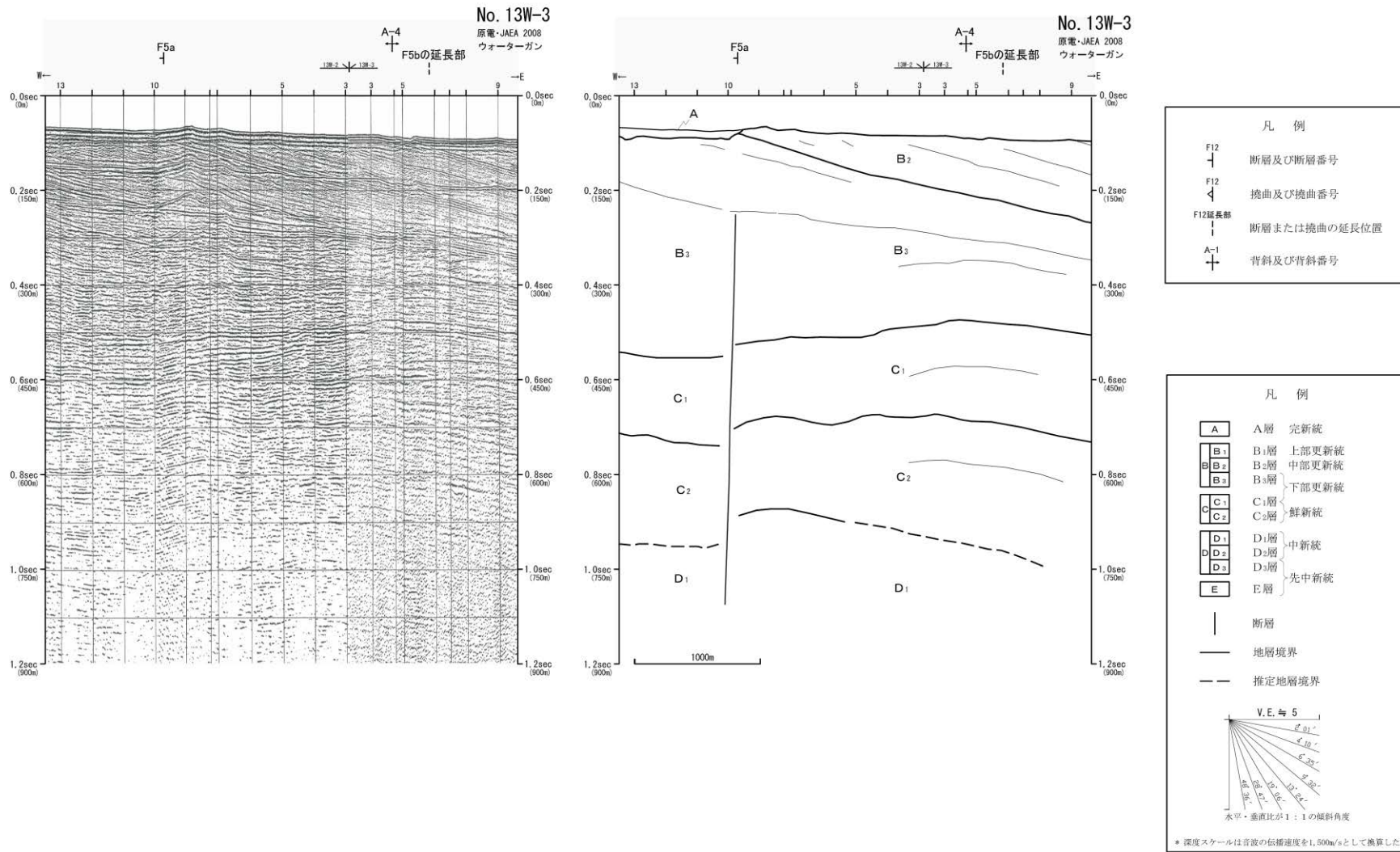


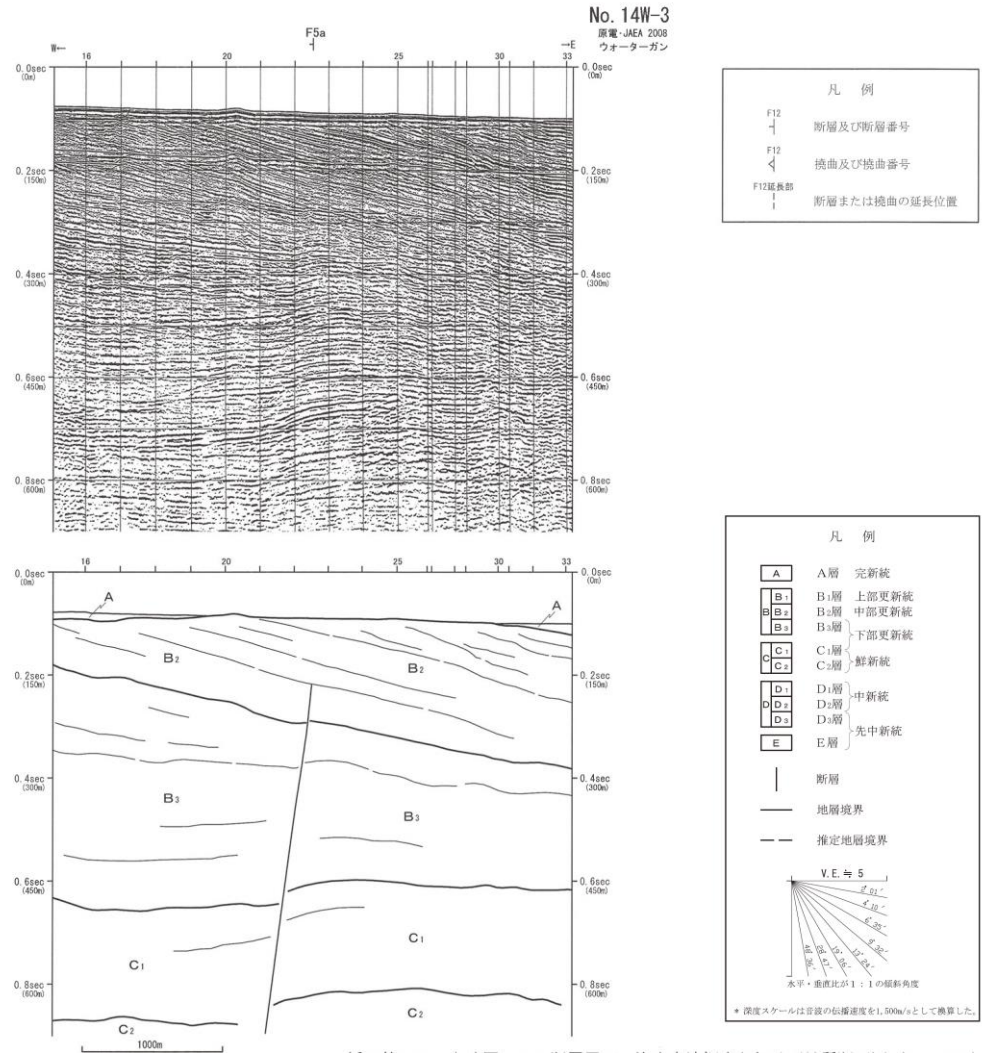
第 3.2.167 図(8) F 1 d 断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.4W-1)



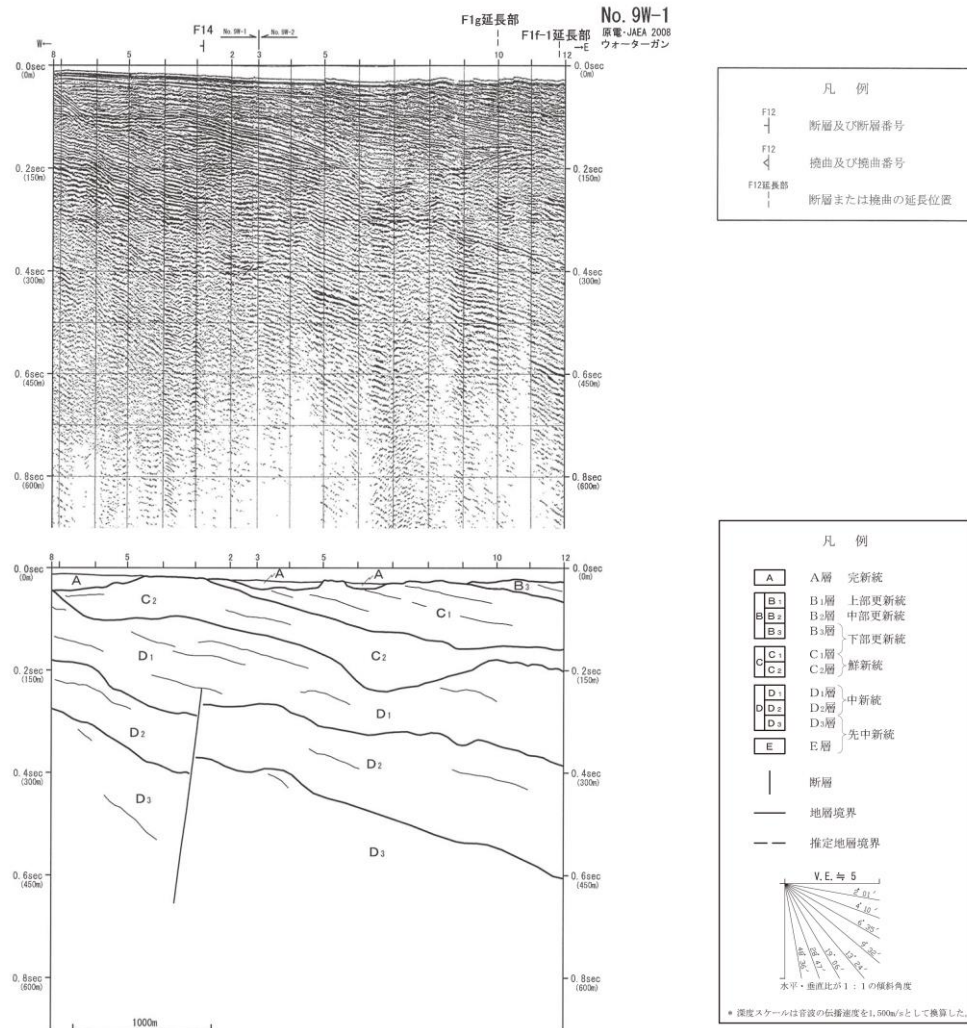
第 3.2.167 図(9) F 1 e 断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.9A)



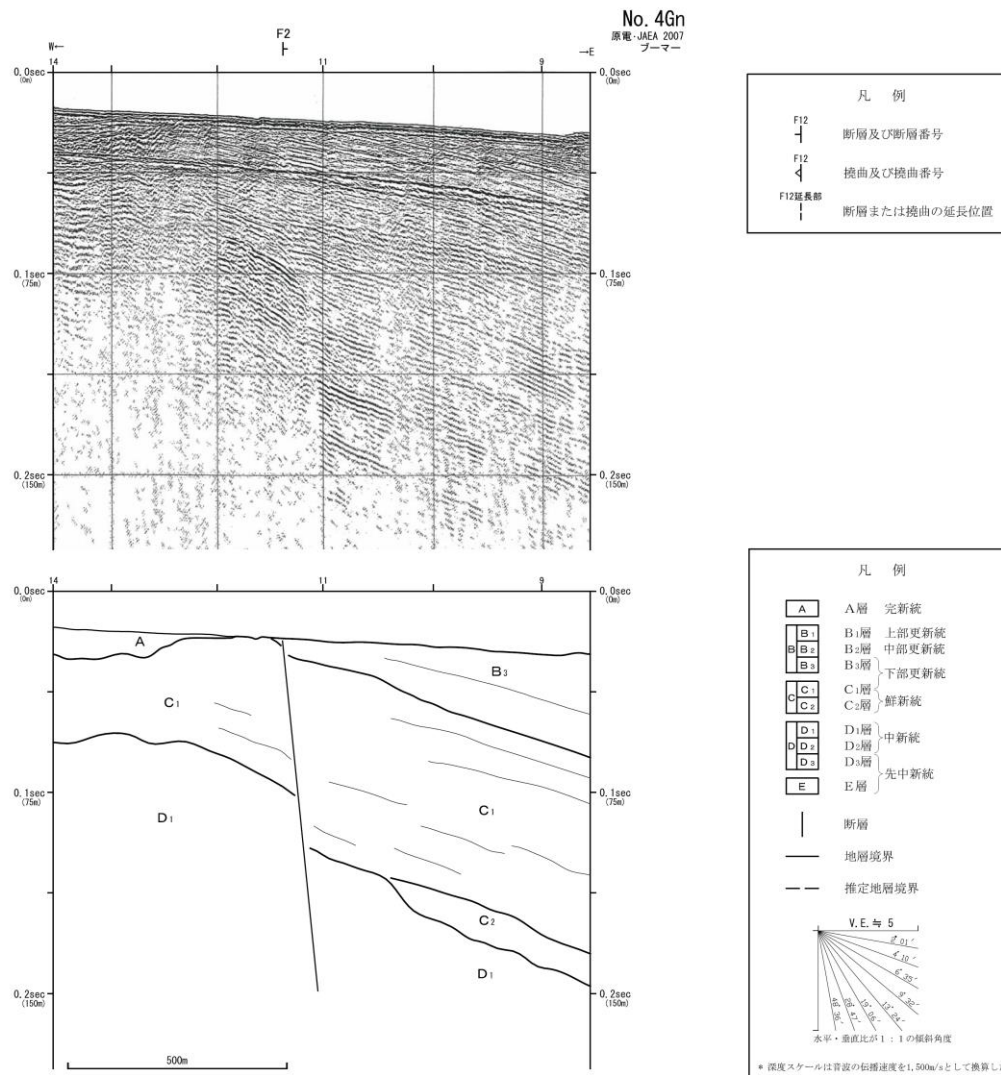
第 3. 2. 168 図 F 5 a 断層, A - 4 背斜周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.13W-3)



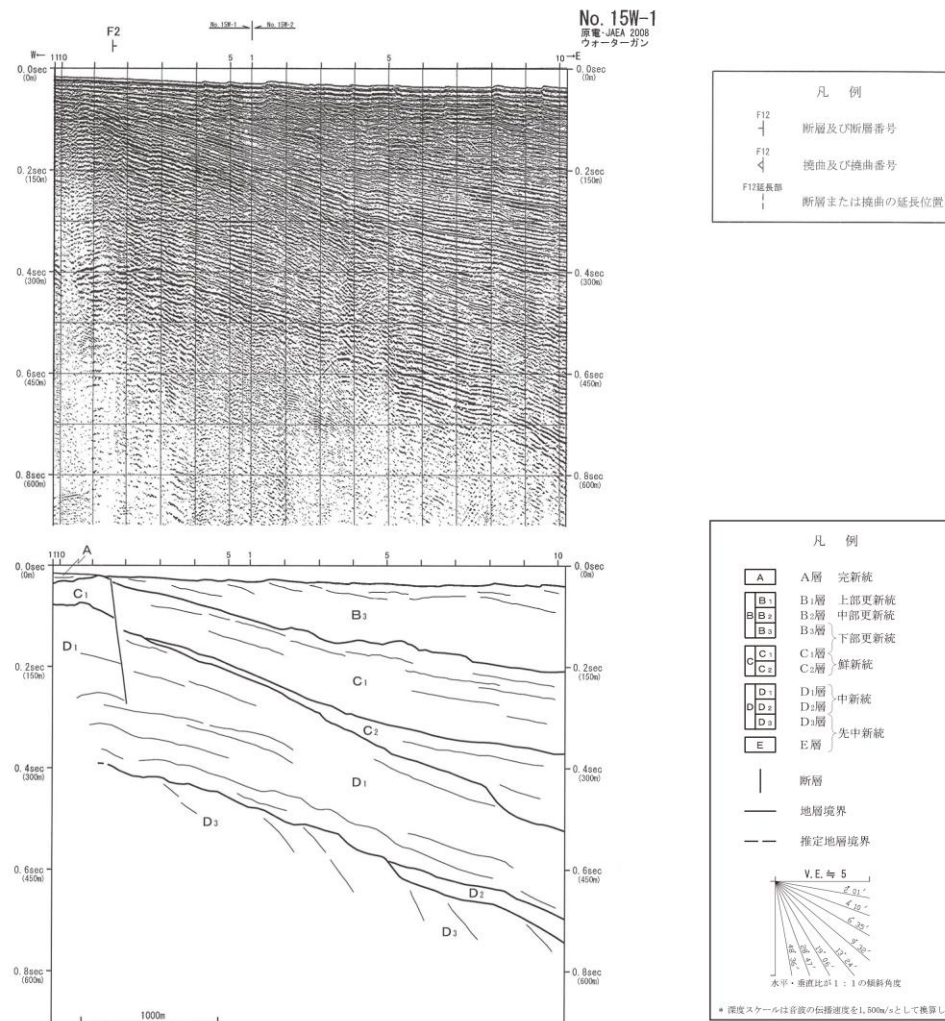
第 3. 2. 169 図(1) F 5 a 断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.14W-3)



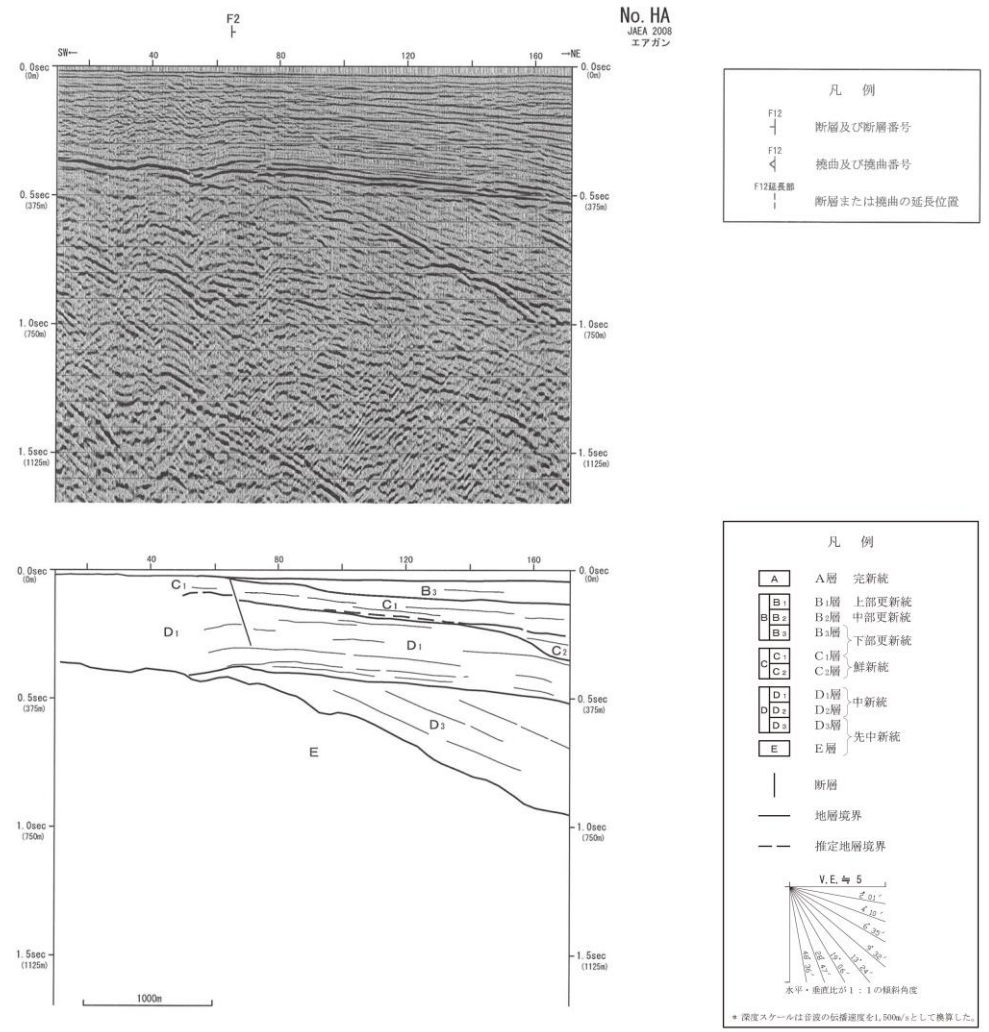
第 3. 2. 170 図 F 1 4 断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.9W-1)



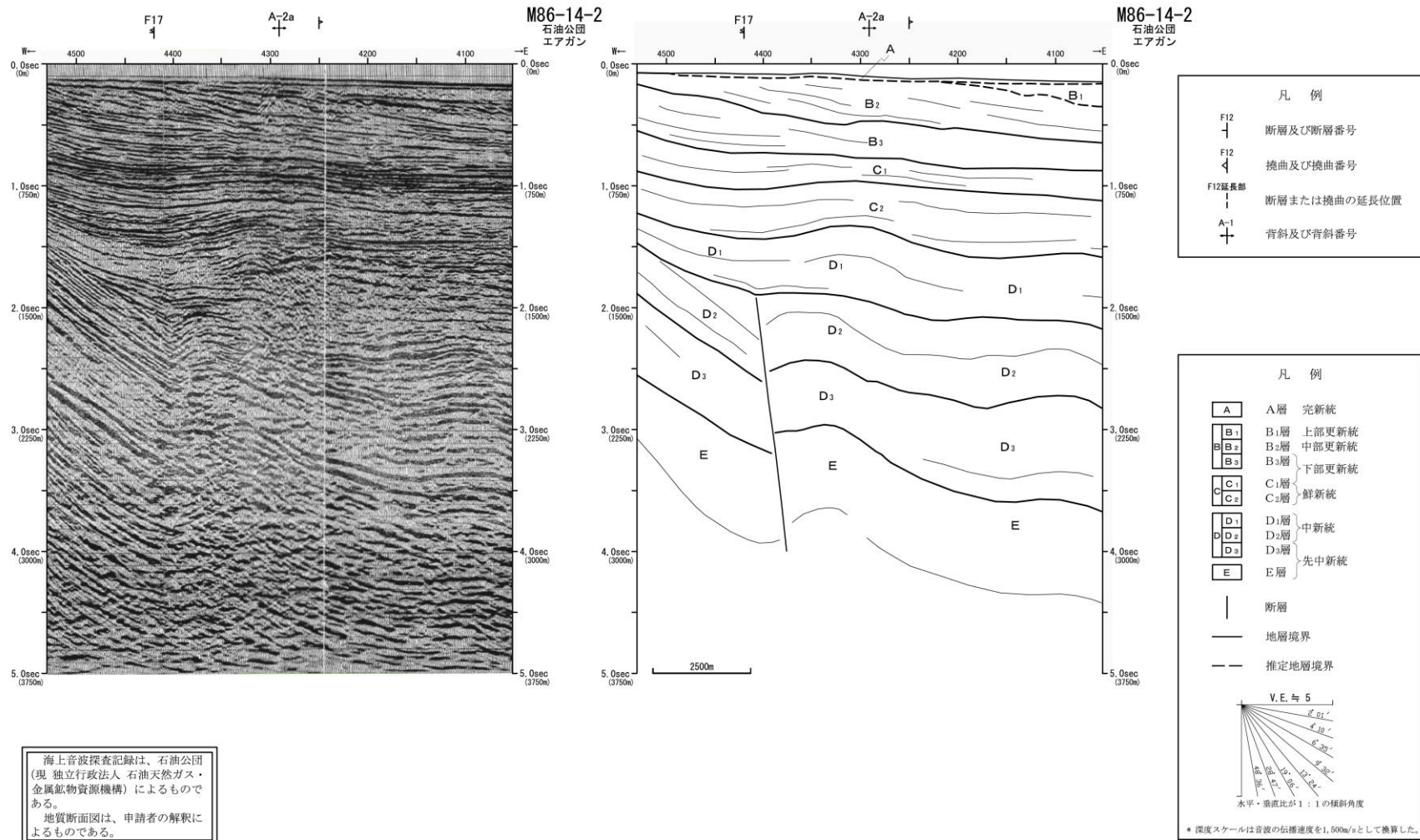
第 3.2.171 図(1) F 2 断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.4Gn)



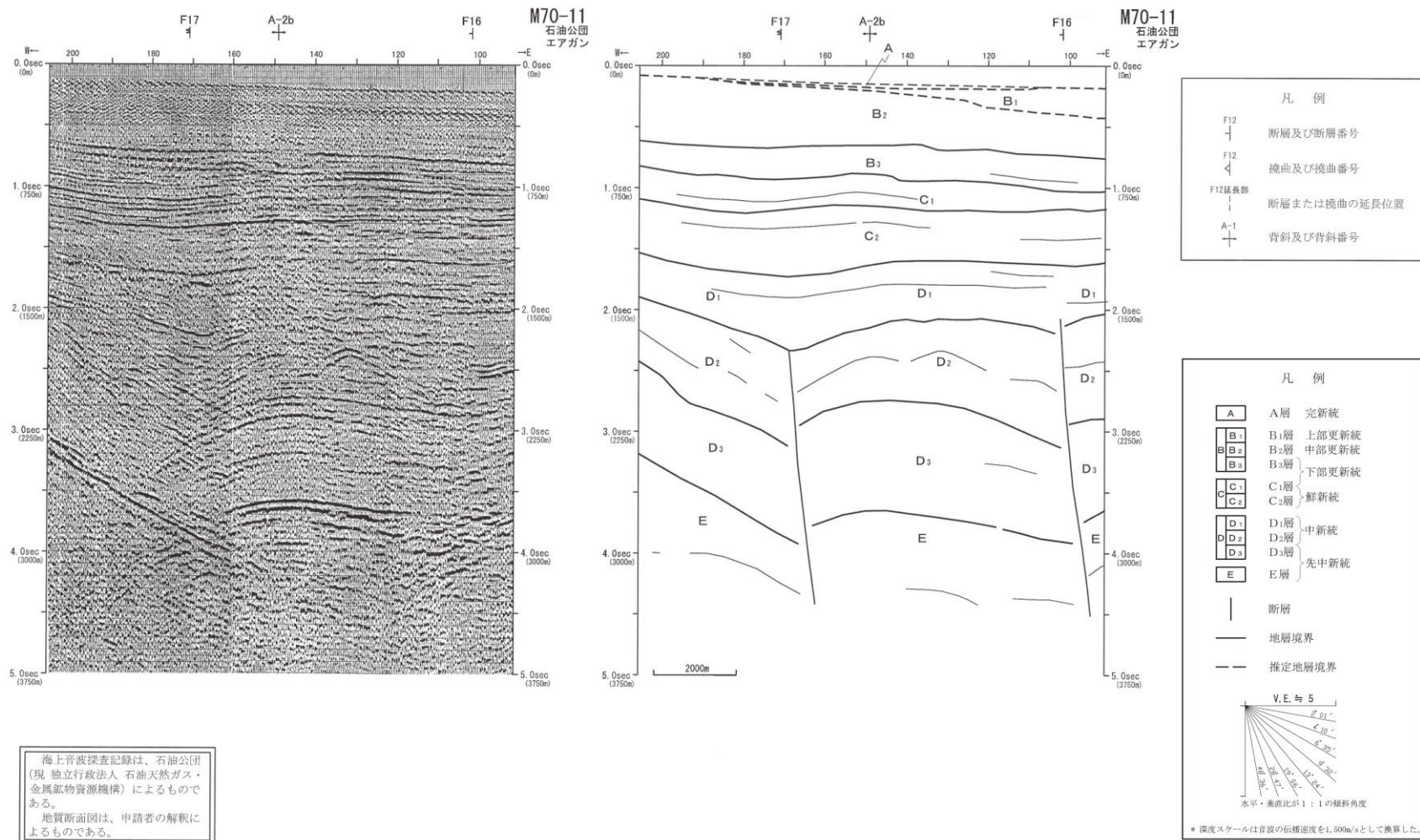
第 3. 2. 171 図(2) F 2 断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.15W-1)



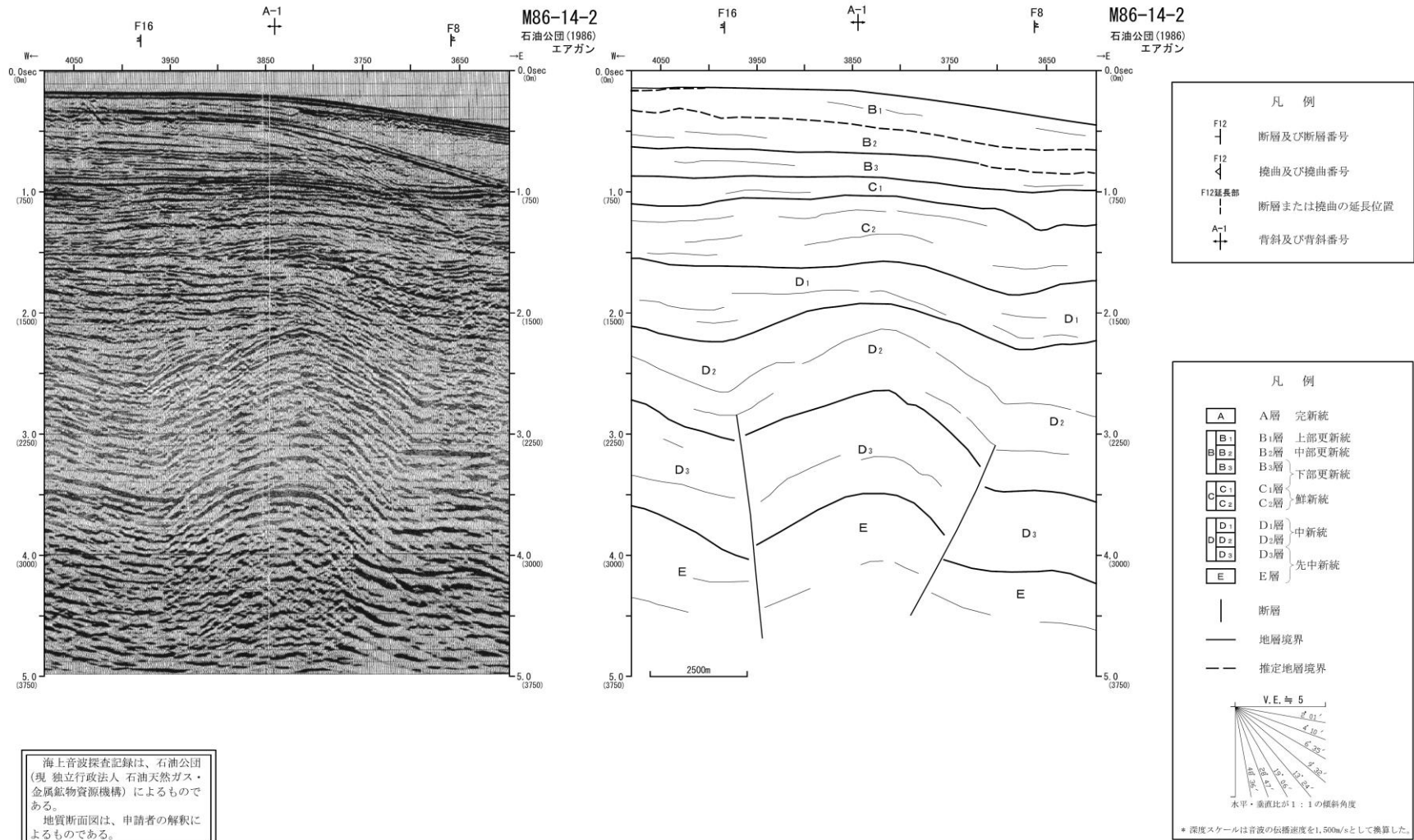
第 3.2.171 図(3) F 2 断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.HA)



第3.2.172図 F17断層, A-2a背斜周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (M86-14-2)

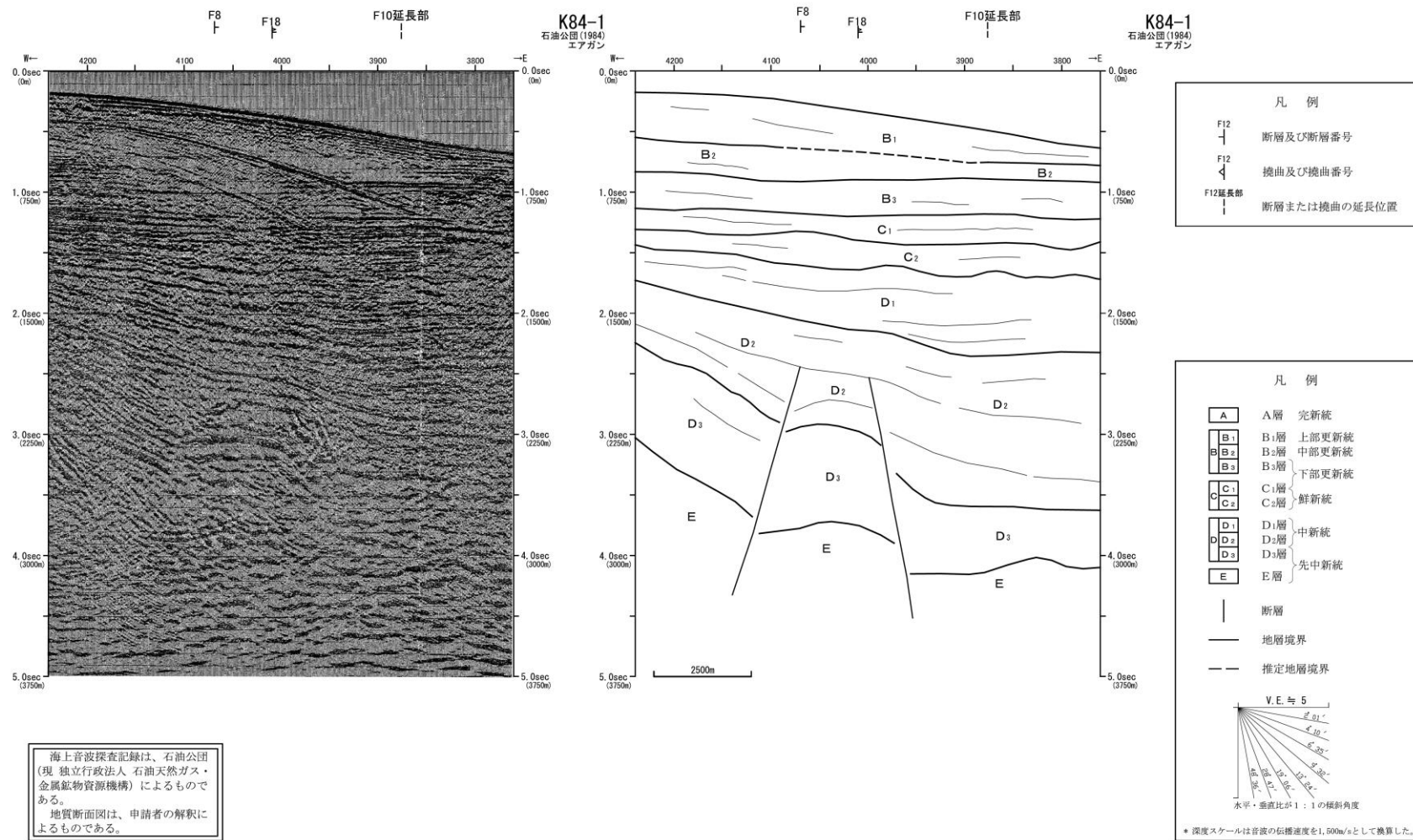


第 3.2.173 図 A-2b 背斜周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (M70-11)

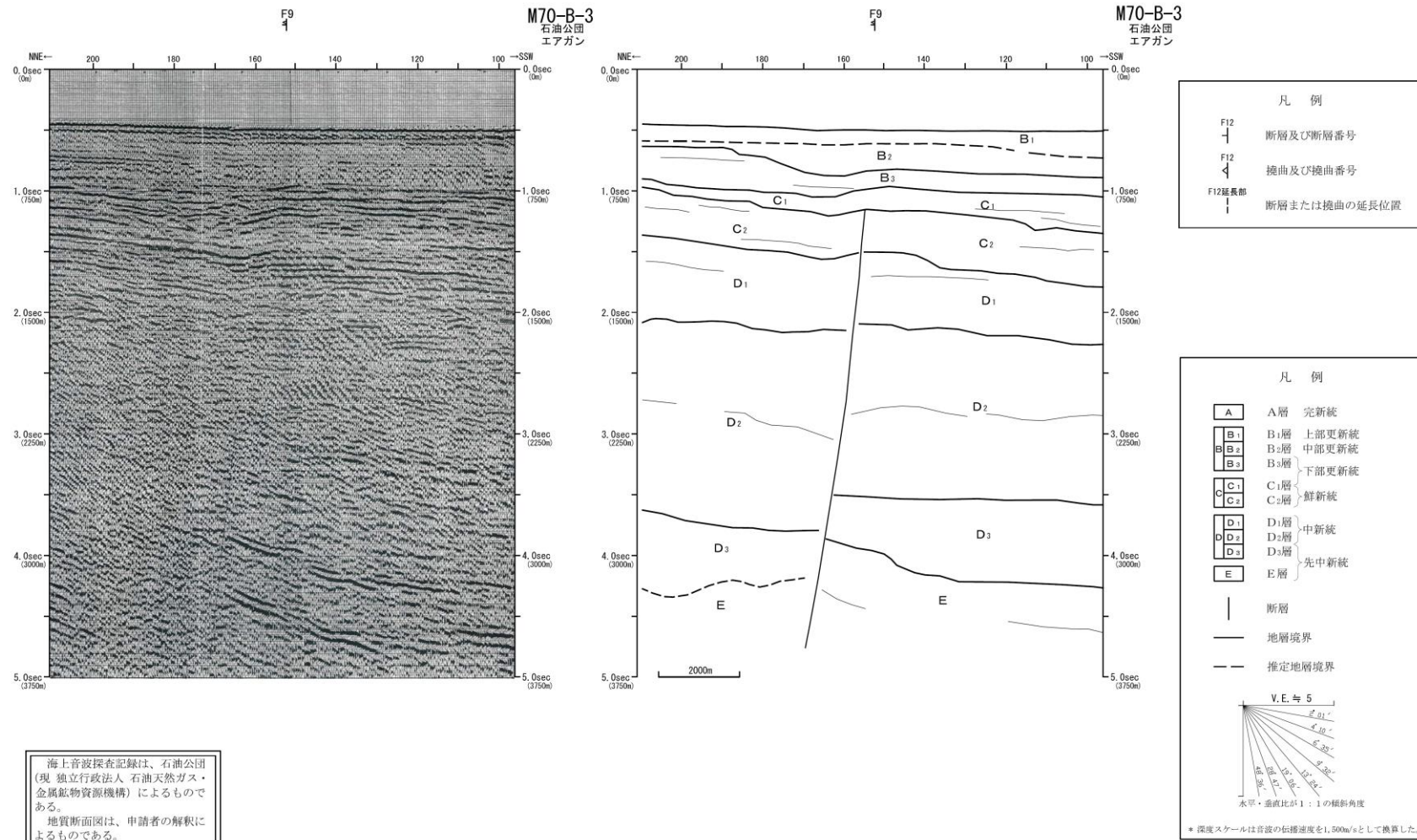


海上音波探査記録は、石油公団(現 独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構)によるものである。
地質断面図は、申請者の解釈によるものである。

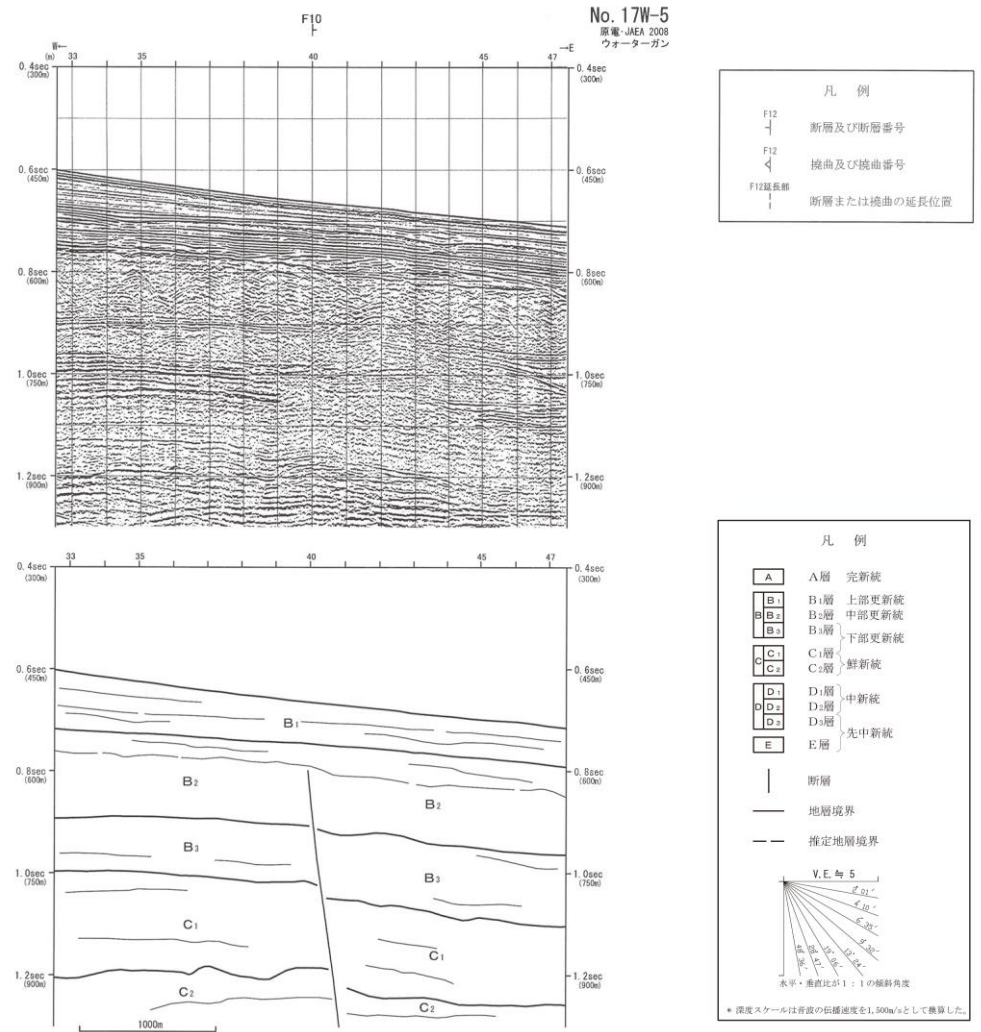
第3.2.174 図 F 8 断層, F 1 6 断層, A-1 背斜周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (M86-14-2)



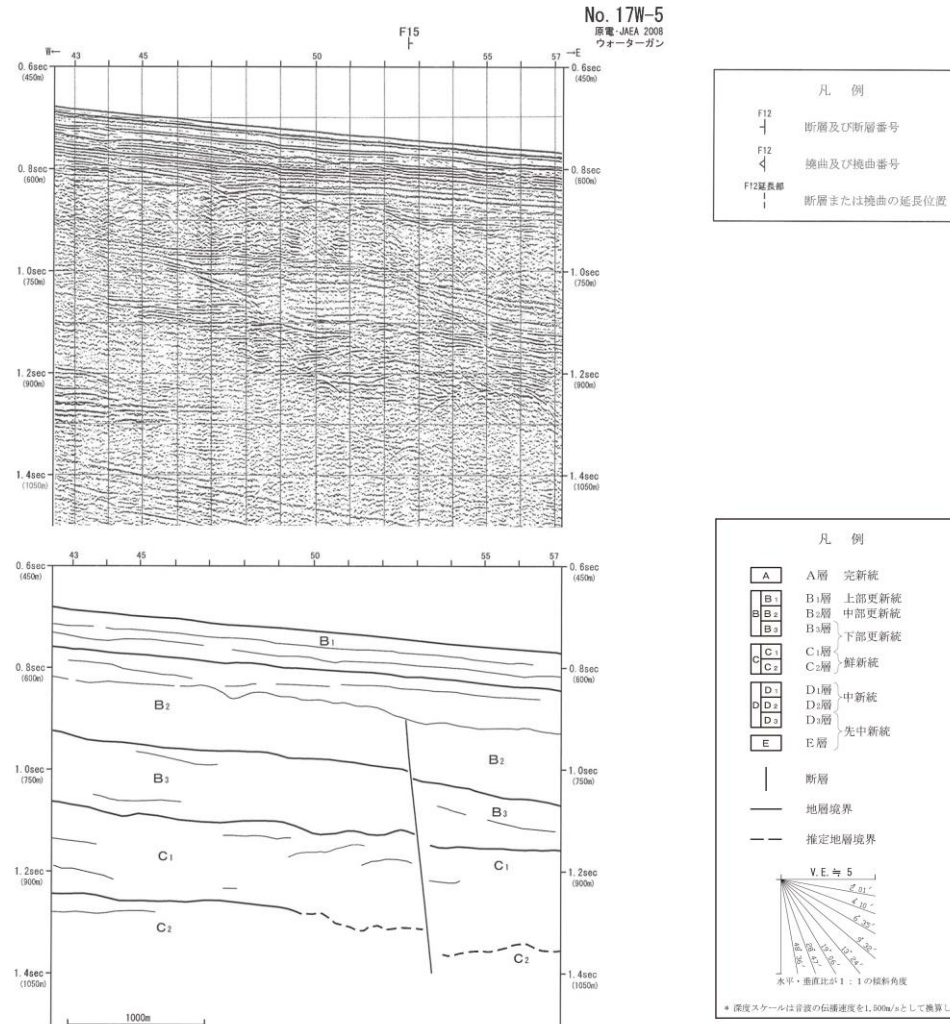
第 3. 2. 175 図 F 1 8 断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (K84-1)



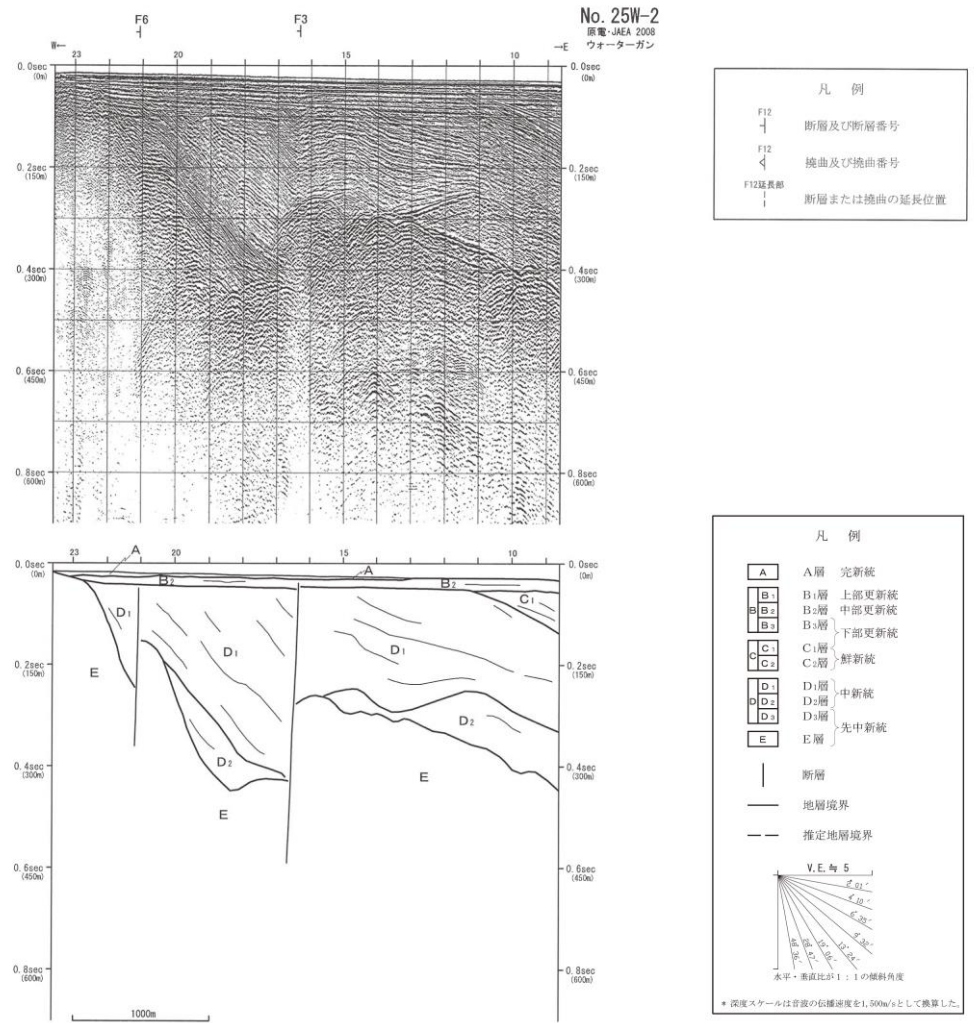
第 3. 2. 176 図 F 9 断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (M70-B-3)



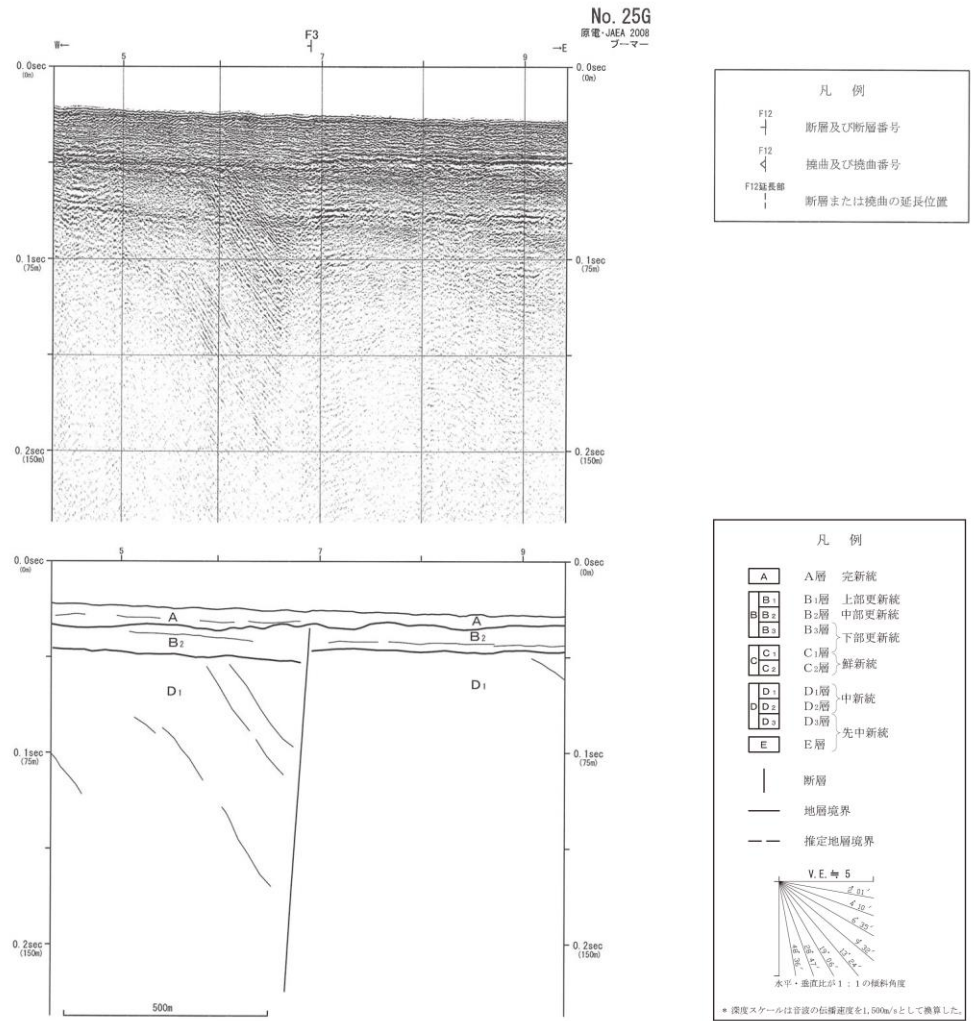
第 3. 2. 177 図 F 1 0 断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.17W-5)



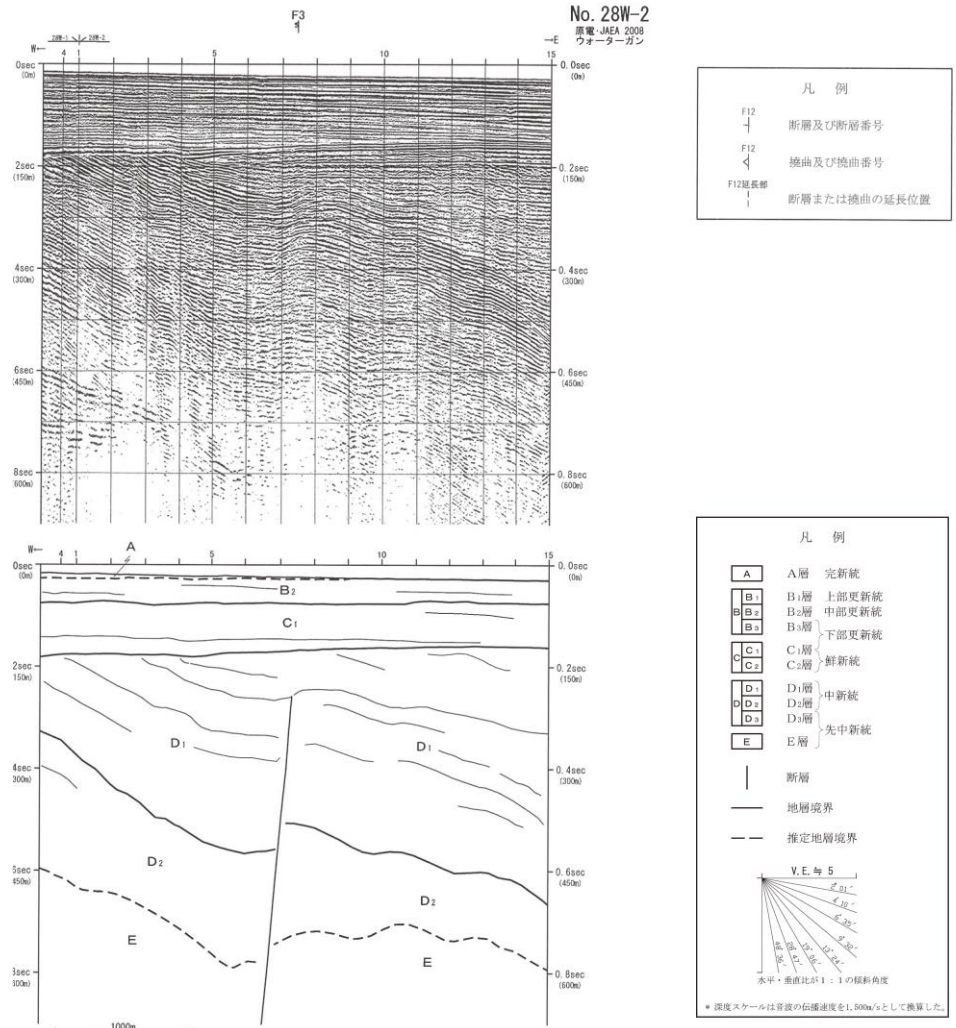
第 3. 2. 178 図 F 1 5 断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.17W-5)



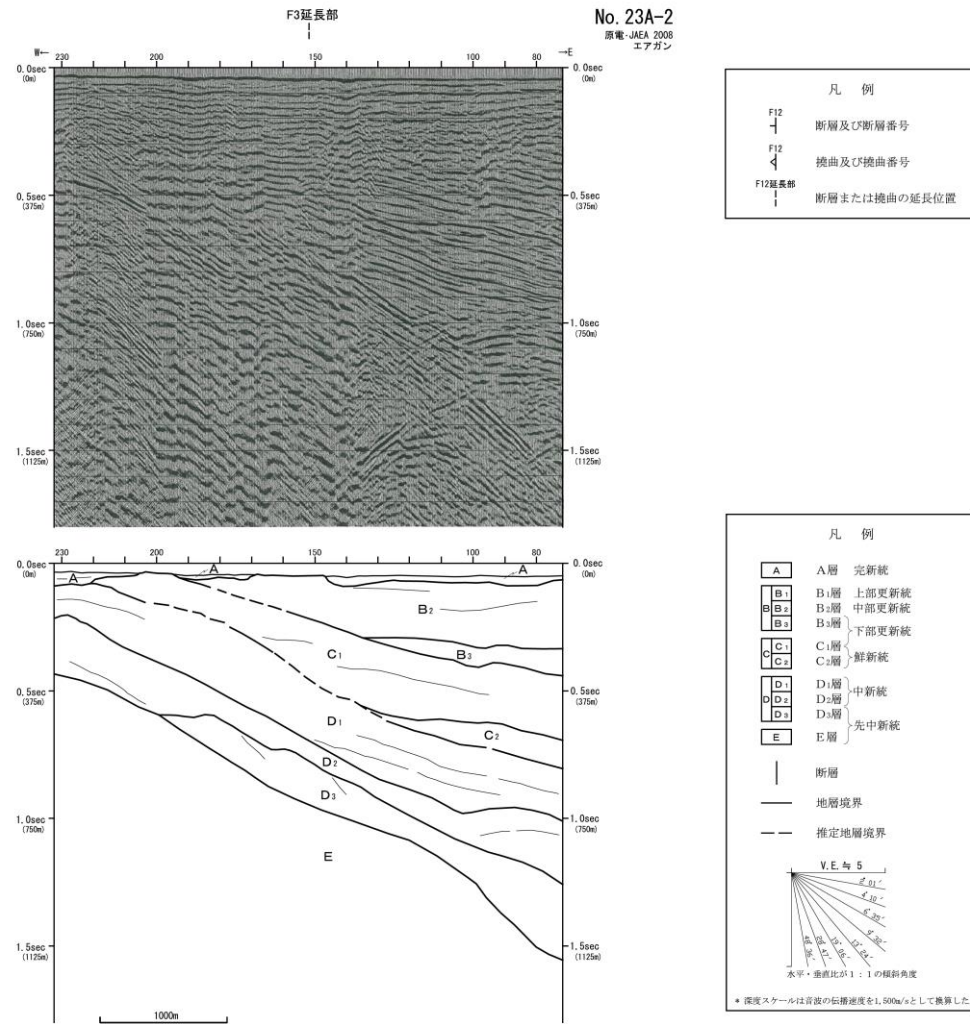
第 3. 2. 179 図(1) F 3 断層北中部周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.25W-2)



第 3. 2. 179 図(2) F 3 断層北中部周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.25G)

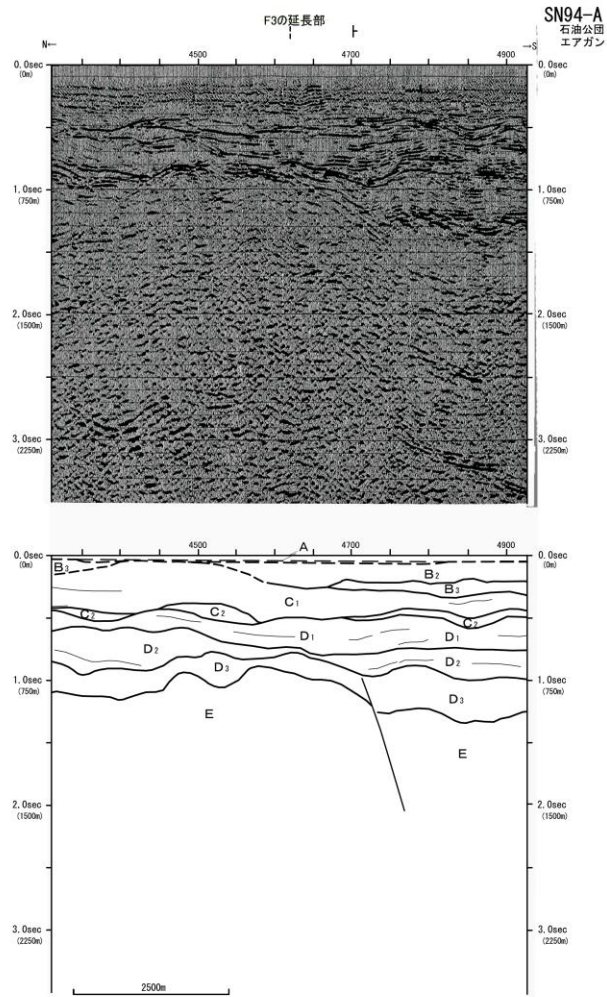


第 3. 2. 179 図(3) F 3 断層南部周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.28W-2)



第 3. 2. 179 図(4) F 3 断層北側延長部周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.23A-2)

海上音波探査記録は、石油公団(現 独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構)によるものである。
地質断面図は、申請者の解釈によるものである。



凡例

- F12 ↓ 断層及び断層番号
- F12 ↓ 拗曲及び拗曲番号
- F12延長部 ↓ 断層または拗曲の延長位置

凡例

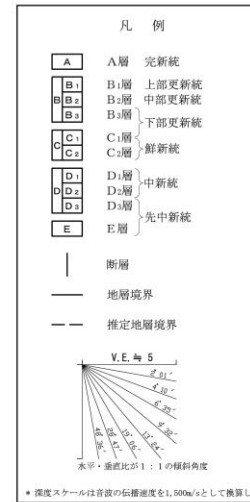
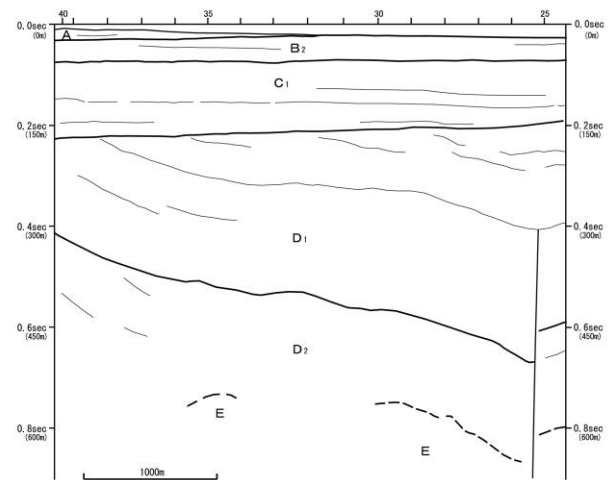
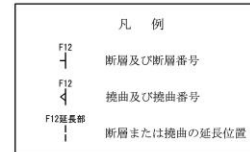
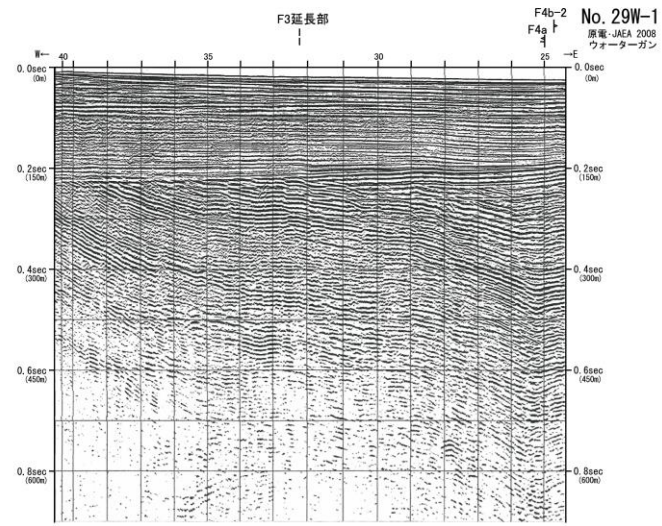
- A A層 完新統
- B1 B1層 上部更新統
- B2 B2層 中部更新統
- B3 B3層 下部更新統
- C1 C1層 鮮新統
- C2 C2層 鮮新統
- D1 D1層 中新統
- D2 D2層 中新統
- D3 D3層 中新統
- E E層 先中新統
- 断層
- 地層境界
- 推定地層境界

V.E. No 5
 5.0 sec
 4.0 sec
 3.0 sec
 2.0 sec
 1.0 sec
 0.0 sec

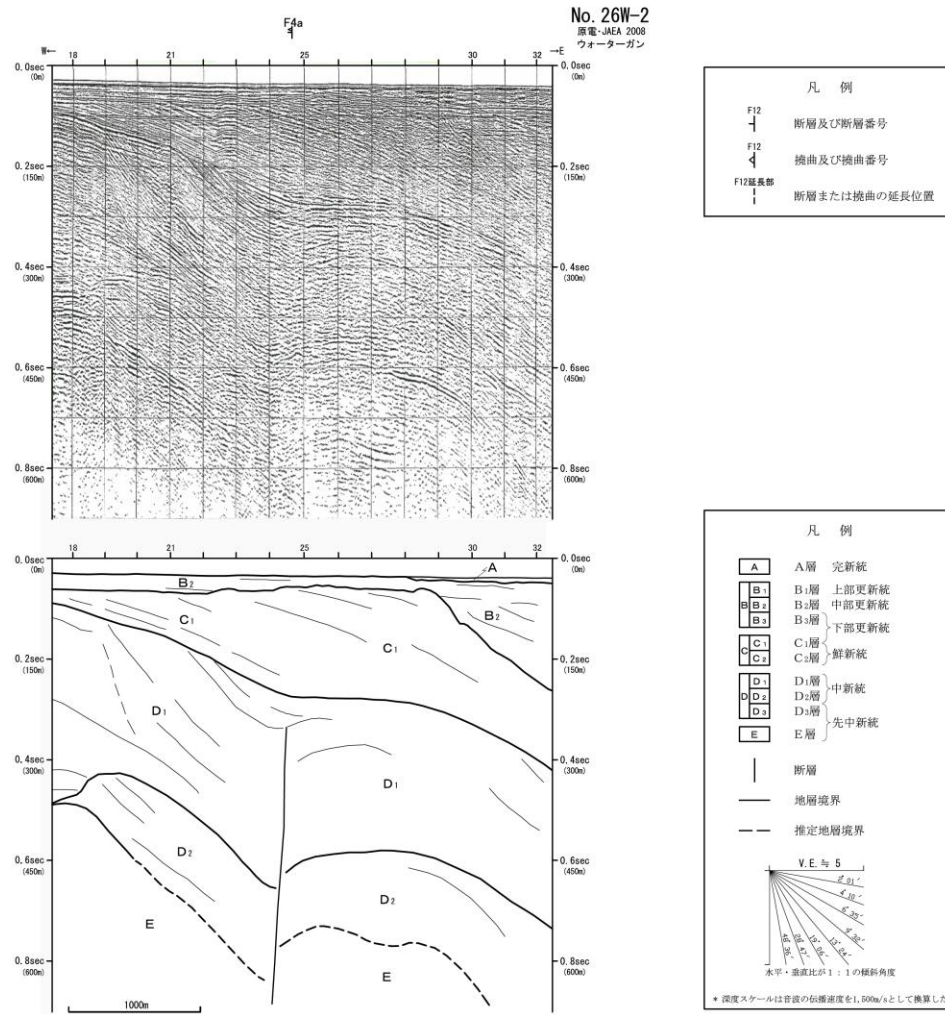
水平・垂直比が1:1の傾斜角度

* 深度スケールは音波の伝播速度を1,500m/secとして換算した。

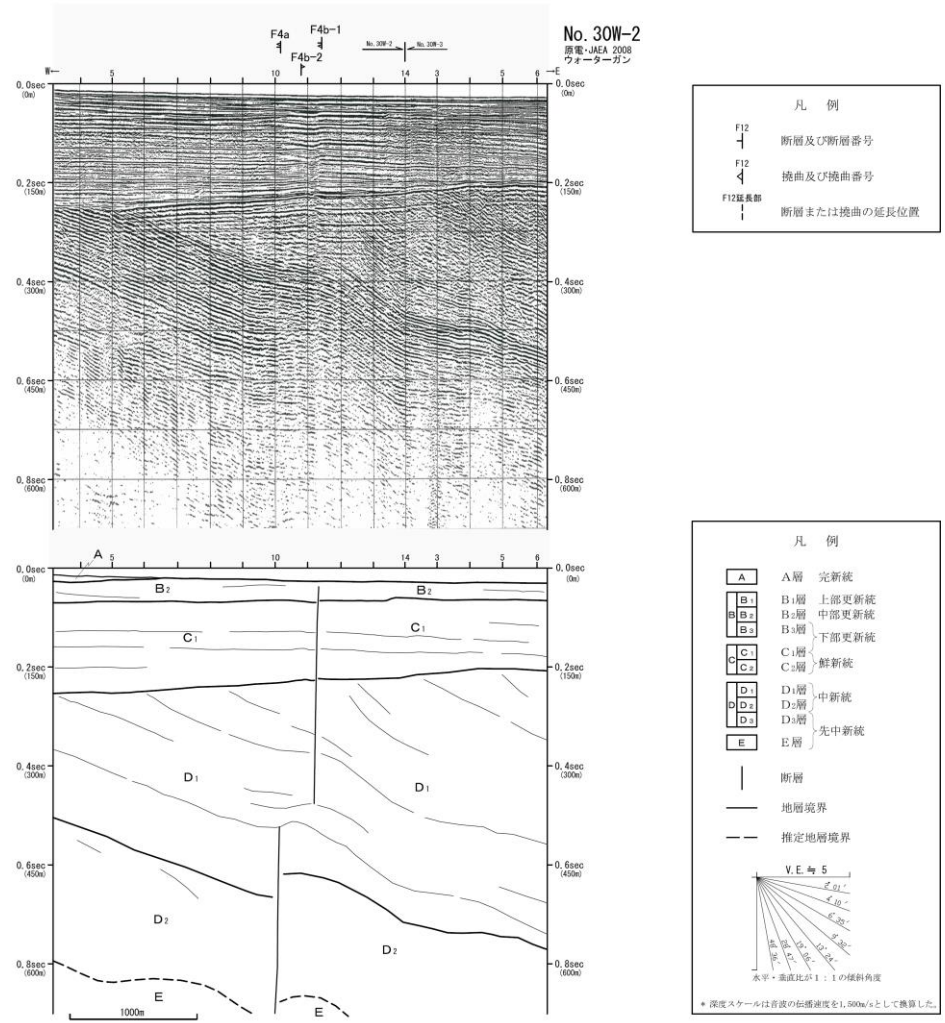
第 3. 2. 179 図(5) F 3 断層北側延長部周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (SN94-A)



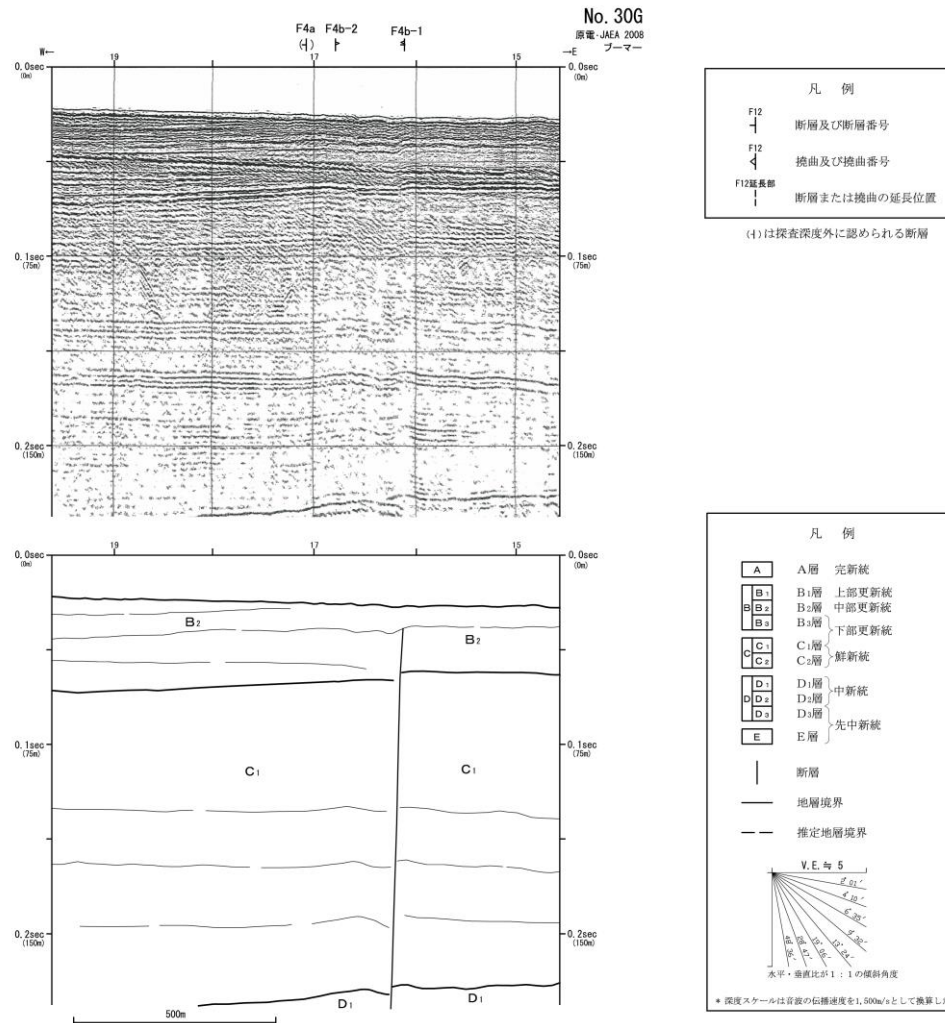
第 3. 2. 179 図(6) F 3 断層南側延長部周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.29W-1)



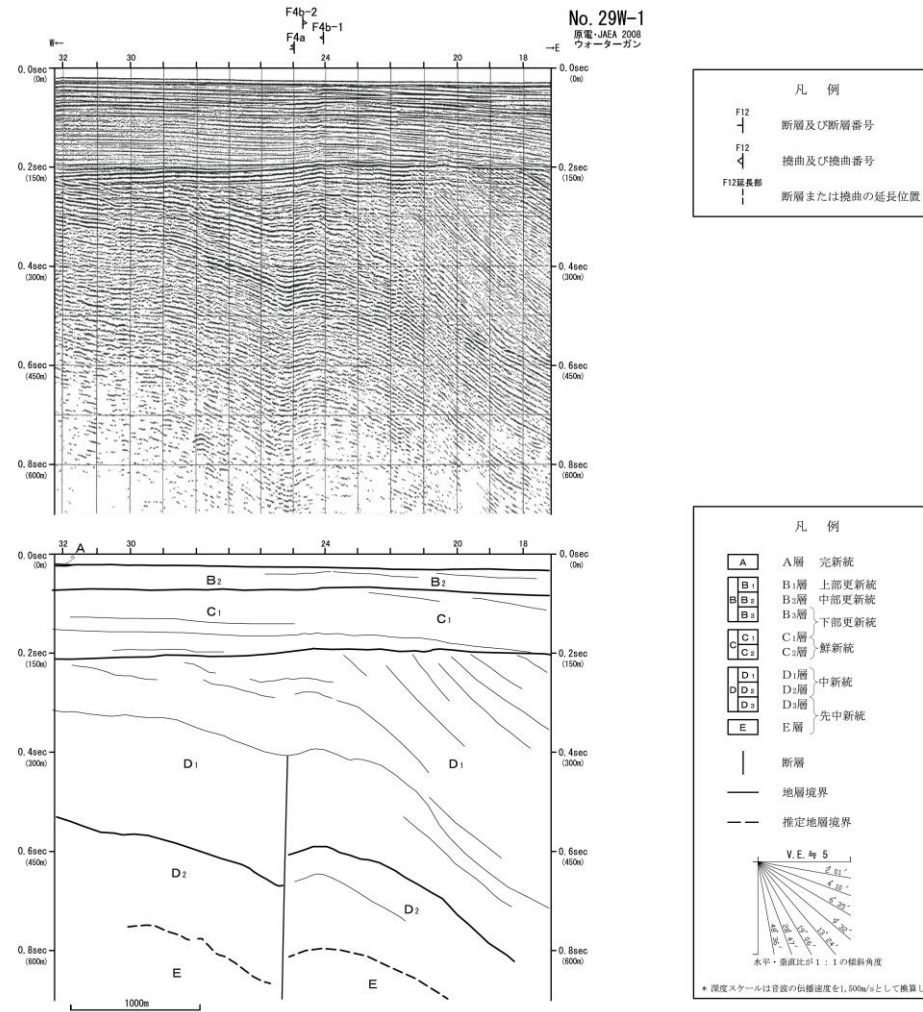
第 3. 2. 180 図(1) F 4 a 断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.26W-2)



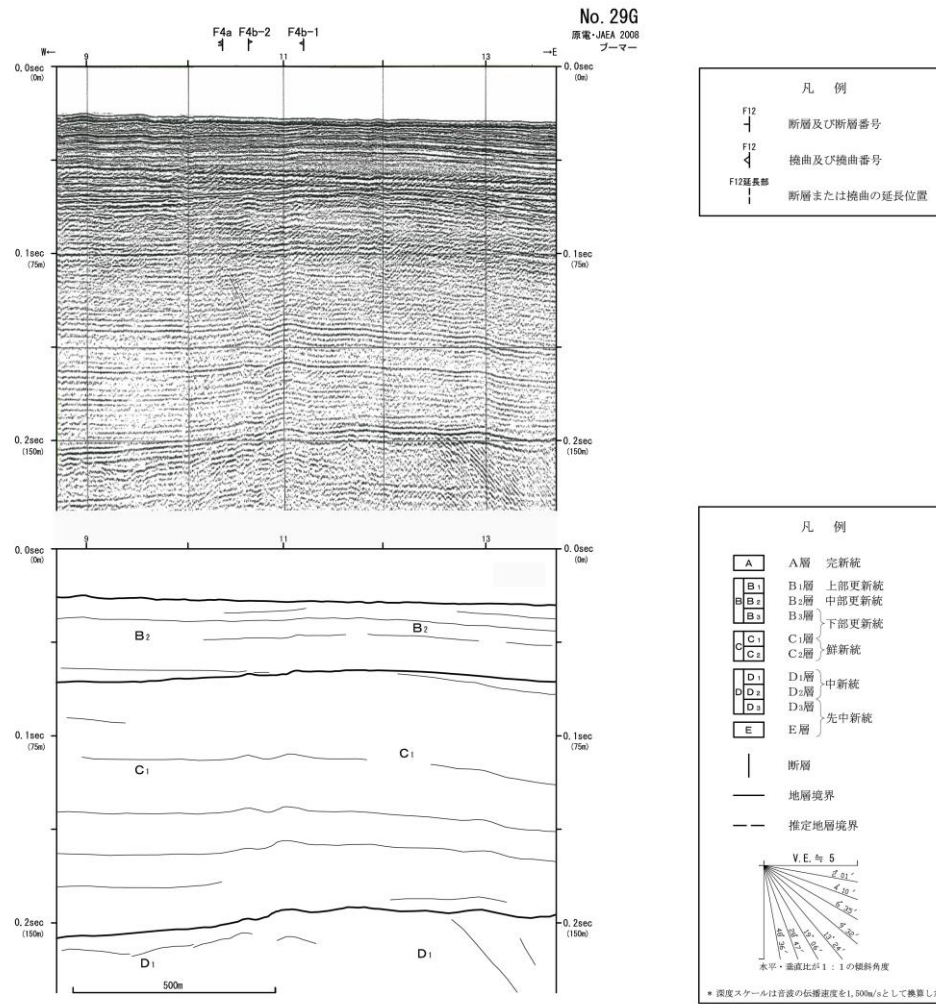
第 3. 2. 180 図 (2) F 4 b - 1 断層南部周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.30W-2)



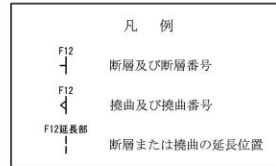
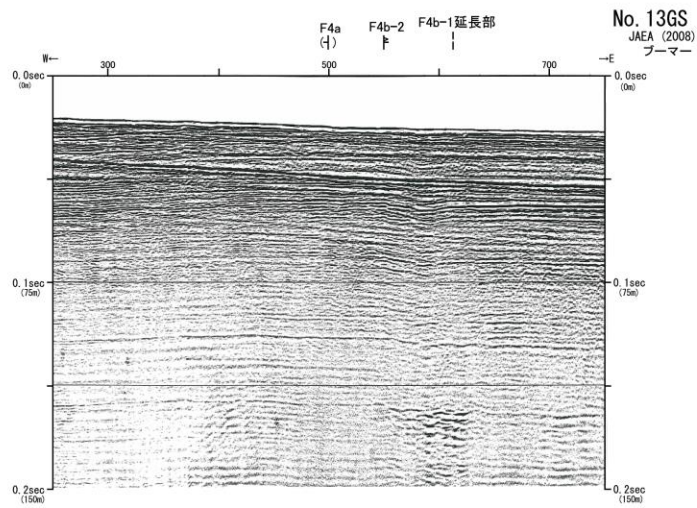
第 3. 2. 180 図(3) F 4 b - 1 断層南部周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.30G)



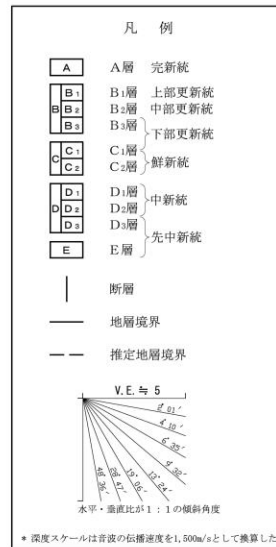
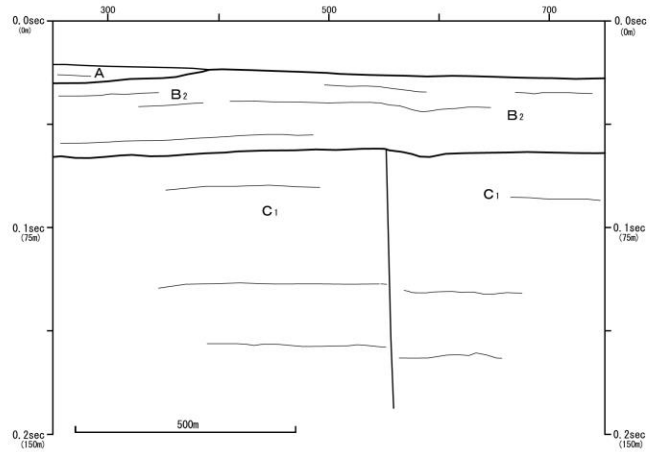
第 3. 2. 180 図(4) F 4 b - 1 断層北部周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.29W-1)



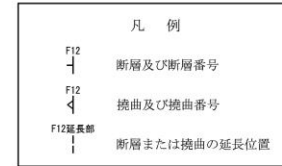
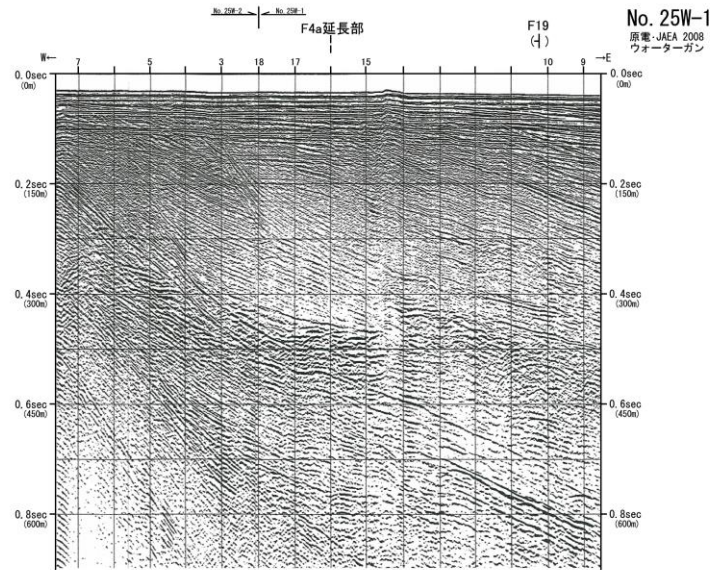
第 3. 2. 180 図(5) F 4 b - 1 断層北部周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.29G)



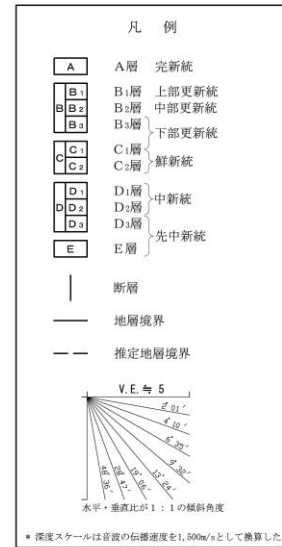
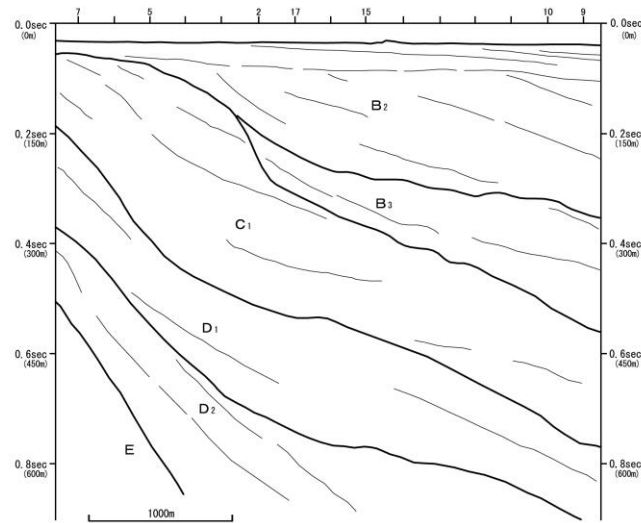
(4) は探査深度外に認められる断層



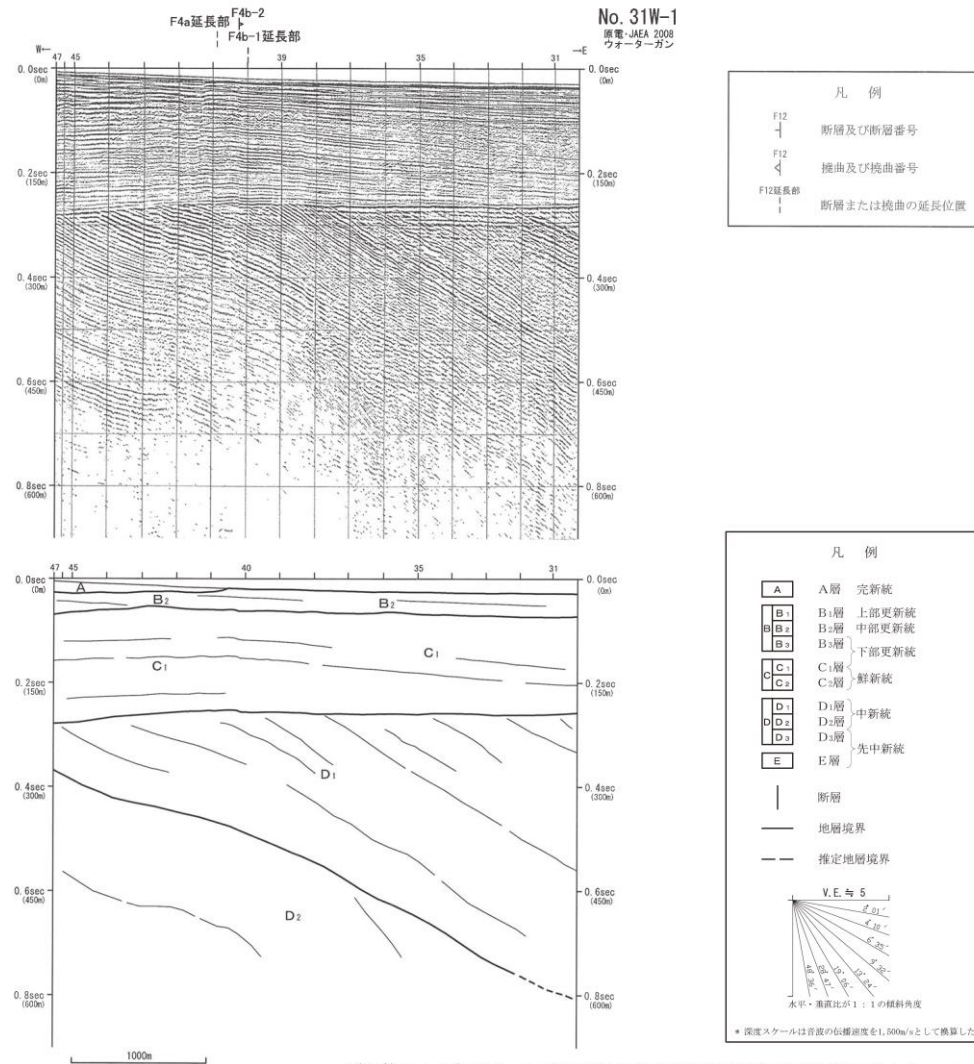
第3.2.180 図(6) F4b-2断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.13GS)



(4)は探査深度外に認められる断層

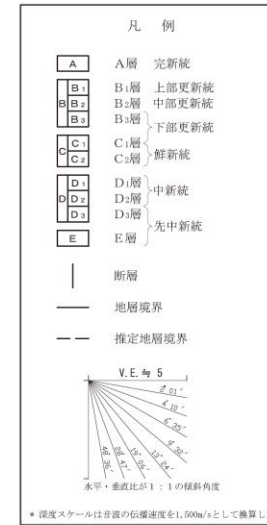
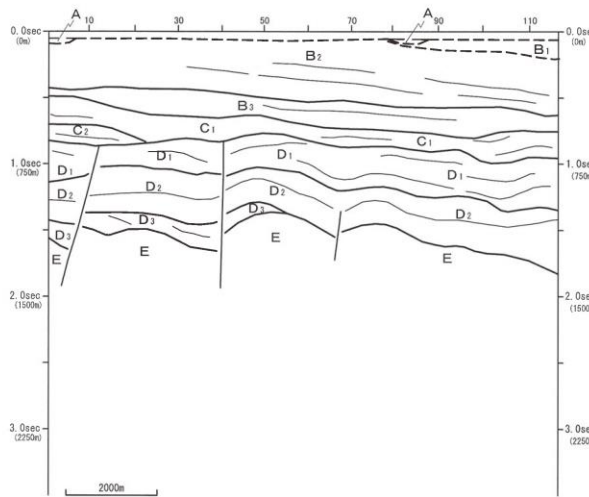
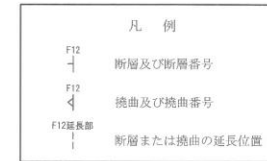
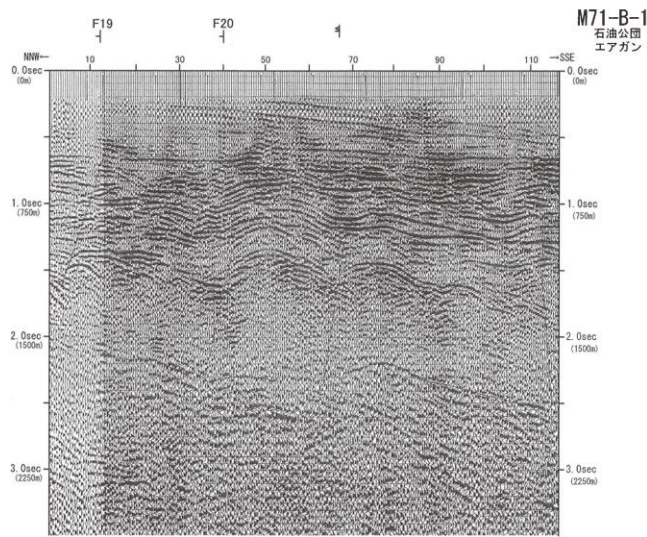


第 3. 2. 180 図 (7) F 4 a 断層北側延長部周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.25W-1, 2)

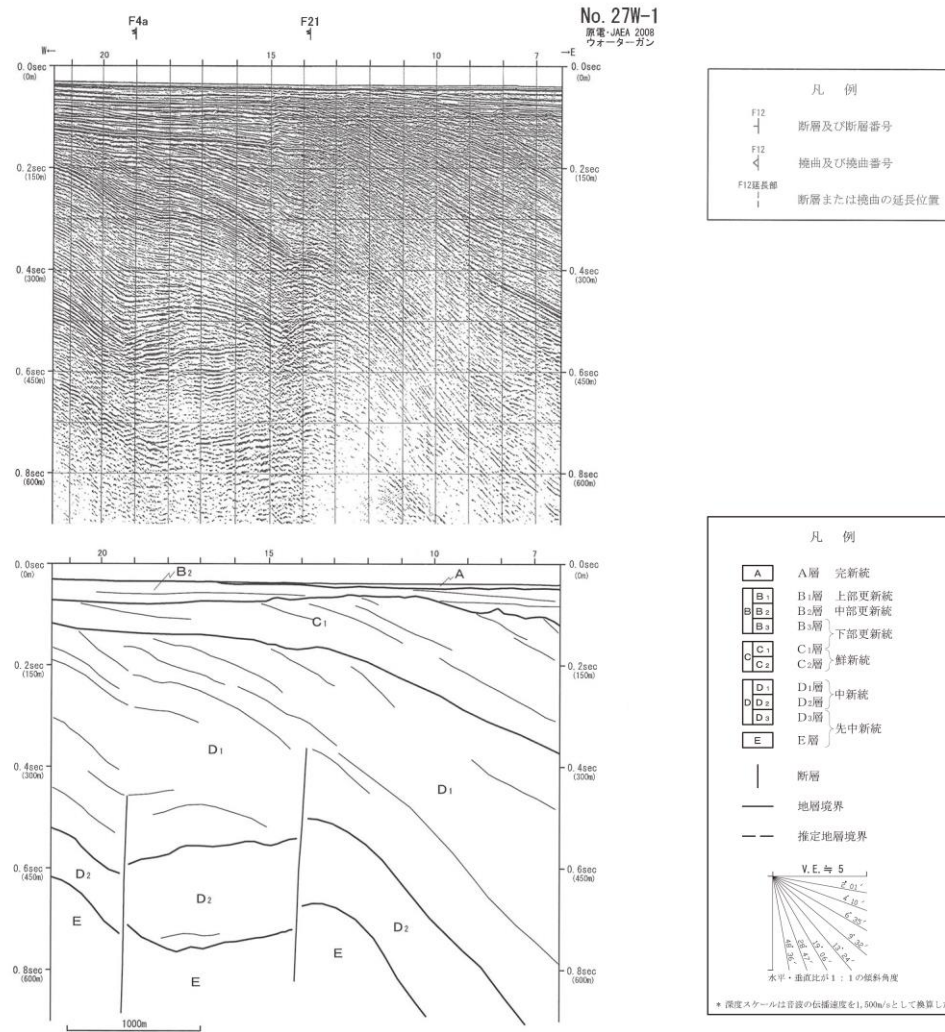


第 3. 2. 180 図(8) F 4 b - 1 断層南側延長部周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.31W-1)

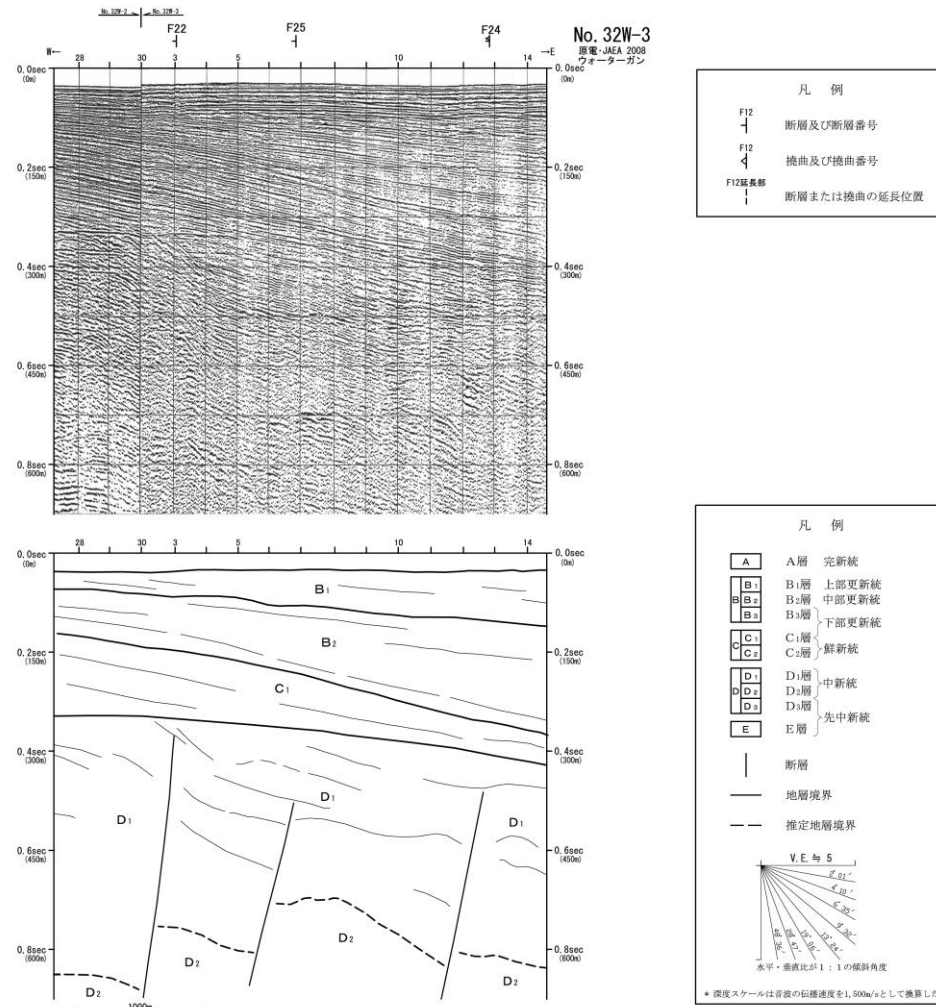
海上音波探査記録は、石油公団
(現 独立行政法人 石油天然ガス・
金属鉱物資源機構) によるもので
ある。
地質断面図は、申請者の解釈に
よるものである。



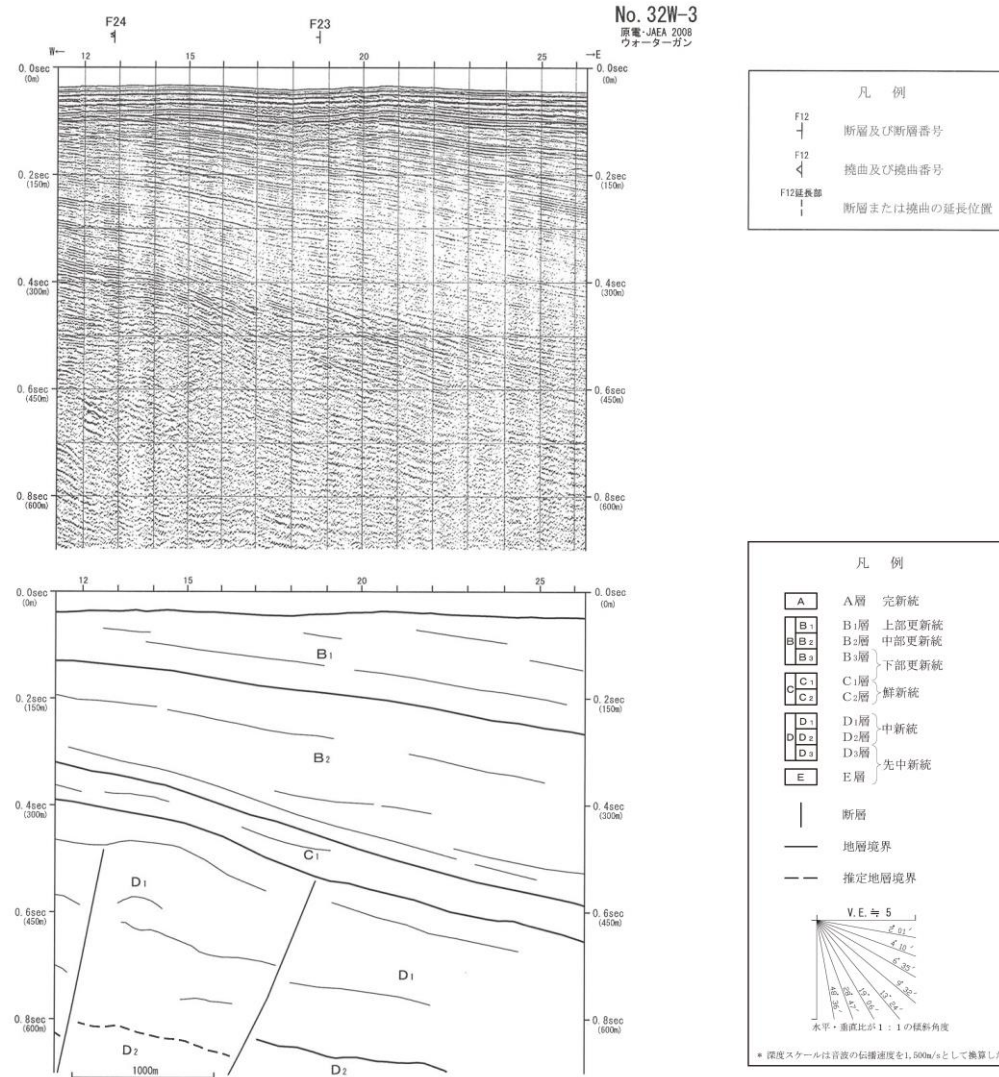
第 3.2.182 図 F 1 9 断層, F 2 0 断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (M71-B-1)



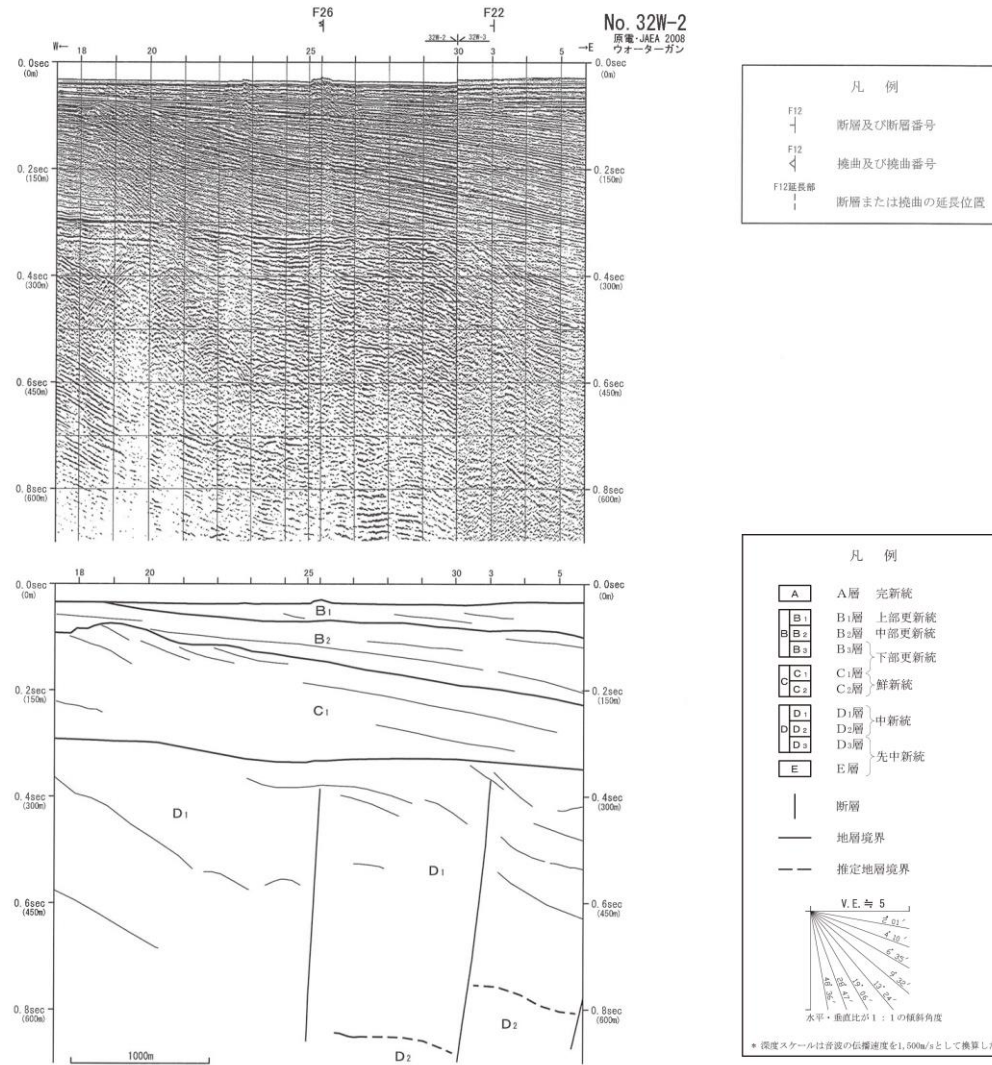
第 3. 2. 183 図 F 2 1 断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.27W-1)



第 3. 2. 184 図 F 2 2 断層, F 2 4 断層, F 2 5 断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.32W-3)

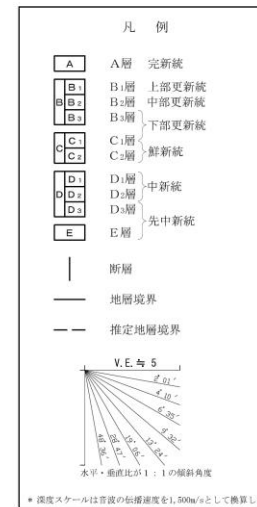
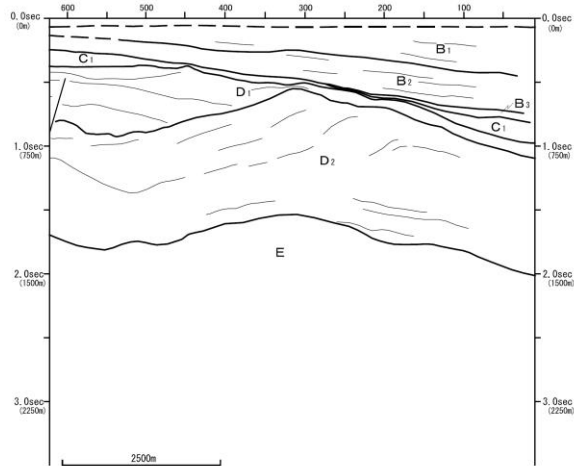
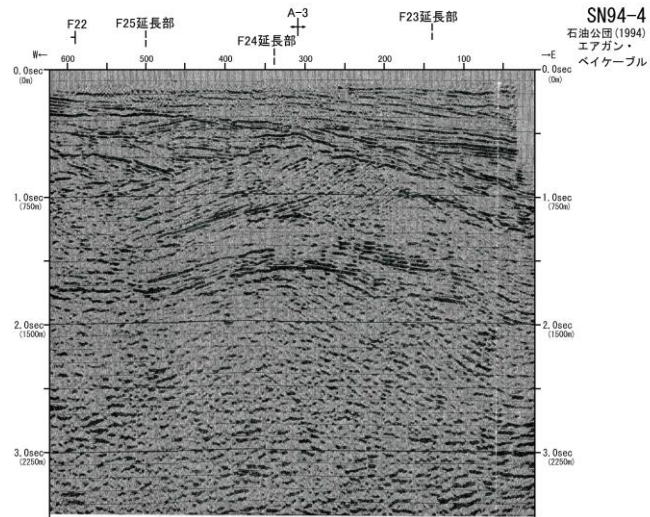


第 3. 2. 185 図 F 2 3 断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.32W-3)

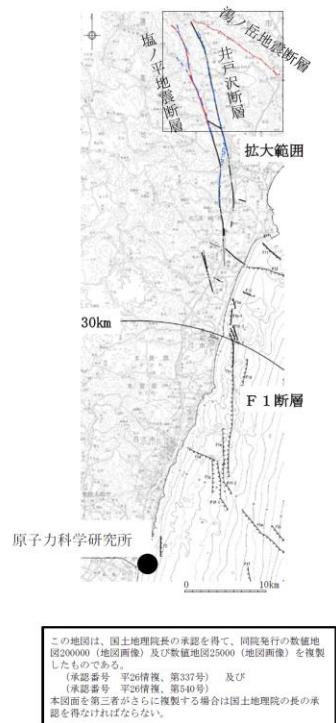


第 3.2.186 図 F 2 6 断層周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.32W-2)

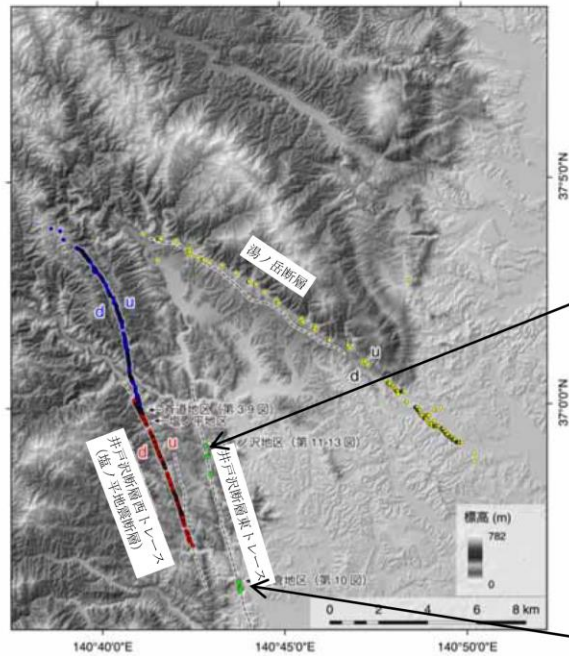
海上音波探査記録は、石油公団
(現 独立行政法人 石油天然ガス・
金属鉱物資源機構) によるもので
ある。
地質断面図は、申請者の解釈に
よるものである。



第 3. 2. 187 図 A-3 背斜周辺の海上音波探査記録及び地質断面図 (SN94-4)



第1図 井戸沢断層および湯ノ岳断層の分布と2011年福島県浜通りの地震に伴い出現した地震断層。井戸沢断層西トレース沿いの地震断層のうち北セグメントを青色丸、南セグメントを赤色丸で示す。井戸沢断層東トレース沿いで確認された地表変位を緑色丸で示す。湯ノ岳断層沿いの地震断層およびその他の地震断層の可能性のある地表変位確認地点を黄色丸で示す。u、dは相対的隆起側、低下側を示す。齊道地区、佐倉地区および釜ノ沢地区を示す。推定活断層（黒色破線）の分布は中田・今泉編（2002）に基づく。



第11図 遠野町釜ノ沢を流れる天ノ川右岸側護岸擁壁の変位（矢印で示す）。南に向かって撮影。2012年4月28日撮影。

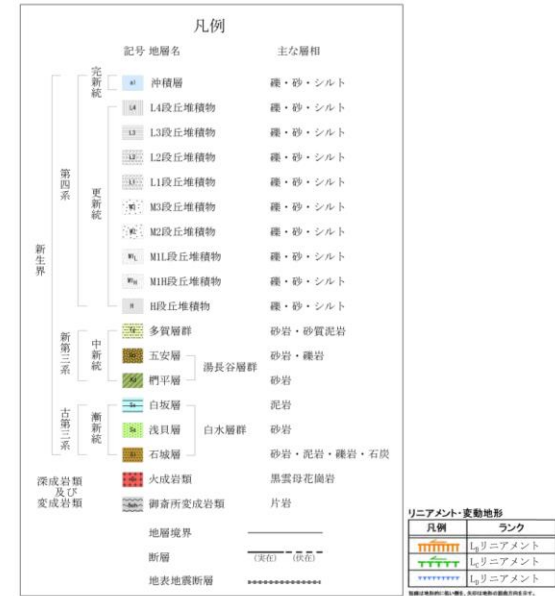
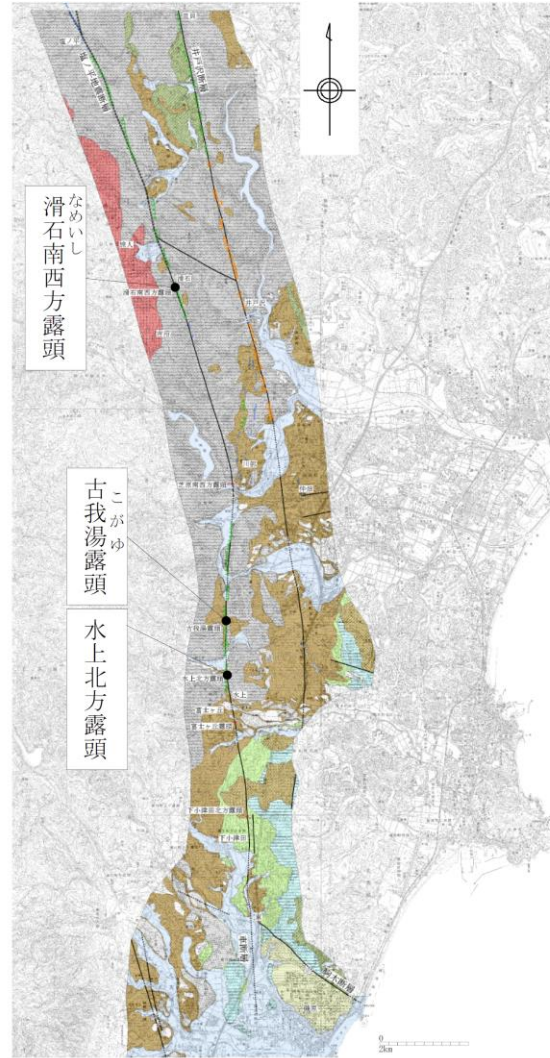


第10図 田人町佐倉地区でみられた井戸沢断層東トレース沿いでみられたアスファルト道路を切断する地表変位（矢印で示す）。北に向かって撮影。2011年12月16日撮影。

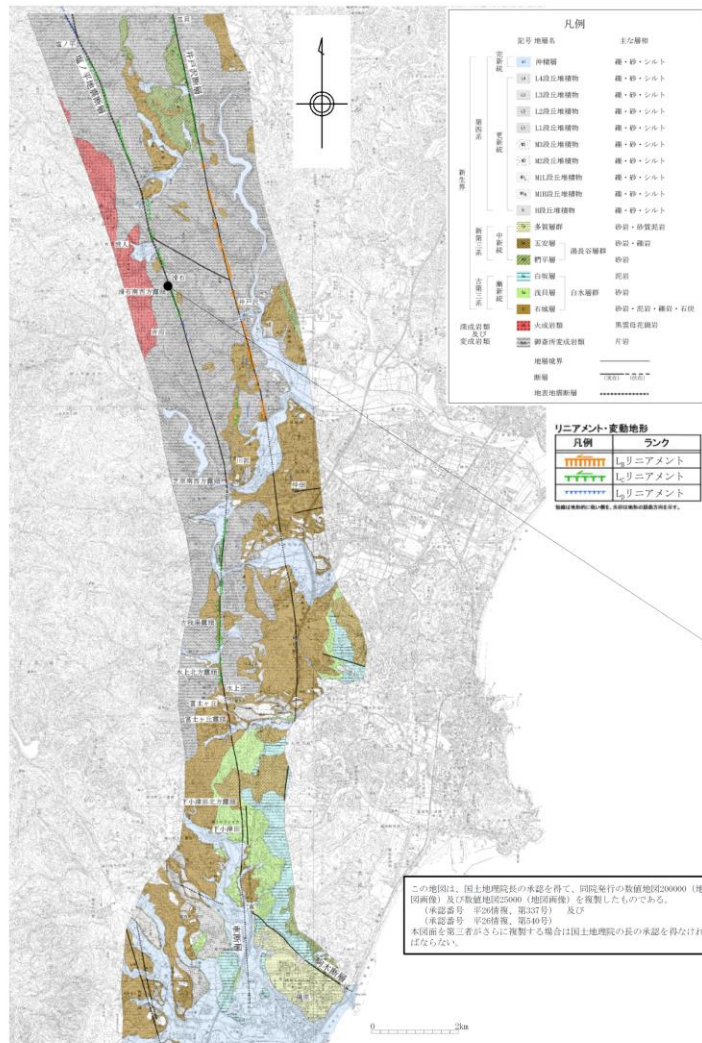
第3.2.188図 塩ノ平地震断層の出現位置に関する文献調査結果



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図200000（地図画像）及び数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平26情復、第337号）及び（承認番号 平26情復、第540号）本図面を第三者がさらに複製する場合は国土地理院長の承認を得なければならない。



第 3. 2. 189 図 北方陸域の断層の地表地質調査結果

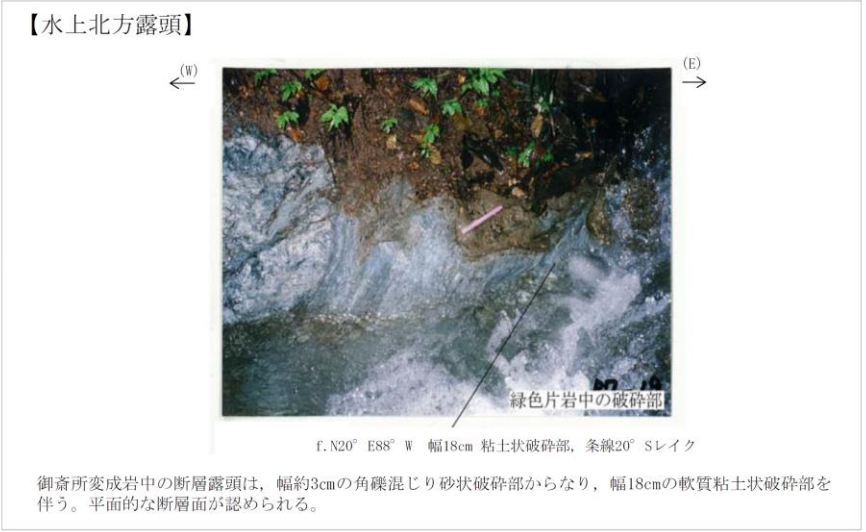
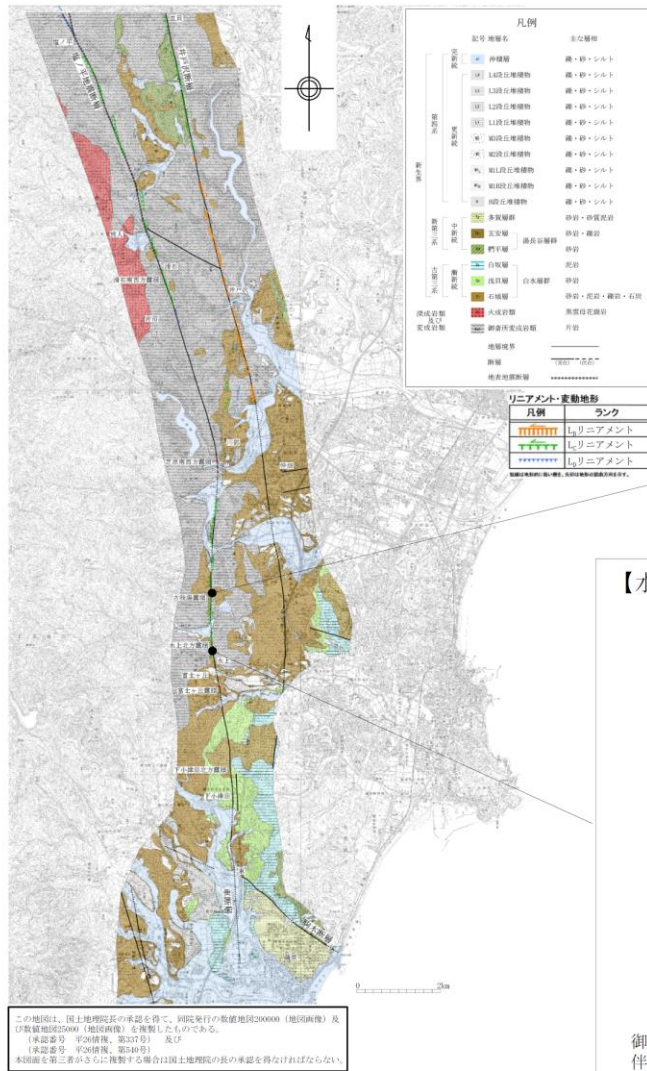


【滑石南西方露頭】

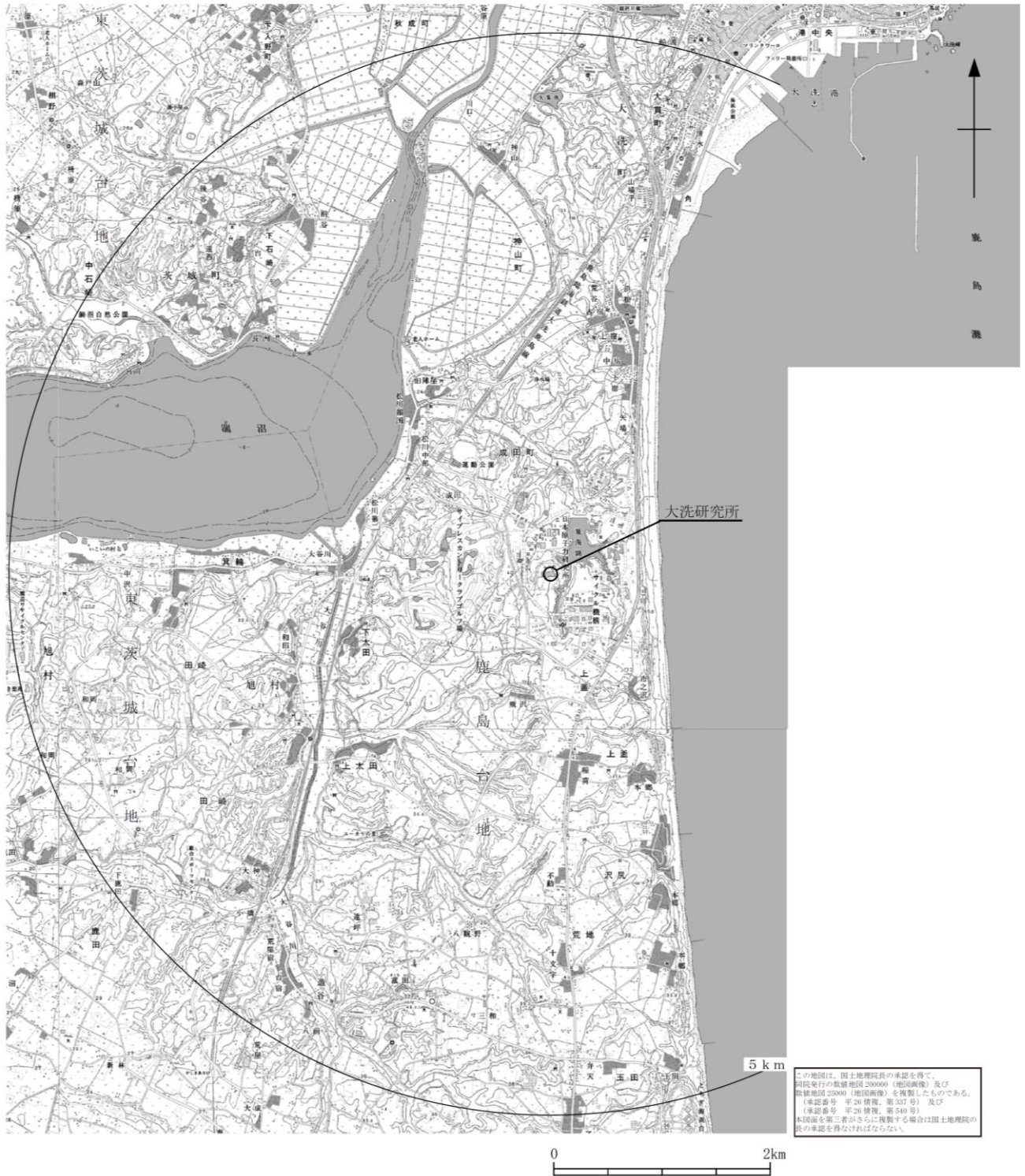


御斎所変成岩類の綠色片岩中の破碎部では、平面的な断層面に条線が認められ、幅2cmの軟質な粘土状破碎部を伴う。周囲は鱗片状～岩片状破碎部である。

第 3. 2. 190 図(1) 北方陸域の断層の露頭写真 (1/2)



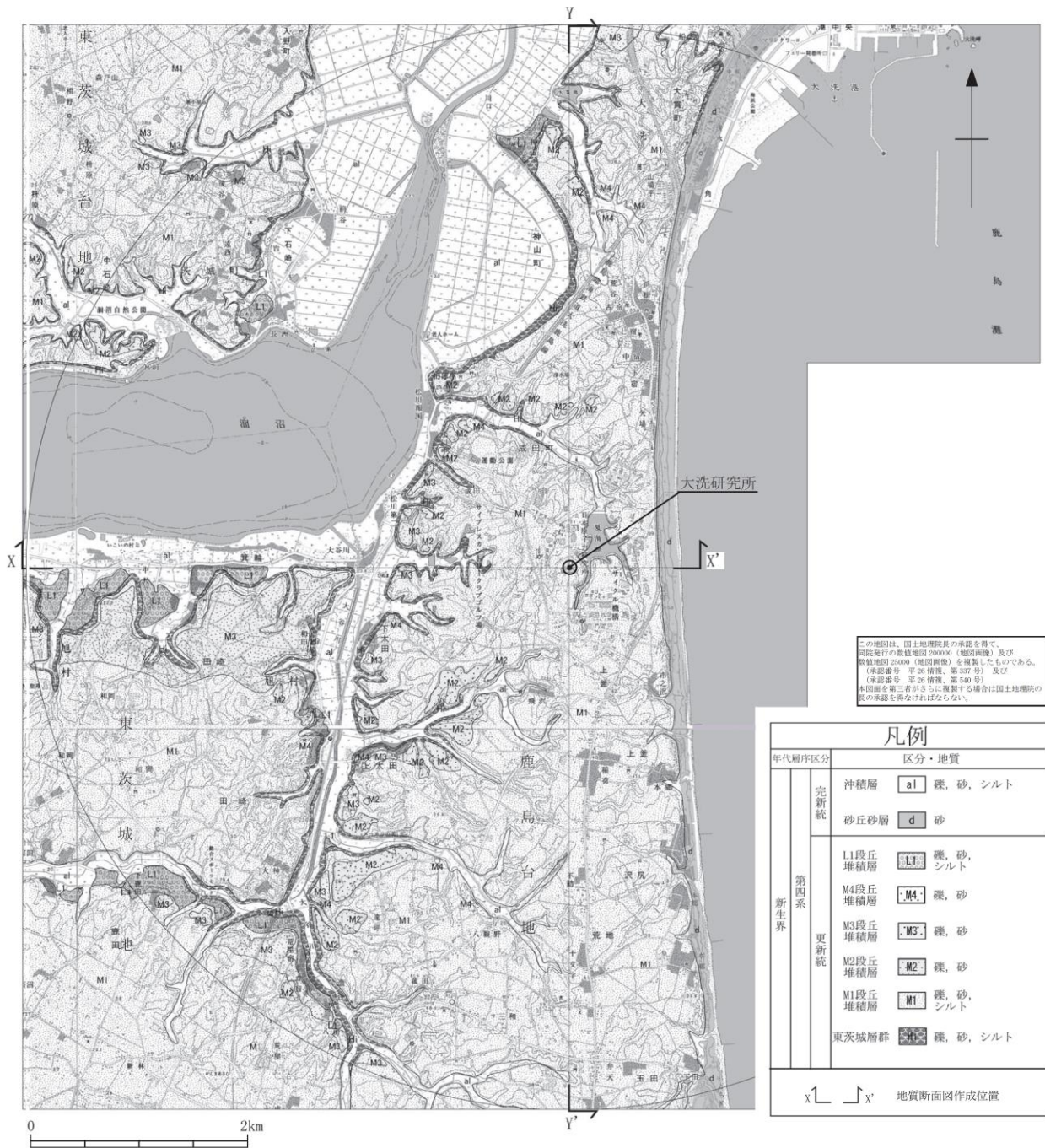
第 3. 2. 190 図 (2) 北方陸域の断層の露頭写真 (2/2)



第 3.3.1 図 敷地近傍陸域の地形図



第 3.3.2 図 敷地近傍海域の海底地形図

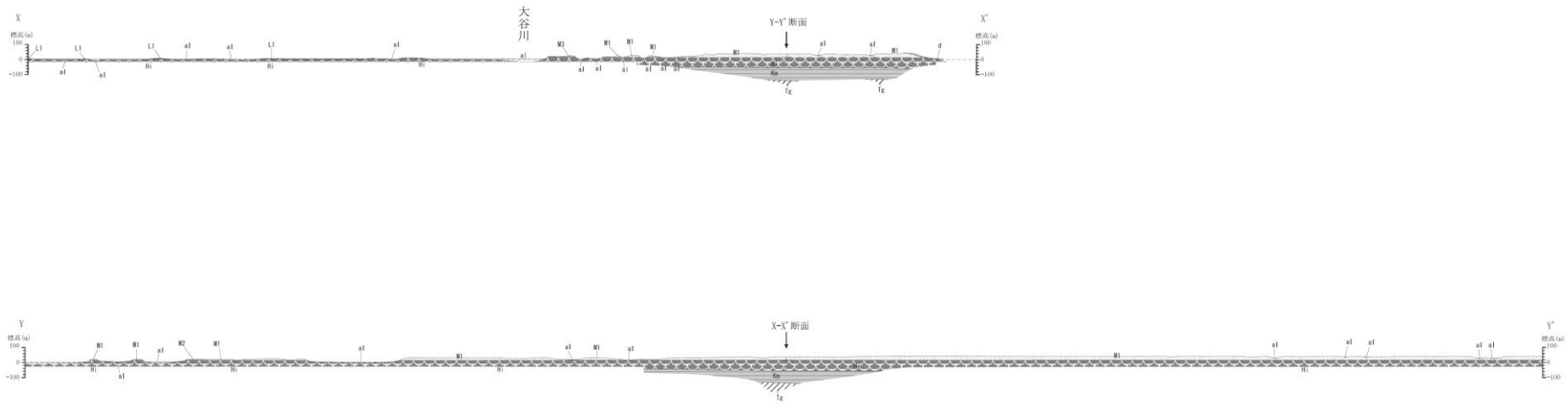


この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 200000（地図画像）及び数値地図 25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平 26 情発、第 37 号）及び（承認番号 平 26 情発、第 510 号）地図画像を第三者がさらに複製する場合は国土地理院長の承認を得なければならない。

年代順序区分		区分・地質	
完新統	沖積層	al	礫、砂、シルト
	砂丘砂層	d	砂
第四系	L1段丘堆積層	L1	礫、砂、シルト
	M4段丘堆積層	M4	礫、砂
	M3段丘堆積層	M3	礫、砂
	M2段丘堆積層	M2	礫、砂
更新統	M1段丘堆積層	M1	礫、砂、シルト
	東茨城層群		礫、砂、シルト
新生界			

X' 1 X'' 地質断面図作成位置

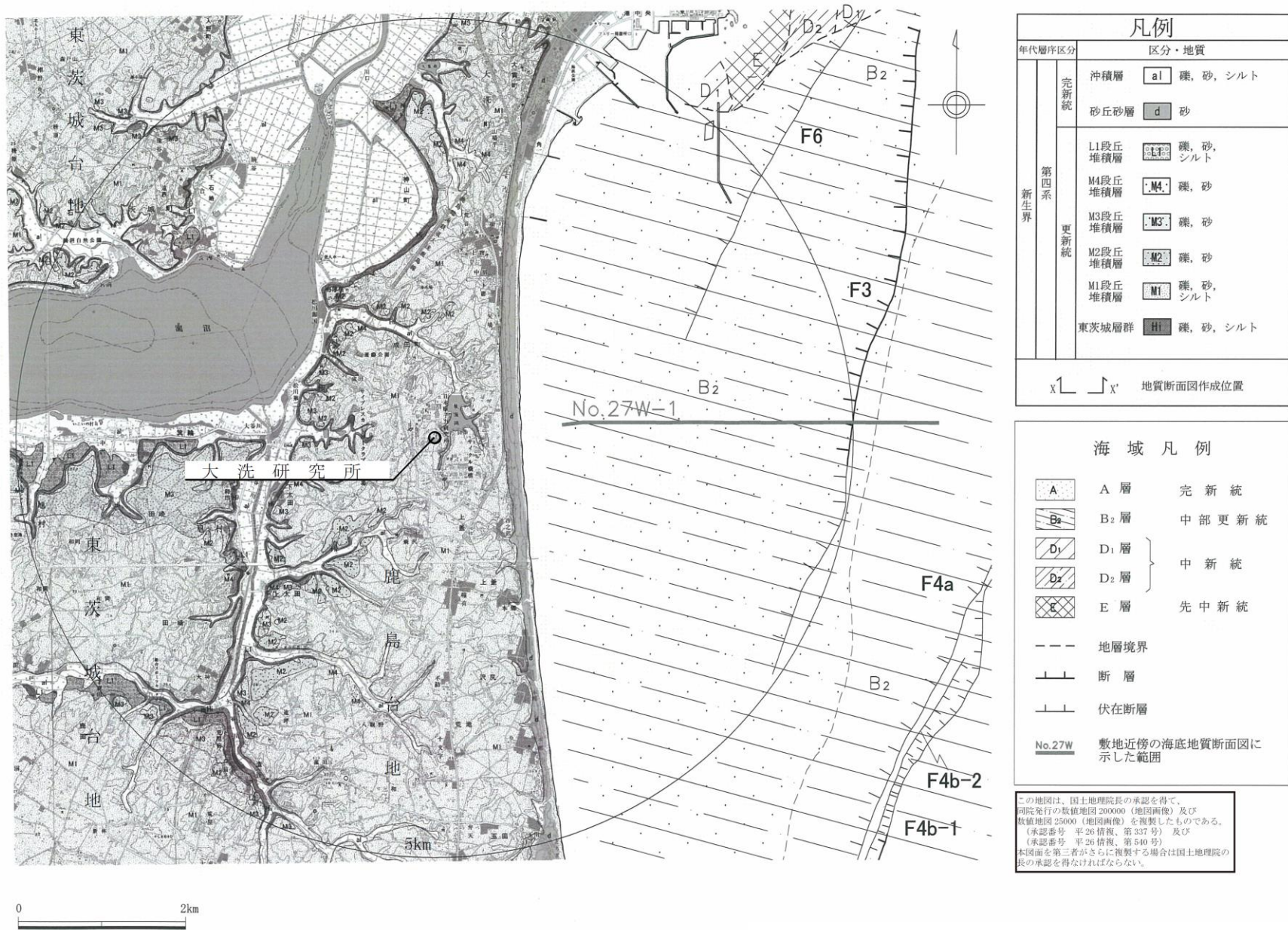
第 3.3.3 図 敷地近傍陸域の地質図



凡例

年代層序区分	区分・岩相		
新統	沖積層	a1 礫、砂、シルト	d 砂丘砂 砂
	第四系	L1段丘堆積物	L1 礫、砂
		M3段丘堆積物	M3 礫、砂
		M2段丘堆積物	M2 礫、砂
	M1段丘堆積物	M1 礫、砂、シルト	
東茨城層群	東茨城 礫、砂、シルト		
新第三系	久米層	Km 砂質泥岩	
	多賀層群	多賀 砂質泥岩	

第 3. 3. 4 図 敷地近傍陸域の地質断面図



年代層序区分		区分・地質		
完新統	沖積層	a1	礫, 砂, シルト	
	砂丘砂層	d	砂	
第四系	更新統	L1段丘堆積層	L1	礫, 砂, シルト
		M4段丘堆積層	M4	礫, 砂
		M3段丘堆積層	M3	礫, 砂
		M2段丘堆積層	M2	礫, 砂
		M1段丘堆積層	M1	礫, 砂, シルト
		東茨城層群	H1	礫, 砂, シルト

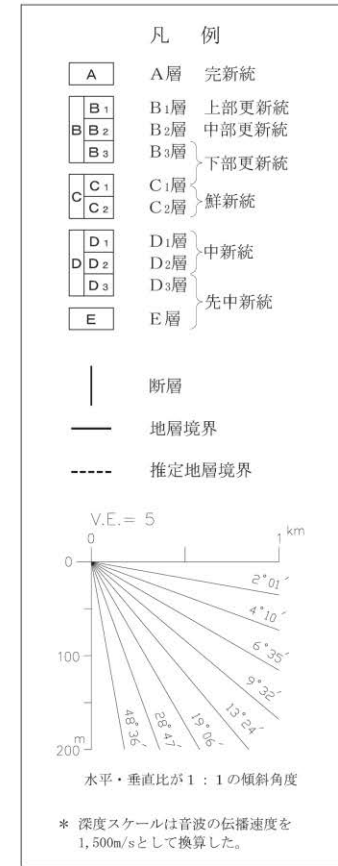
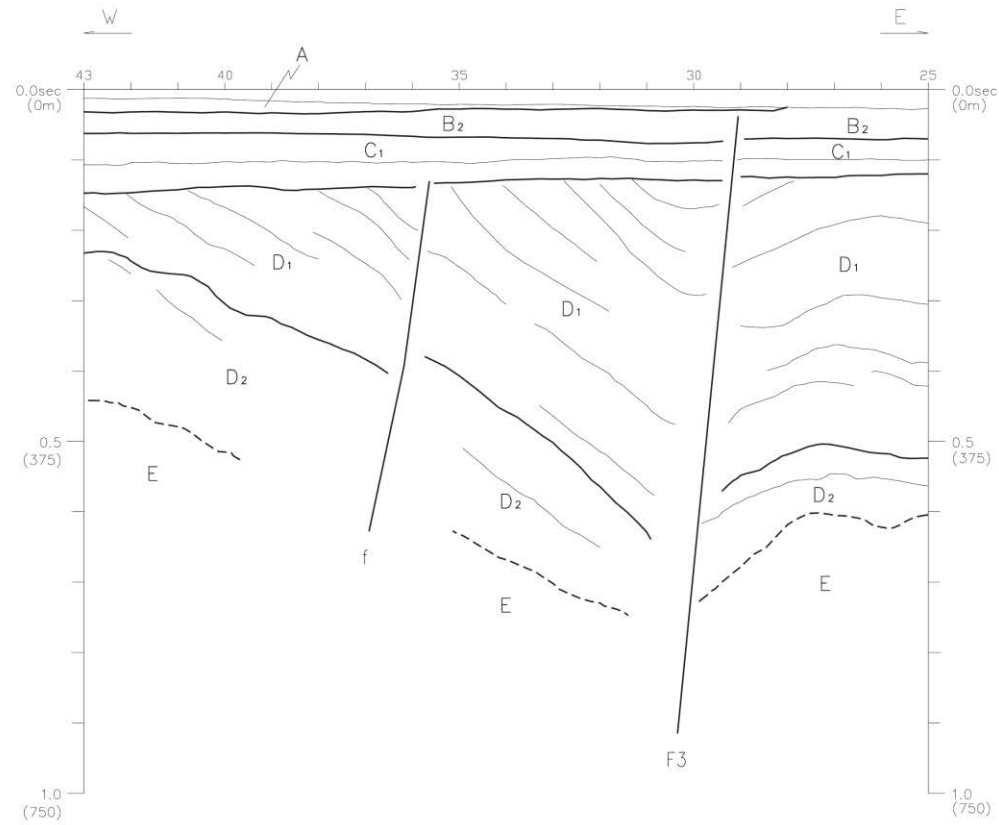
x1 x' 地質断面図作成位置

海域凡例	
A	A層 完新統
B ₂	B ₂ 層 中部更新統
D ₁	D ₁ 層 } 中新統
D ₂	
E	E層 先中新統
---	地層境界
┆┆┆	断層
┆┆┆	伏在断層
No. 27W	敷地近傍の海底地質断面図に示した範囲

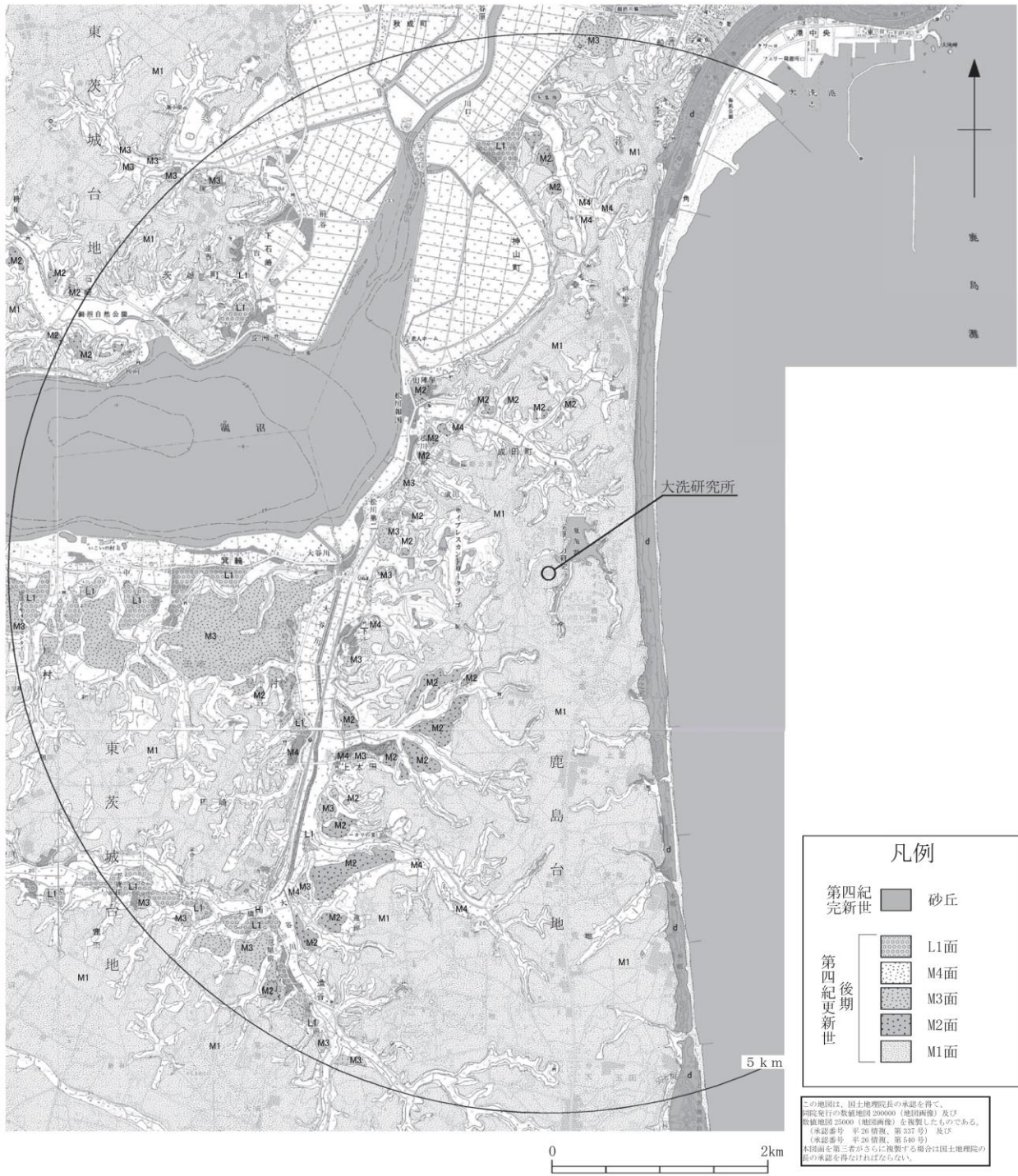
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図200000（地図画像）及び数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平 26 情 報 第 337 号）及び（承認番号 平 26 情 報 第 340 号）
本図面を第三者がさらに複製する場合は国土地理院長の承認を得なければならない。

第 3.3.5 図 敷地近傍海域の海底地質図

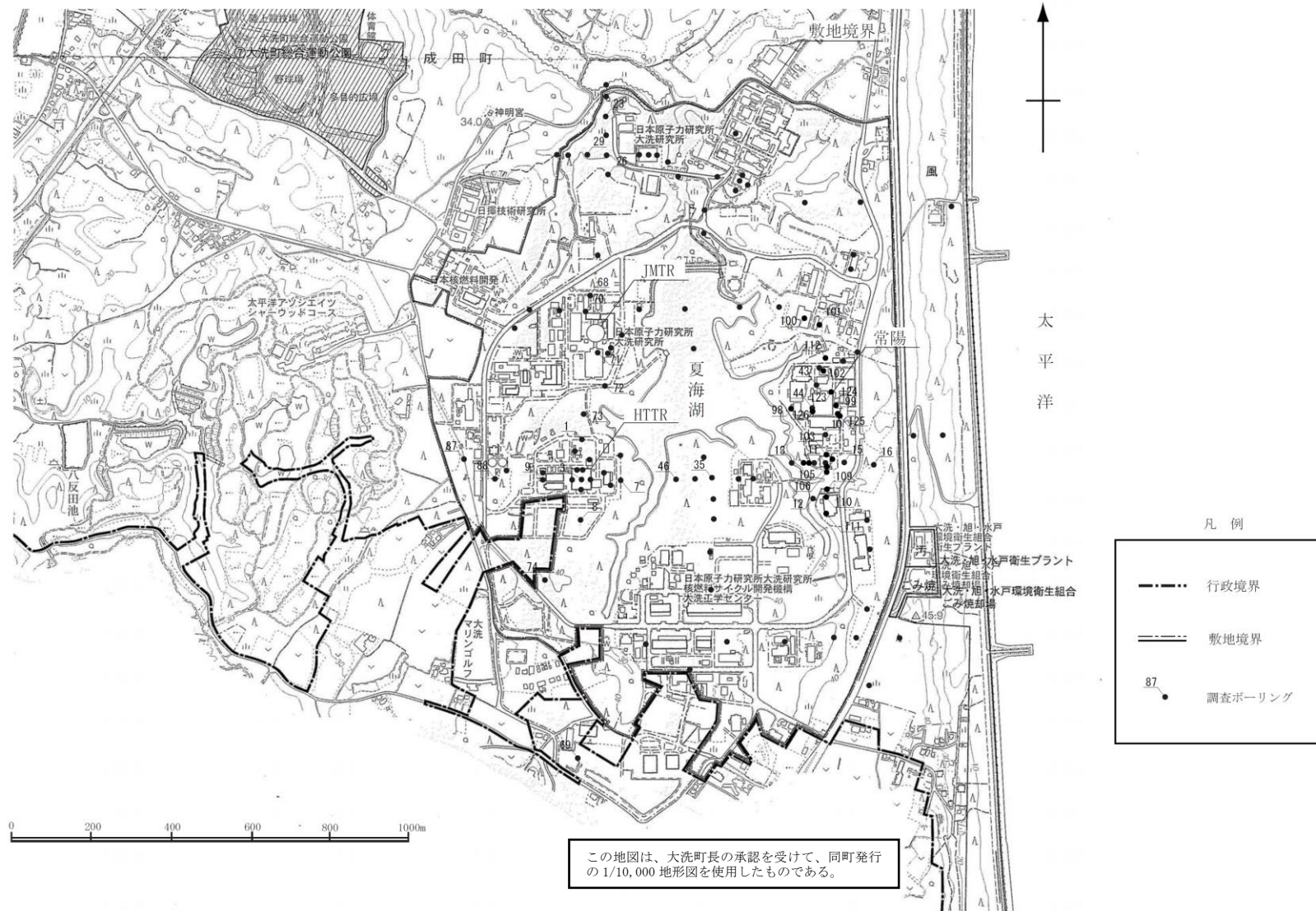
No.27W-1



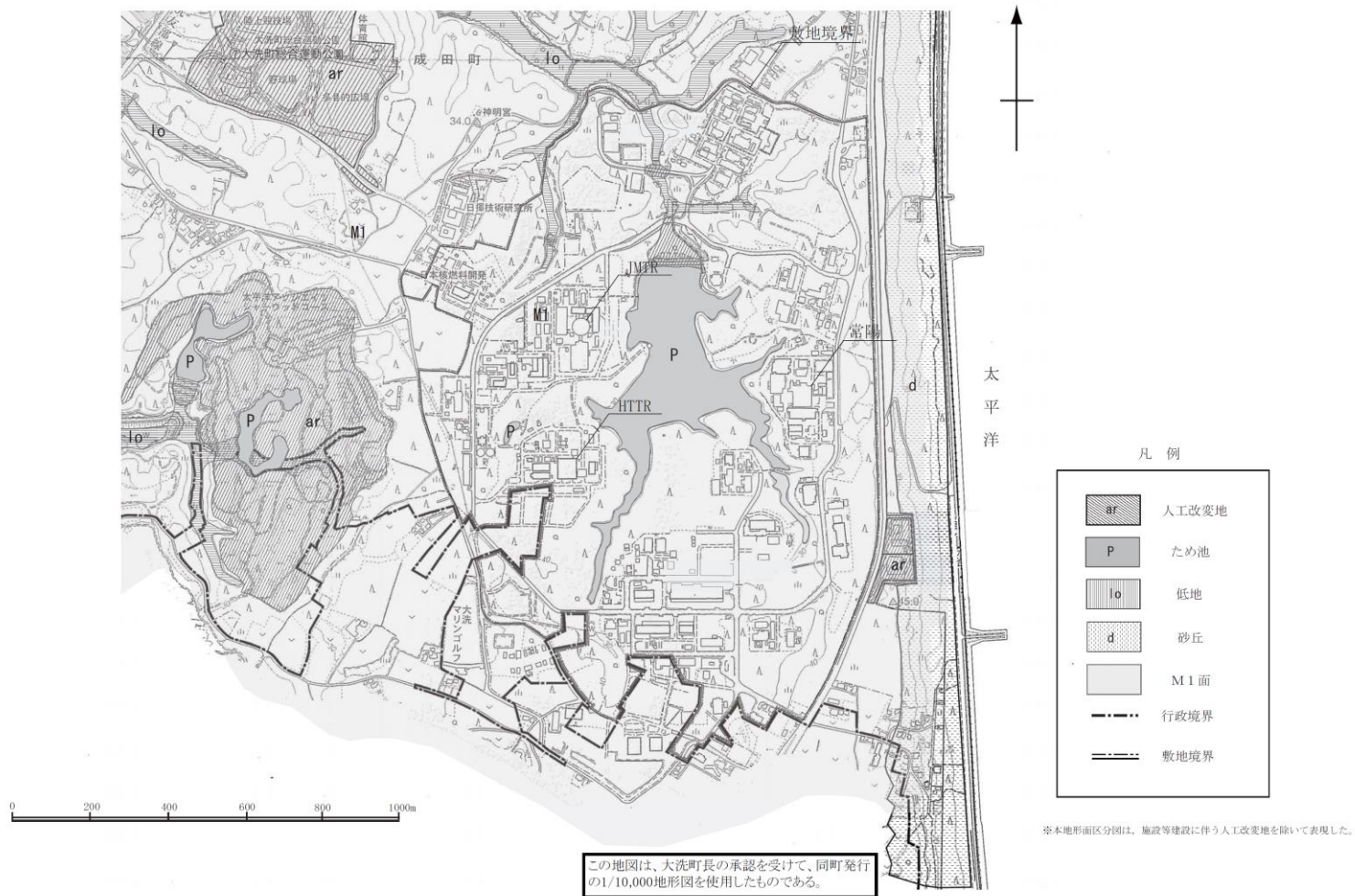
第 3. 3. 6 図 敷地近傍海域の海底地質断面図



第 3.3.7 図 敷地近傍陸域の段丘面区分図及び変動地形学的調査結果



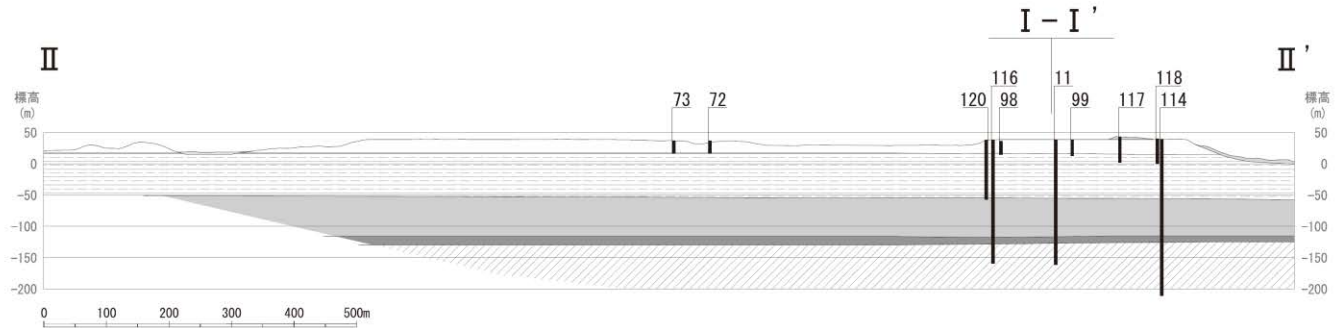
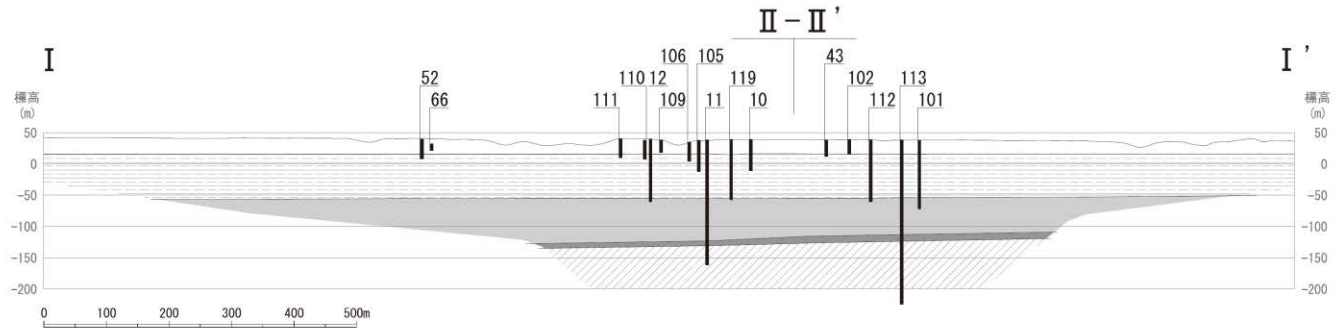
第3.4.1図 敷地の調査位置図



第3.4.2図 敷地の地形面区分図

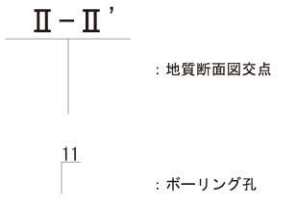


第3.4.3図 敷地の地質図



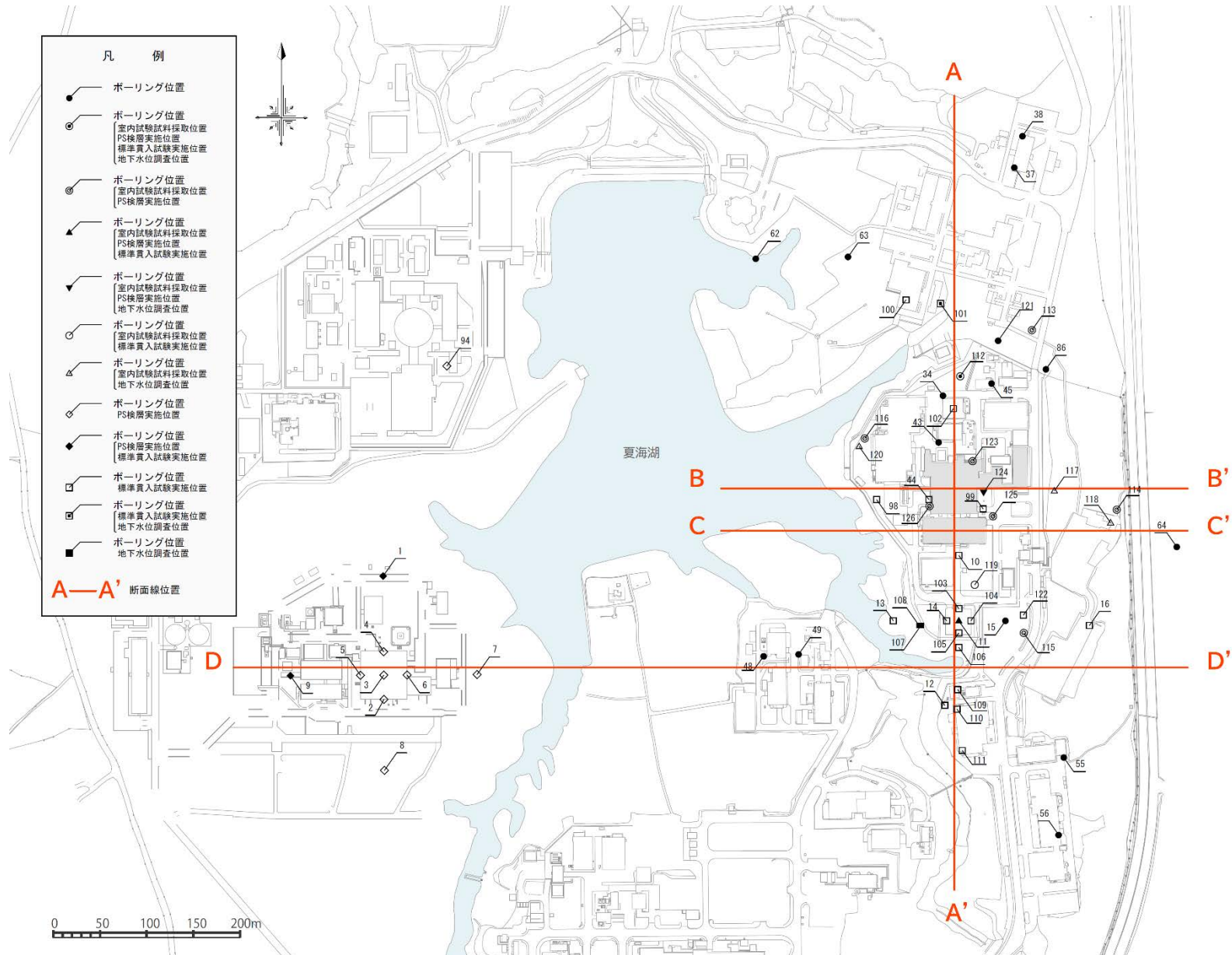
凡 例

年代層序区分		区分・地質	
第 四 系	完新統	砂丘砂層	d 砂
		沖積層	al 礫・砂・シルト
	更新統	M1段丘堆積物	M1 礫・砂・シルト
		東茨城層群	Hi 礫・砂・シルト
新 第 三 系	鮮新統	久米層 Km 砂質泥岩	Ks 細粒砂岩
	中新統	多賀層群	Tg 砂質泥岩

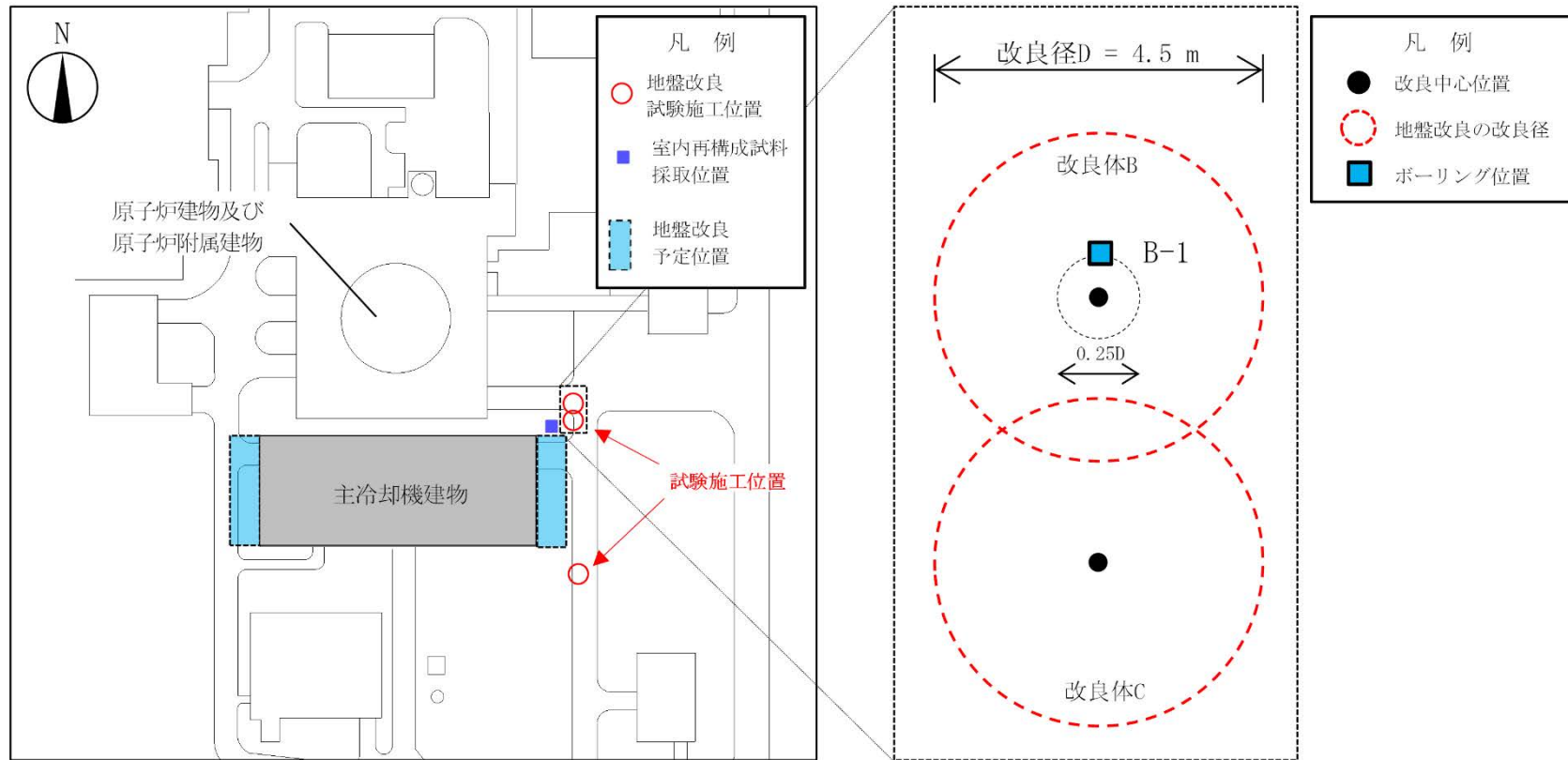


※本地質断面図は、造成・施設等建設に伴う人工改変を除いて表現した。

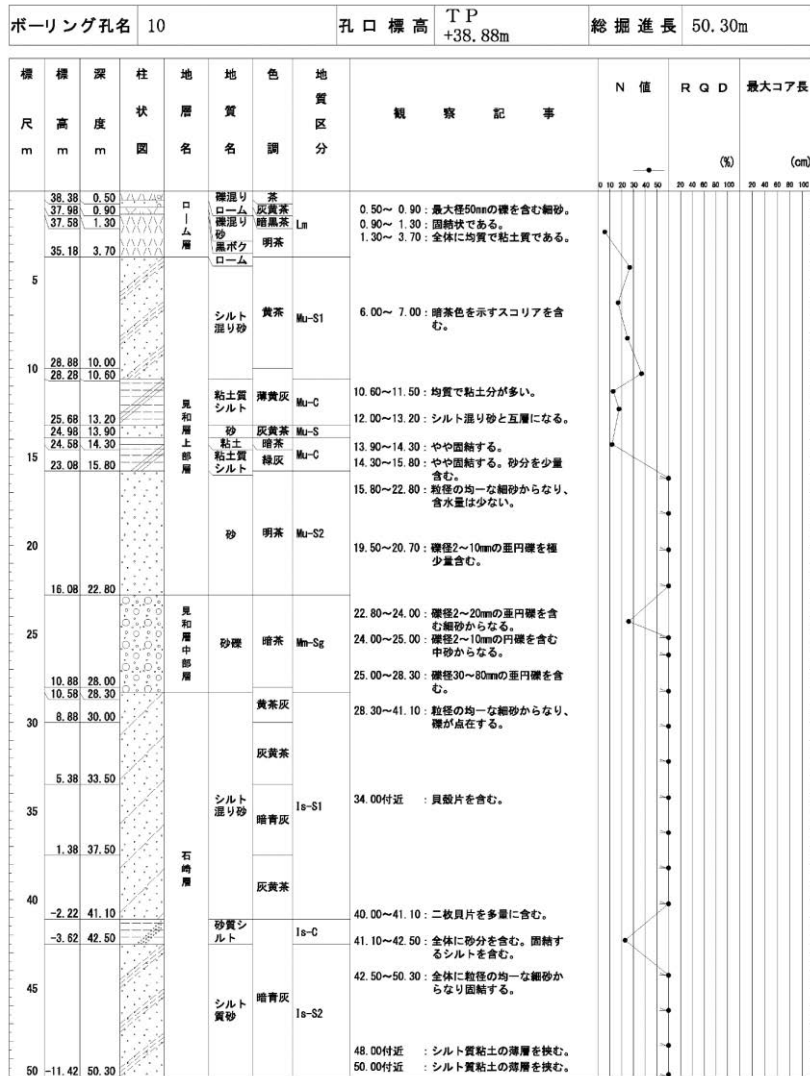
第 3. 4. 4 図 敷地の地質断面図



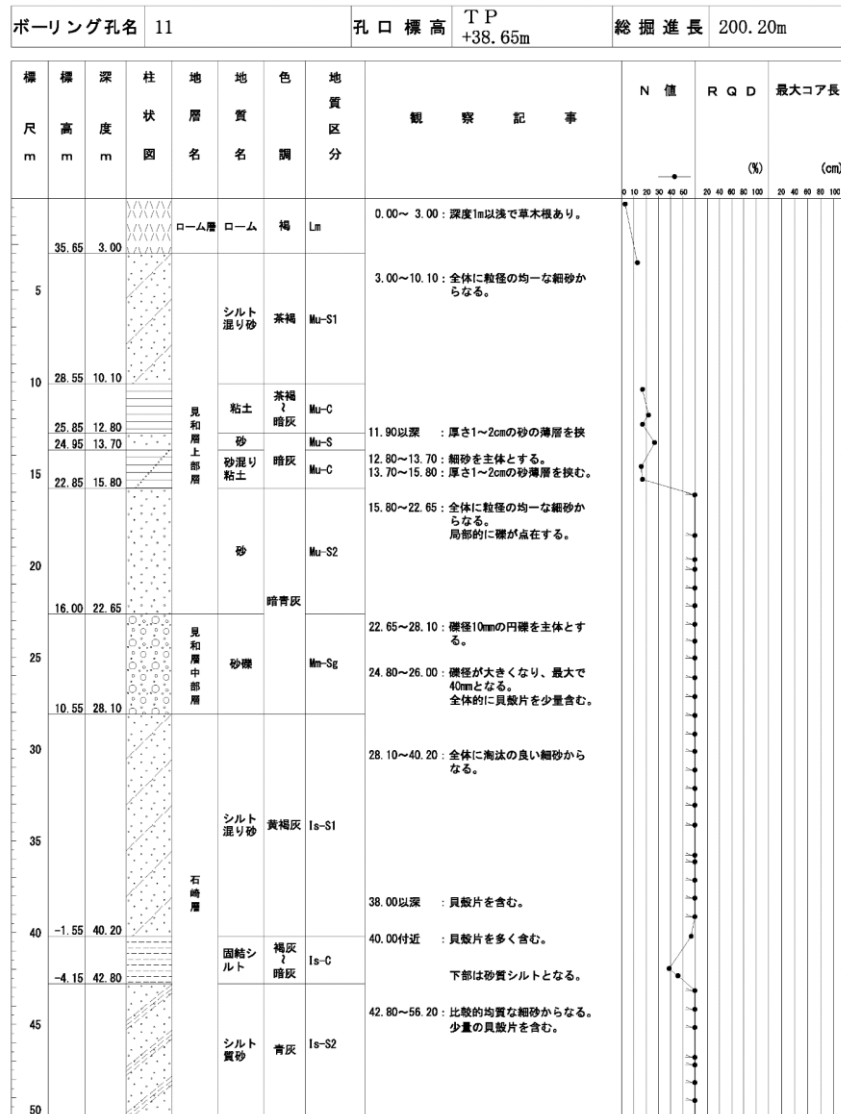
第 3.5.1 図(1) 原子炉施設設置位置付近の調査位置図



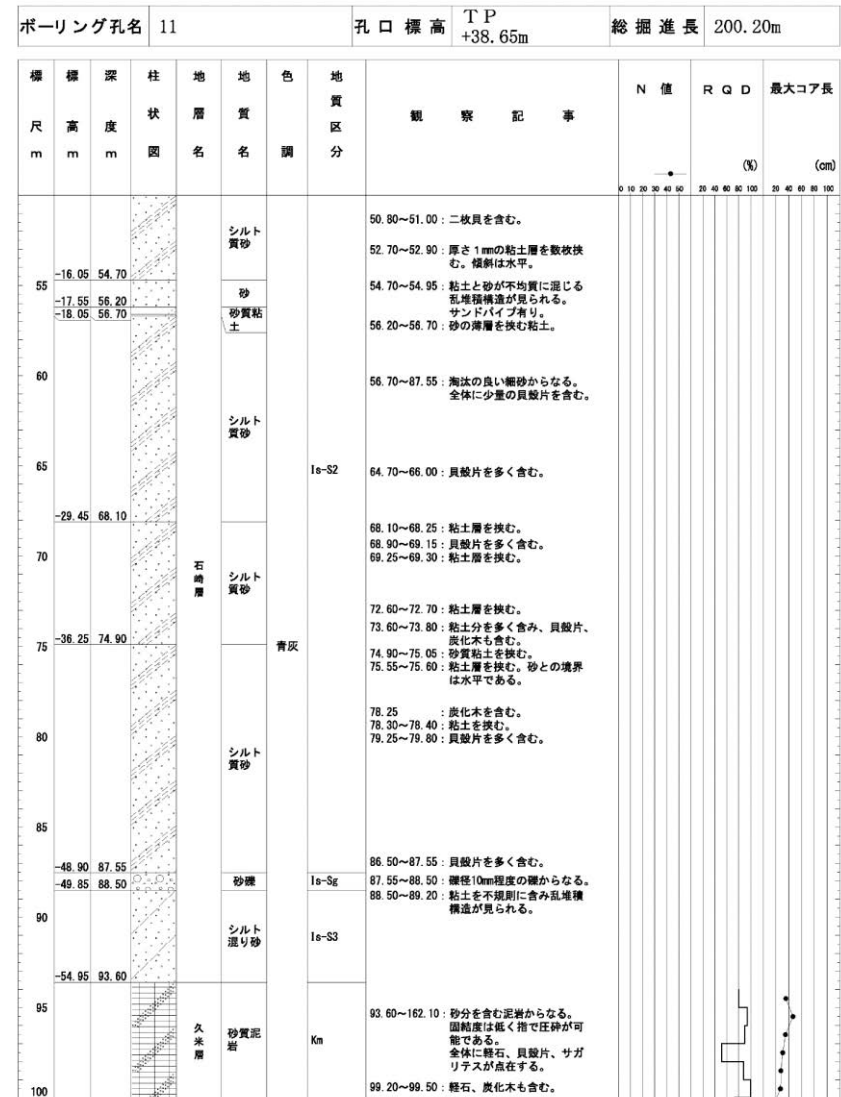
第 3.5.1 図(2) 原子炉施設設置位置付近の調査位置図 試験施工位置 (改良体)



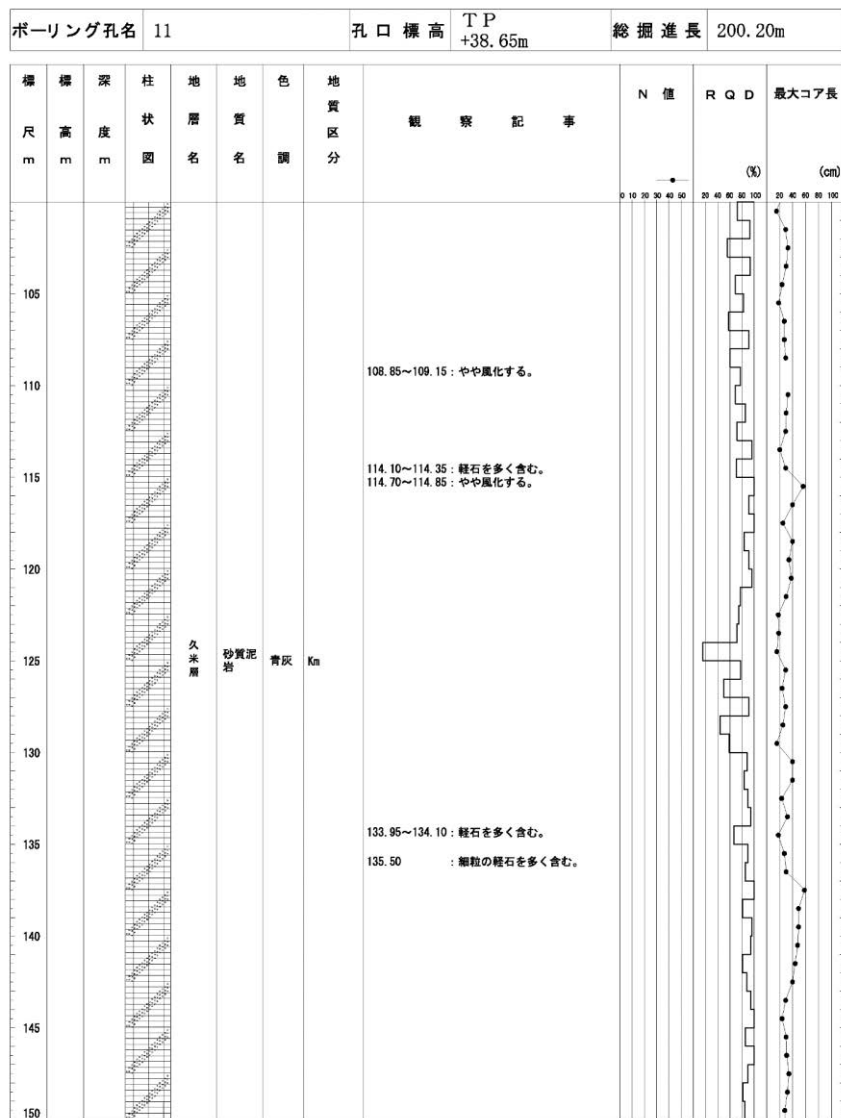
第 3.5.2 図 原子炉施設設置位置地質柱状図 (No. 10)



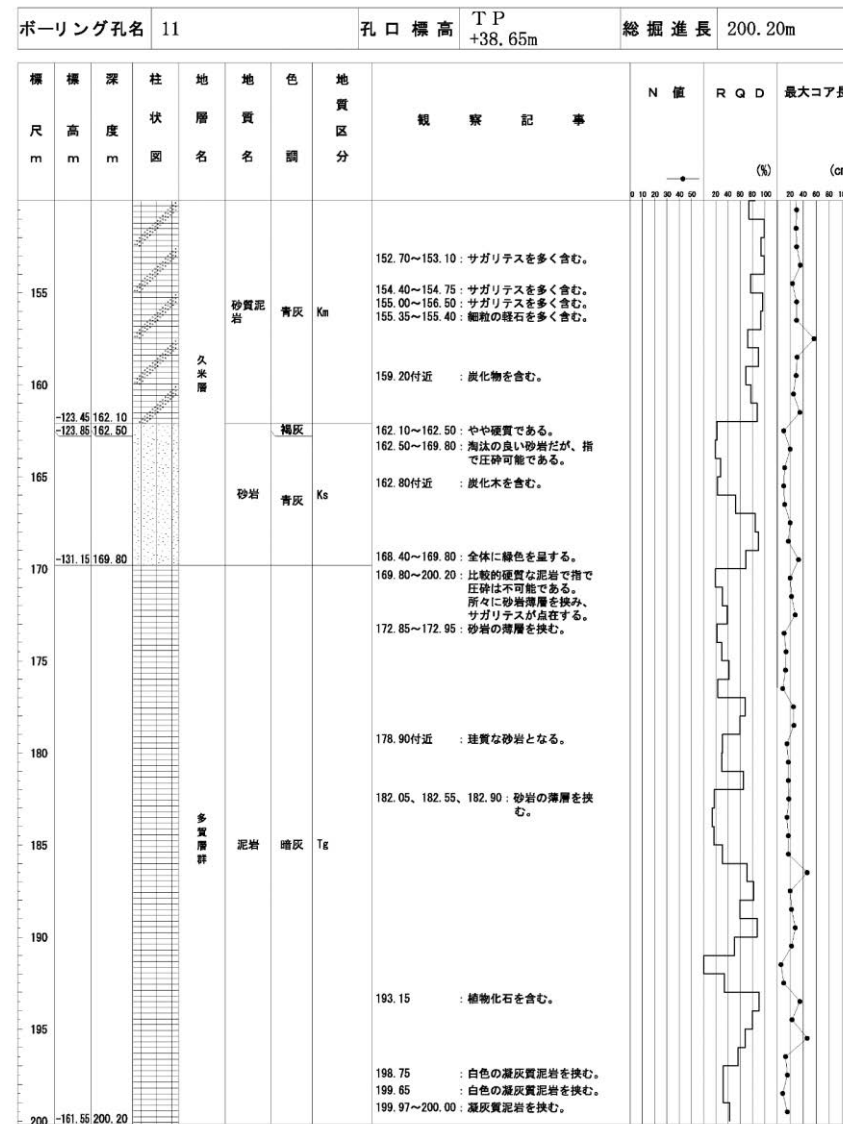
第 3.5.3 図(1) 原子炉施設設置位置地質柱状図 (No. 11 1/4)



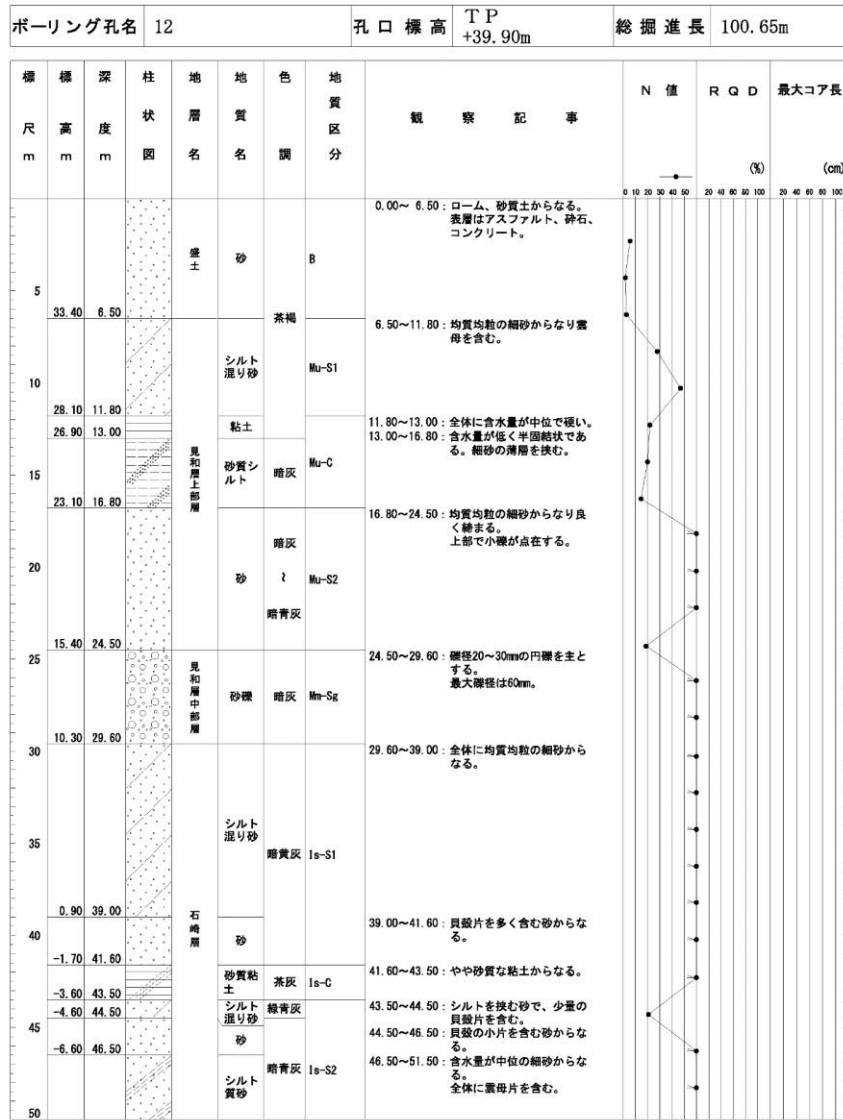
第 3.5.3 図(2) 原子炉施設設置位置地質柱状図 (No. 11 2/4)



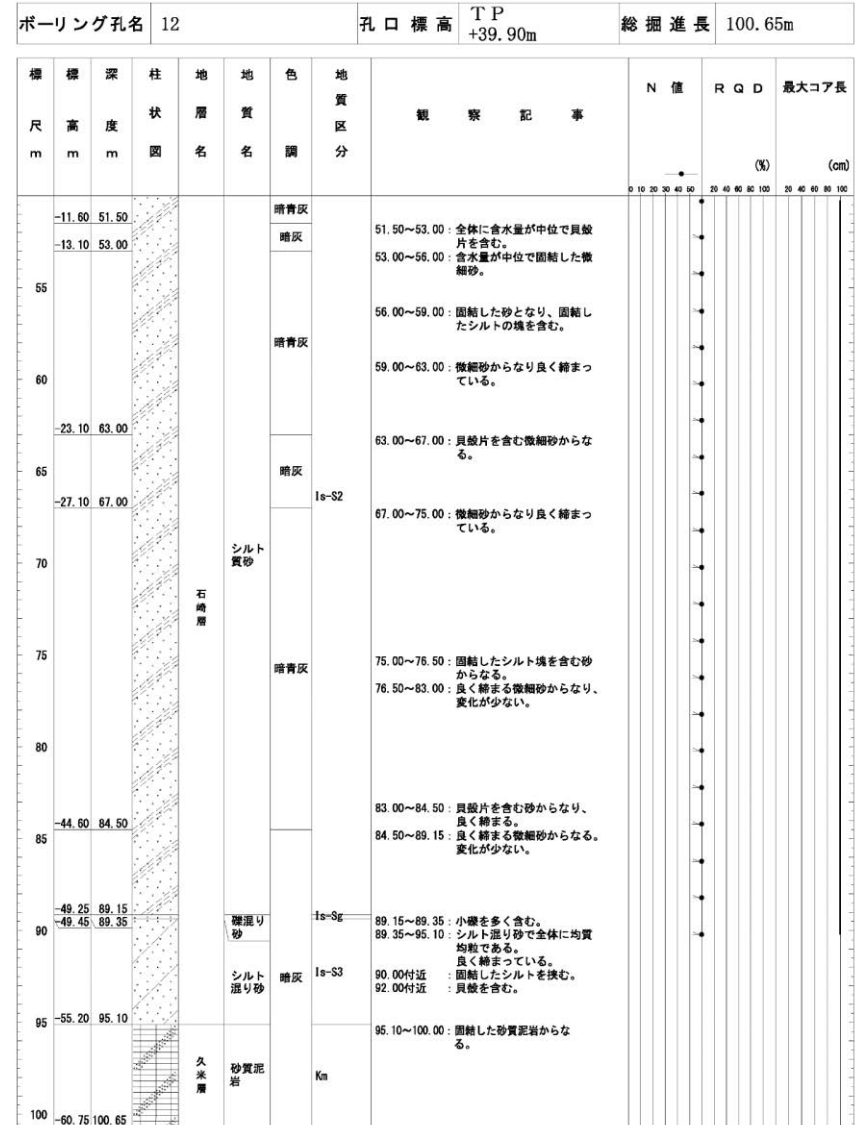
第 3.5.3 図(3) 原子炉施設設置位置地質柱状図 (No. 11 3/4)



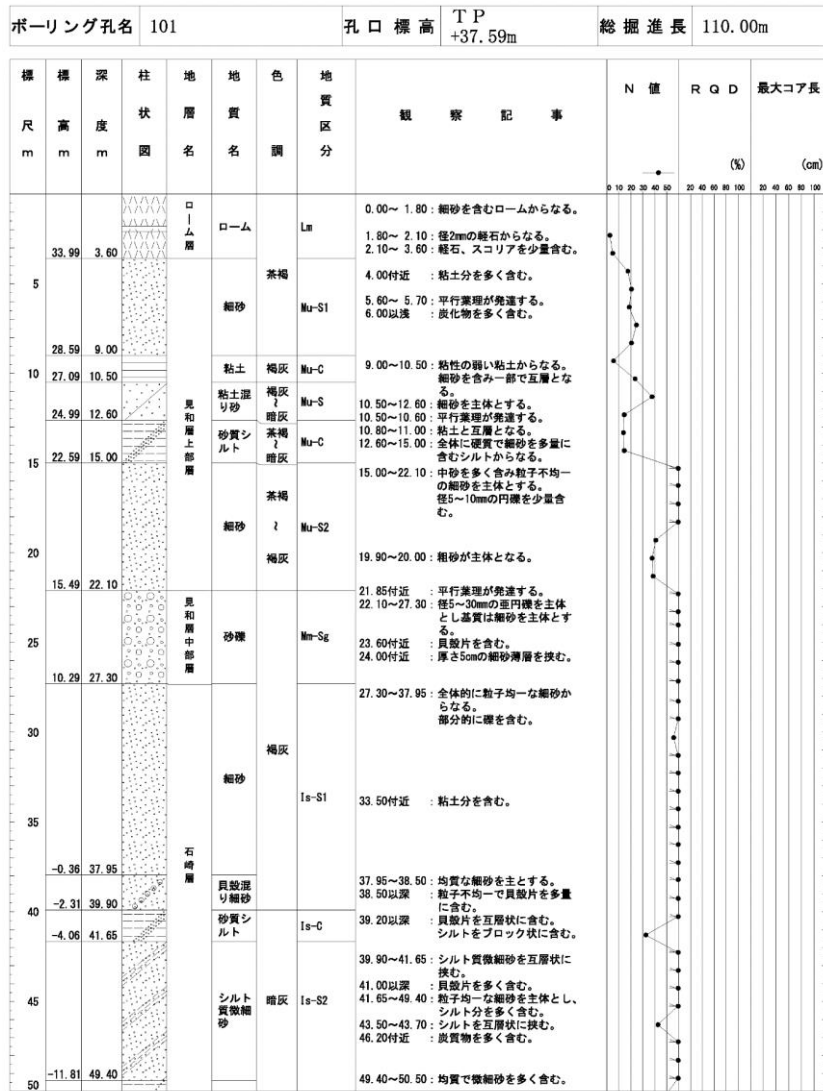
第 3.5.3 図(4) 原子炉施設設置位置地質柱状図 (No. 11 4/4)



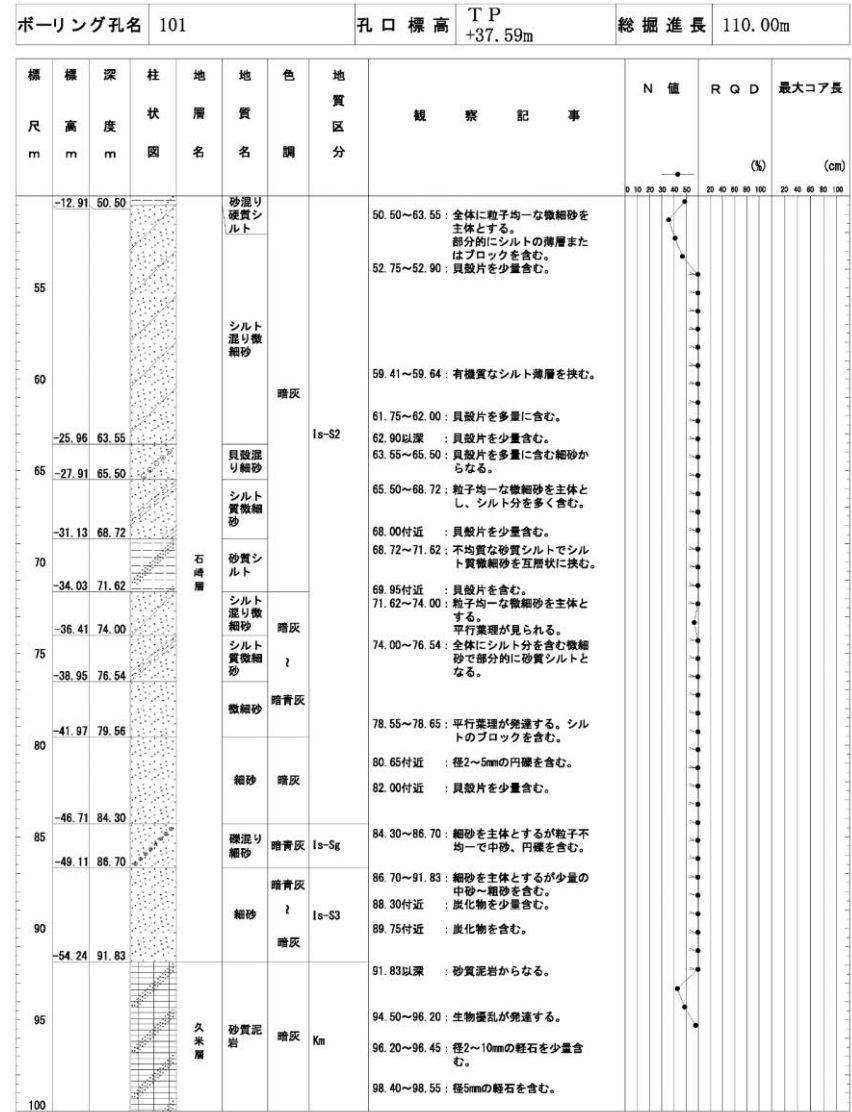
第3.5.4図(1) 原子炉施設設置位置地質柱状図 (No. 12 1/2)



第3.5.4図(2) 原子炉施設設置位置地質柱状図 (No. 12 2/2)



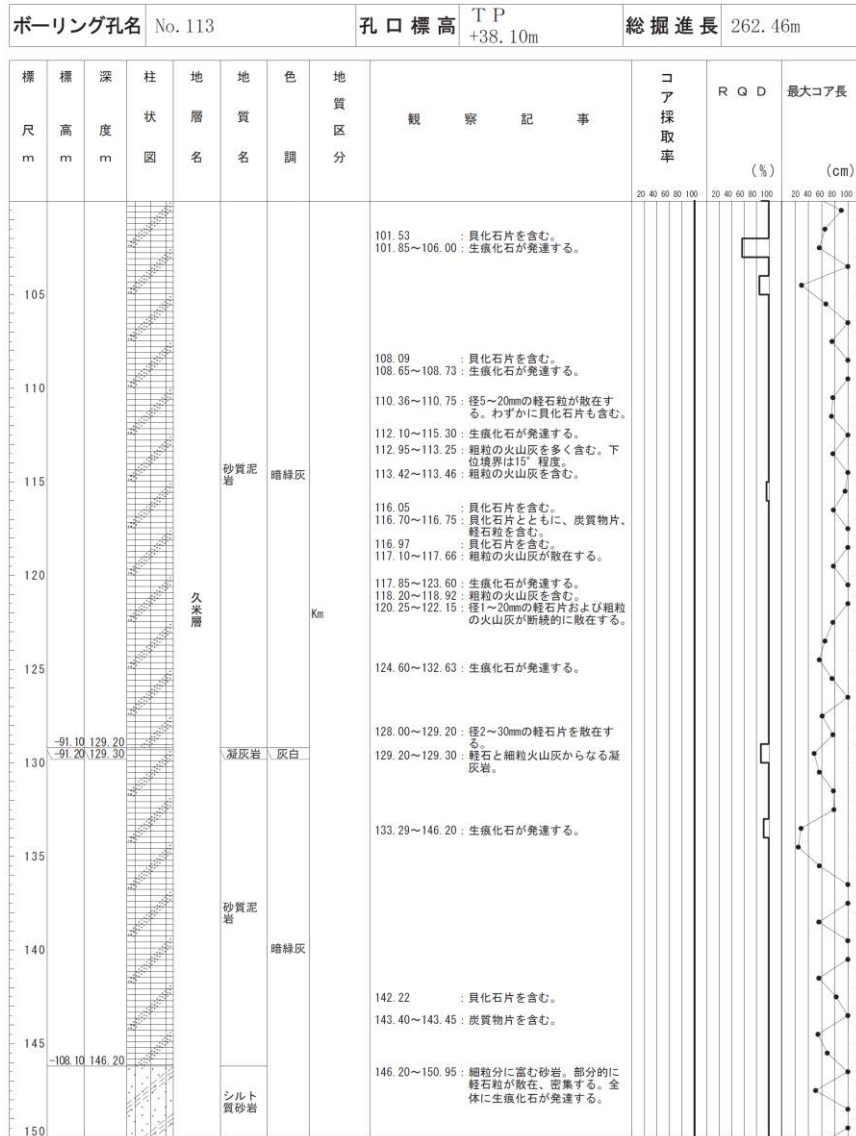
第 3.5.5 図(1) 原子炉施設設置位置地質柱状図 (No.101 1/3)



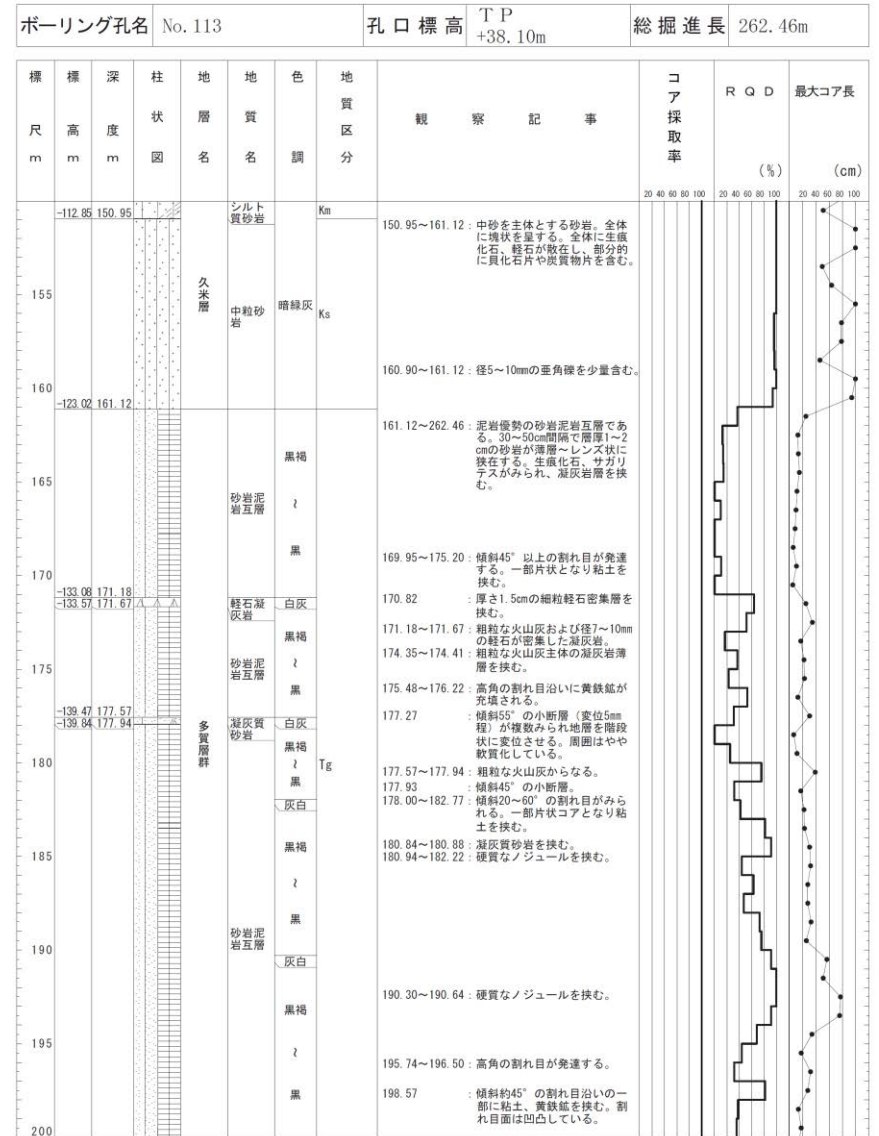
第 3.5.5 図(2) 原子炉施設設置位置地質柱状図 (No.101 2/3)

ボーリング孔名		101		孔口標高	TP +37.59m	総掘進長	110.00m				
標尺	標高	深	柱	地	地	色	地	観察記事	N値	RQD (%)	最大コア長 (cm)
m	m	m	状	層	質	調	質				
			図	名	名		分				
105				久米層	砂質泥岩	暗灰	Km	104.70~104.95: 径2~5mmの軽石を含む。			
110	-72.41	110.00									

第 3.5.5 図(3) 原子炉施設設置位置地質柱状図 (No.101 3/3)



第 3.5.6 図(3) 原子炉施設設置位置地質柱状図 (No. 113 3/6)



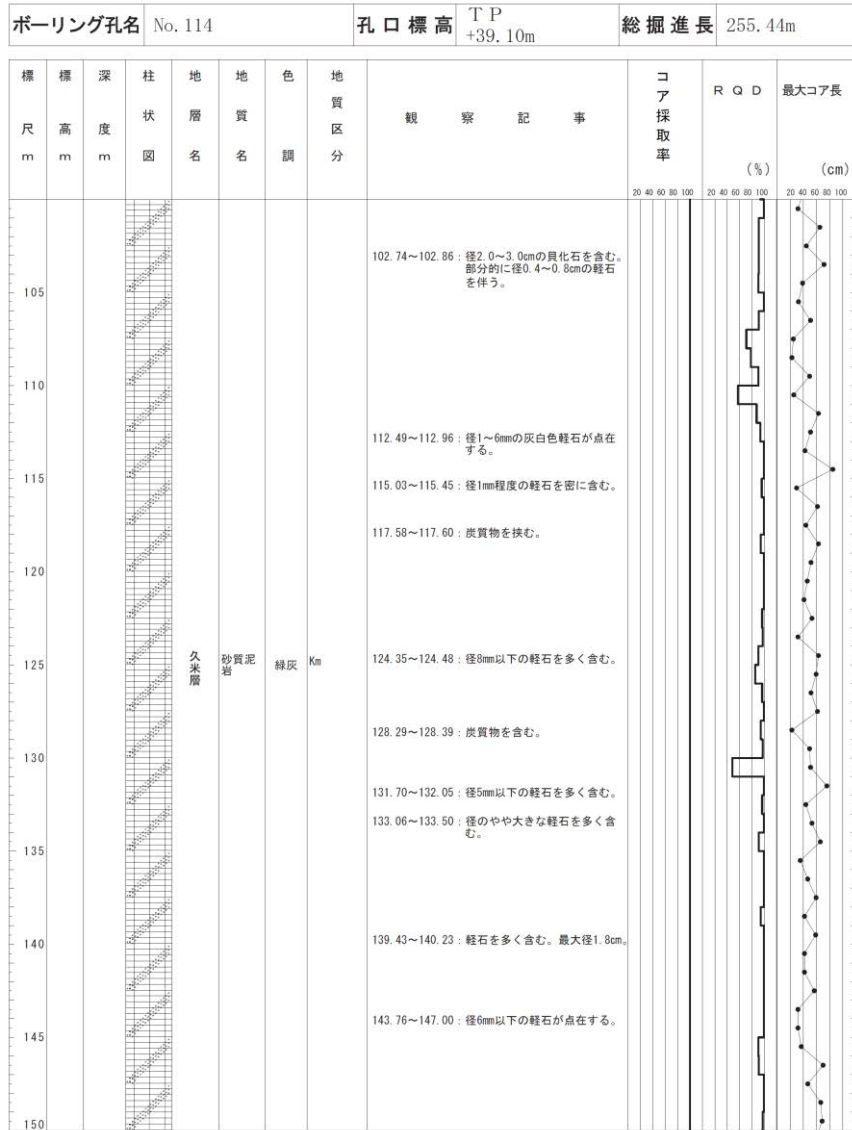
第 3.5.6 図(4) 原子炉施設設置位置地質柱状図 (No. 113 4/6)

ボーリング孔名		No. 114		孔口標高		T P +39.10m		総掘進長		255.44m				
標尺	標高	深度	柱状図	地層名	地質名	色調	地質区分	観察記事	コア採取率	R Q D (%)	最大コア長 (cm)			
	38.40	0.70		埋土	砂混り細砂	黒褐	B	0.00~1.65 : 礫やシルトが混じる細砂からなる。						
	37.45	1.65		ローム層	質細砂			1.65~3.85 : ロームからなる。部分的に砂が混じる。						
	36.88	3.25		ローム	明褐	Lm		2.25~2.50 : 径1mmの軽石が密集する。						
	36.29	3.85		砂混りローム	褐			3.85~10.80 : 細粒分を含む中砂からなる。褐鉄鉱の濃集がみられ、色調は変化に富む。						
5				見和層上部層	シルト質中砂	褐 黄褐 褐 赤褐 暗褐	Mu-S1							
10	28.30	10.80		砂混りシルト	褐灰	Mu-C	10.80~12.10 : シルトを主体とする。裏理や褐鉄鉱の濃集部がみられる。							
	27.00	12.10		シルト	黄褐			12.10~14.10 : 細砂を主体とし、層厚1~10cmの粘土、シルト層を挟む。						
	26.10	13.00		粘土	暗褐	Mu-S								
	25.78	13.35		砂混りシルト	褐灰			14.10~15.15 : シルトからなる。						
	25.00	14.10		質細砂	褐灰	Mu-C		15.15~15.73 : シルトを含んだ中砂からなる。						
	23.96	15.15		粘土	褐			17.00 : 褐鉄鉱が薄層状に濃集する。						
	23.37	15.73		シルト質中砂	暗灰									
20	19.40	19.70			シルト	暗灰	Mu-S2	20.14~20.85 : 白斑状生痕がみられる。						
	19.00	20.10			粗砂	暗灰								
	18.15	20.95			粗砂	褐								
	17.78	21.35	粗砂		褐									
	14.87	24.23	シルト混り細砂		黄褐			23.55~23.65 : 酸化し、赤褐色を呈する。						
	14.30	24.80	細砂		灰黄褐			24.23~24.80 : 10~15cm間隔で細砂と礫混じり細砂が互層する。						
25					砂混り細砂	褐		24.80~27.10 : 径5~30mmの、垂円~円礫を主体とする砂礫。基質はシルト~細砂。						
	12.00	27.10			砂混り細砂	褐			27.10~28.49 : 径2~10mmの礫が混じる細砂。全体に不均質で色調の変化に富む。					
	10.61	28.49			砂混り細砂	褐								
30						細砂	暗灰	Is-S1	28.49~40.00 : 細砂からなる。概ね均質で、色調の変化に乏しい。雲母片を含む。					
35				暗灰黄										
40	-0.90	40.00				質砂混り細砂	緑灰	Is-C	39.25~39.32 : 礫が密集する。					
	-1.78	40.88				シルト			40.00~40.88 : 貝化石片を多量に含む。					
	-2.48	41.58				砂質シルト			40.88~41.58 : 塊状のシルトからなる。					
	-4.10	43.20				質砂混り細砂			41.58~43.20 : 塊状の砂質シルトからなる。貝化石片・生痕化石や炭質物が点在する。					
45							細砂	暗灰	Is-S2U	41.58~41.60 : 細砂の軽石を含む。				
									43.20~60.30 : 粒径不均一な細砂を主体とする。貝化石片、炭質物を含む。					
50														

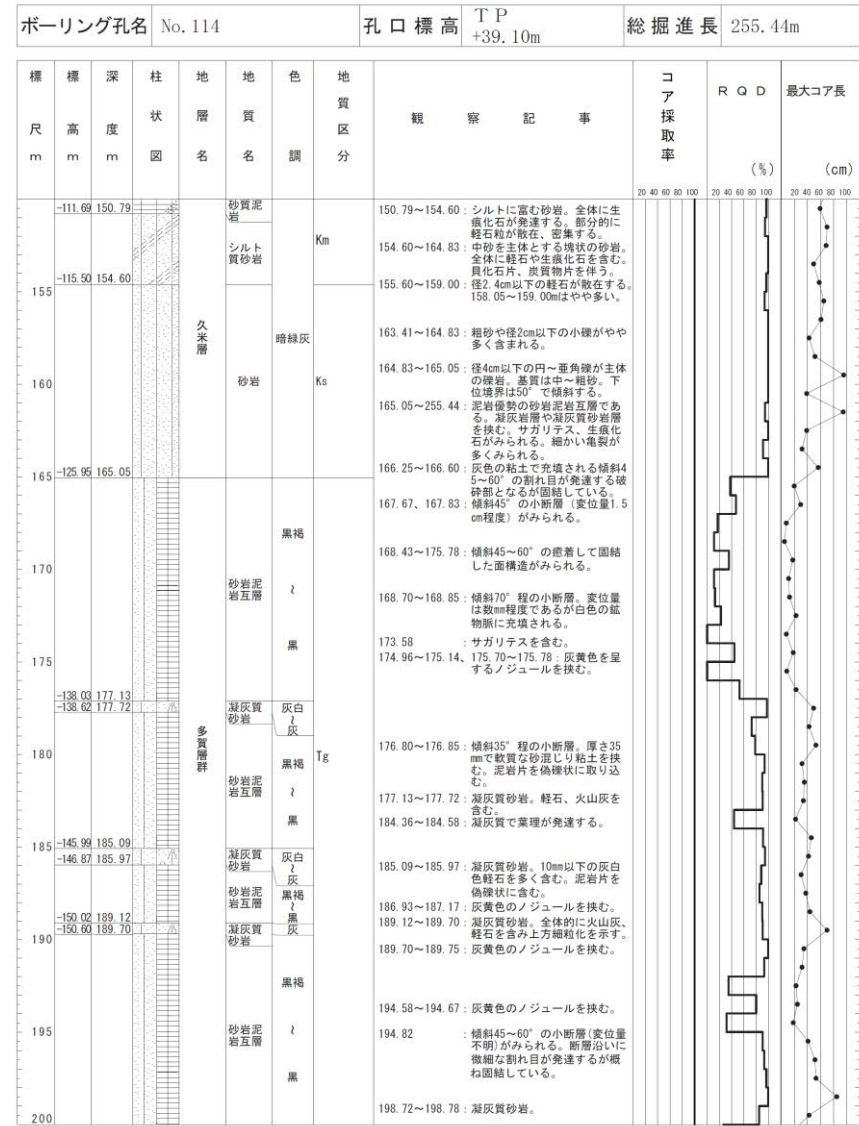
第 3.5.7 図(1) 原子炉施設設置位置地質柱状図 (No. 114 1/6)

ボーリング孔名		No. 114		孔口標高		T P +39.10m		総掘進長		255.44m			
標尺	標高	深度	柱状図	地層名	地質名	色調	地質区分	観察記事	コア採取率	R Q D (%)	最大コア長 (cm)		
55				細砂	暗灰	Is-S2U		51.15~51.55 : 貝化石片が密集する。					
60	-21.20	60.30			細砂とシルト質細砂の互層	暗灰		60.30~63.15 : 細砂とシルト質細砂が互層する。雲母片を全体的に含む。					
	-24.05	63.15			質砂混り細砂	暗灰		63.20~66.68 : シルトを含む細砂からなる。貝化石片を多く含む。					
	-25.10	64.20			質砂混り細砂	暗灰							
	-26.12	65.22			質砂混り細砂	暗灰		66.68~68.68 : シルトを含む細砂からなる。					
	-27.58	66.68			質砂混り細砂	暗灰							
	-28.74	67.84			質砂混り細砂	暗灰		68.68~71.49 : 細砂からなり、部分的にシルトを含む。					
	-29.58	68.68			質砂混り細砂	暗灰							
70						シルト混り細砂	暗灰	Is-S2L	71.49~73.95 : シルト混り細砂からなる。部分的に貝化石片が密集する。				
	-32.39	71.49				砂質シルト	暗灰		74.13~74.37 : 幅1~3cmの細砂との互層状をなす。				
	-34.85	73.95	シルト混り細砂			暗灰		74.60~75.50 : 部分的に塊状にシルト層を挟む細砂。					
	-35.50	74.60	質砂混り細砂	暗灰			75.10~75.15 : 均質な細砂。						
	-36.40	75.50	質砂混り細砂	暗灰			75.50~76.35 : シルトを不均質に含む細砂からなる。						
	-37.25	76.35	質砂混り細砂	暗灰			76.35~78.30 : シルトが均一で塊状の細砂。貝化石片を含む。						
	-39.20	78.30	質砂混り細砂	暗灰			78.30~84.58 : 貝化石片が密集する。						
80				質砂混り細砂		暗灰	Is-S2L	84.58~88.34 : 径2~30mmの垂円~円礫を含む細砂からなる。					
	-45.48	84.58		質砂混り細砂		暗灰							
	-49.24	88.34		質砂混り細砂		暗灰		88.28~88.34 : 礫が密集する。					
	-50.57	89.67		質砂混り細砂	暗灰		88.34~89.67 : シルトを不均質に含む細砂からなる。						
	-52.67	91.77		質砂混り細砂	暗灰		89.67~91.77 : 細砂からなる。シルトをバッチ状に含む。						
	-54.87	93.97		質砂混り細砂	暗灰		91.77~93.97 : シルトを含む細砂からなる。						
	-55.90	95.00		質砂混り細砂	暗灰		93.97~95.00 : 貝化石片を含む細砂主体。中砂がやや混じる。						
90					質砂混り細砂	暗灰	Is-S3	95.00~150.79 : 細砂を多く含む泥岩。全体的に生痕化石を多く含む。貝化石片、軽石片を散在する。					
					質砂混り細砂	暗灰							
					質砂混り細砂	暗灰							
			質砂混り細砂		暗灰								
			質砂混り細砂		暗灰								
			質砂混り細砂		暗灰								
			質砂混り細砂		暗灰								
			質砂混り細砂		暗灰								
			質砂混り細砂		暗灰								
			質砂混り細砂		暗灰								

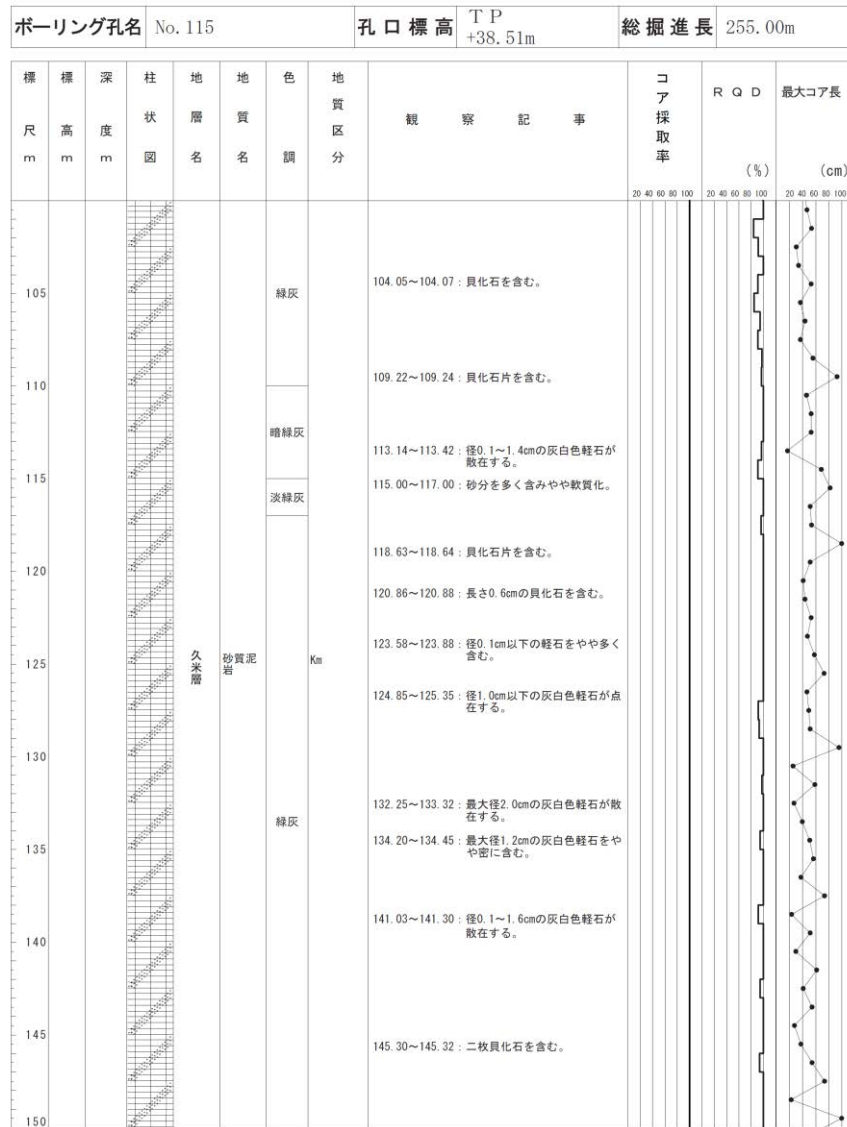
第 3.5.7 図(2) 原子炉施設設置位置地質柱状図 (No. 114 2/6)



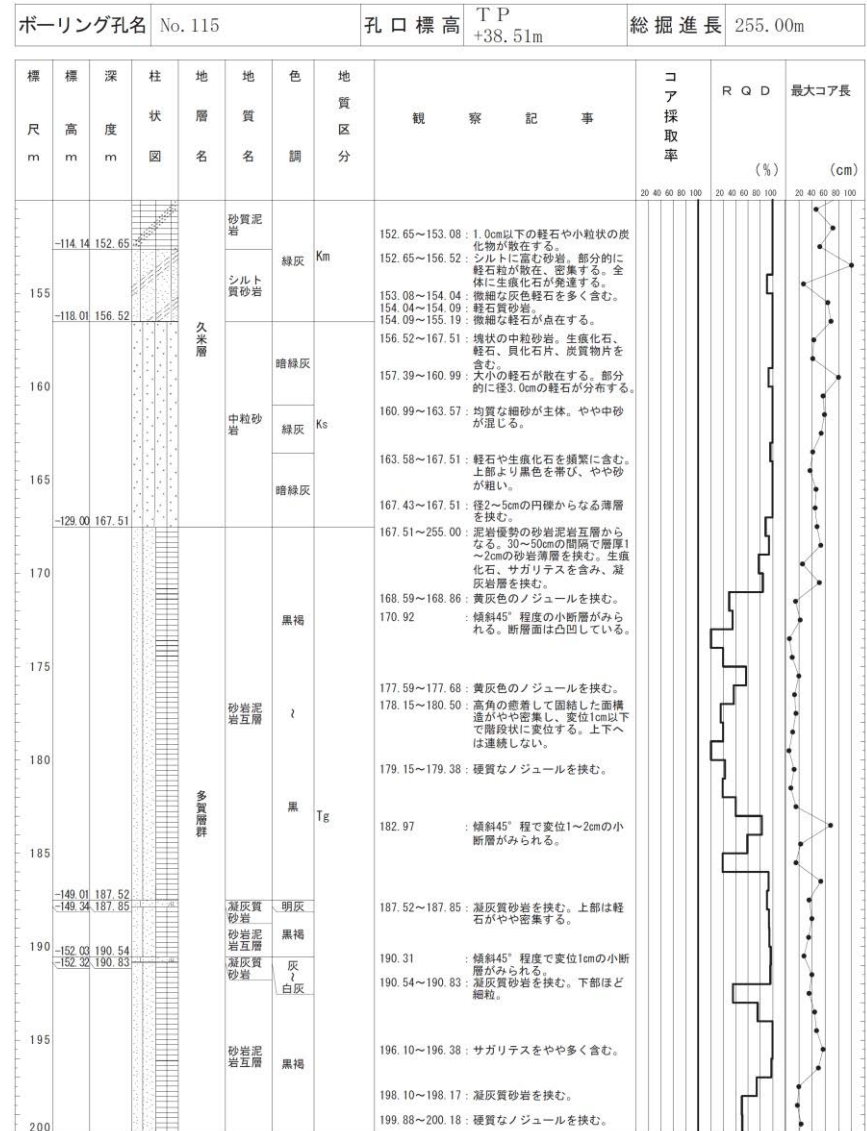
第 3.5.7 図(3) 原子炉施設設置位置地質柱状図 (No. 114 3/6)



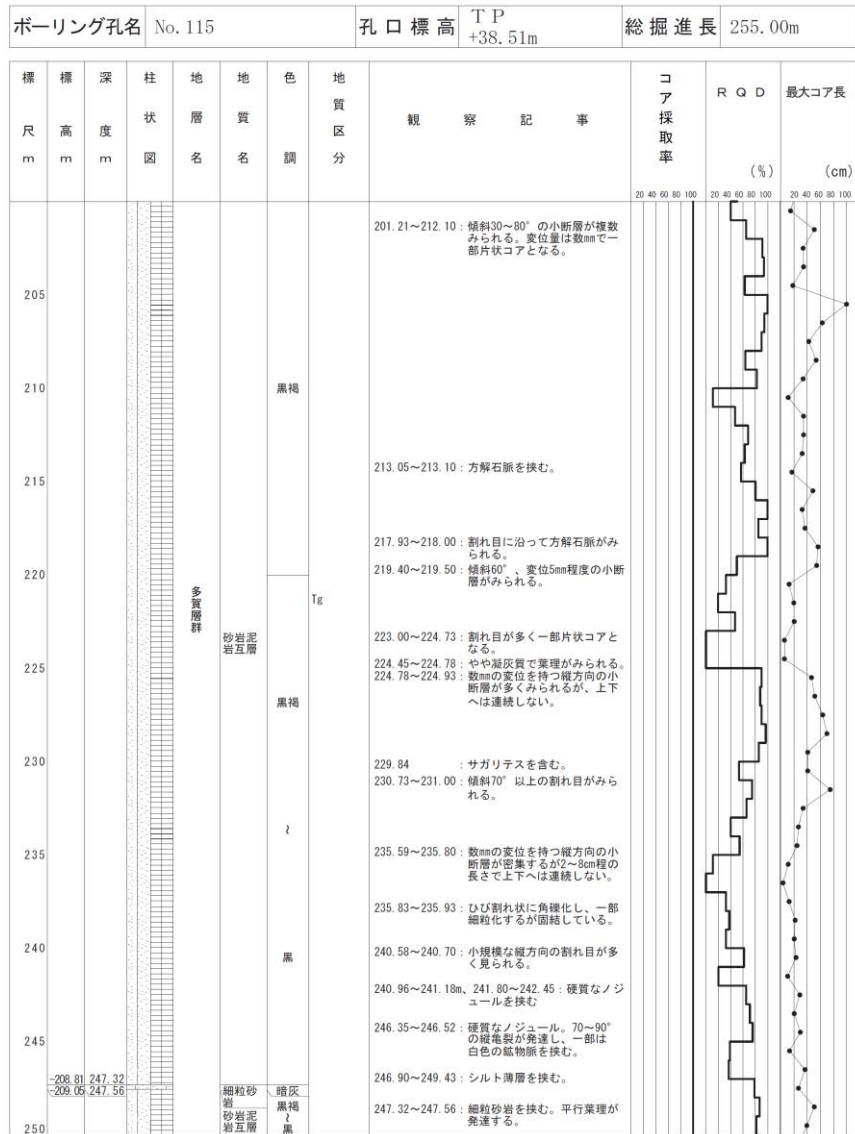
第 3.5.7 図(4) 原子炉施設設置位置地質柱状図 (No. 114 4/6)



第 3.5.8 図(3) 原子炉施設設置位置地質柱状図 (No. 115 3/6)



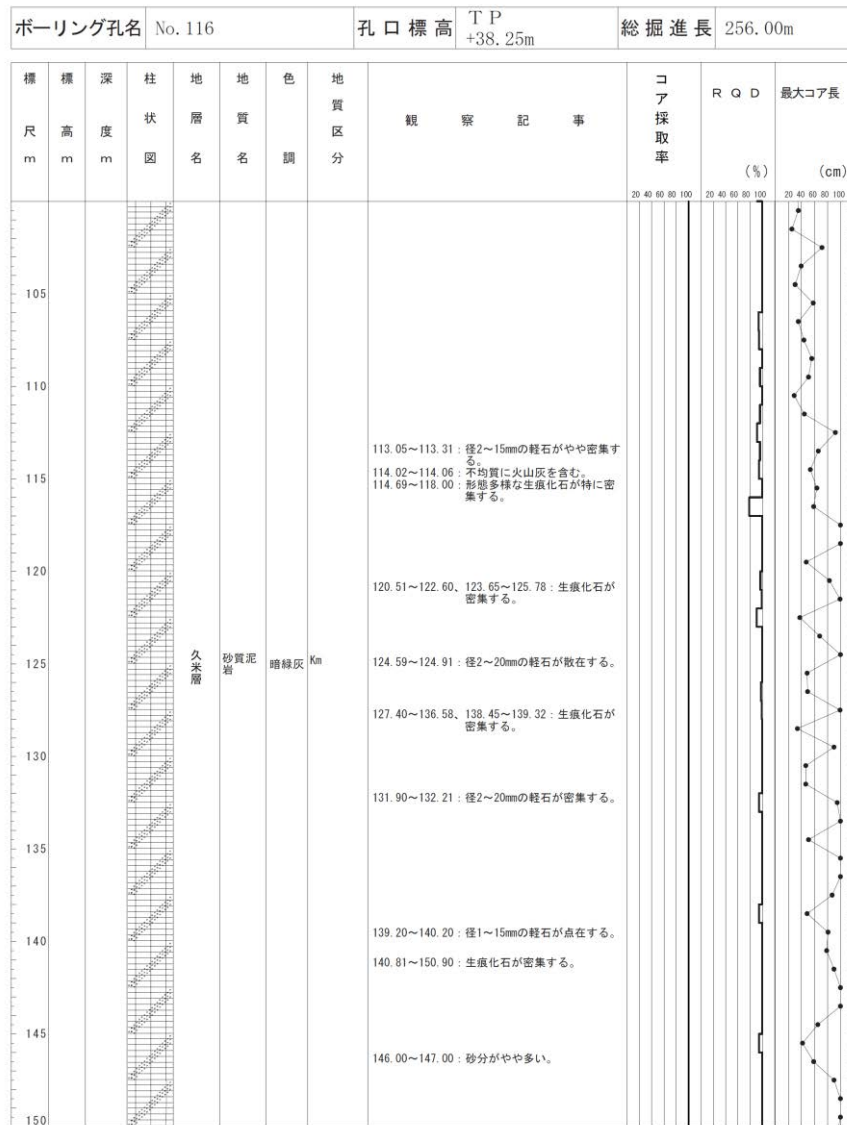
第 3.5.8 図(4) 原子炉施設設置位置地質柱状図 (No. 115 4/6)



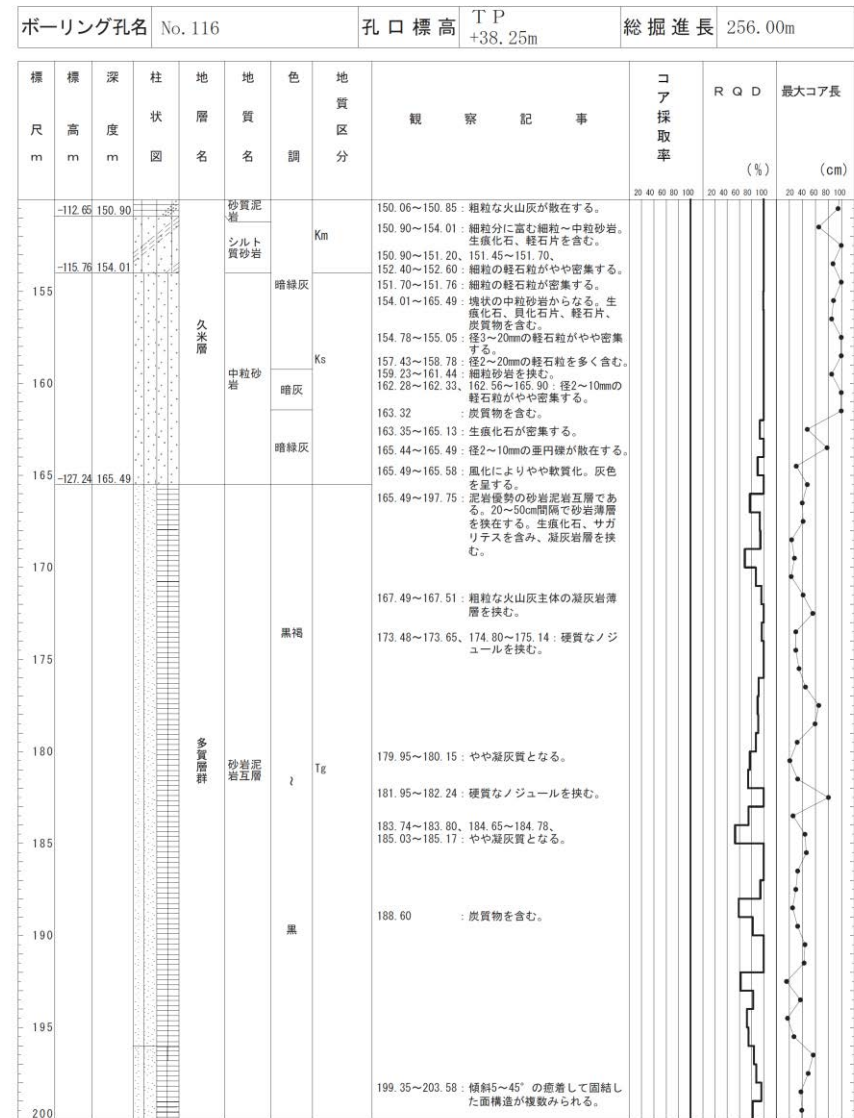
第 3.5.8 図(5) 原子炉施設設置位置地質柱状図 (No. 115 5/6)



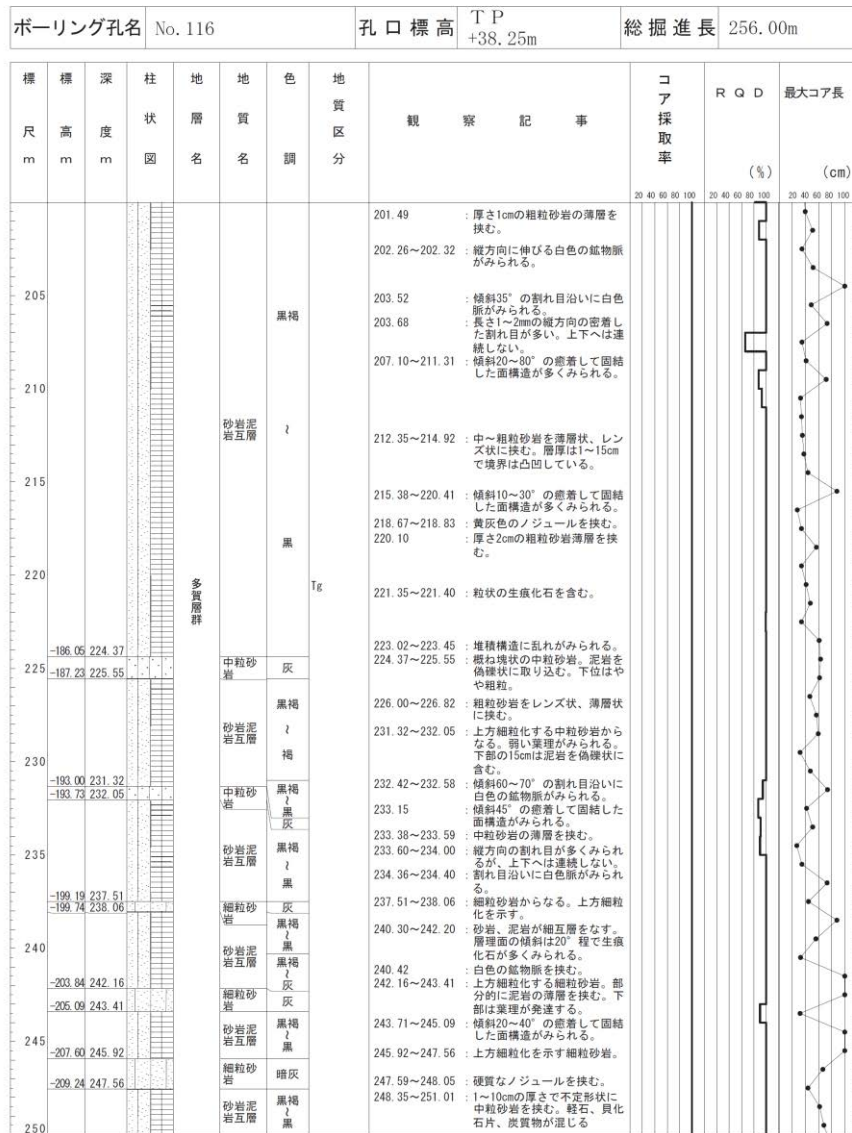
第 3.5.8 図(6) 原子炉施設設置位置地質柱状図 (No. 115 6/6)



第 3.5.9 図(3) 原子炉施設設置位置地質柱状図 (No. 116 3/6)



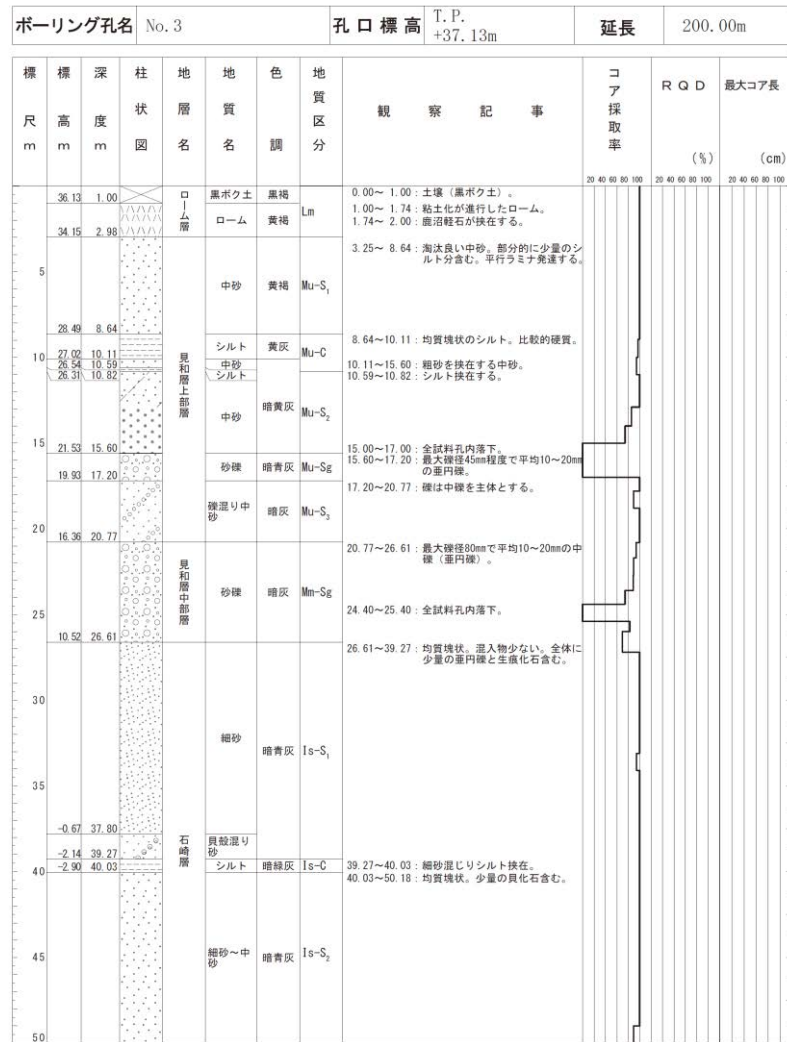
第 3.5.9 図(4) 原子炉施設設置位置地質柱状図 (No. 116 4/6)



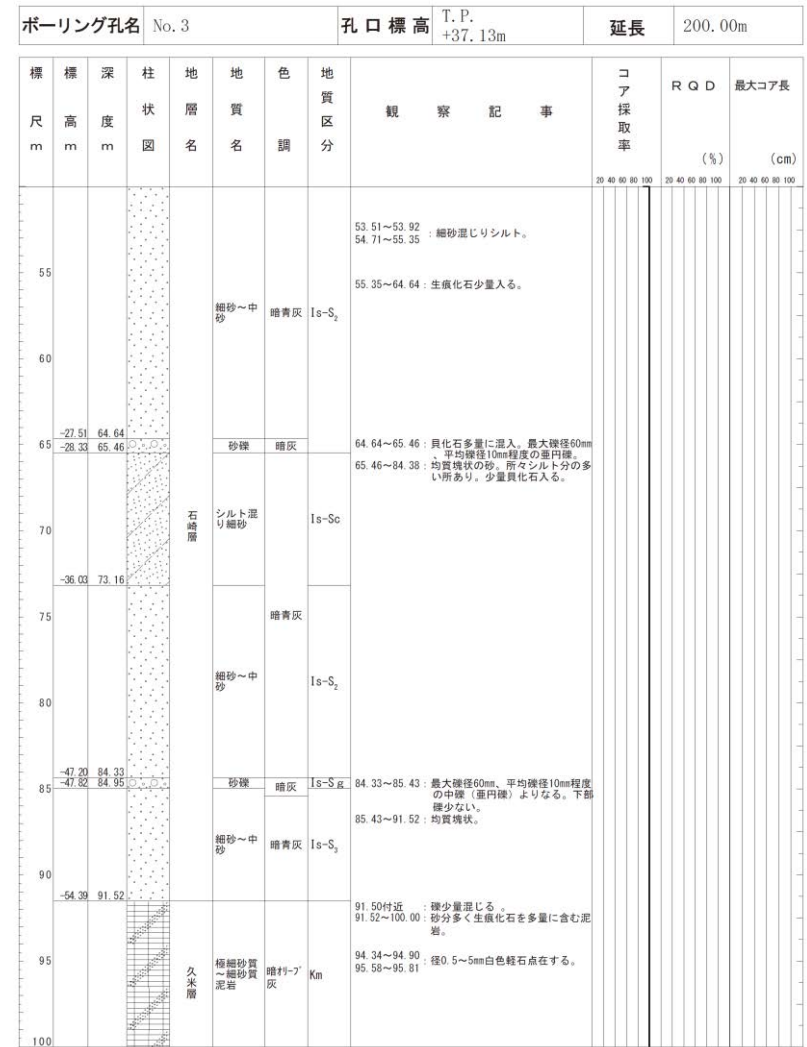
第 3.5.9 図(5) 原子炉施設設置位置地質柱状図 (No. 116 5/6)



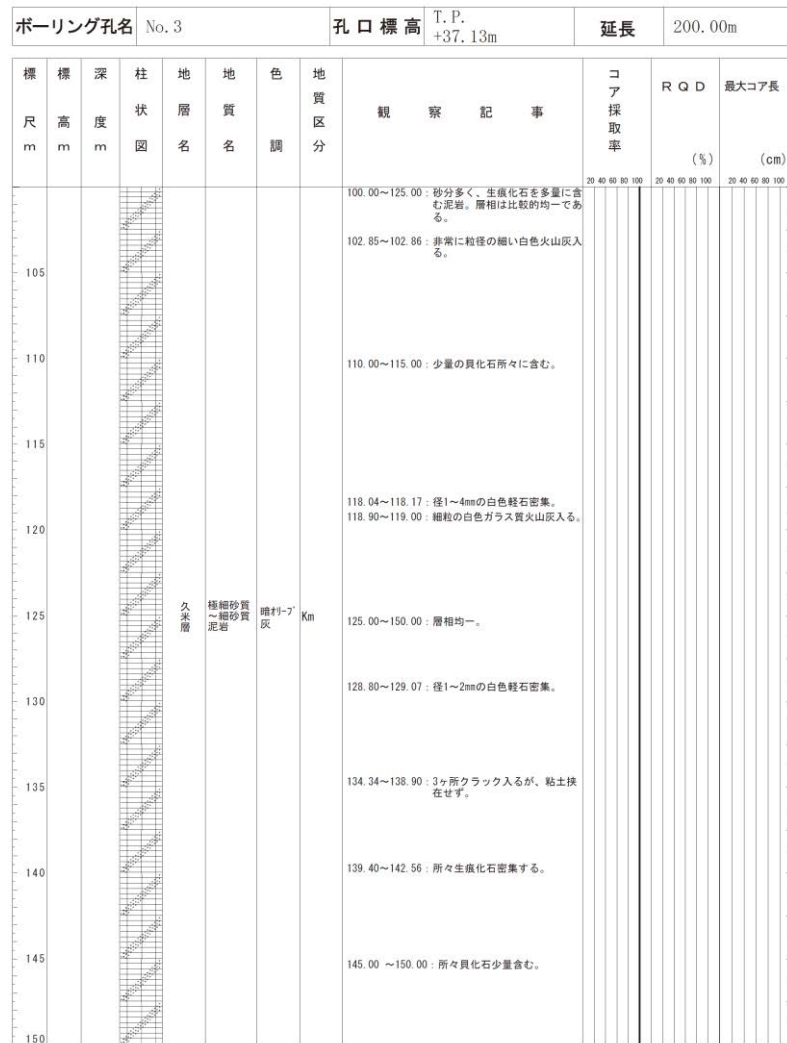
第 3.5.9 図(6) 原子炉施設設置位置地質柱状図 (No. 116 6/6)



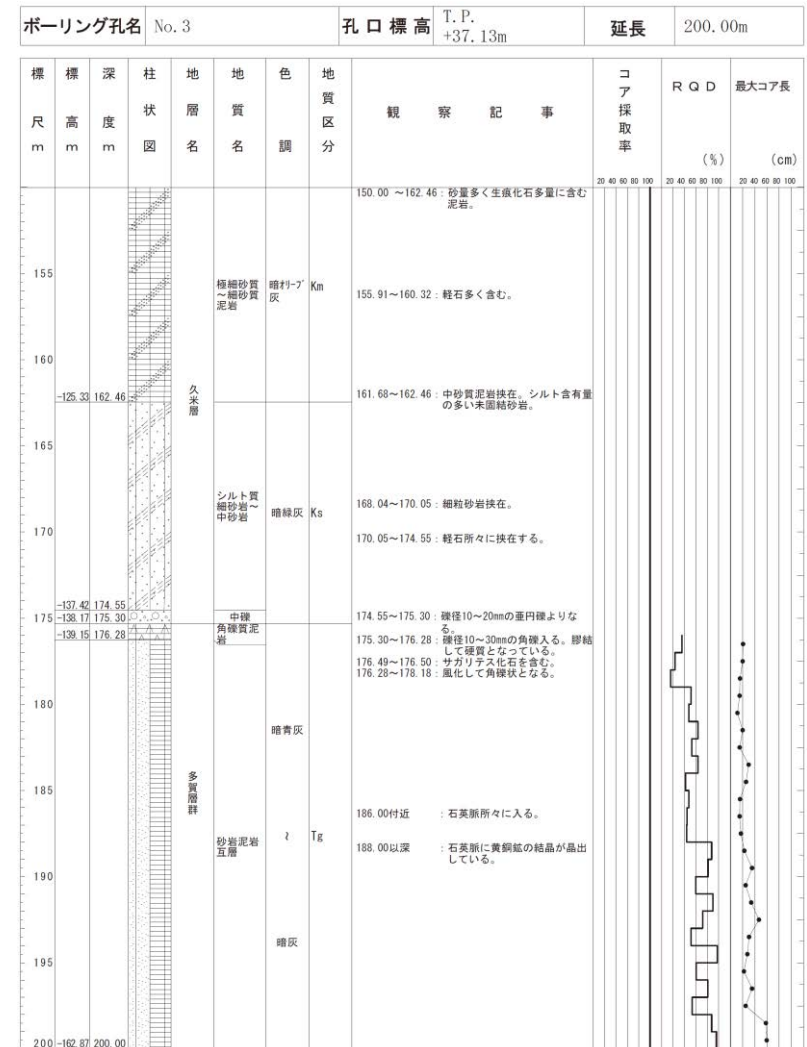
第3.5.10 図(1) 原子炉施設設置位置地質柱状図 (No. 3 1/4)



第3.5.10 図(2) 原子炉施設設置位置地質柱状図 (No. 3 2/4)



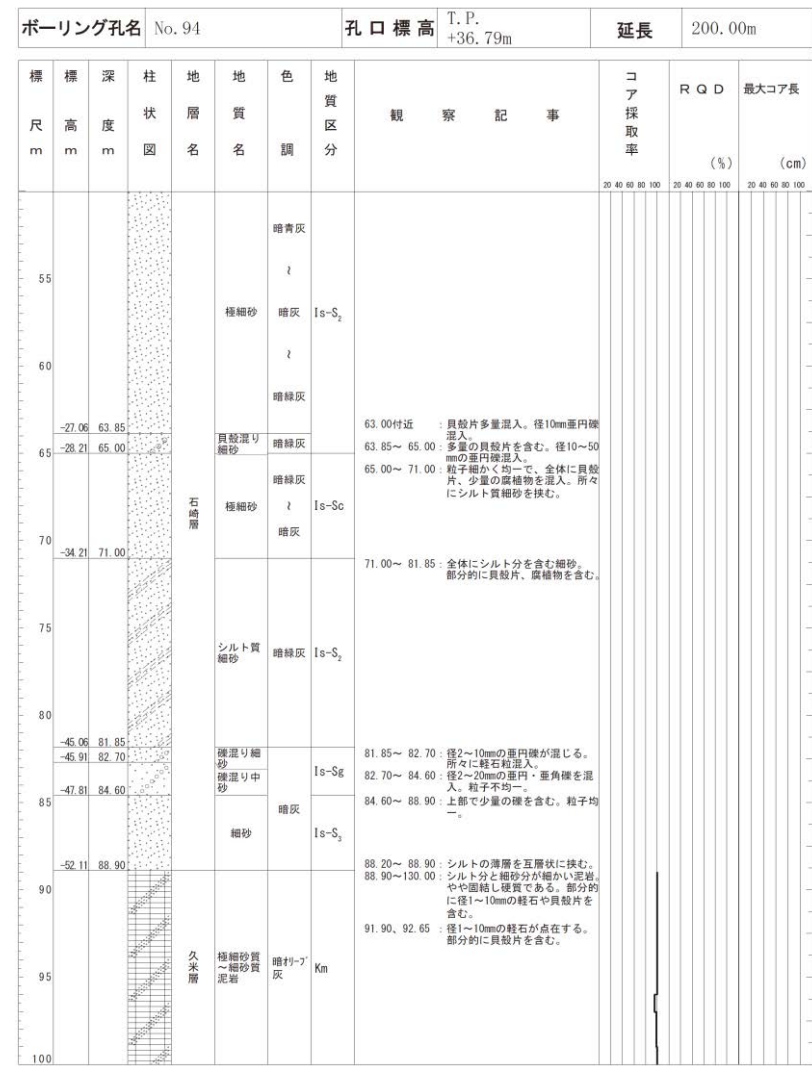
第3.5.10 図(3) 原子炉施設設置位置地質柱状図 (No. 3 3/4)



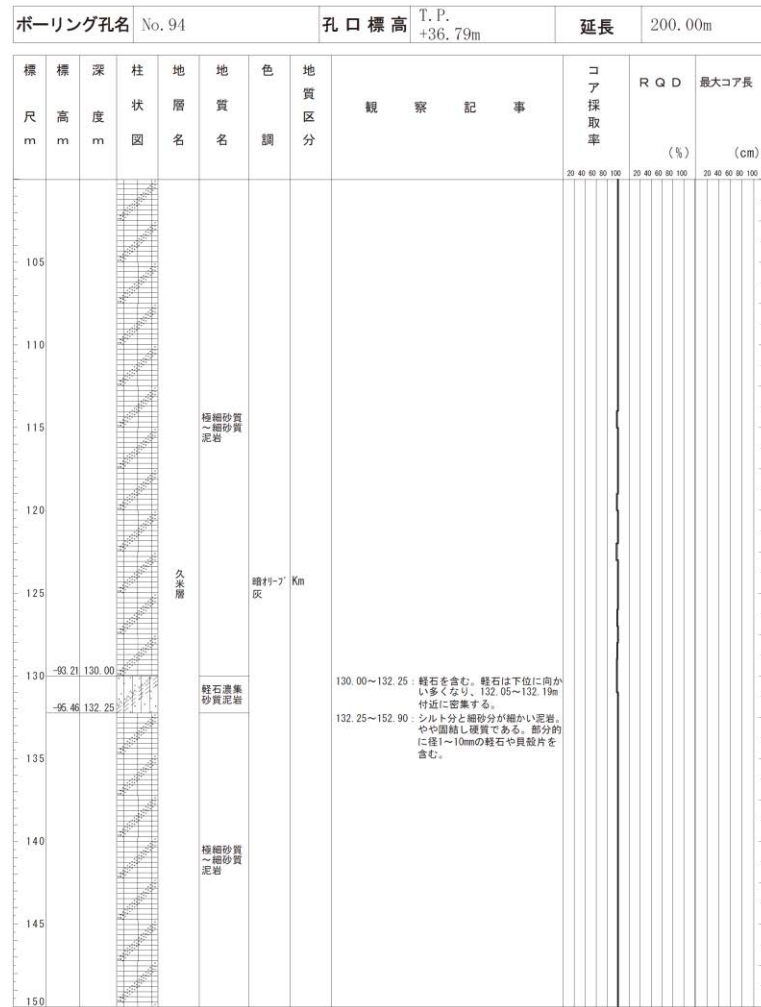
第3.5.10 図(4) 原子炉施設設置位置地質柱状図 (No. 3 4/4)



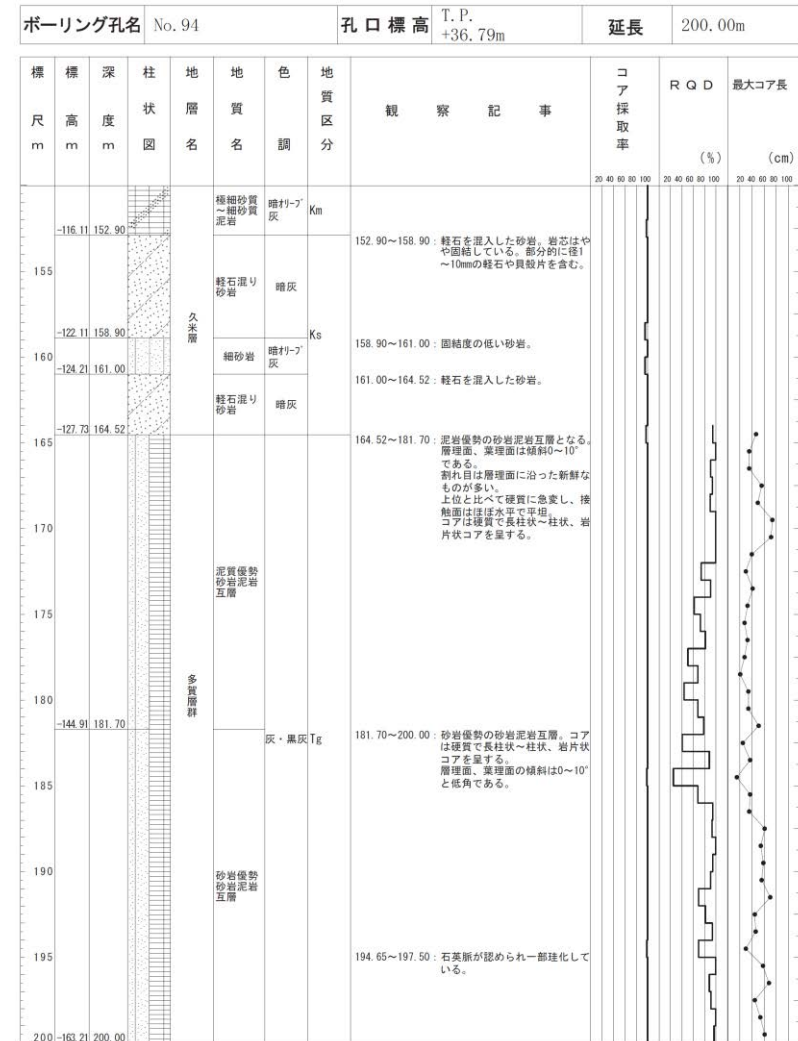
第 3.5.11 図(1) 原子炉施設設置位置地質柱状図 (No. 94 1/4)



第 3.5.11 図(2) 原子炉施設設置位置地質柱状図 (No. 94 2/4)



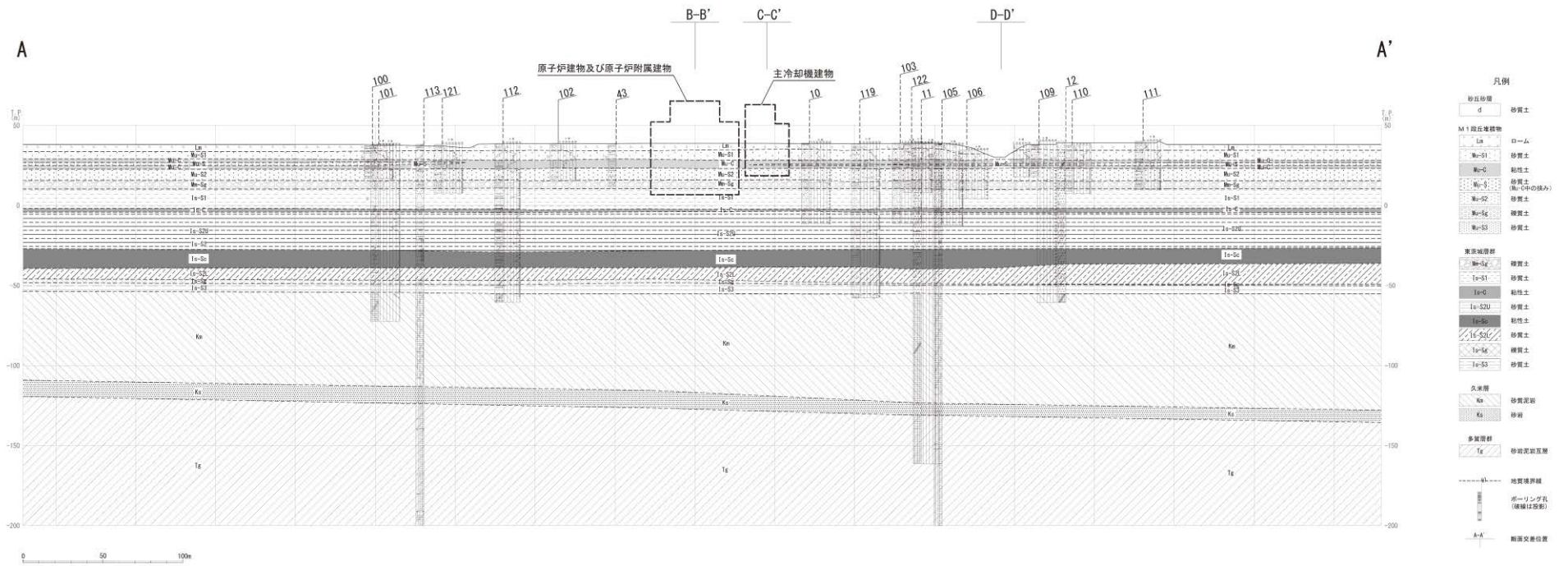
第 3.5.11 図(3) 原子炉施設設置位置地質柱状図 (No. 94 3/4)



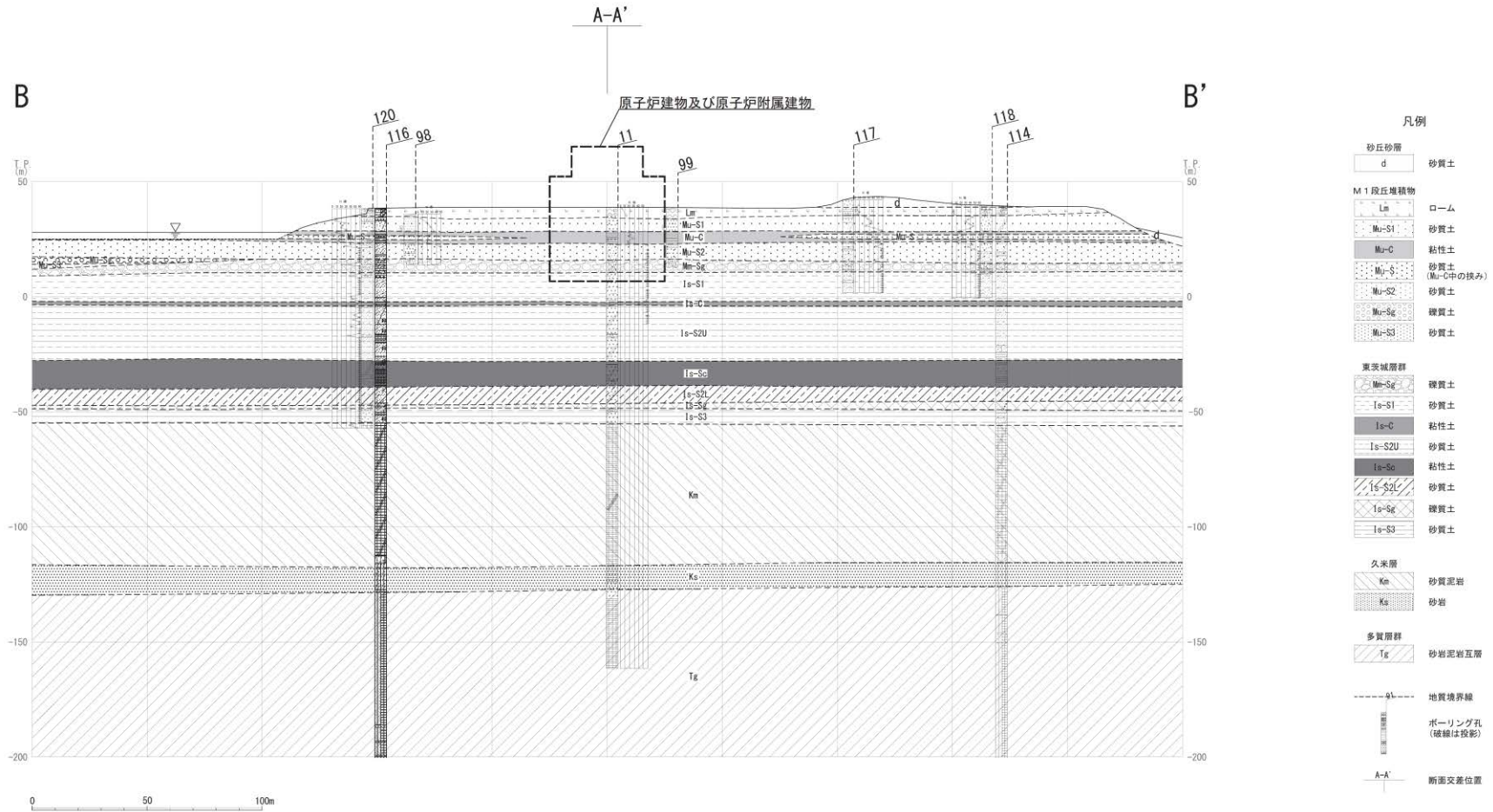
第 3.5.11 図(4) 原子炉施設設置位置地質柱状図 (No. 94 4/4)



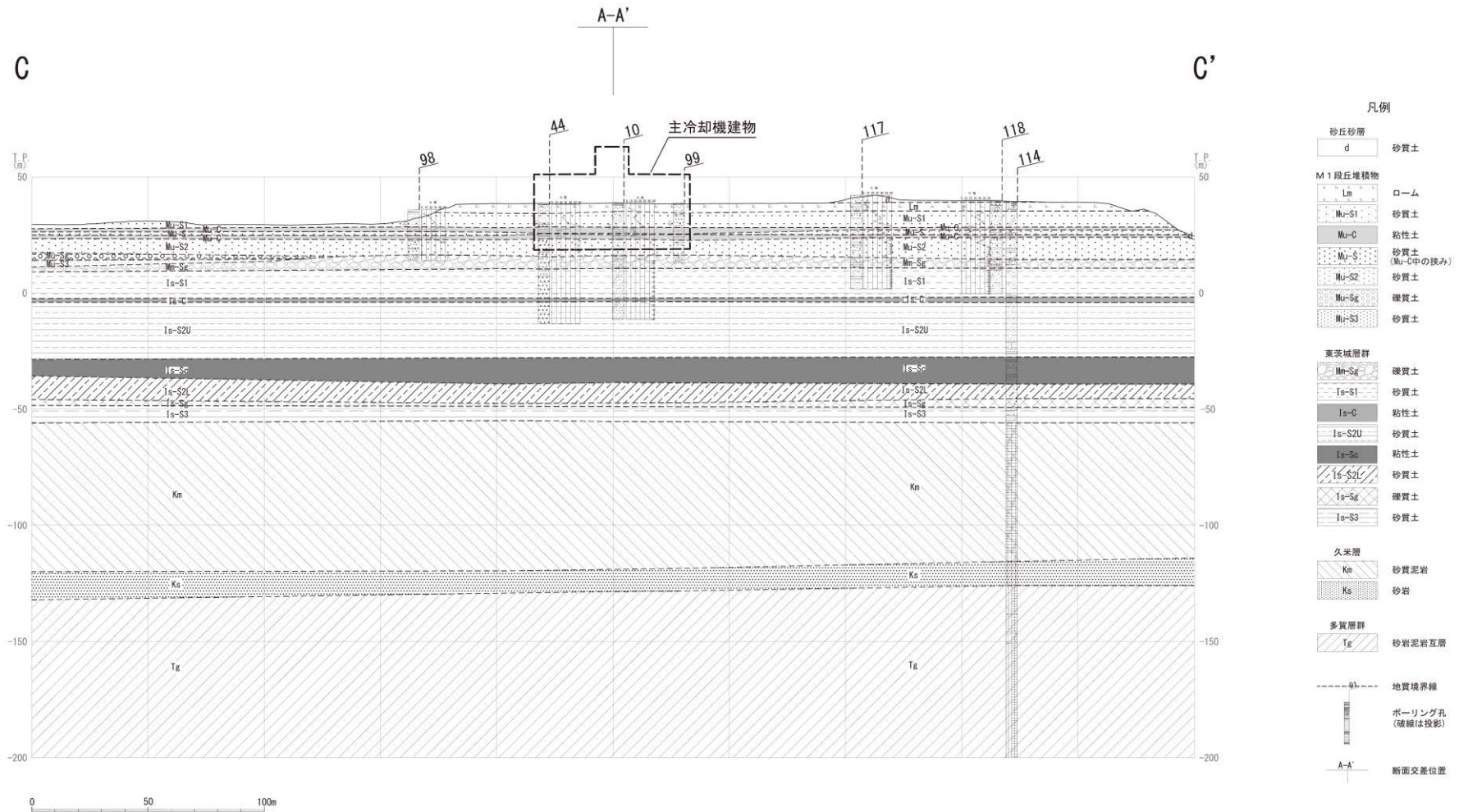
第 3.5.12 図 原子炉施設設置位置付近の水平地質断面図



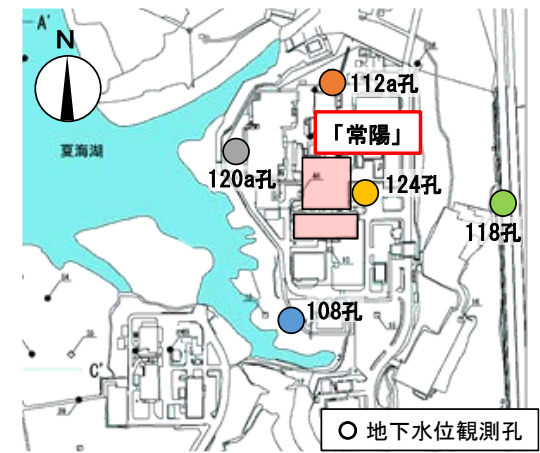
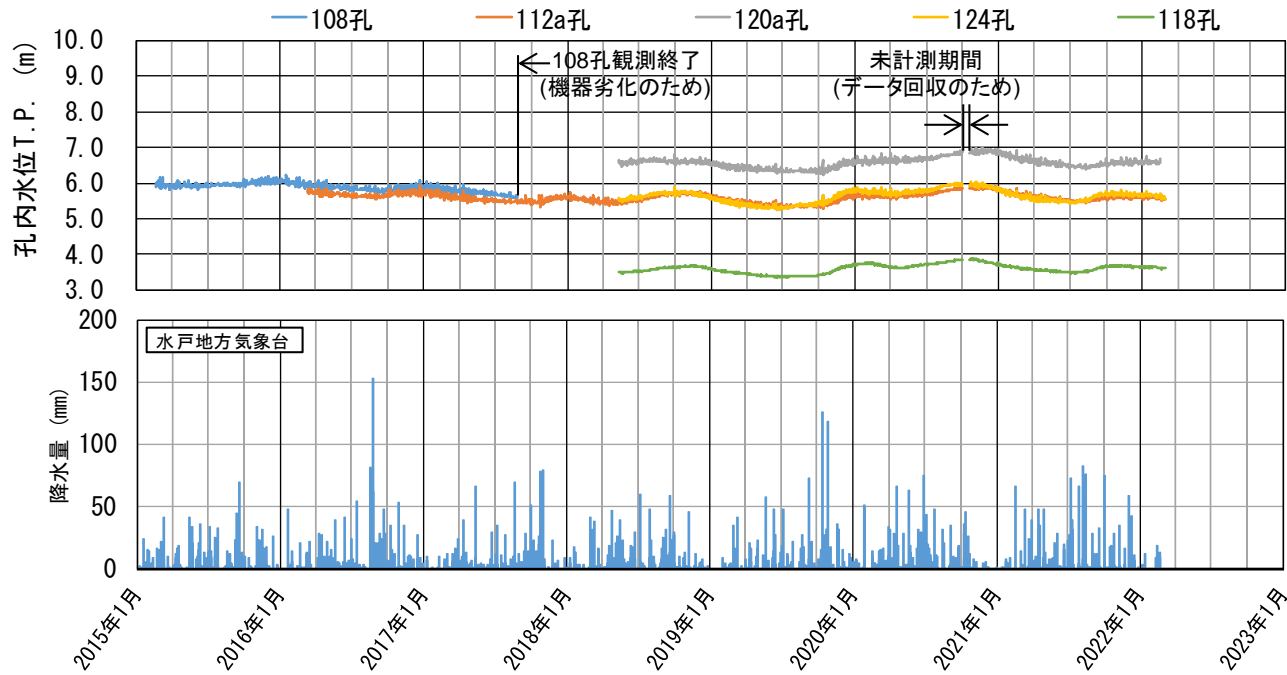
第 3.5.13 図(1) 原子炉施設設置位置付近の鉛直地質断面図及び地盤分類図 (A-A' 測線)



第 3.5.13 図(2) 原子炉施設設置位置付近の鉛直地質断面図及び地盤分類図 (B-B' 測線)

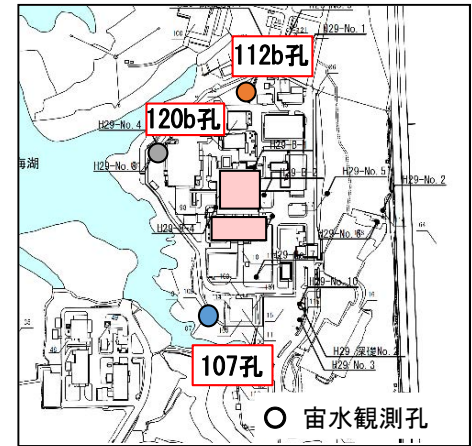
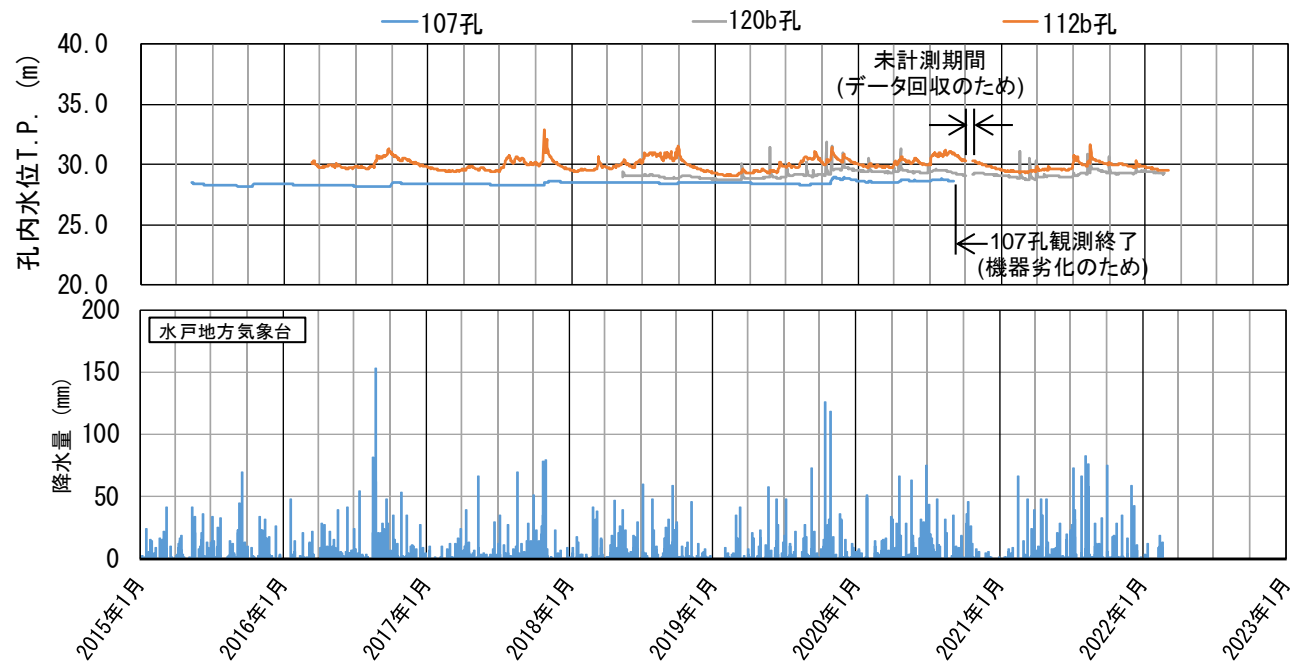


第 3. 5. 13 図 (3) 原子炉施設設置位置付近の鉛直地質断面図及び地盤分類図 (C-C' 測線)



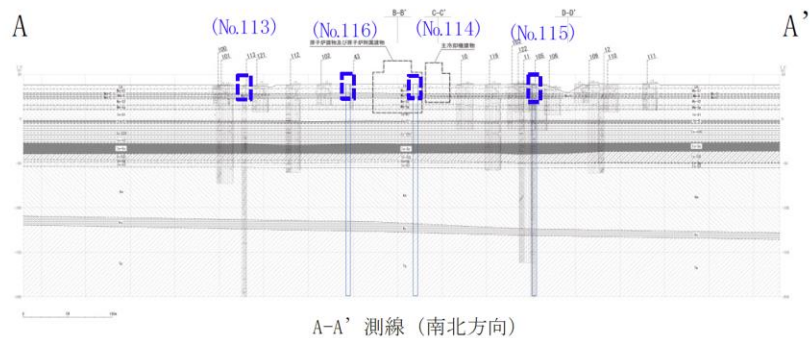
地下水観測孔位置

第 3. 5. 14 図(1) 地下水位変動図 (常水位) (No.108 孔、No.112a 孔、No.118 孔、No.120a 孔、No.124 孔)

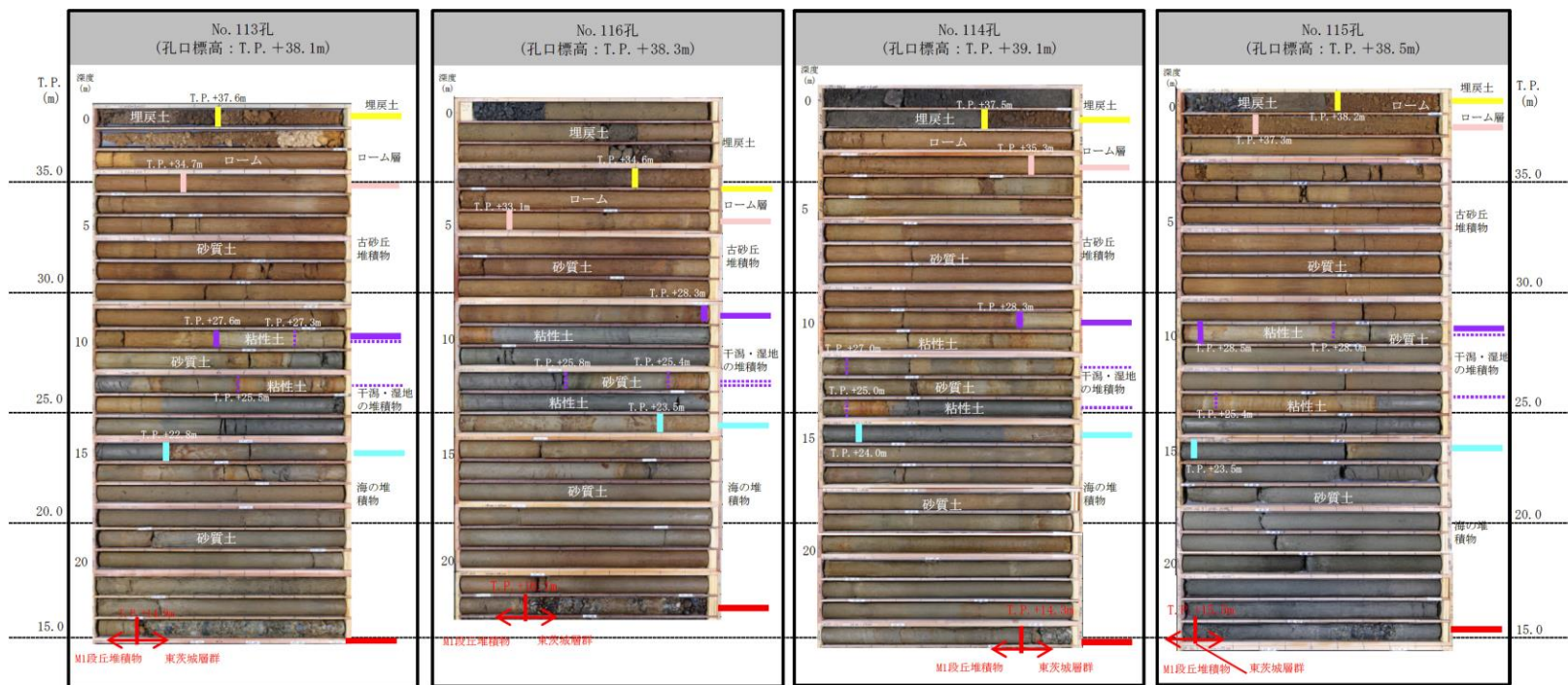


宙水観測孔位置

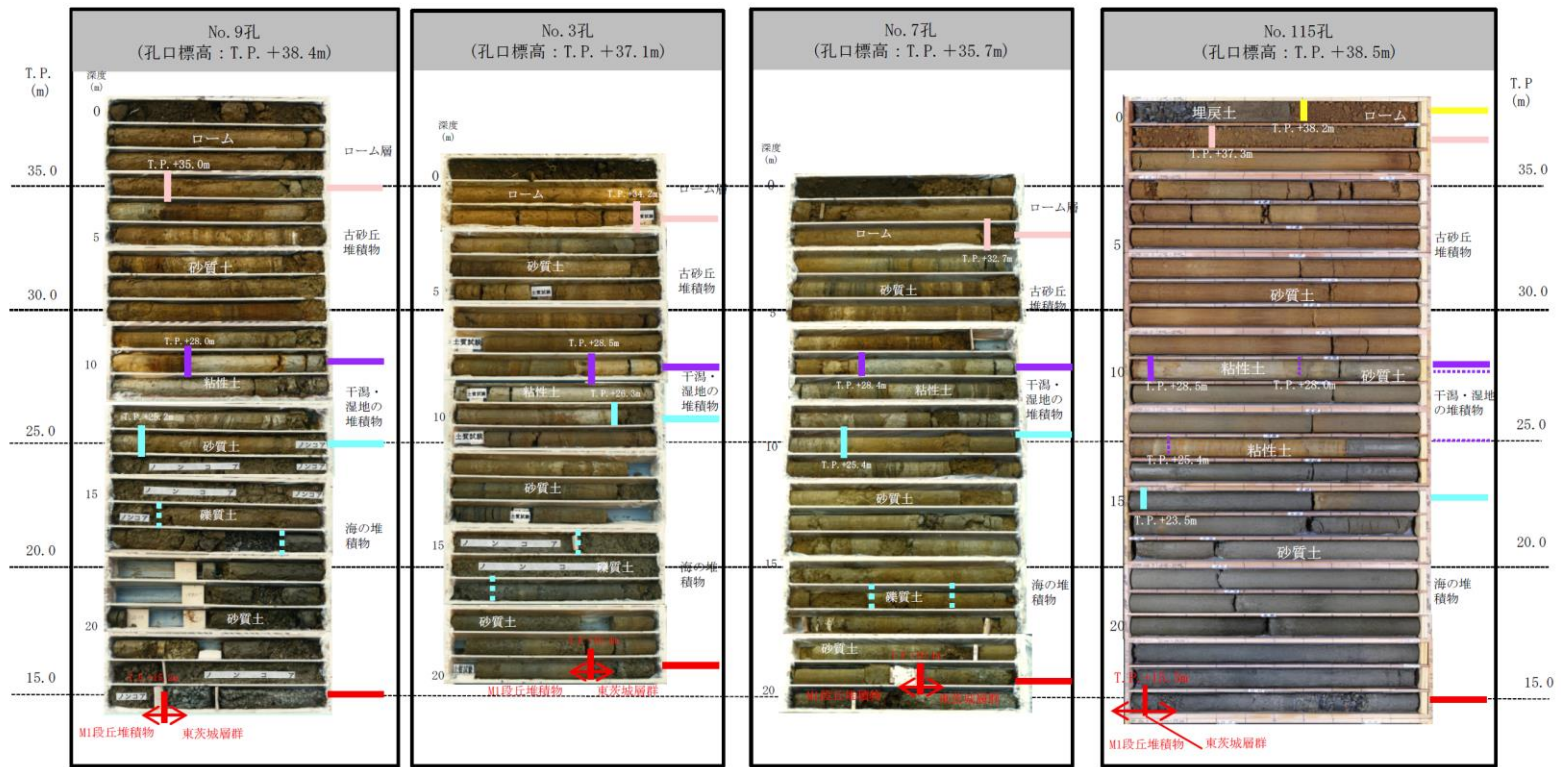
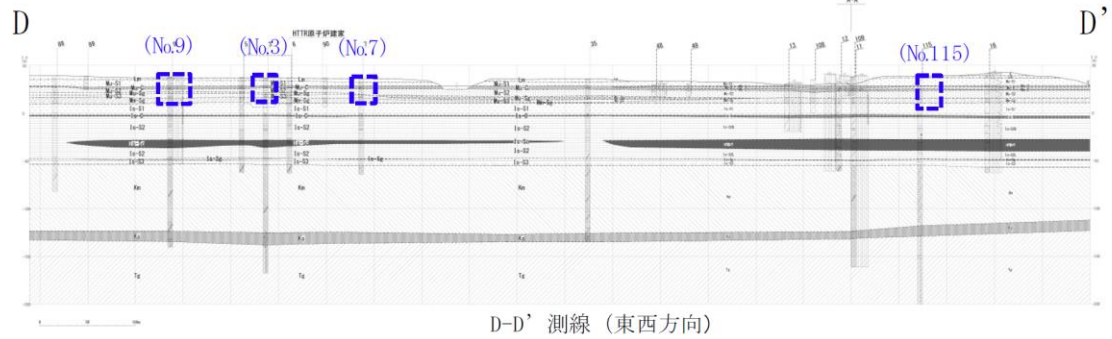
第 3. 5. 14 図(2) 地下水位変動図 (宙水位) (No.107 孔、No.112b 孔、No.120b 孔)



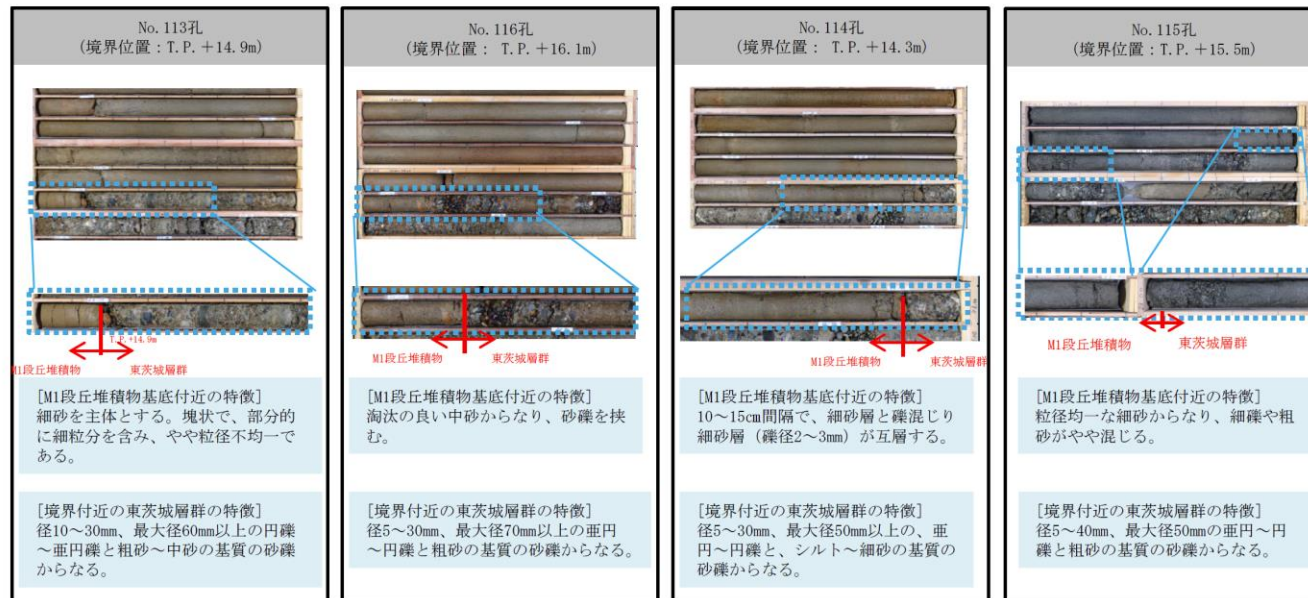
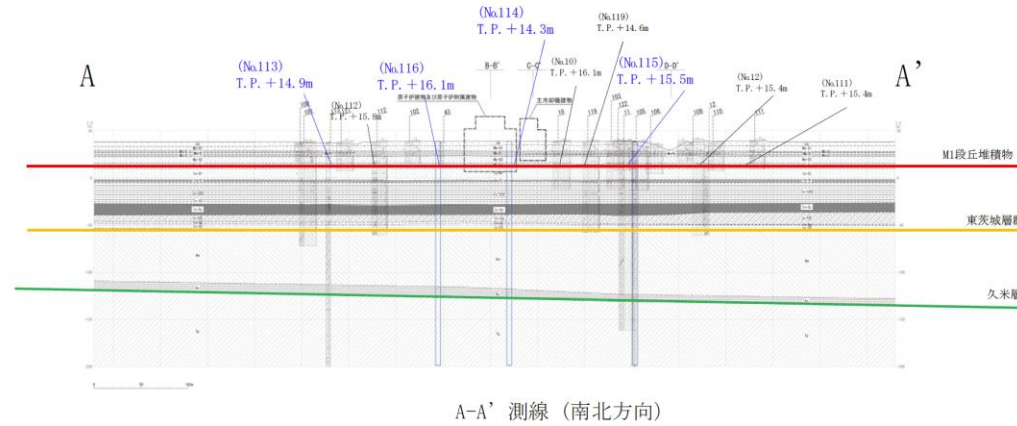
A-A' 測線 (南北方向)



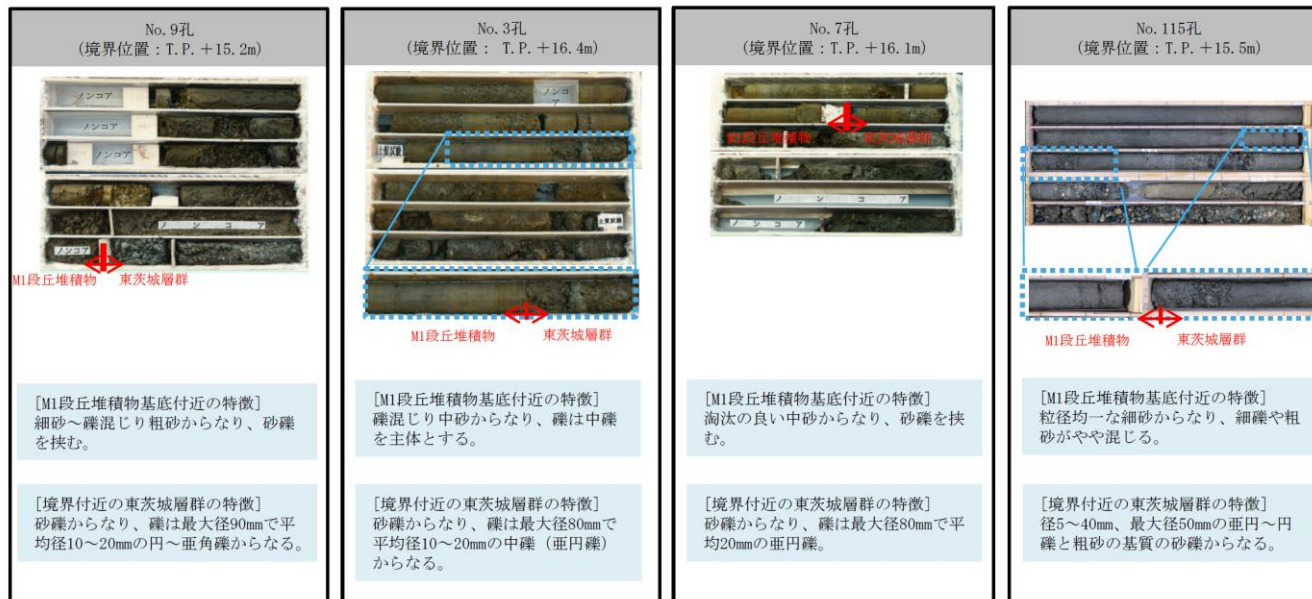
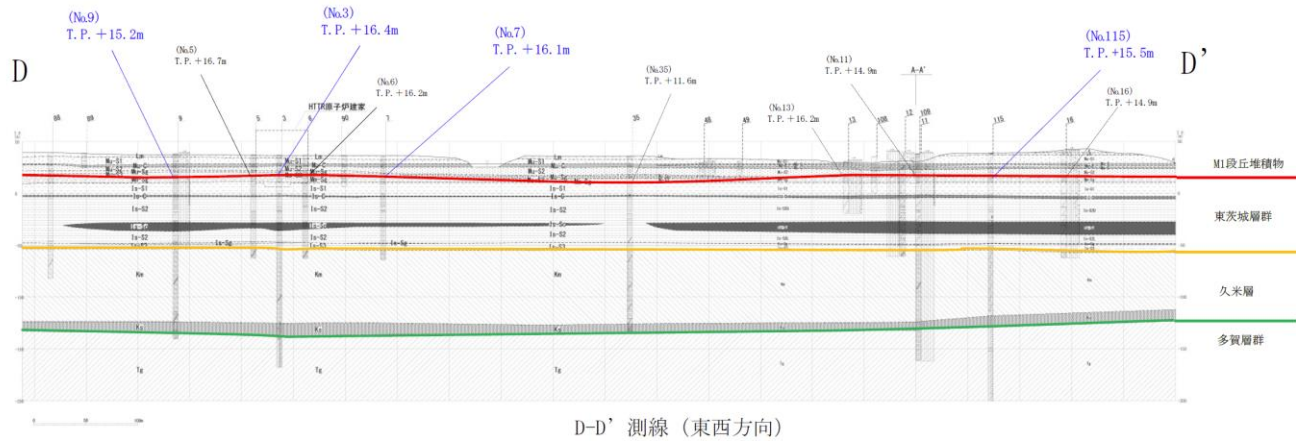
第 3.5.15 図(1) M1 段丘堆積物の層相 (南北方向)



第 3.5.15 図(2) M1 段丘堆積物の層相 (東西方向)

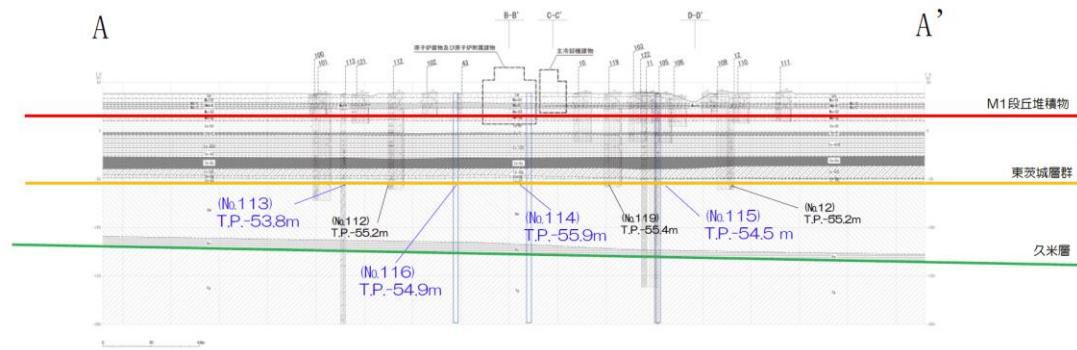


第 3. 5. 16 図(1) M1 段丘堆積物と東茨城層群との境界付近の層相 (南北方向)

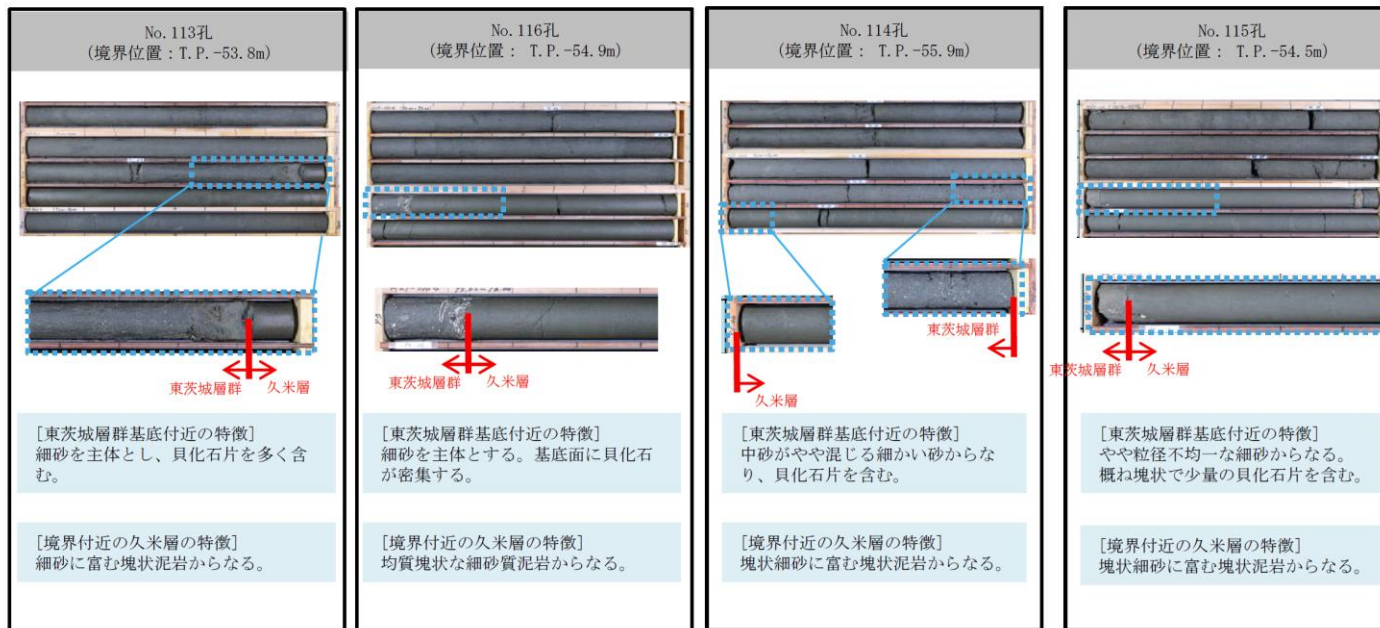


※ノンコアの部分については、柱状図に基づき地層境界を記載

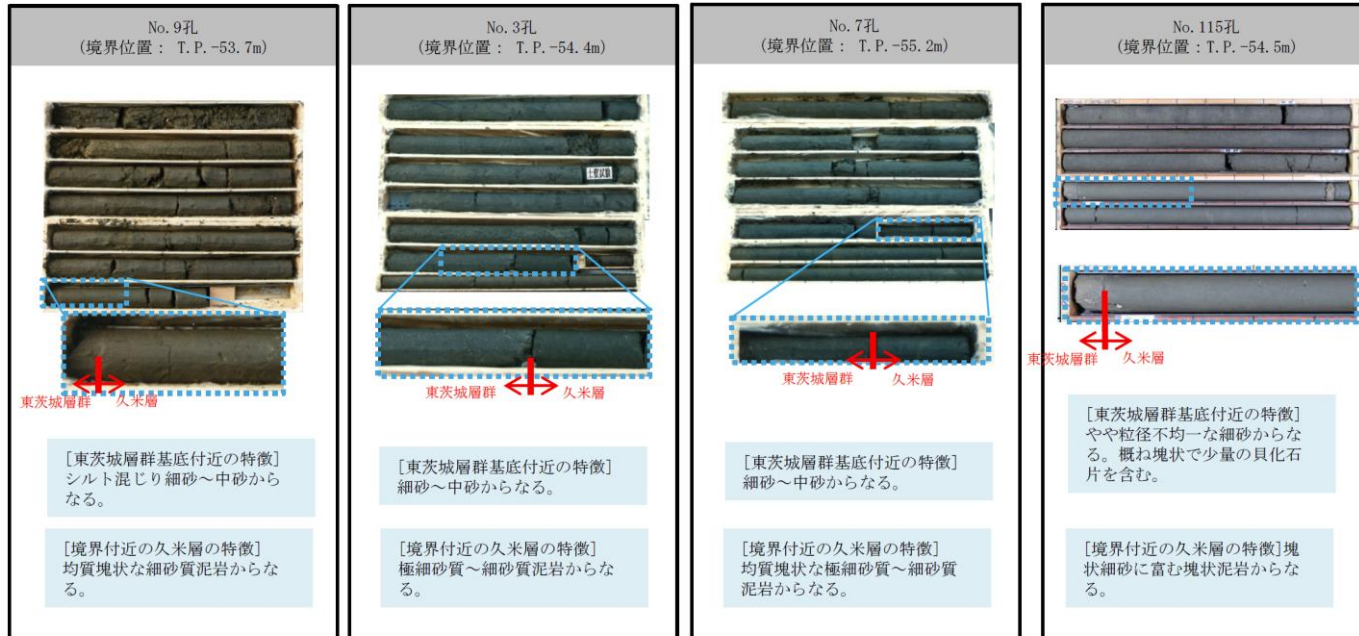
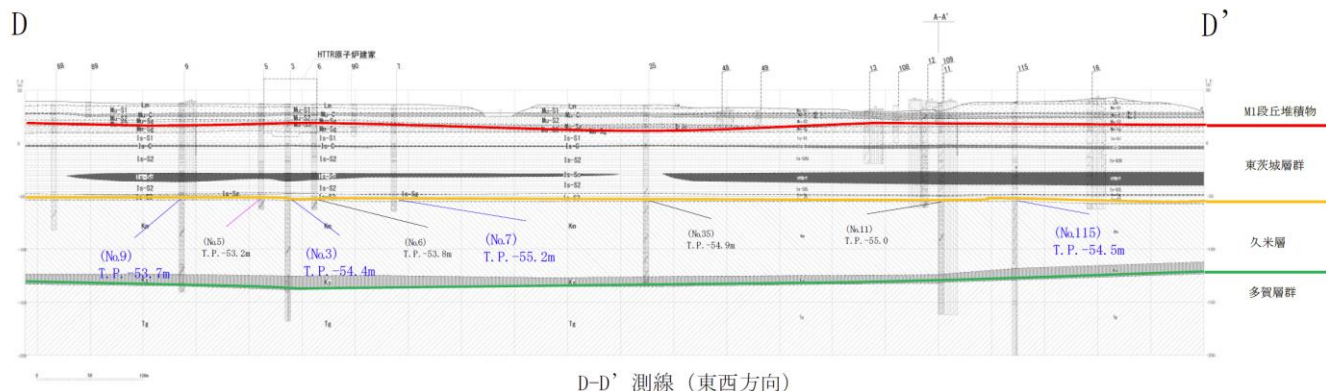
第 3.5.16 図(2) M1 段丘堆積物と東茨城層群との境界付近の層相 (東西方向)



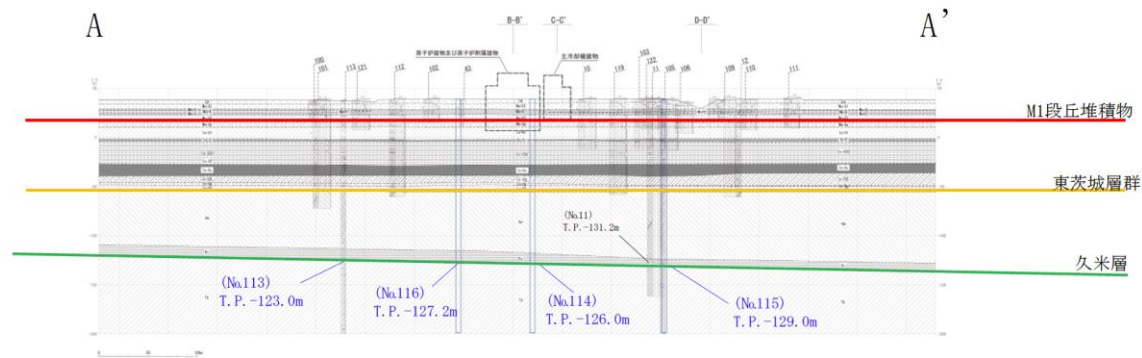
A-A' 測線 (南北方向)



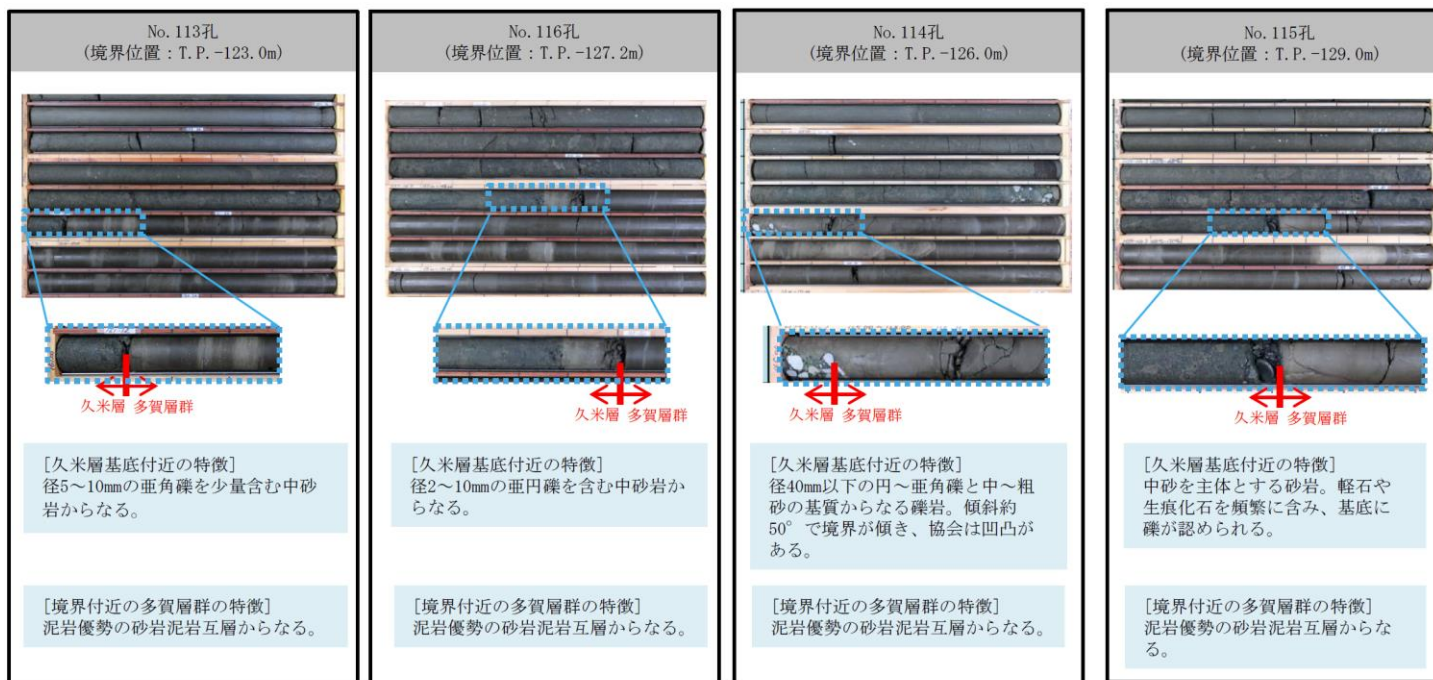
第 3. 5. 17 図(1) 東茨城層群と久米層との境界付近の層相 (南北方向)



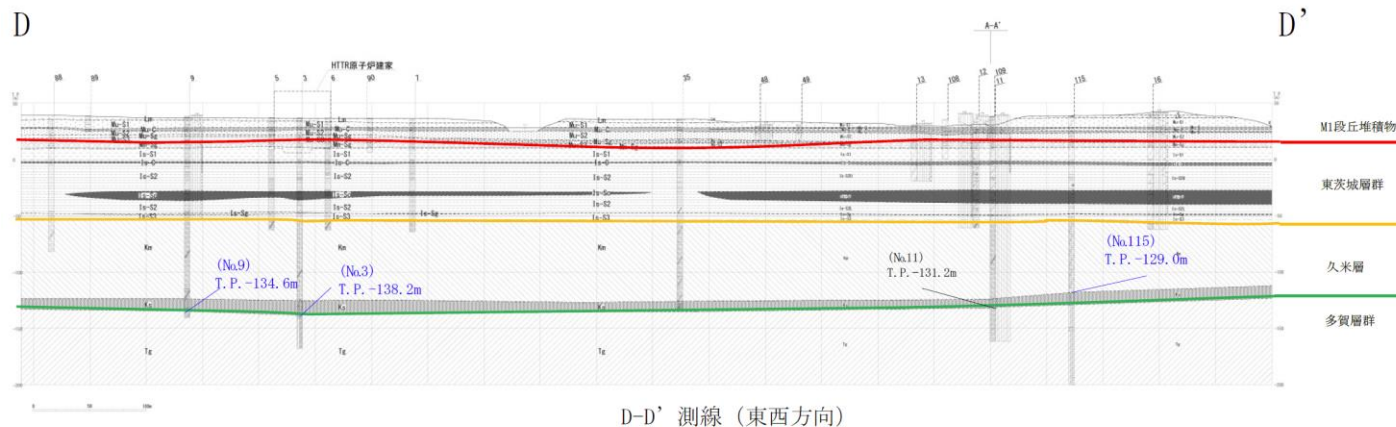
第 3.5.17 図(2) 東茨城層群と久米層との境界付近の層相 (東西方向)



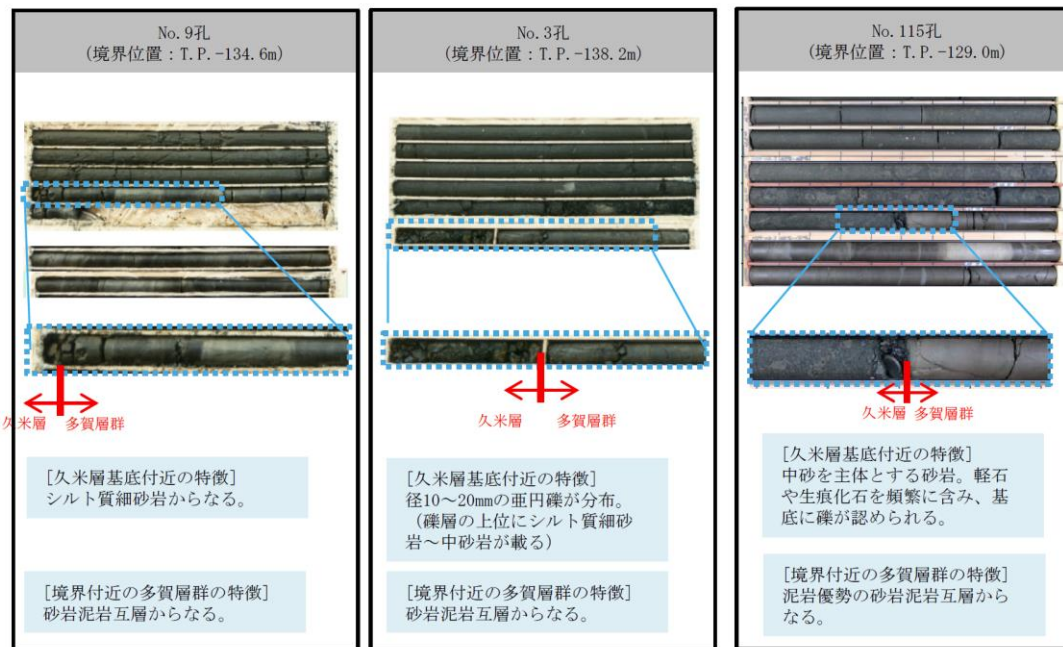
A-A' 測線 (南北方向)



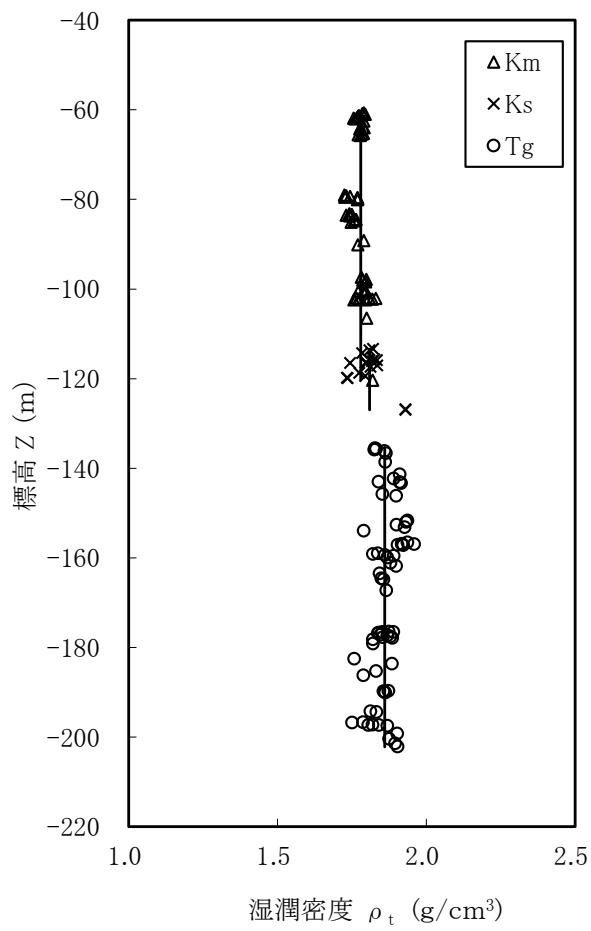
第 3.5.18 図(1) 久米層と多賀層群との境界付近の層相 (南北方向)



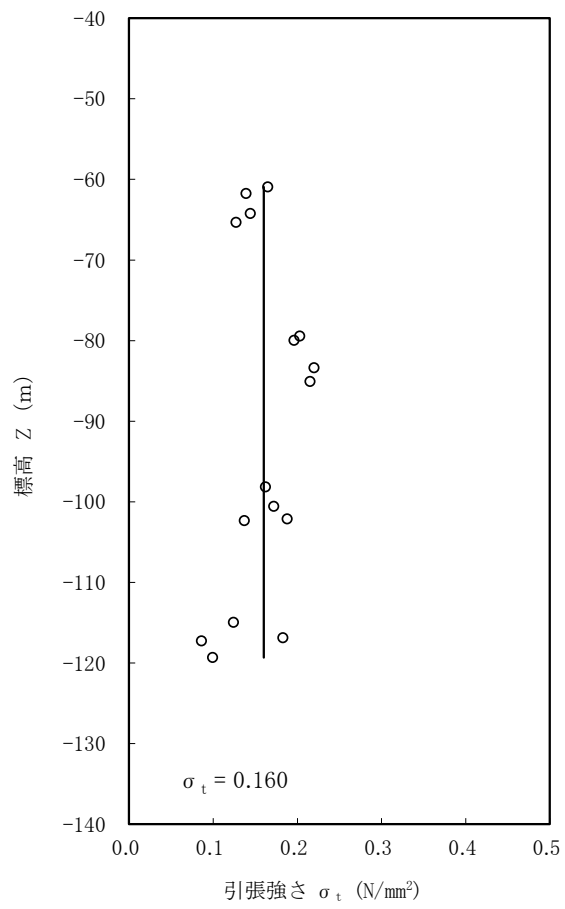
D-D' 測線 (東西方向)



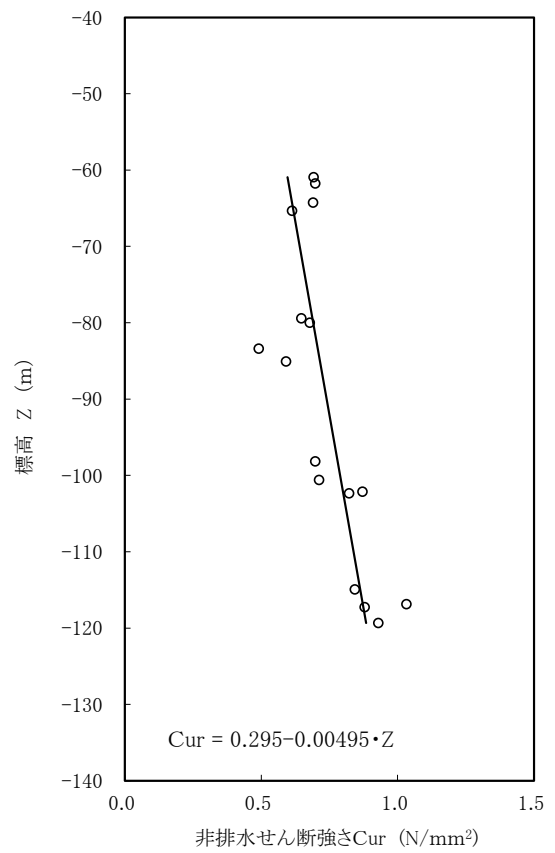
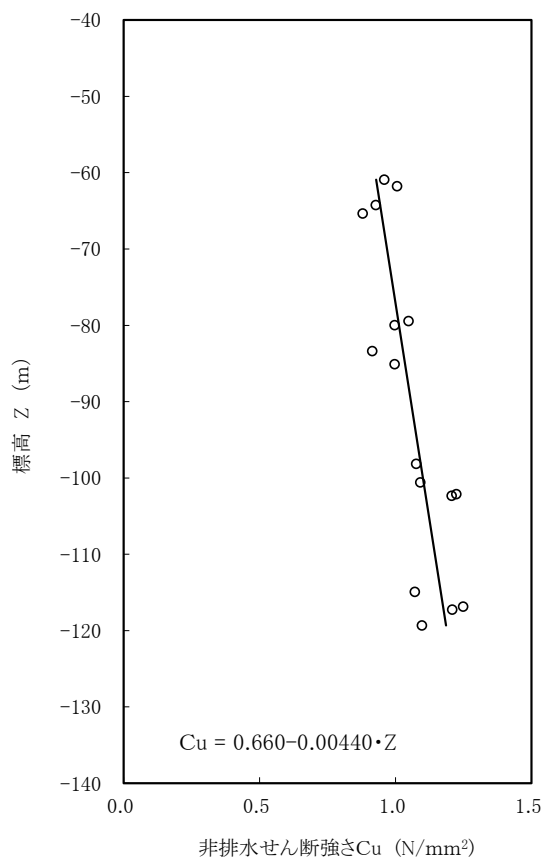
第 3. 5. 18 図 (2) 久米層と多賀層群との境界付近の層相 (東西方向)



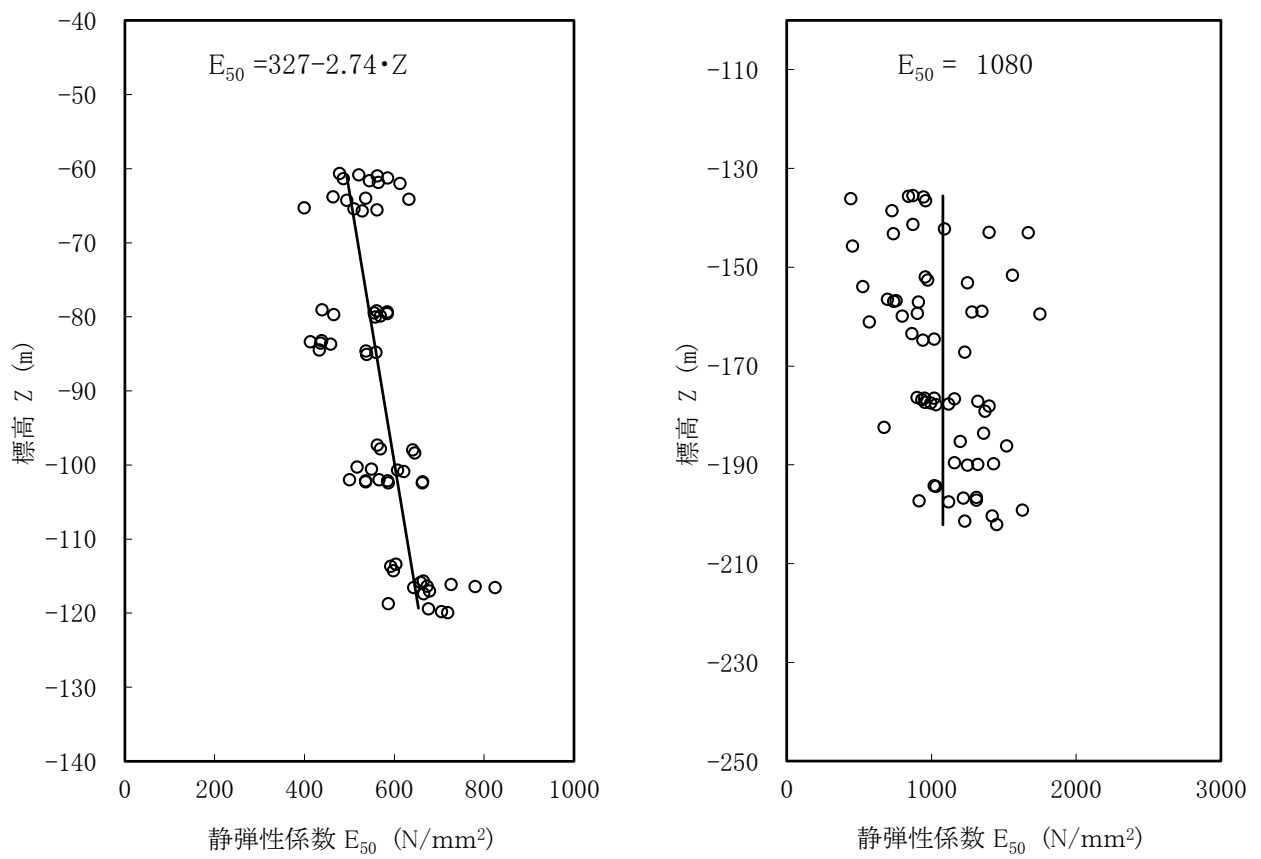
第 3.5.19 図 湿潤密度試験結果



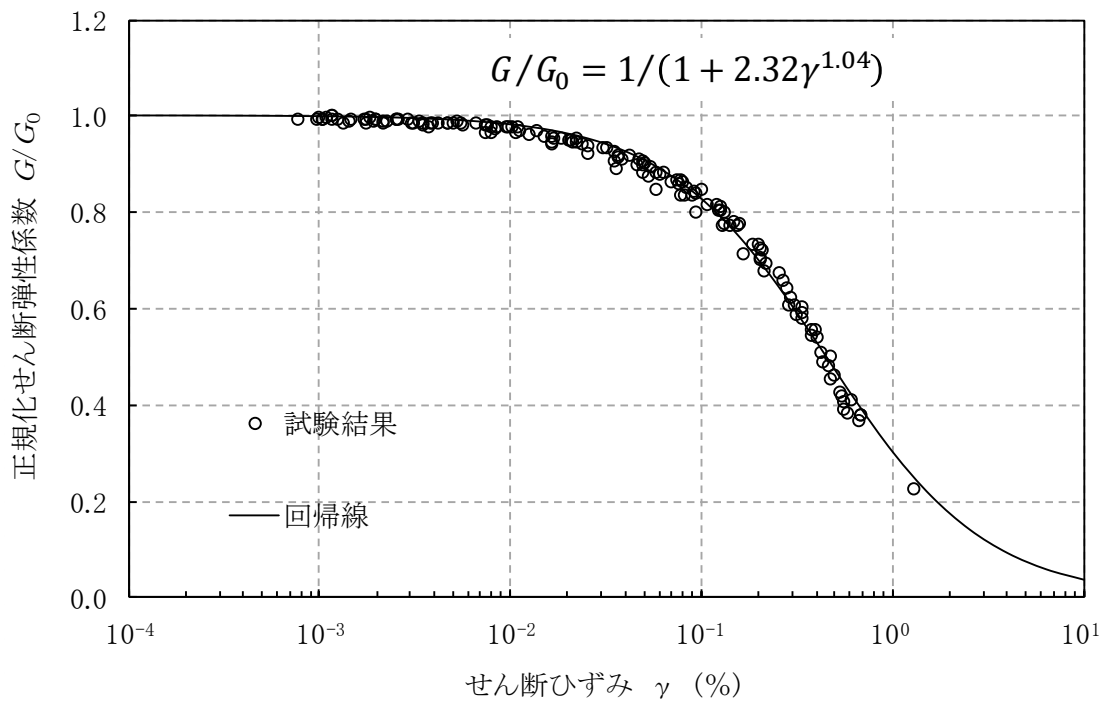
第 3.5.20 図 引張強さ σ_t の試験結果 (Km 層、Ks 層)



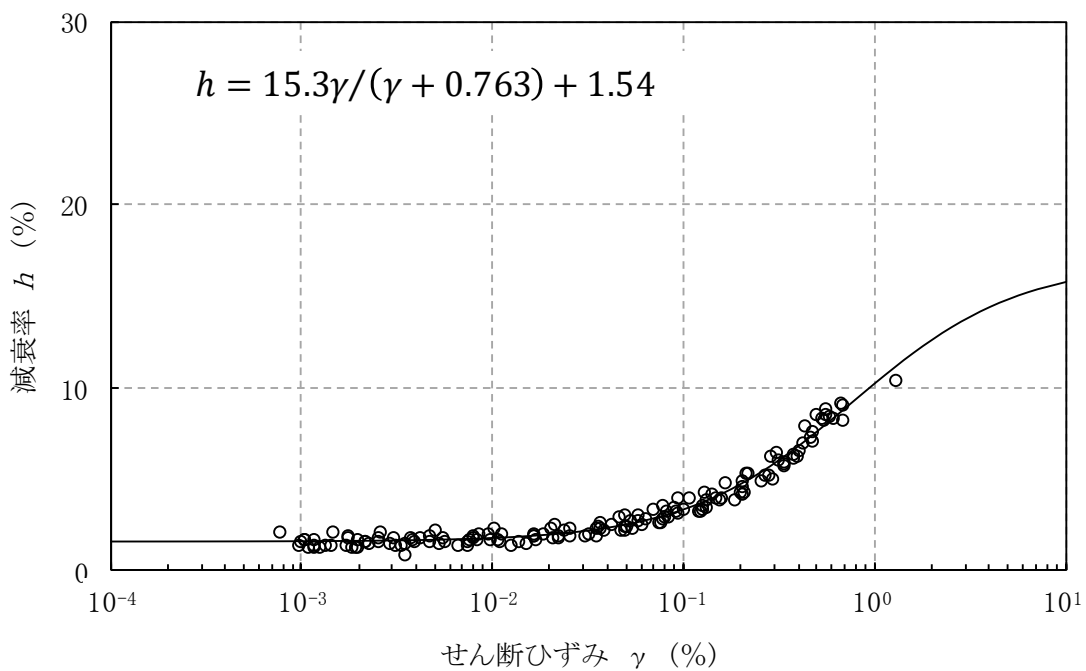
第 3.5.21 図 非排水せん断強さと標高の関係 (Km 層、Ks 層)



第 3.5.22 図 三軸圧縮試験の静弾性係数と標高の関係 (左 : Km 層、Ks 層、右 : Tg 層)

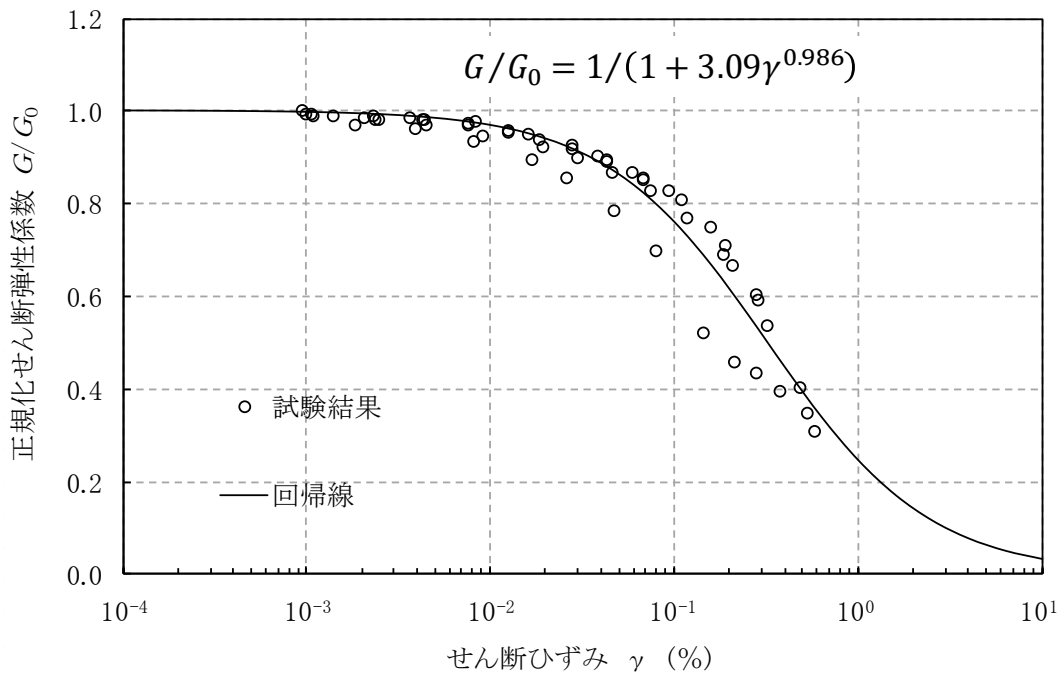


(a) 動の変形特性

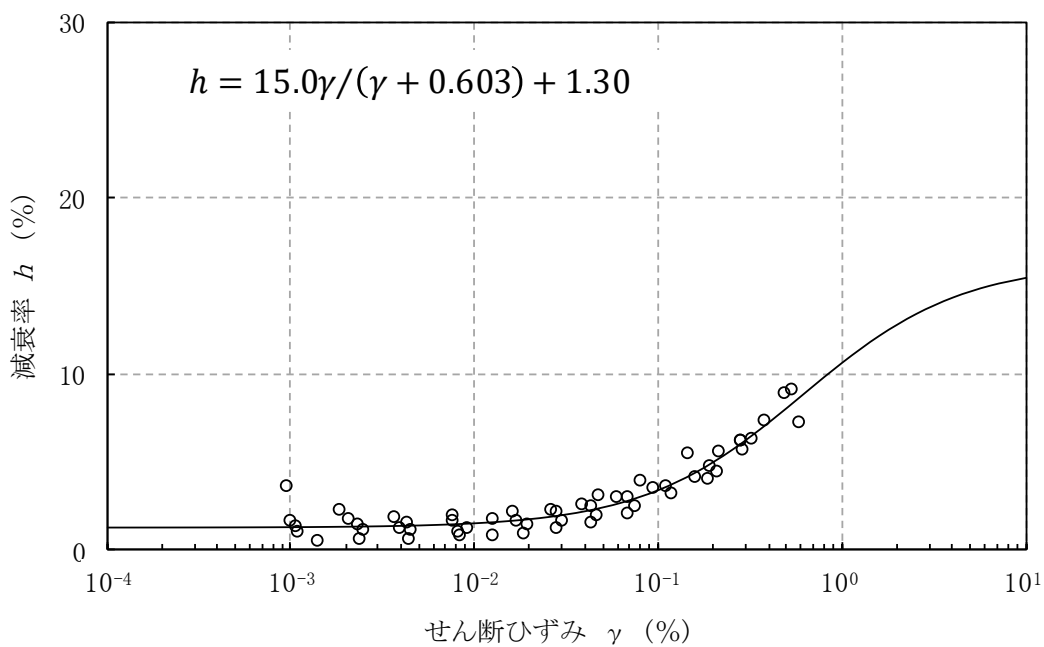


(b) 減衰特性

第 3.5.23 図(1) 繰り返し三軸試験結果 (Km 層)

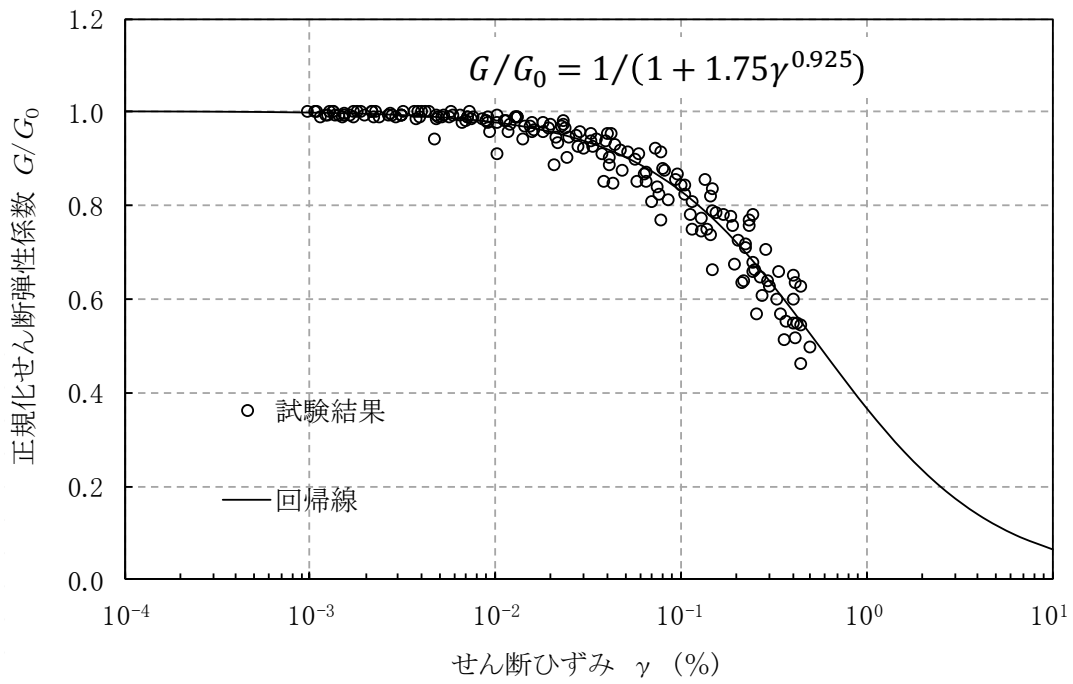


(a) 動の変形特性

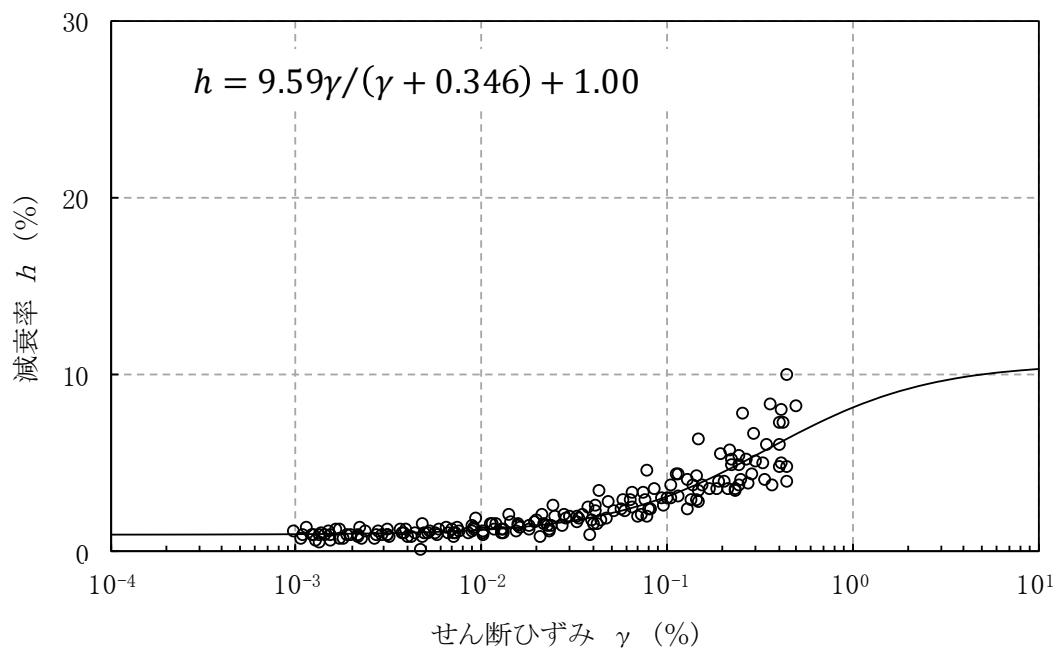


(b) 減衰特性

第 3.5.23 図(2) 繰り返し三軸試験結果 (Ks 層)

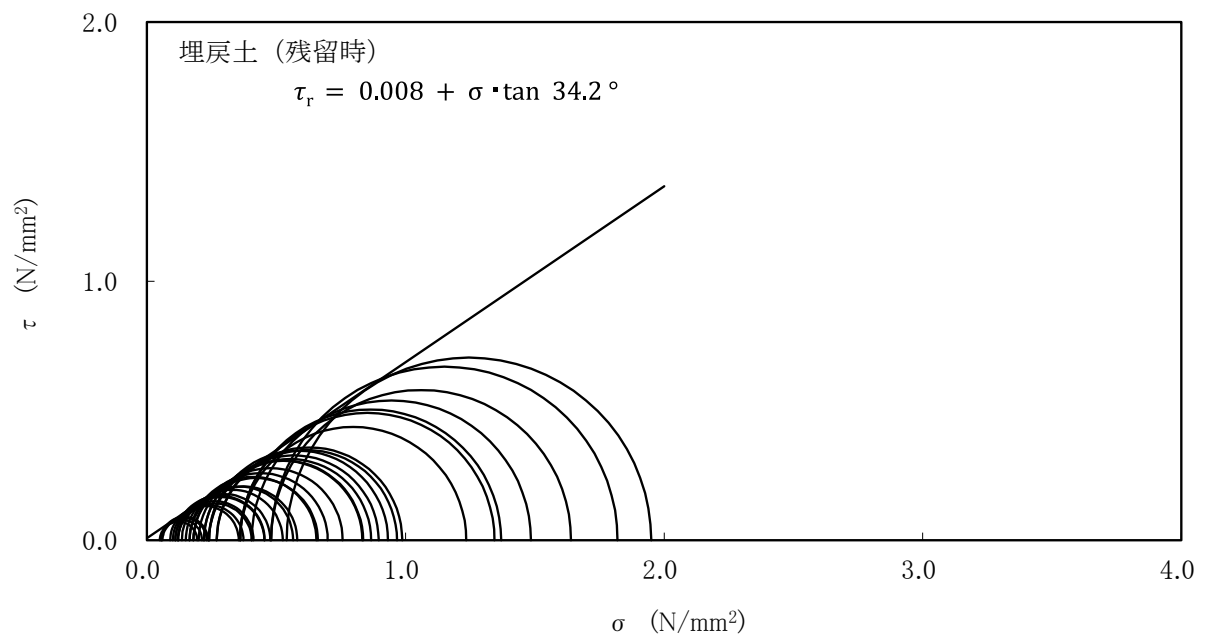
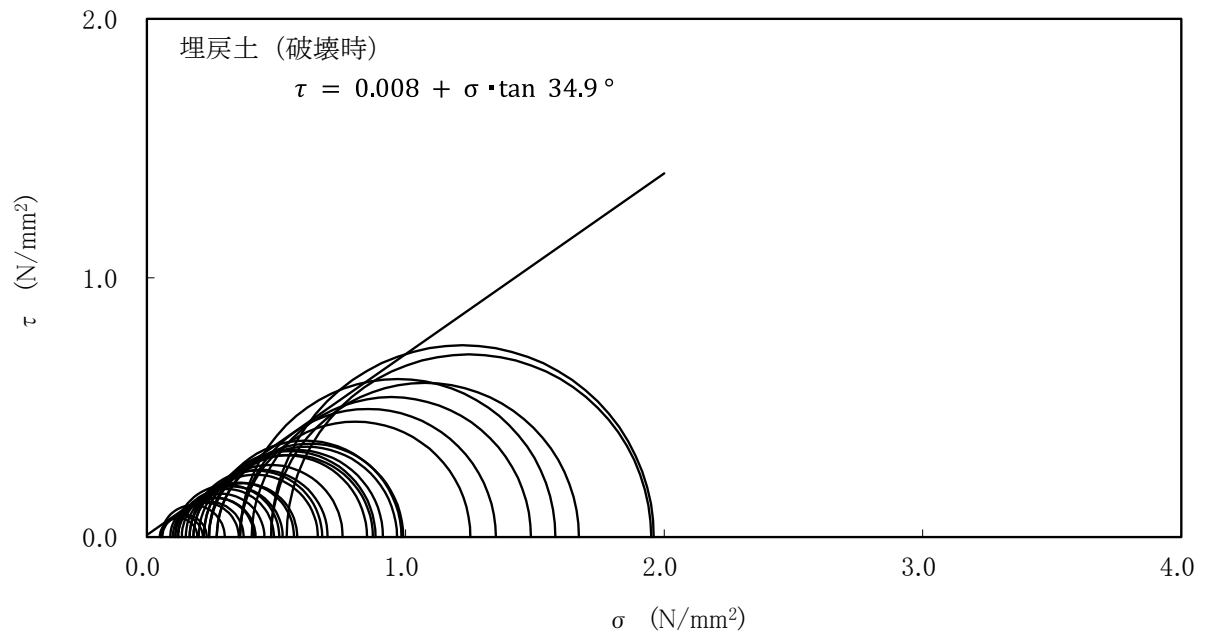


(a) 動の変形特性

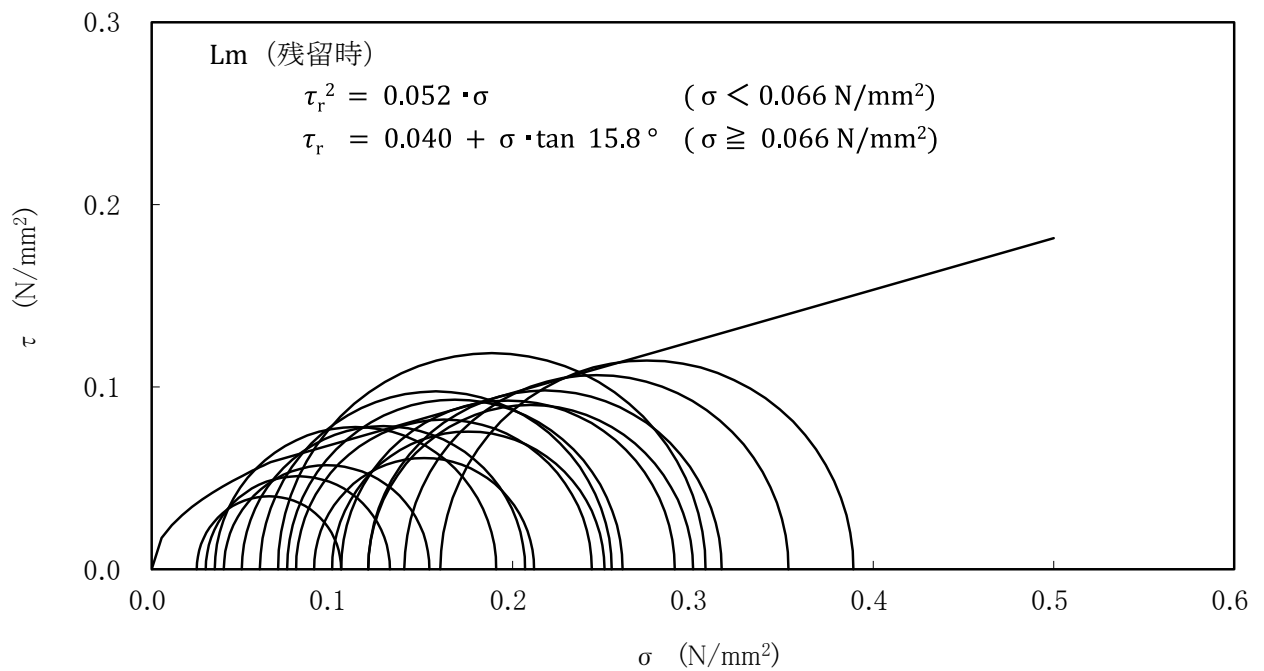
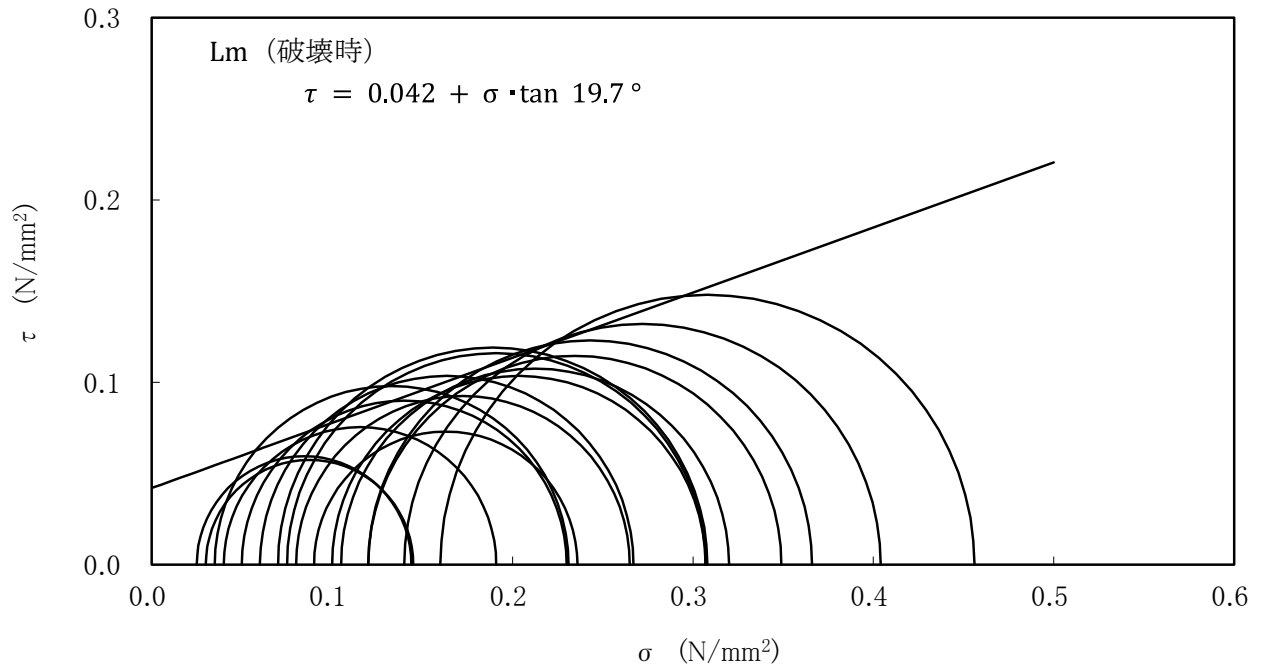


(b) 減衰特性

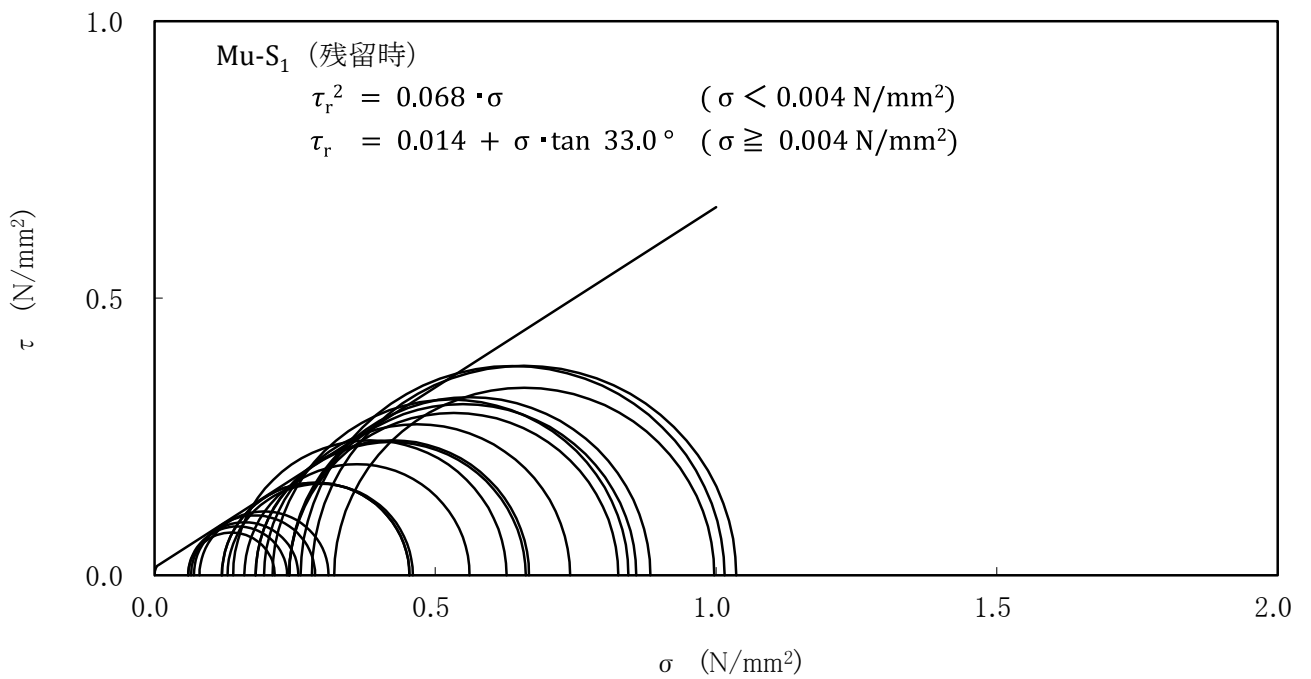
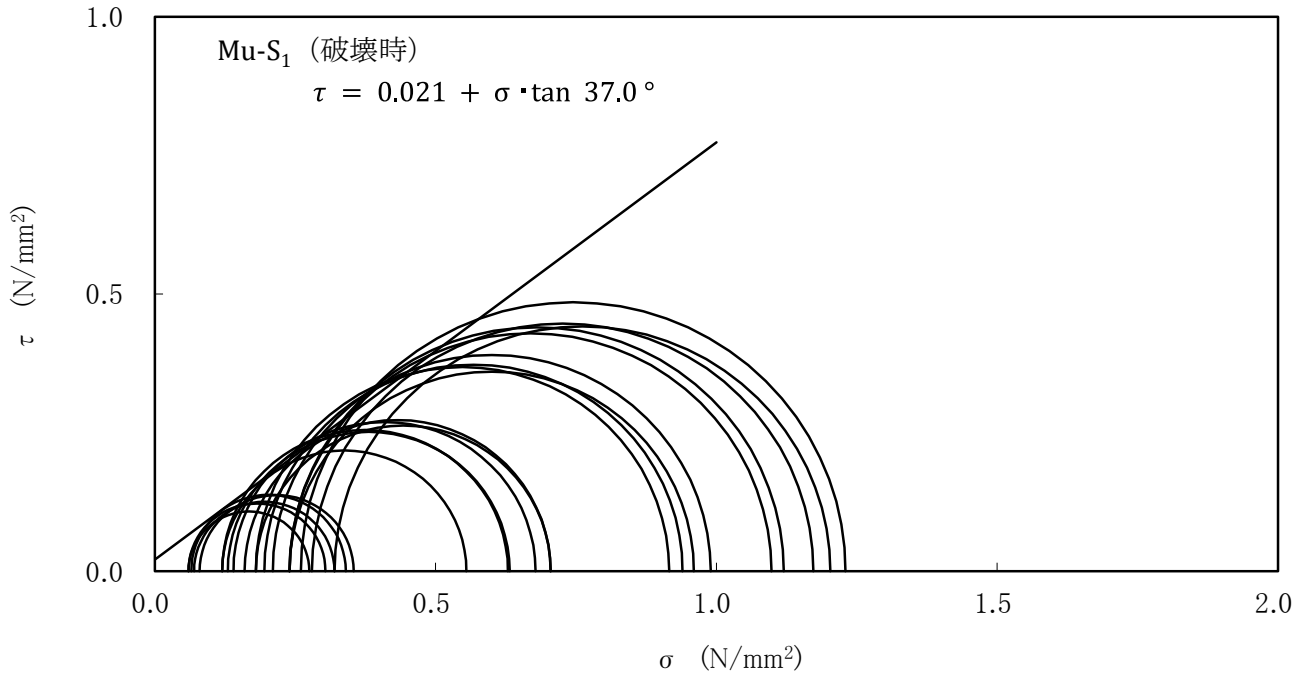
第 3.5.23 図(3) 繰り返し三軸試験結果 (T_g 層)



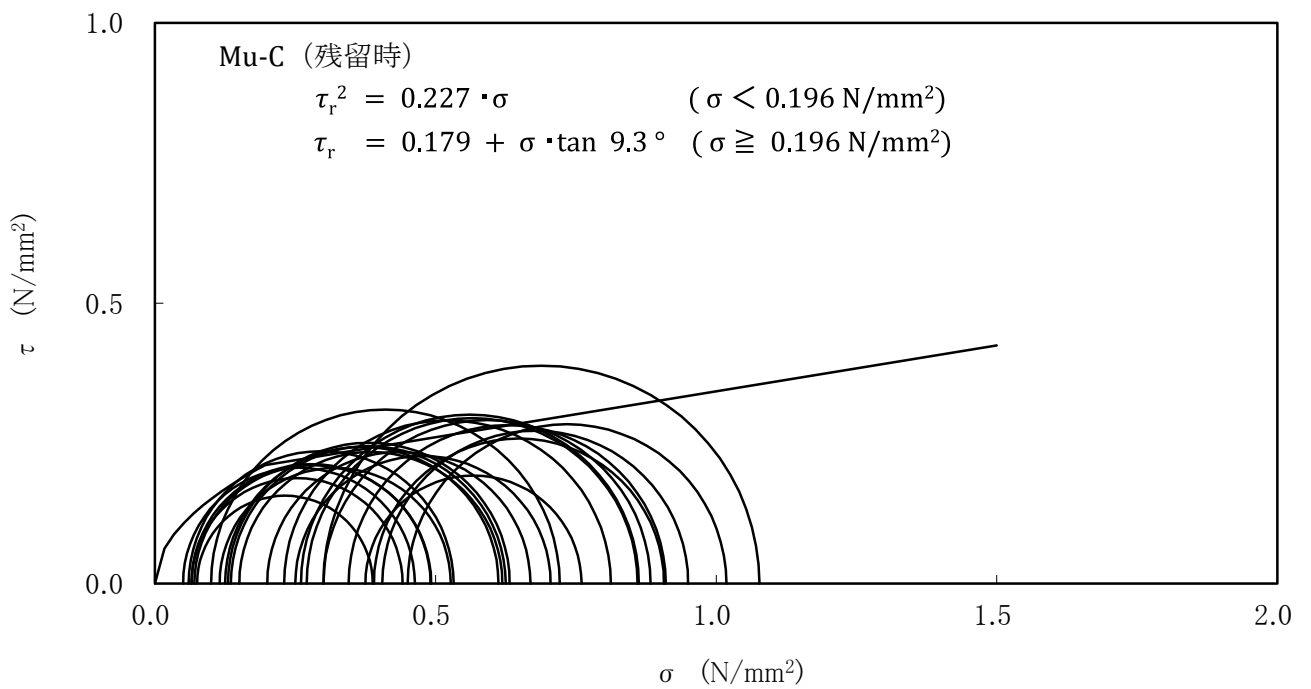
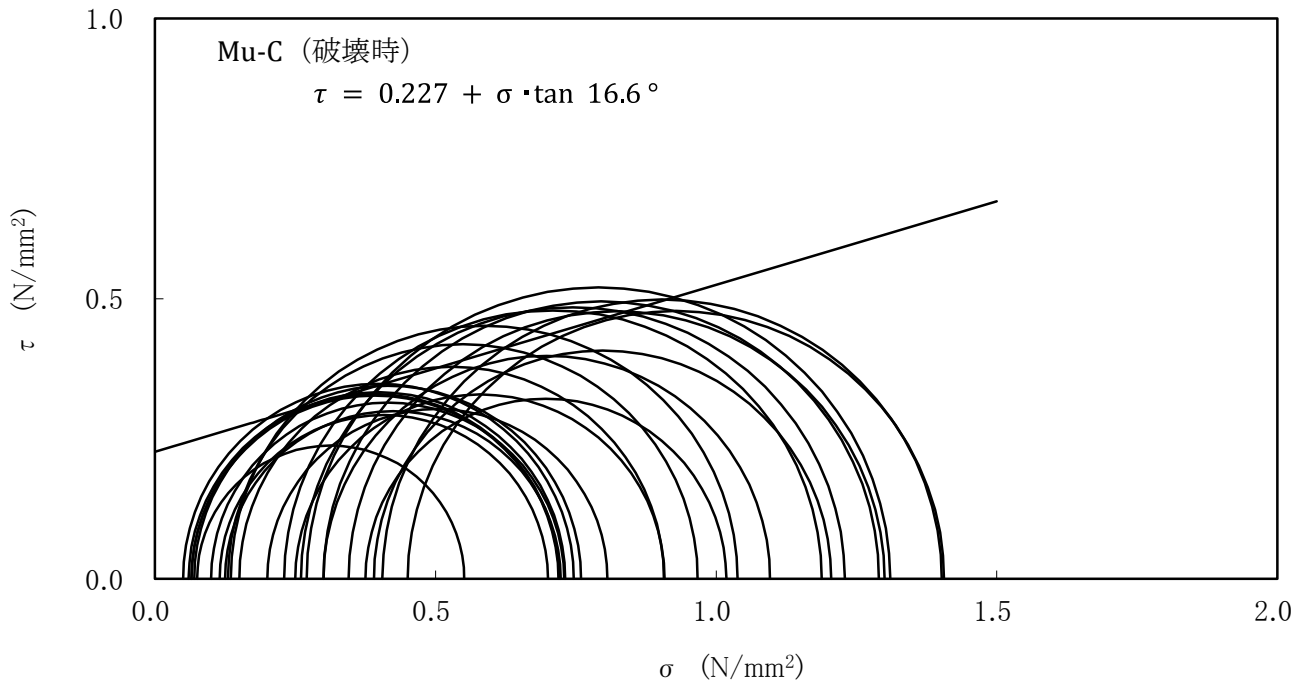
第 3.5.24 図(1) 三軸圧縮試験の破壊応力円 (CD 条件) (埋戻土)



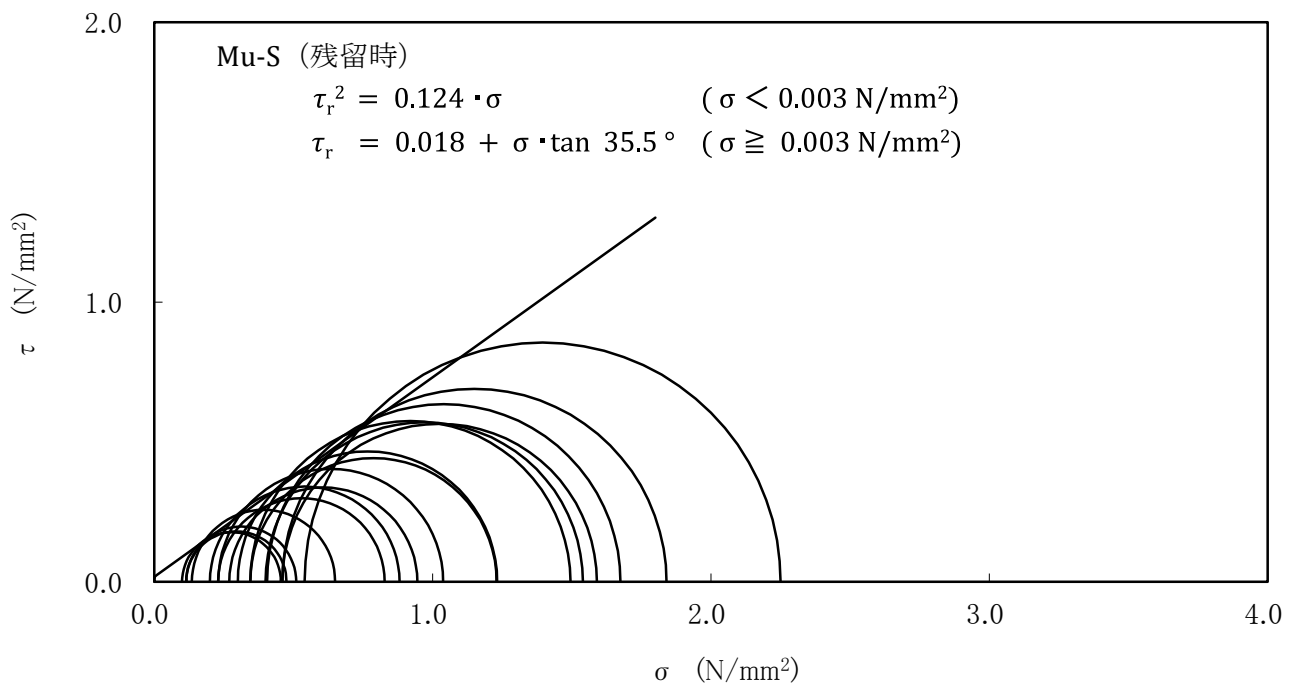
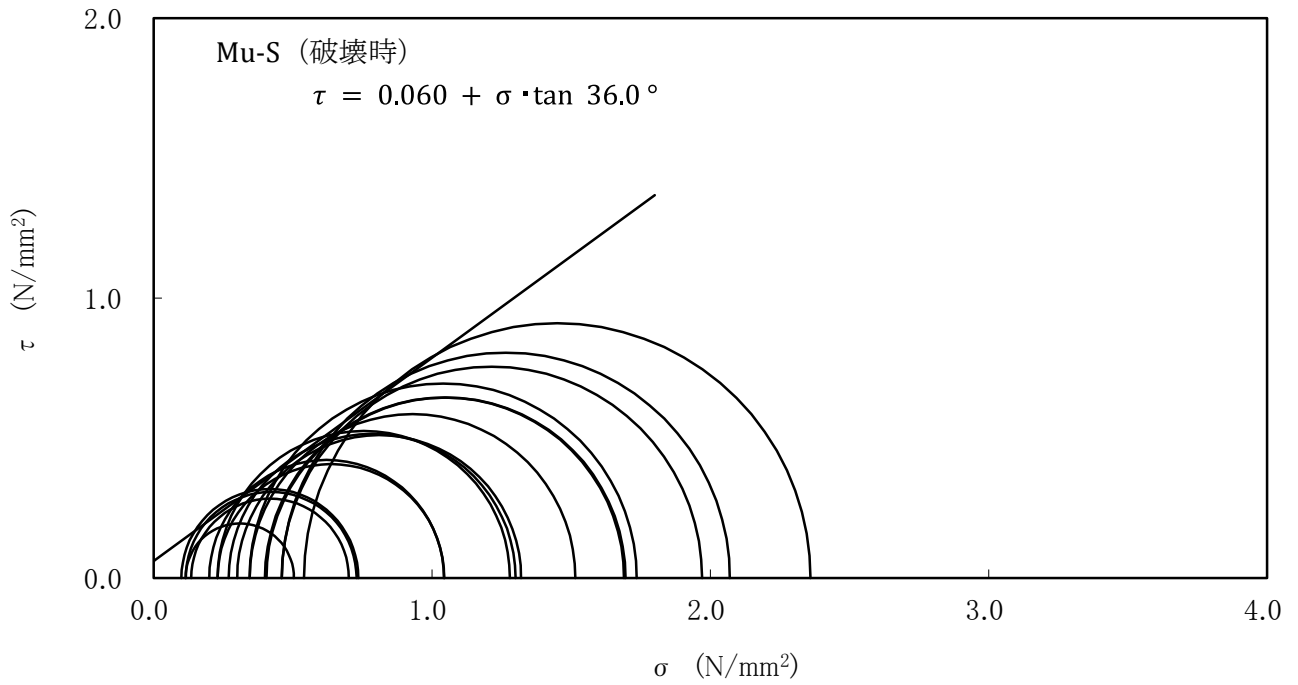
第 3.5.24 図(2) 三軸圧縮試験の破壊応力円 (UU 条件) (Lm 層)



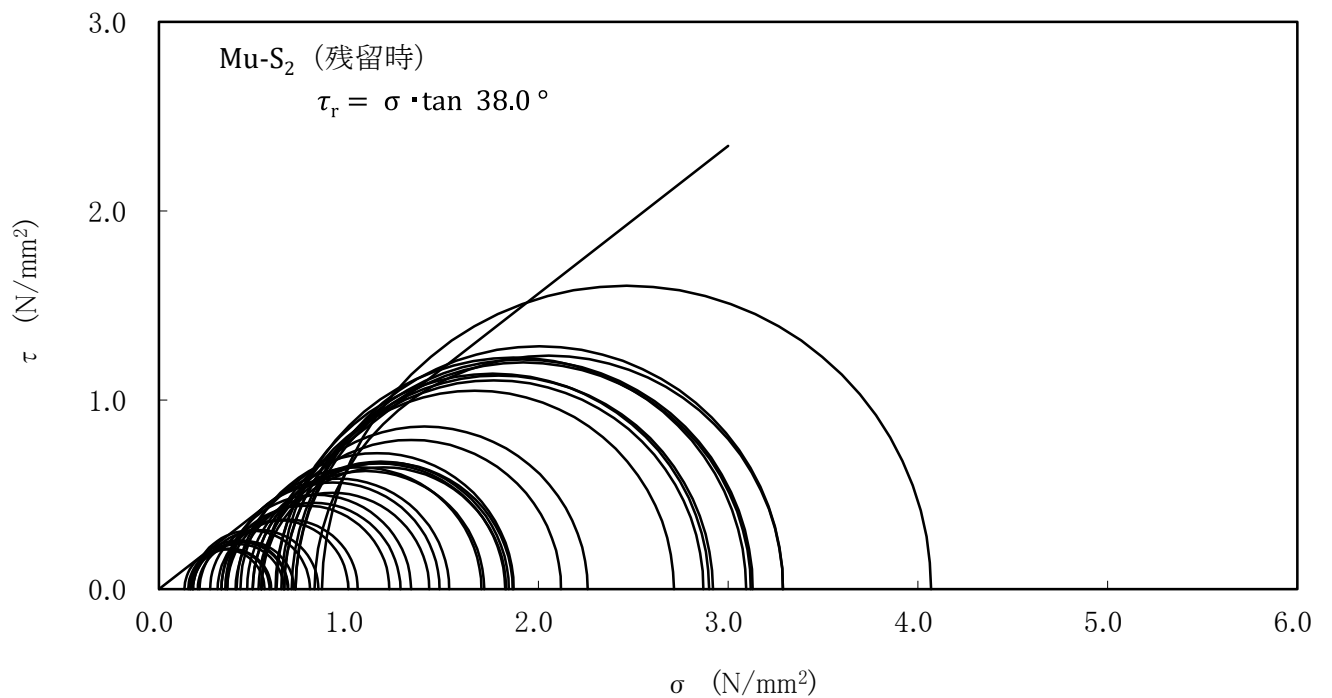
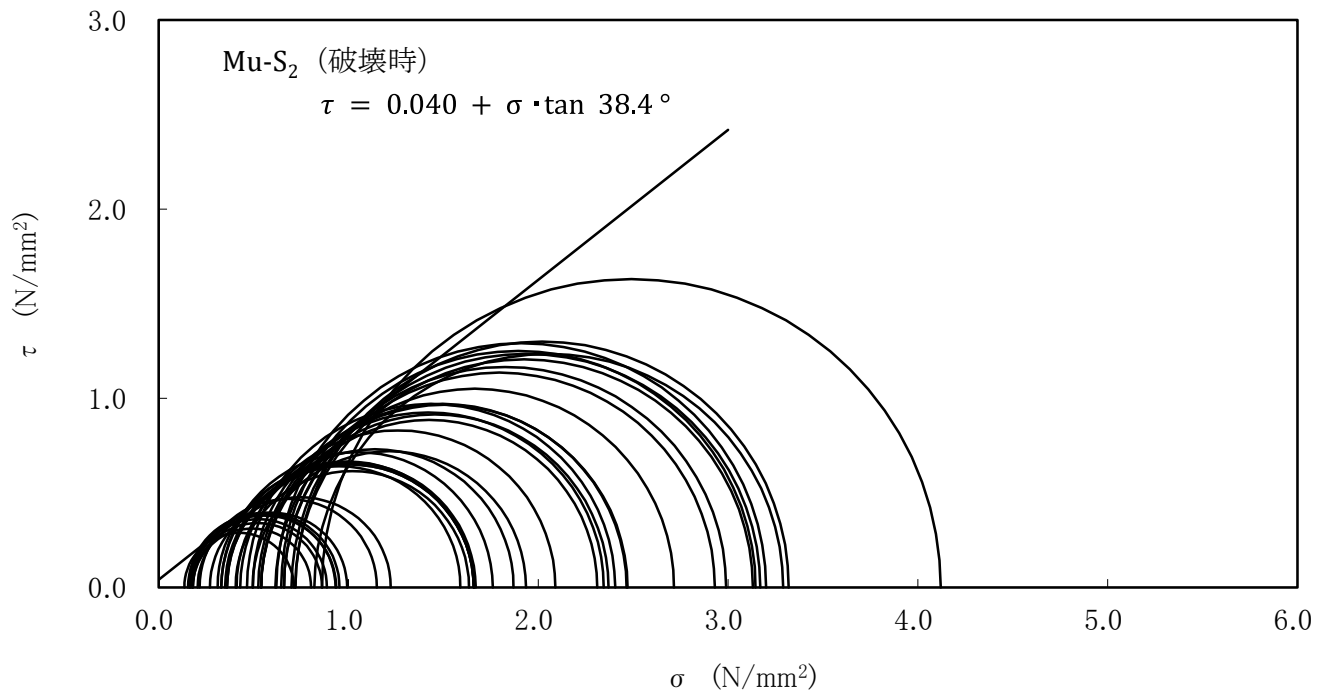
第 3.5.24 図(3) 三軸圧縮試験の破壊応力円 (CD 条件) (Mu-S₁ 層)



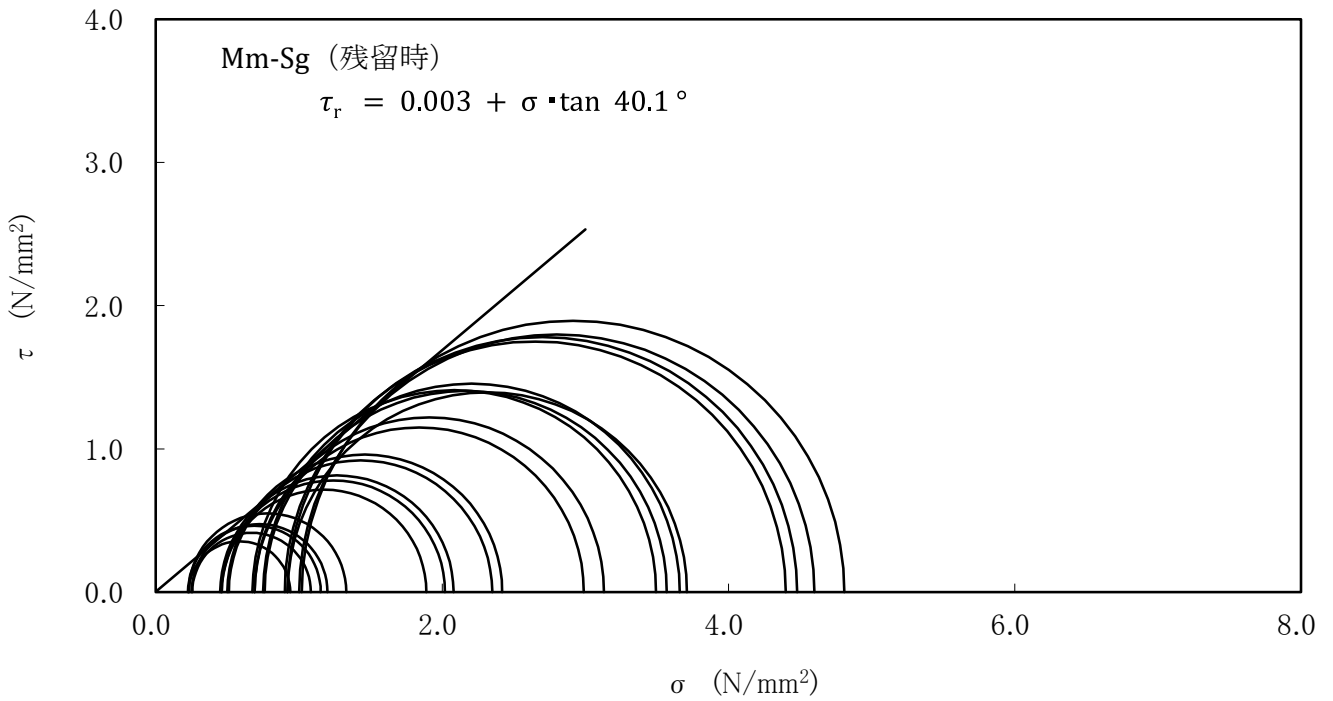
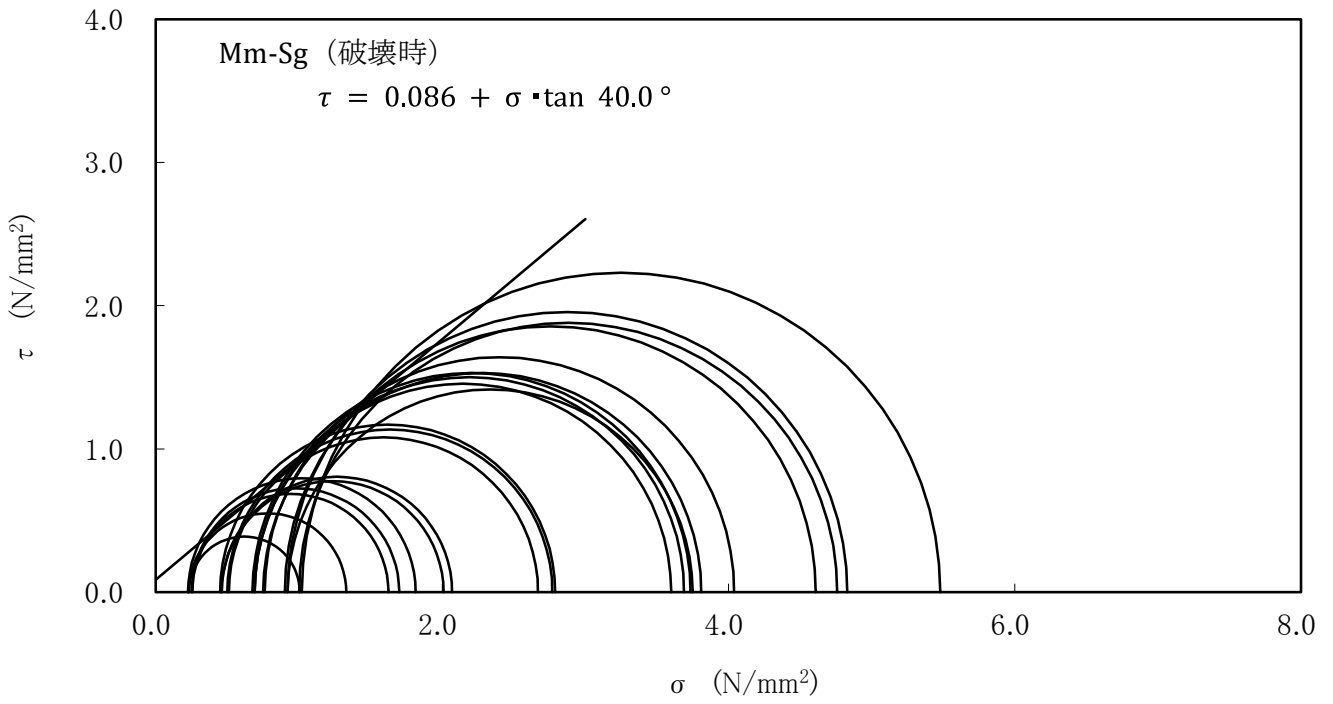
第 3. 5. 24 図(4) 三軸圧縮試験の破壊応力円 (CUU 条件) (Mu-C 層)



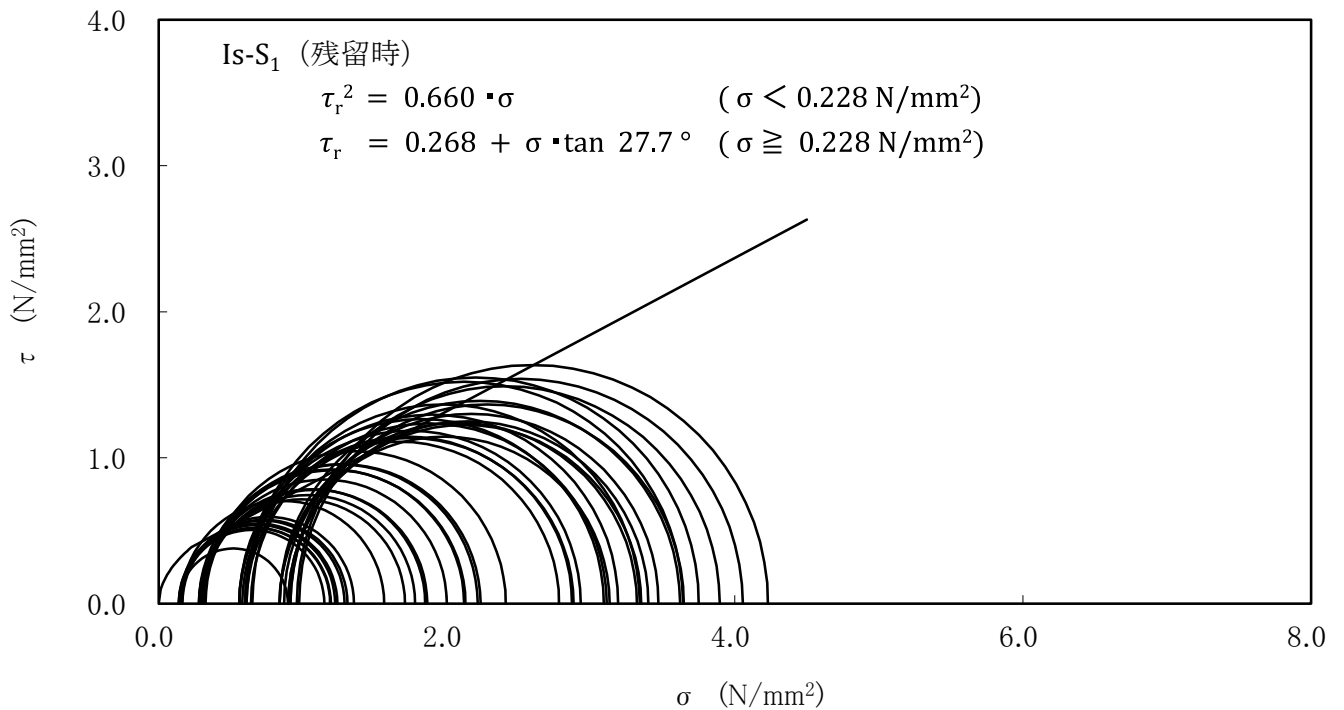
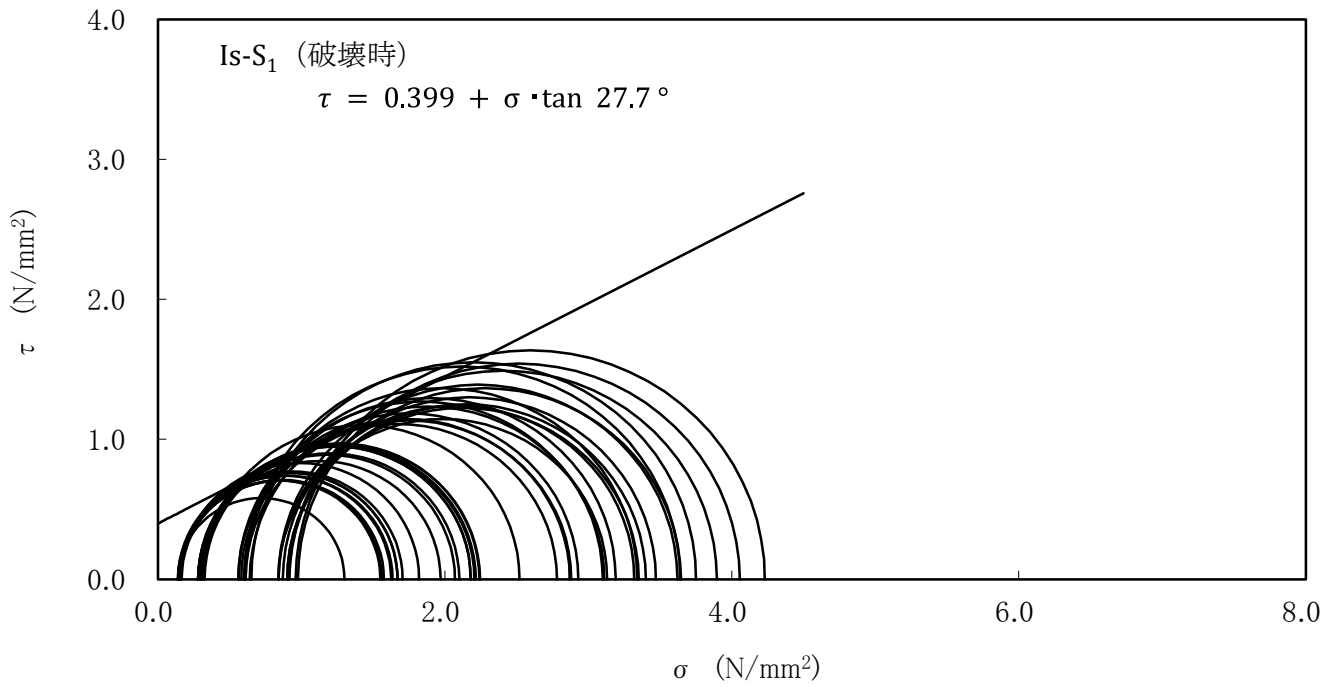
第 3.5.24 図(5) 三軸圧縮試験の破壊応力円 (CD 条件) (Mu-S 層)



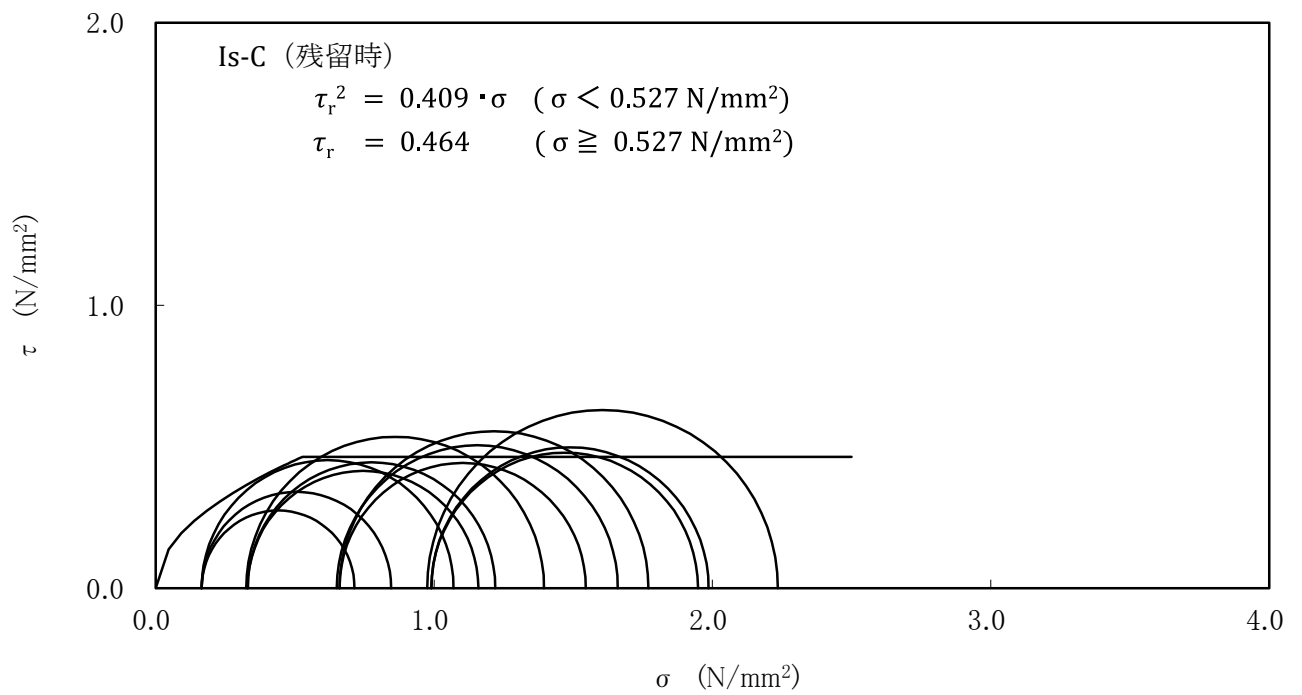
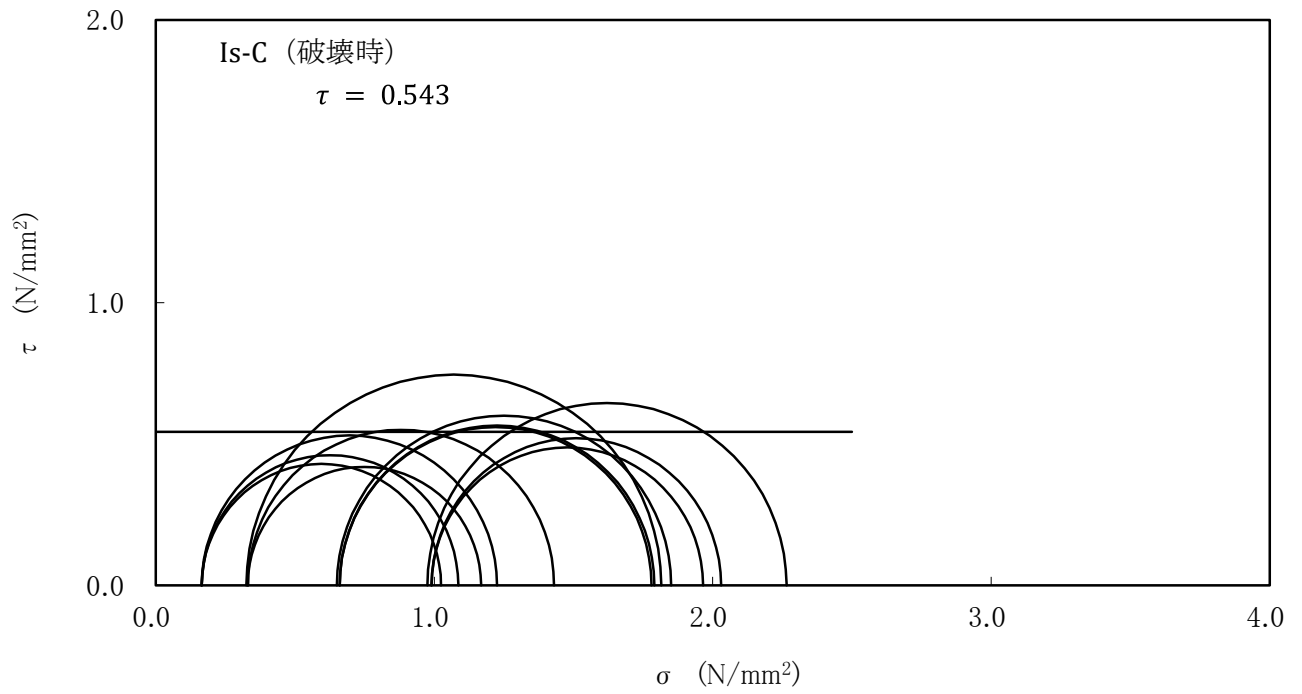
第 3.5.24 図(6) 三軸圧縮試験の破壊応力円 (CD 条件) (Mu-S₂層)



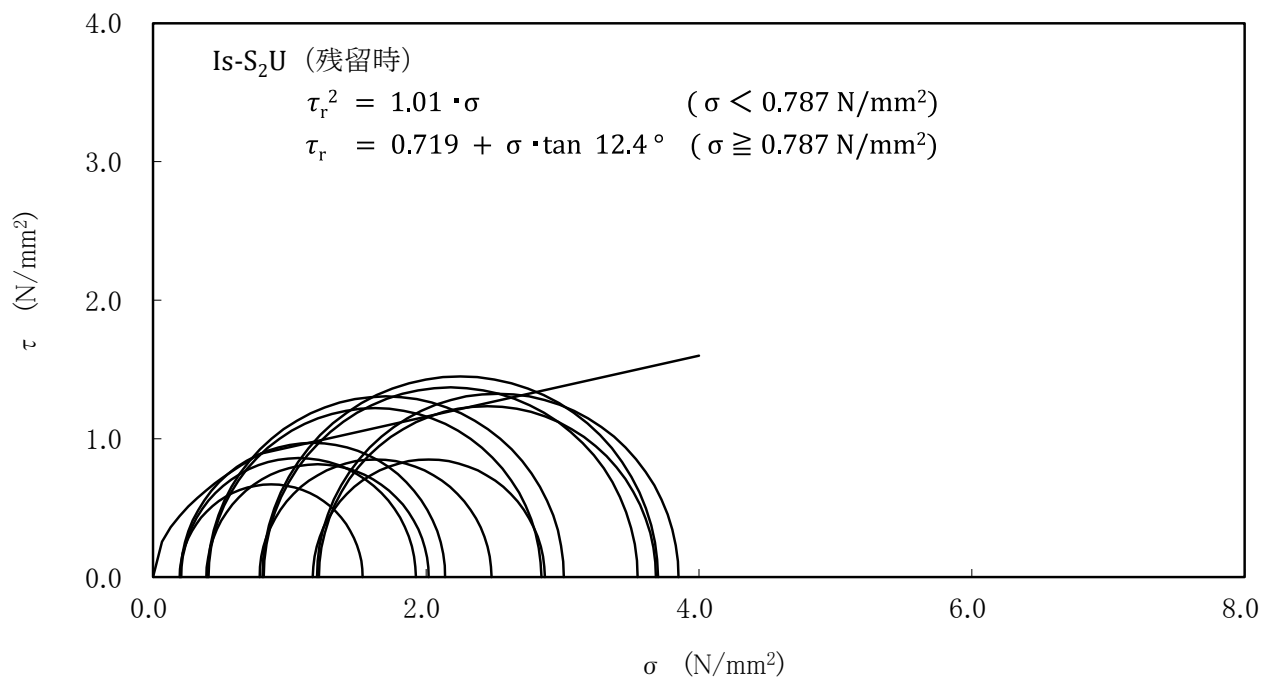
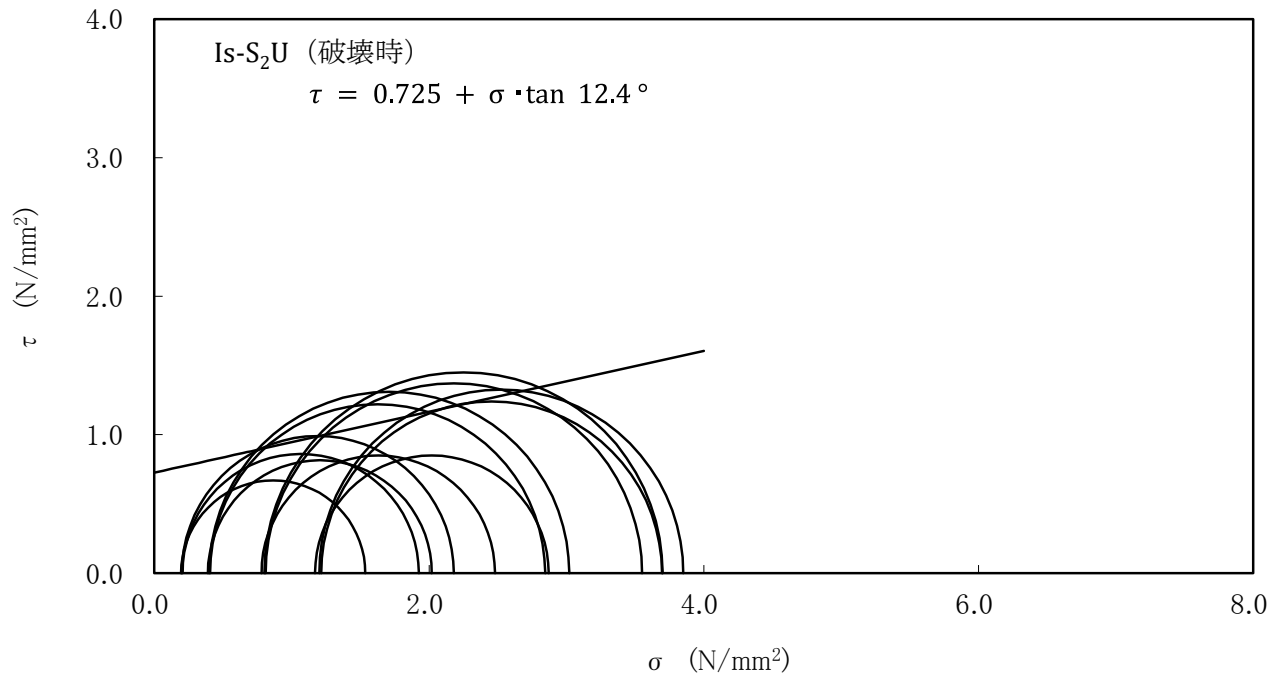
第 3. 5. 24 図(7) 三軸圧縮試験の破壊応力円 (CD 条件) (Mm-Sg 層)



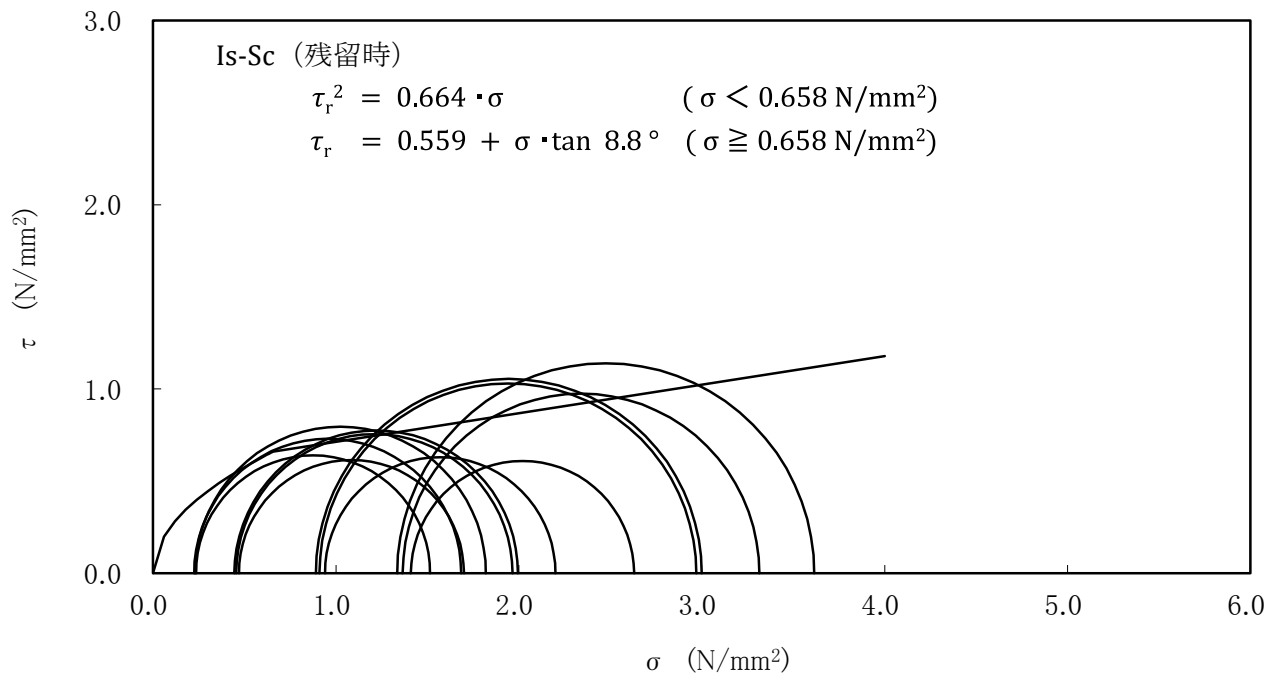
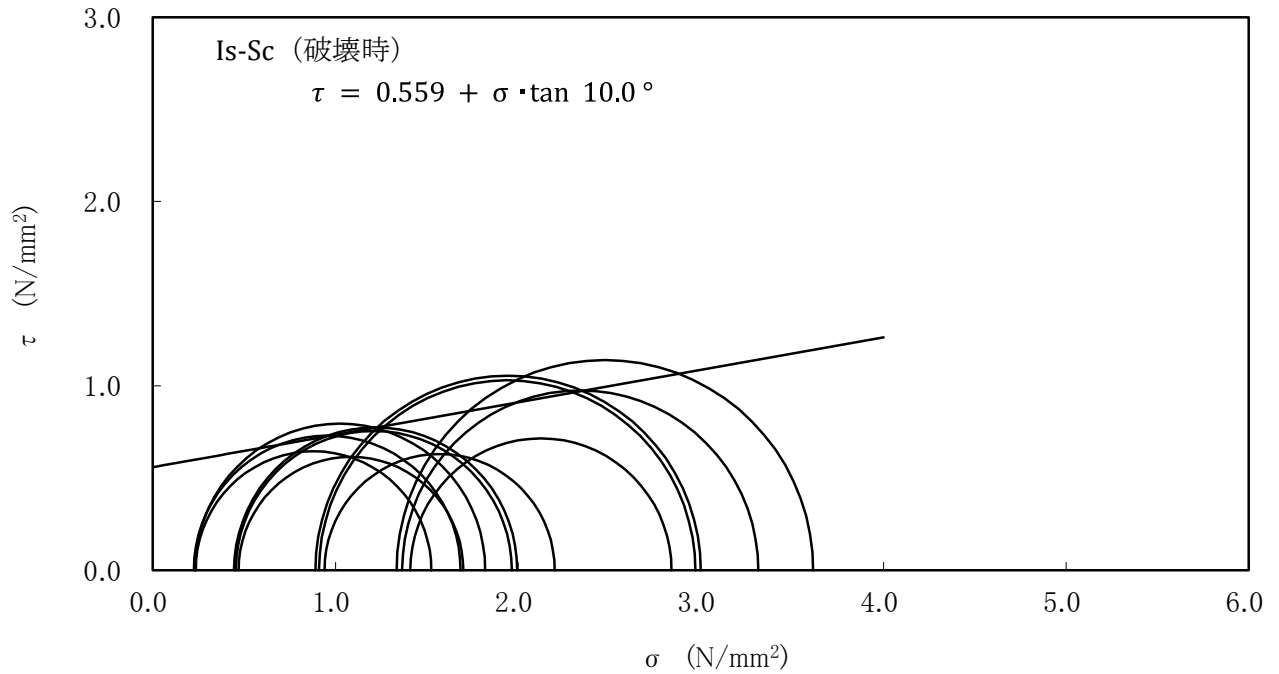
第 3. 5. 24 図(8) 三軸圧縮試験の破壊応力円 (CUU 条件) (Is-S₁ 層)



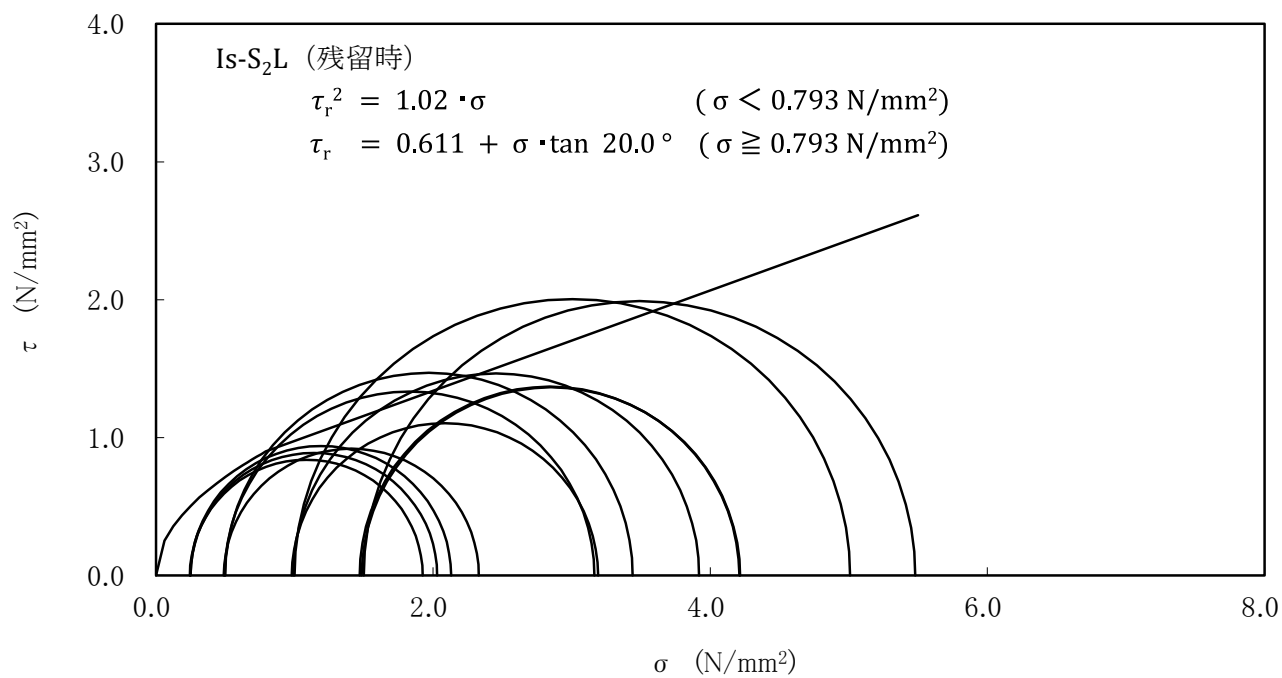
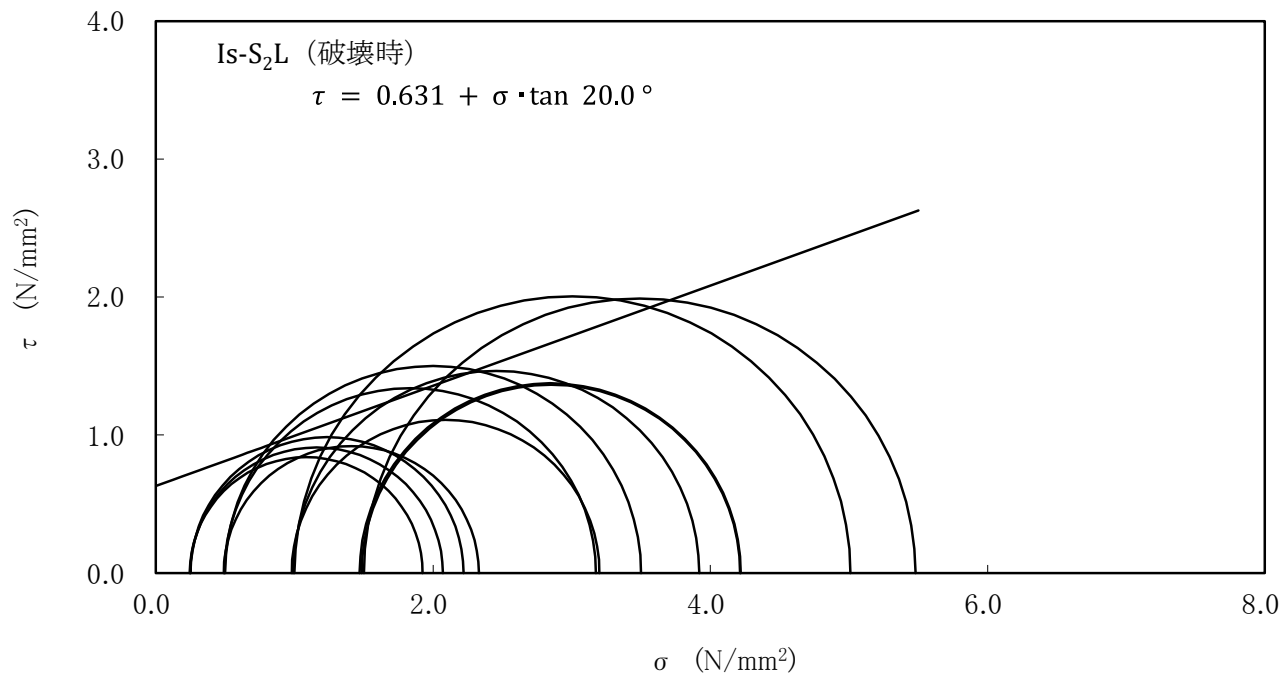
第 3. 5. 24 図(9) 三軸圧縮試験の破壊応力円 (CUU 条件) (Is-C 層)



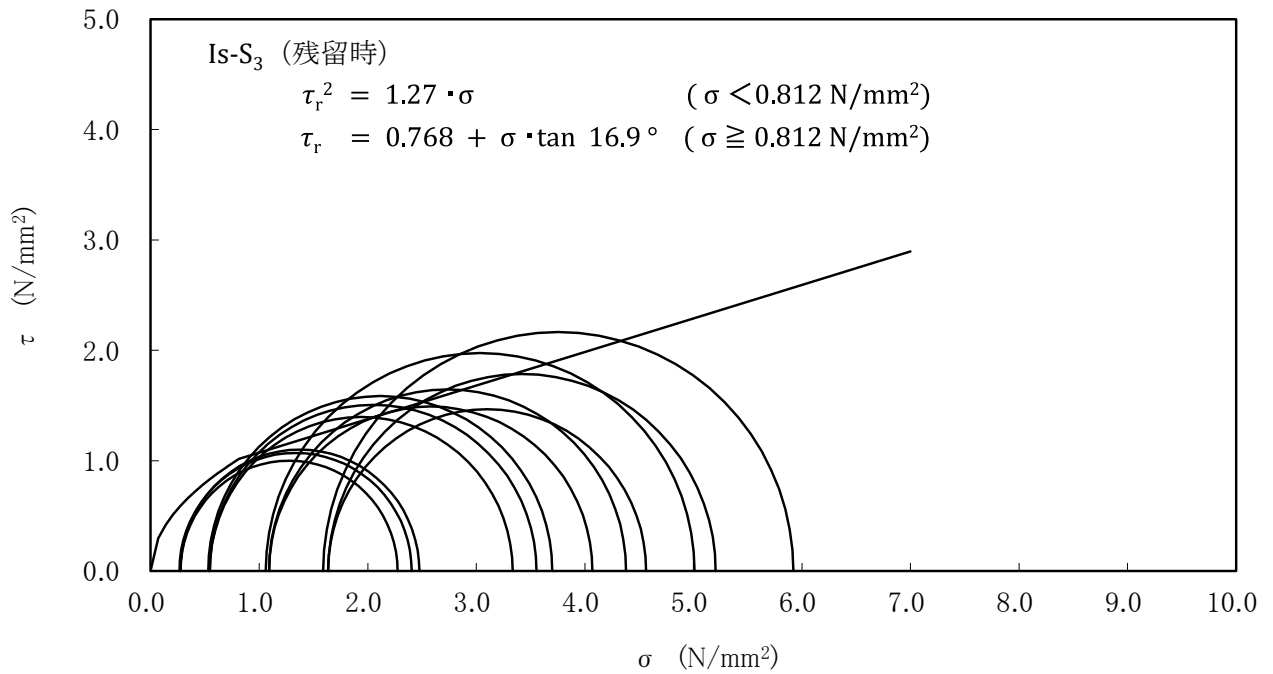
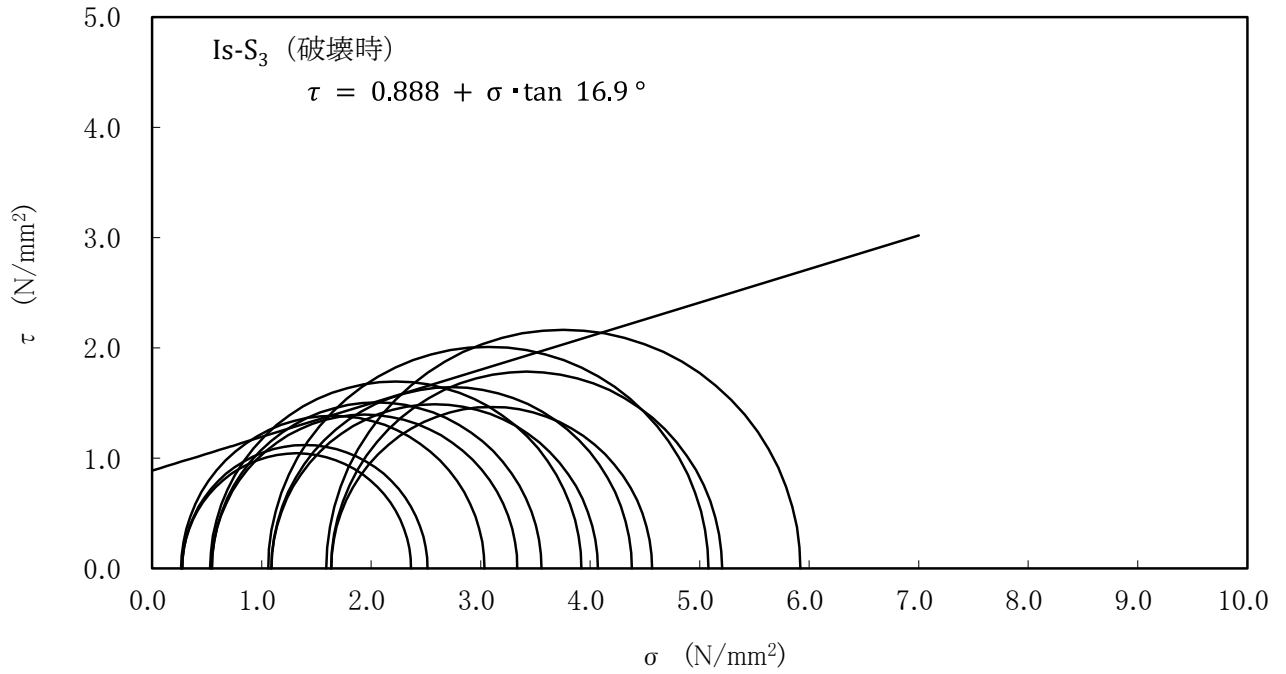
第 3.5.24 図(10) 三軸圧縮試験の破壊応力円 (CUU 条件) (Is-S₂U 層)



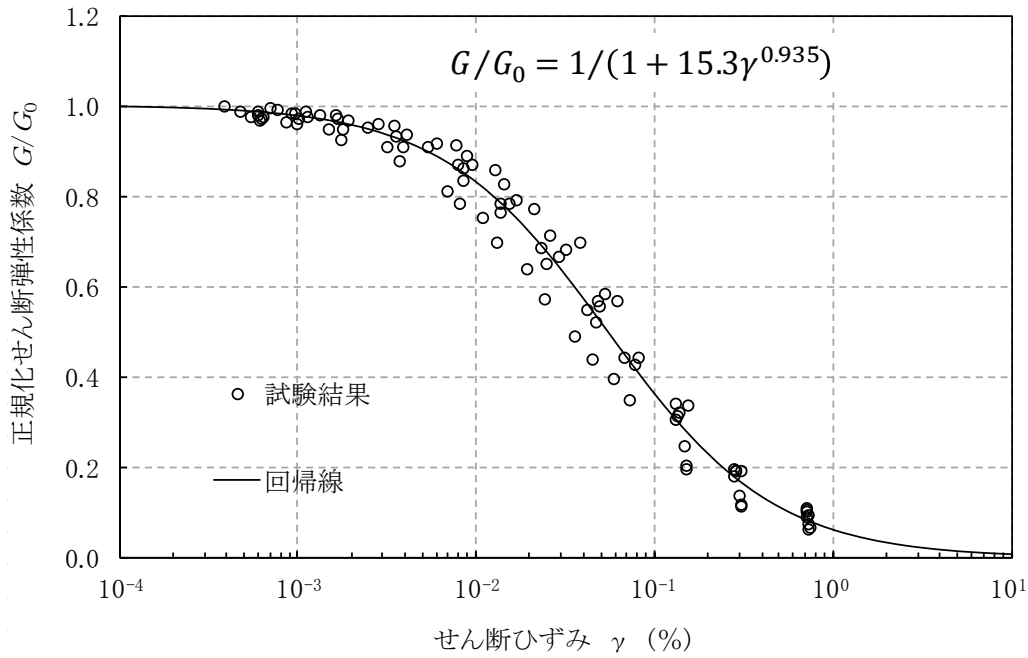
第 3. 5. 24 図(11) 三軸圧縮試験の破壊応力円 (CUU 条件) (Is-Sc 層)



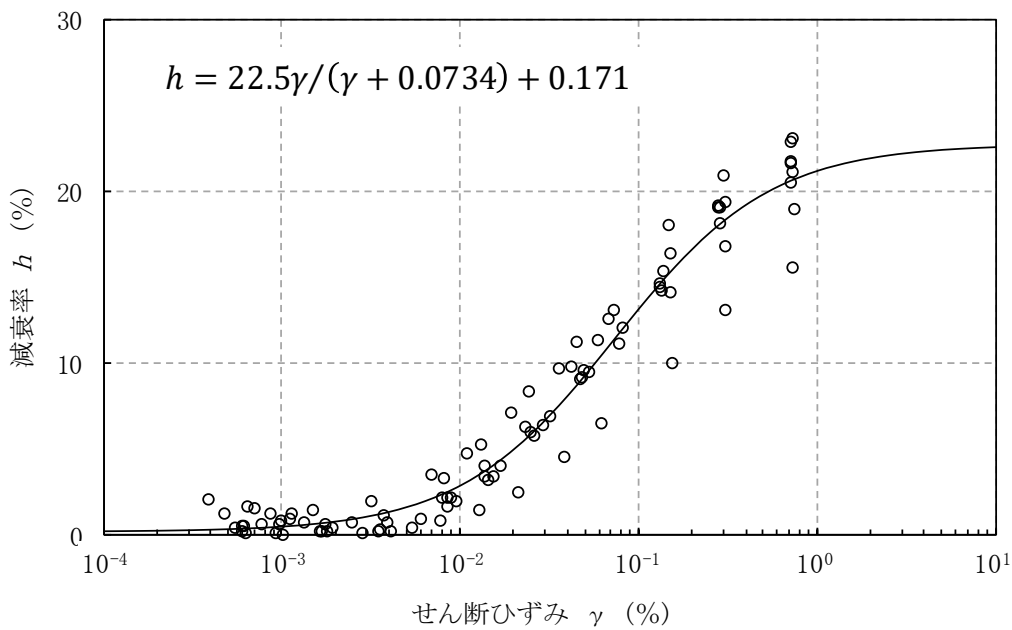
第 3.5.24 図(12) 三軸圧縮試験の破壊応力円 (CUU 条件) (Is-S₂L 層)



第 3.5.24 図(13) 三軸圧縮試験の破壊応力円 (CUU 条件) (Is-S₃層)

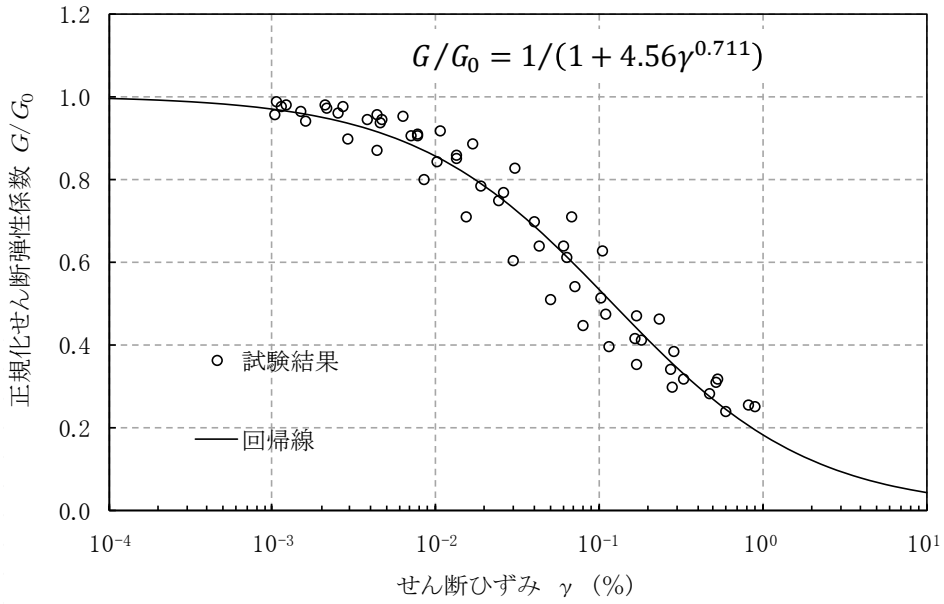


(a) 動的変形特性

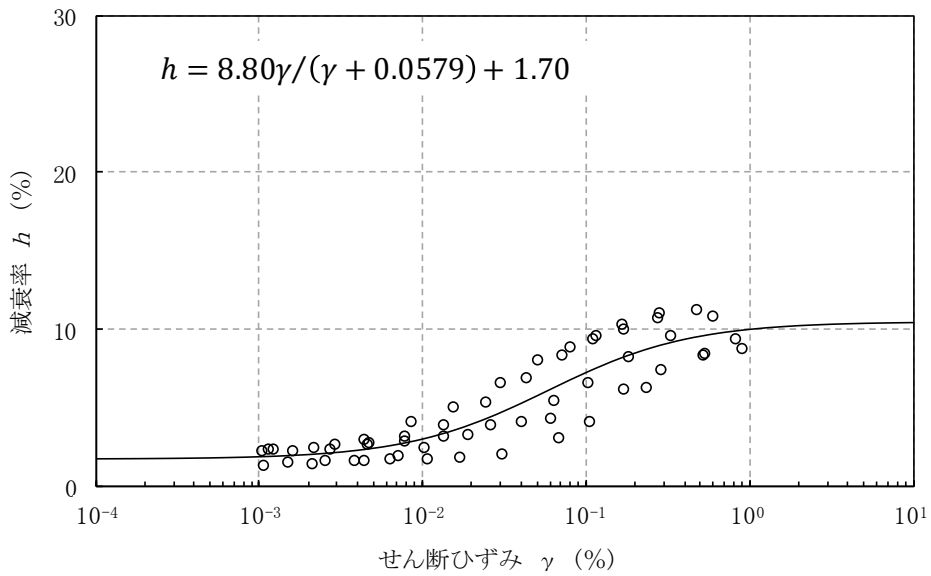


(b) 減衰特性

第 3.5.25 図(1) 動的変形試験結果 (埋戻土)

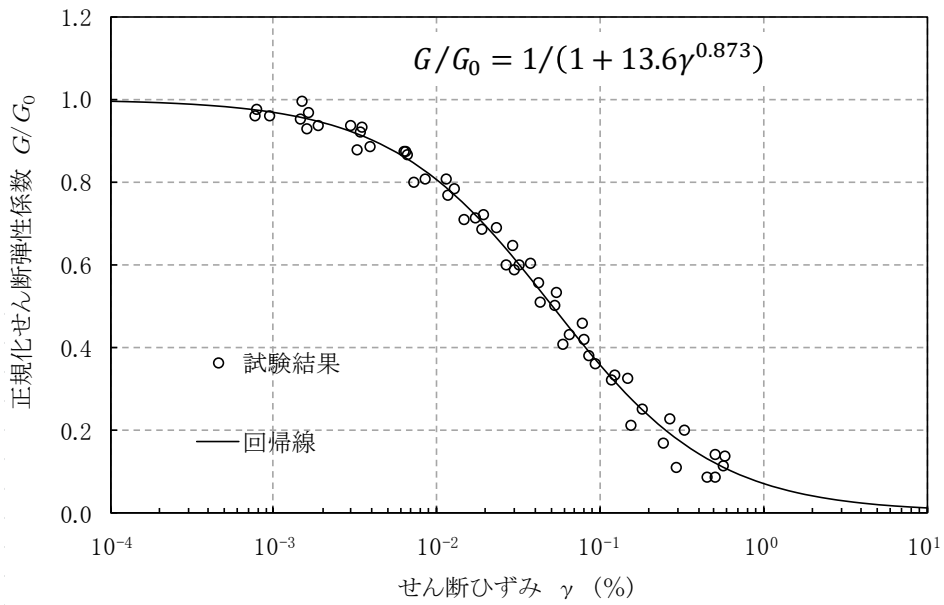


(a) 動の変形特性

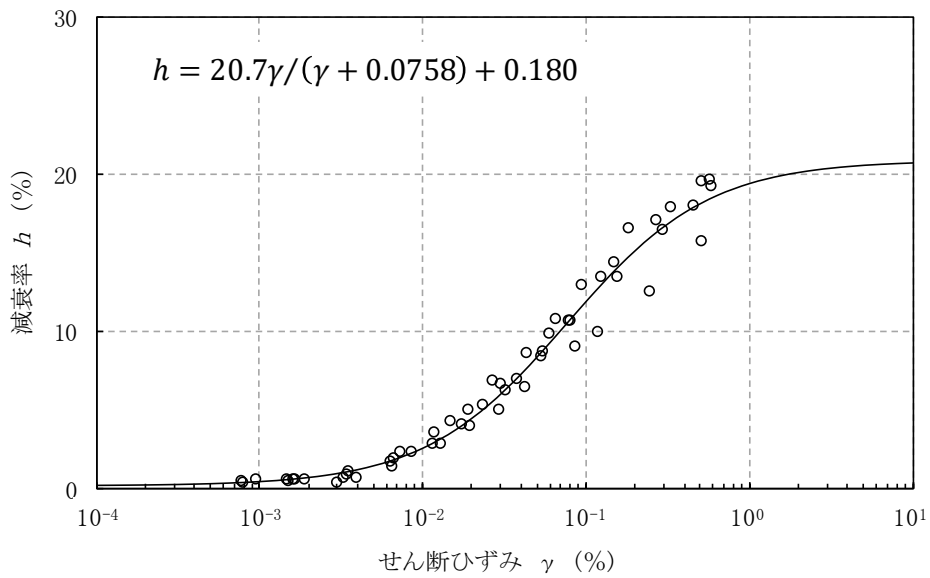


(b) 減衰特性

第 3.5.25 図(2) 動の変形試験結果 (Lm 層)

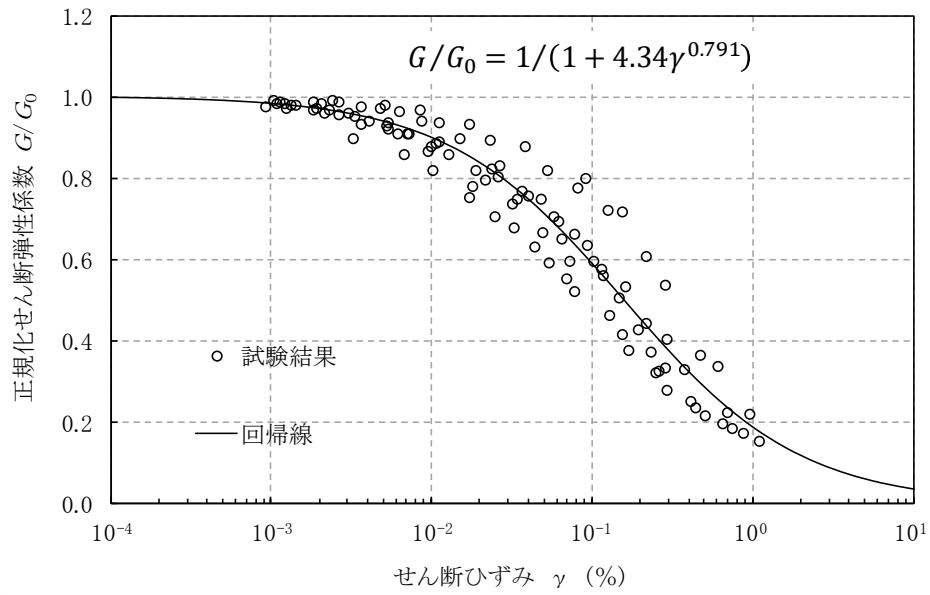


(a) 動的変形特性

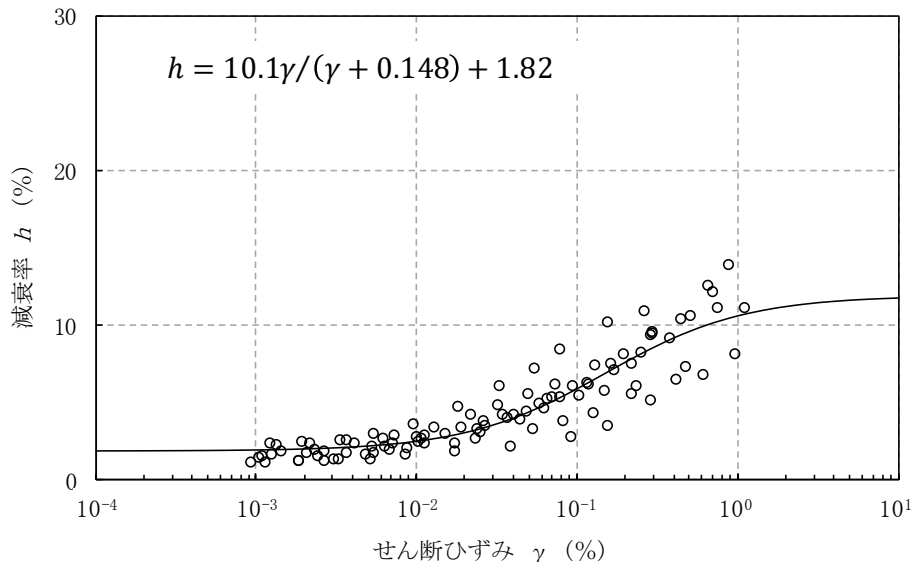


(b) 減衰特性

第 3. 5. 25 図(3) 動的変形試験結果 (Mu-S₁層)

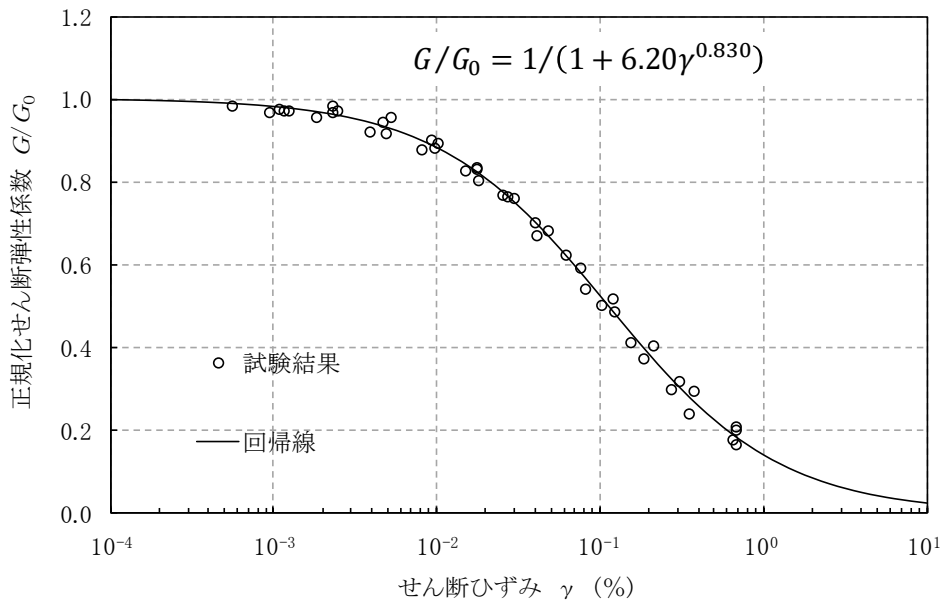


(a) 動の変形特性

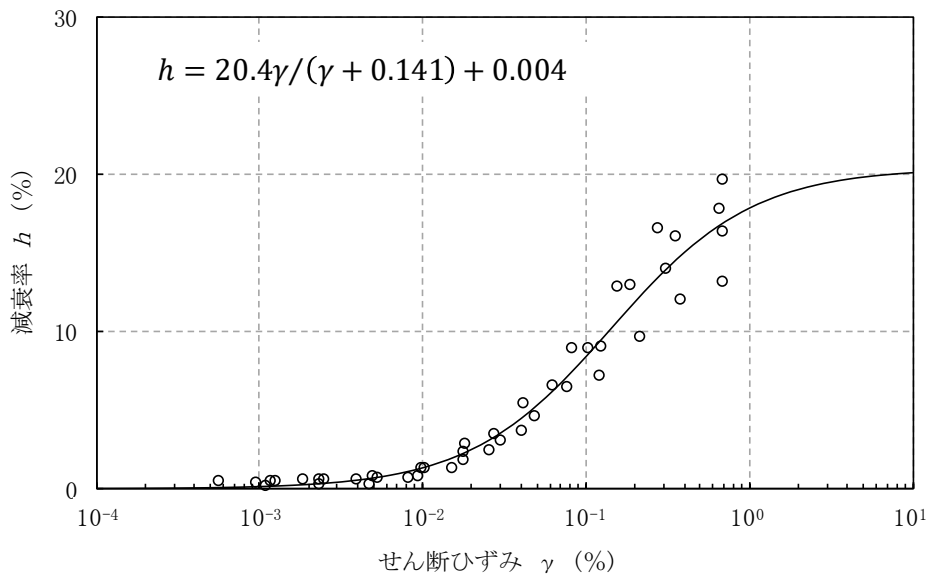


(b) 減衰特性

第 3.5.25 図(4) 動の変形試験結果 (Mu-C 層)

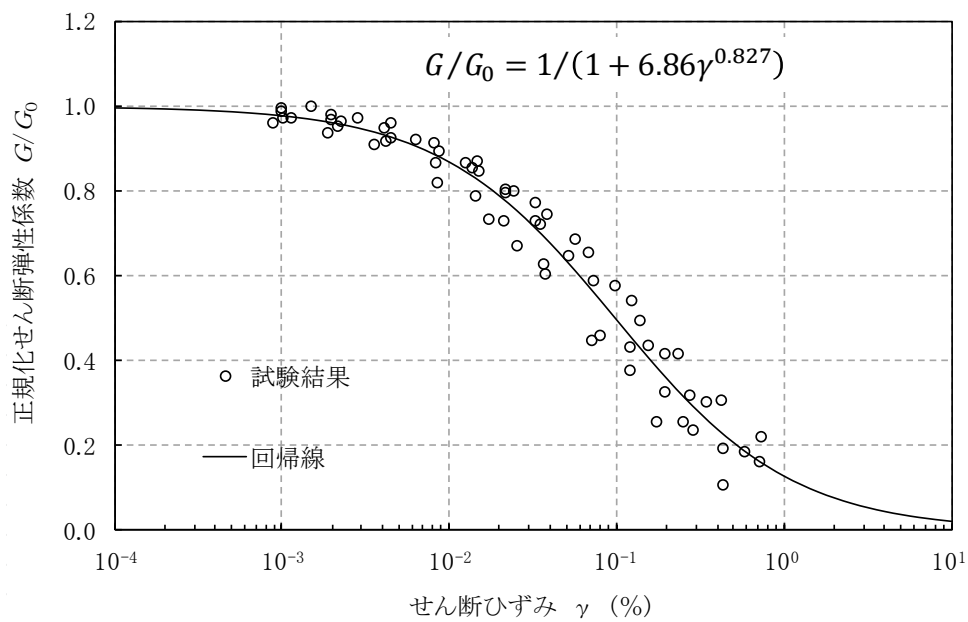


(a) 動の変形特性

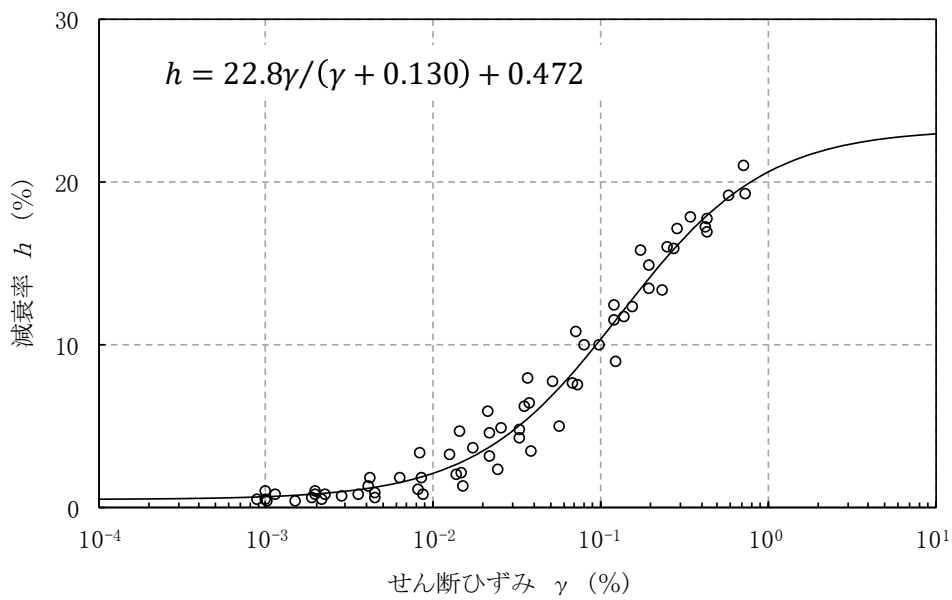


(b) 減衰特性

第 3.5.25 図(5) 動の変形試験結果 (Mu-S 層)

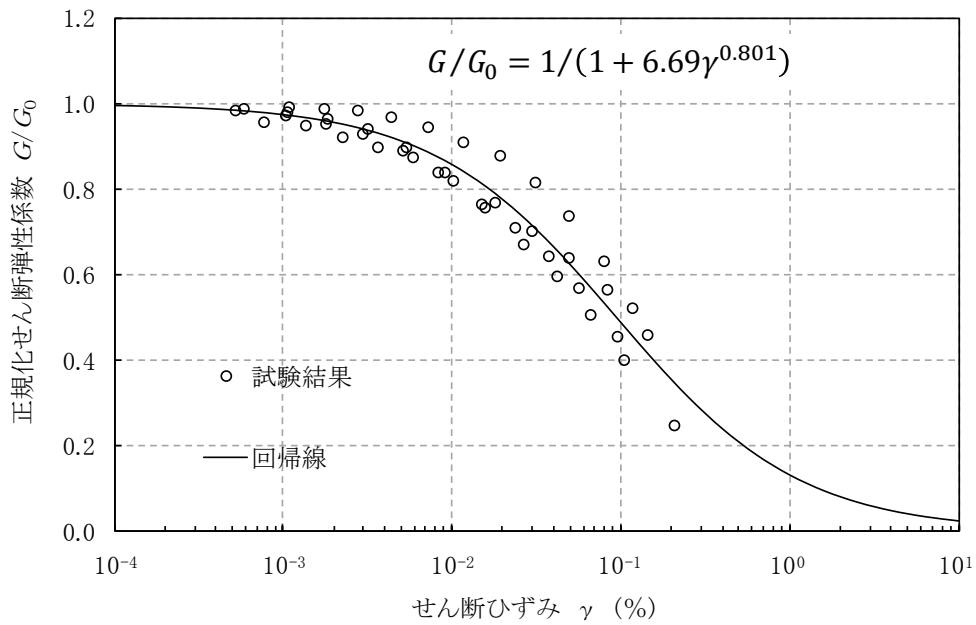


(a) 動的変形特性

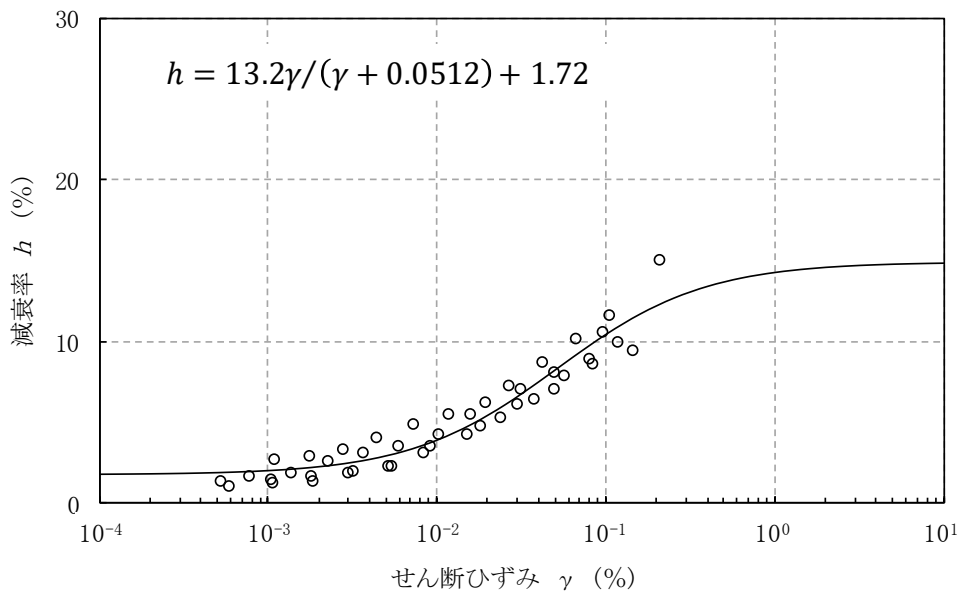


(b) 減衰特性

第 3. 5. 25 図(6) 動的変形試験結果 (Mu-S₂層)

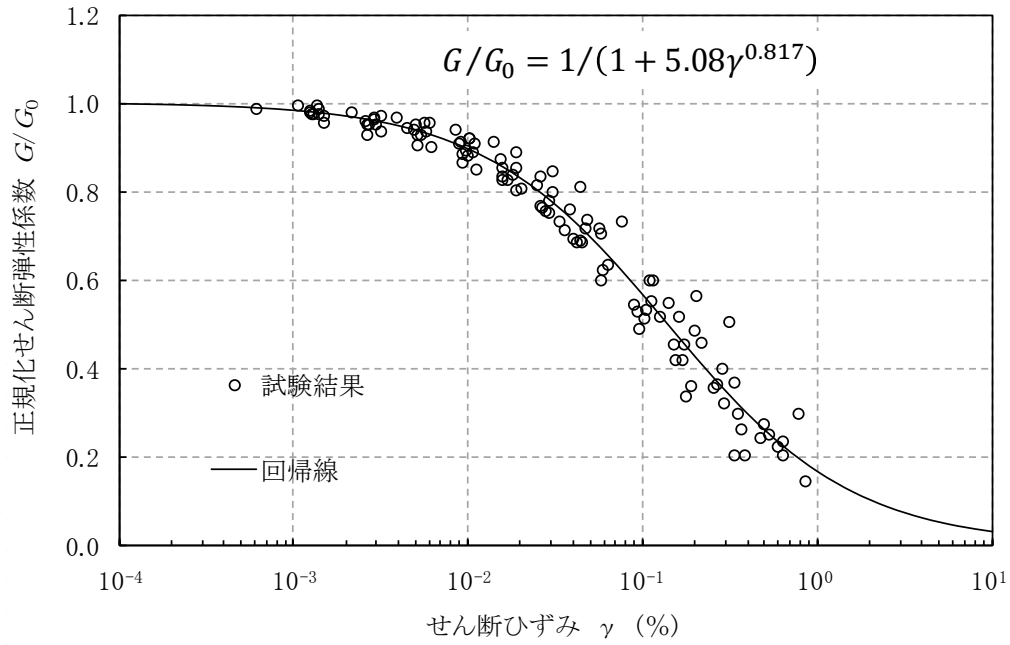


(a) 動的変形特性

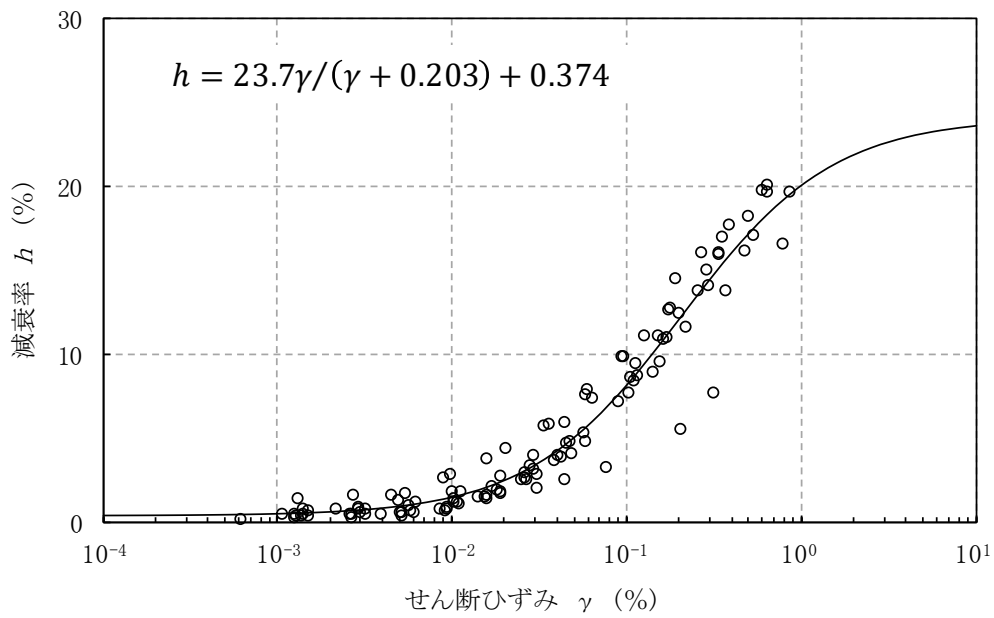


(b) 減衰特性

第 3.5.25 図(7) 動的変形試験結果 (Mm-Sg 層)

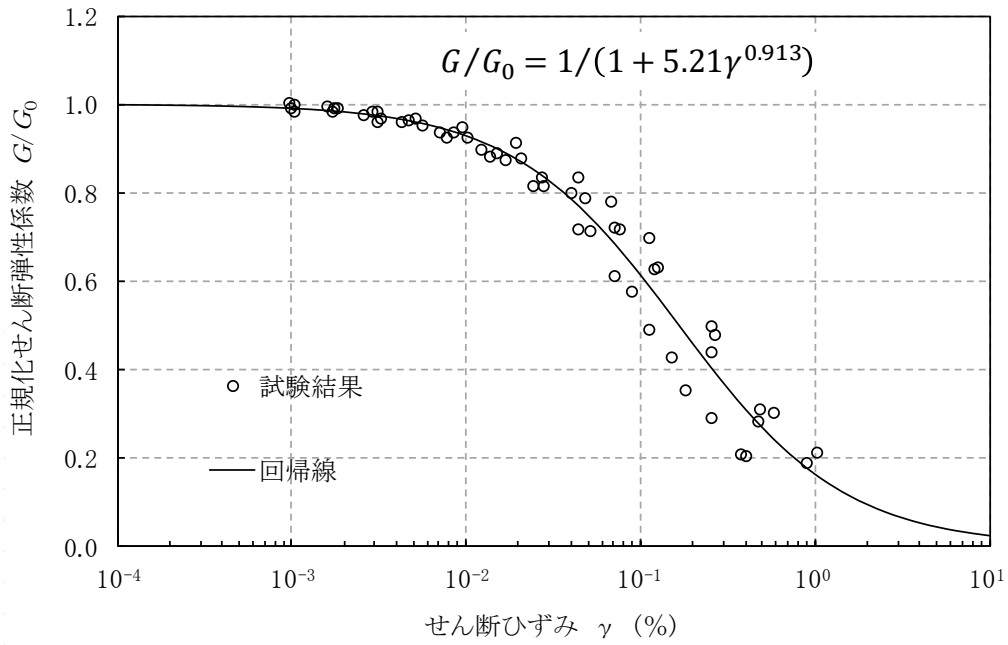


(a) 動的変形特性

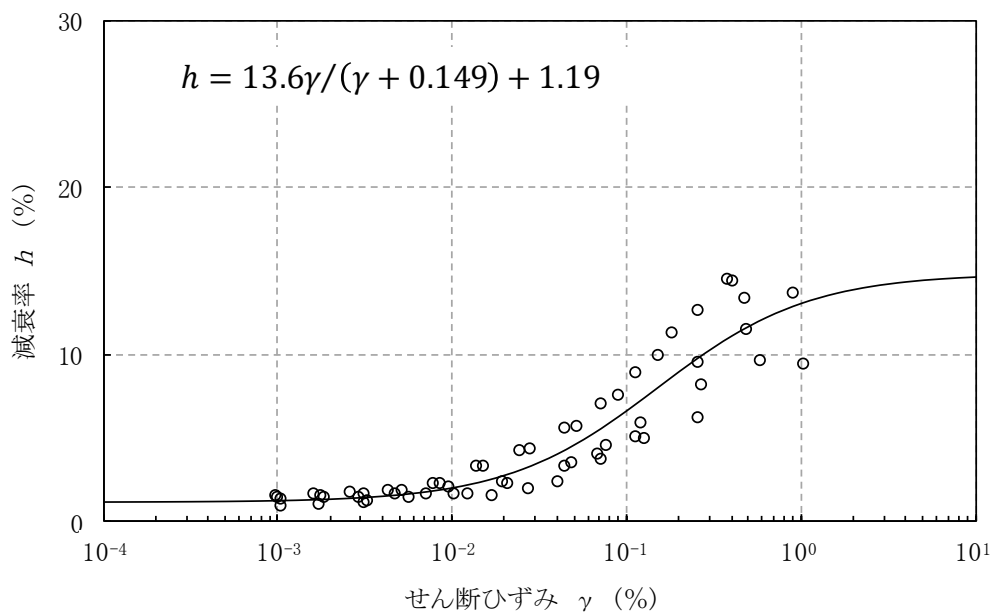


(b) 減衰特性

第 3.5.25 図(8) 動的変形試験結果 (Is-S₁層)

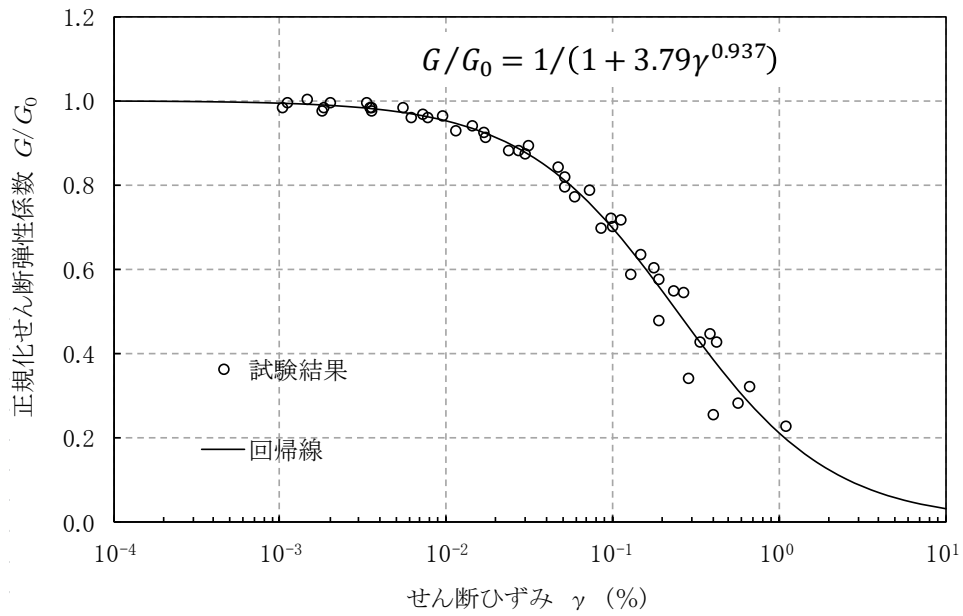


(a) 動の変形特性

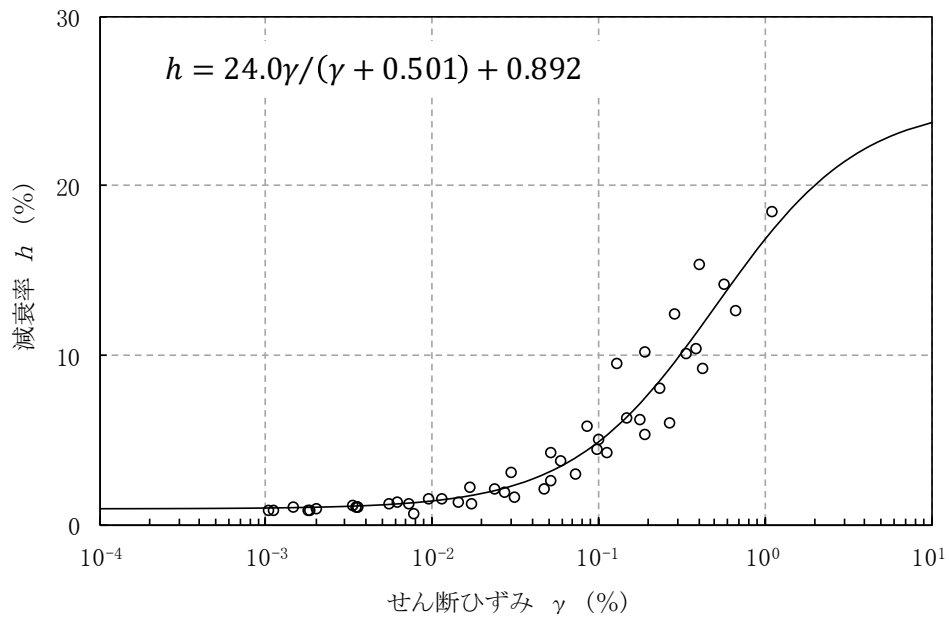


(b) 減衰特性

第 3.5.25 図(9) 動の変形試験結果 (Is-C 層)

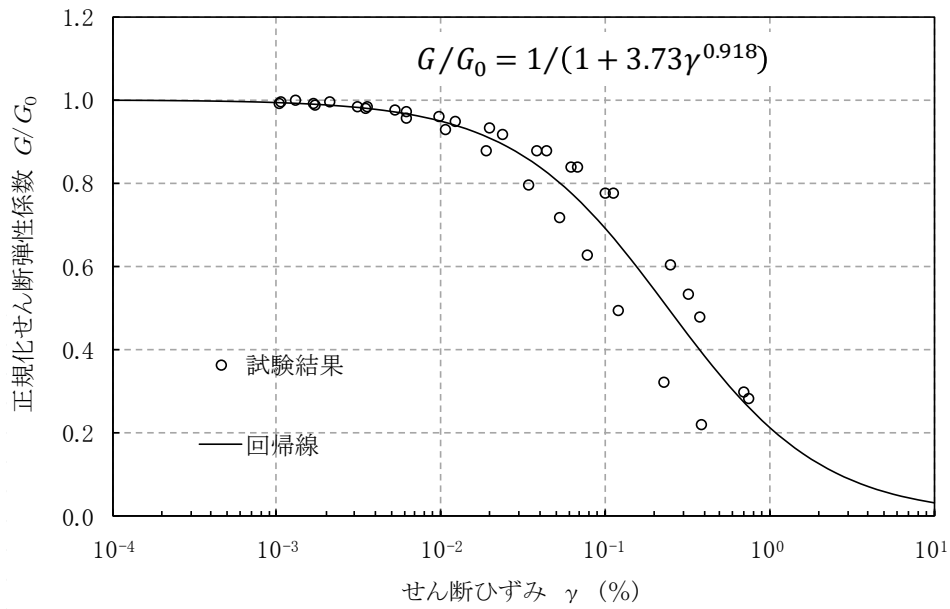


(a) 動の変形特性

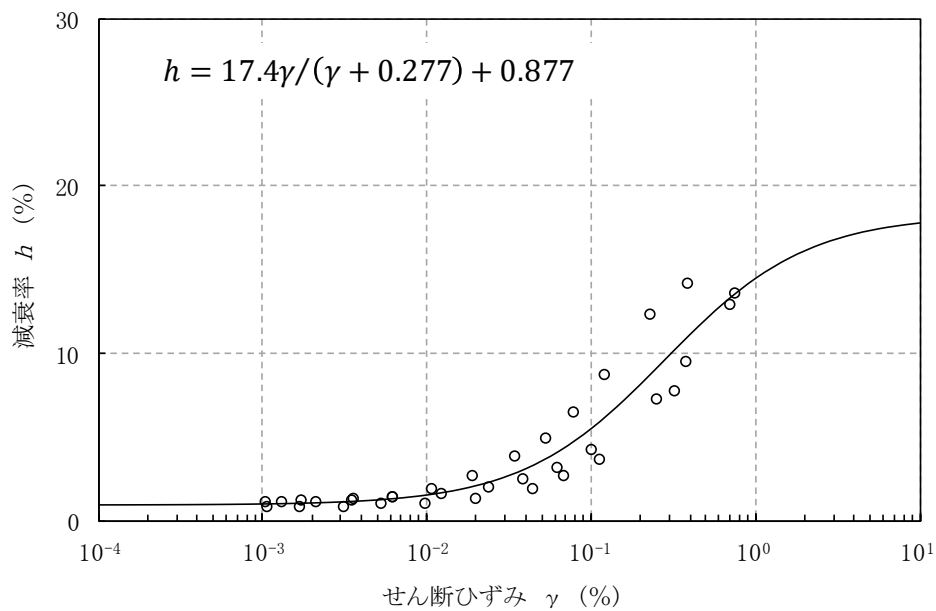


(b) 減衰特性

第 3.5.25 図(10) 動の変形試験結果 (Is-S₂U 層)

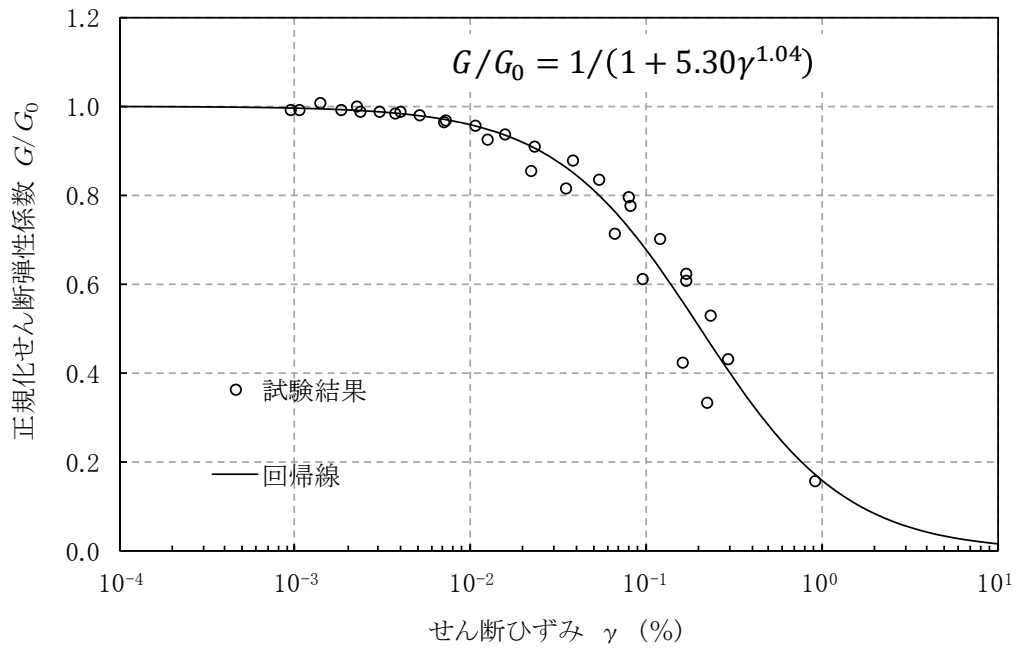


(a) 動的変形特性

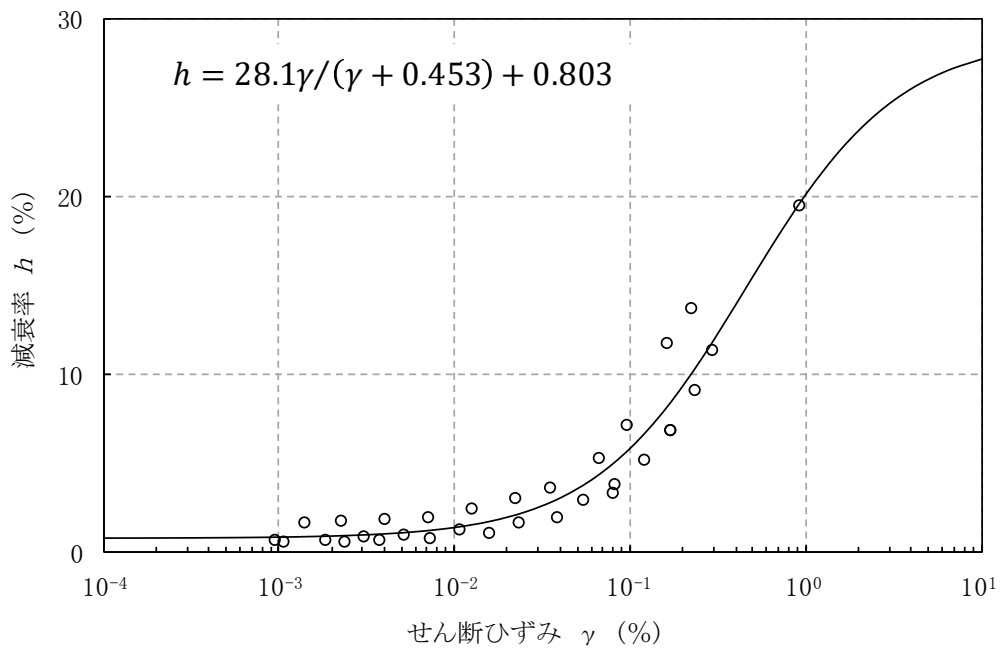


(b) 減衰特性

第 3.5.25 図(11) 動的変形試験結果 (Is-Sc 層)

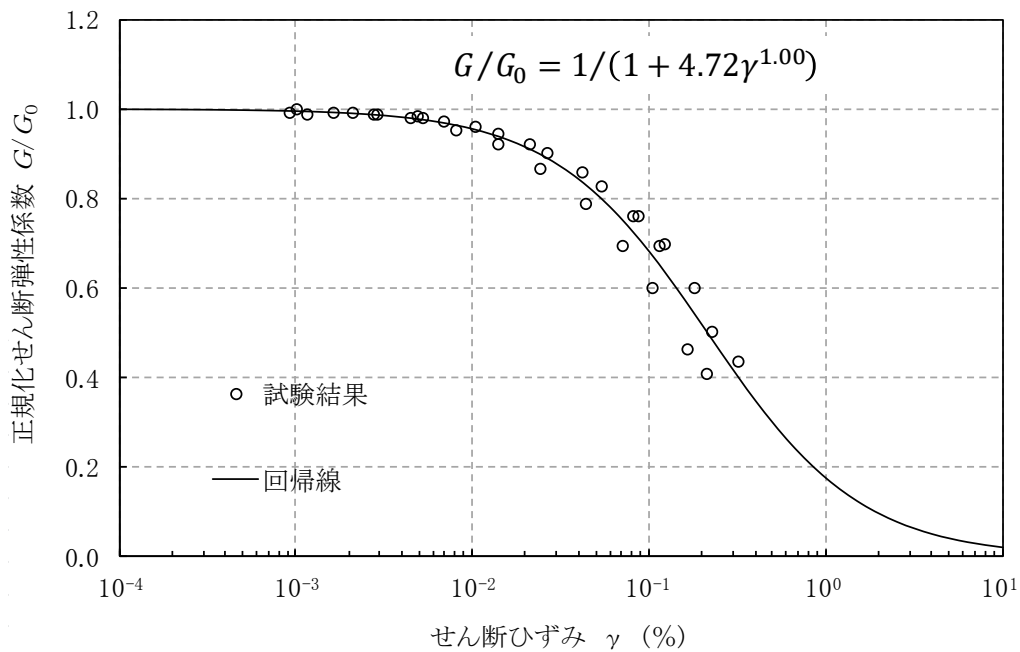


(a) 動的変形特性

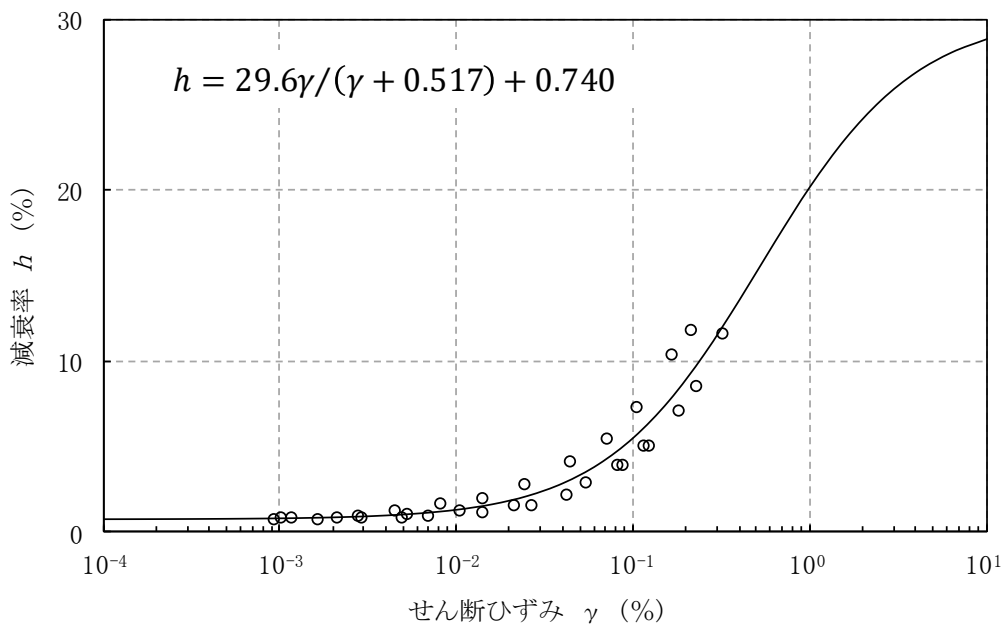


(b) 減衰特性

第 3.5.25 図(12) 動的変形試験結果 (I_s-S₂L 層)

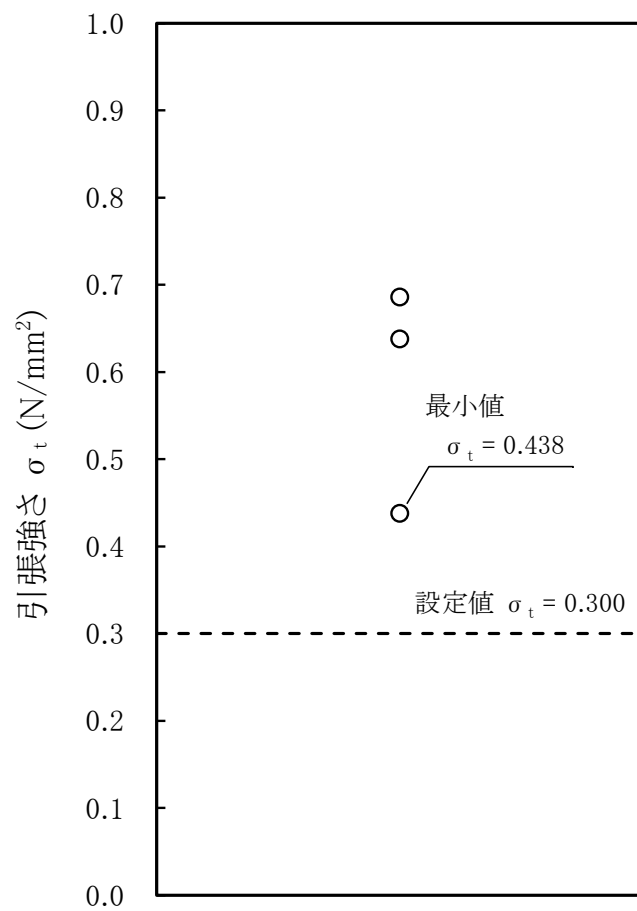


(a) 動的変形特性

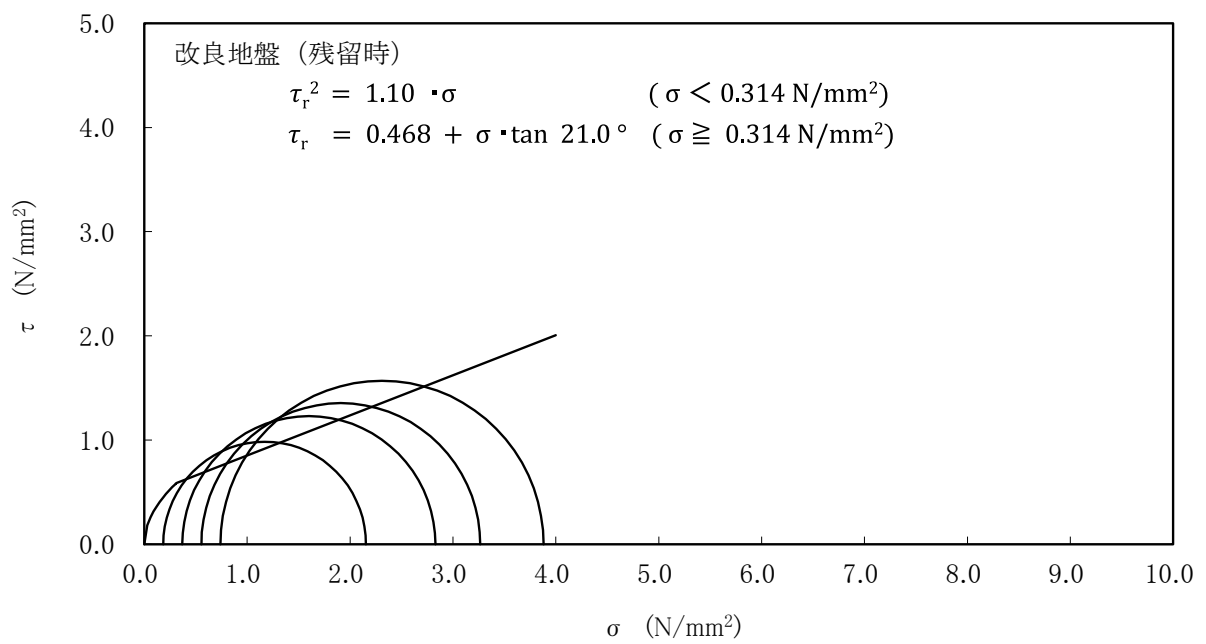
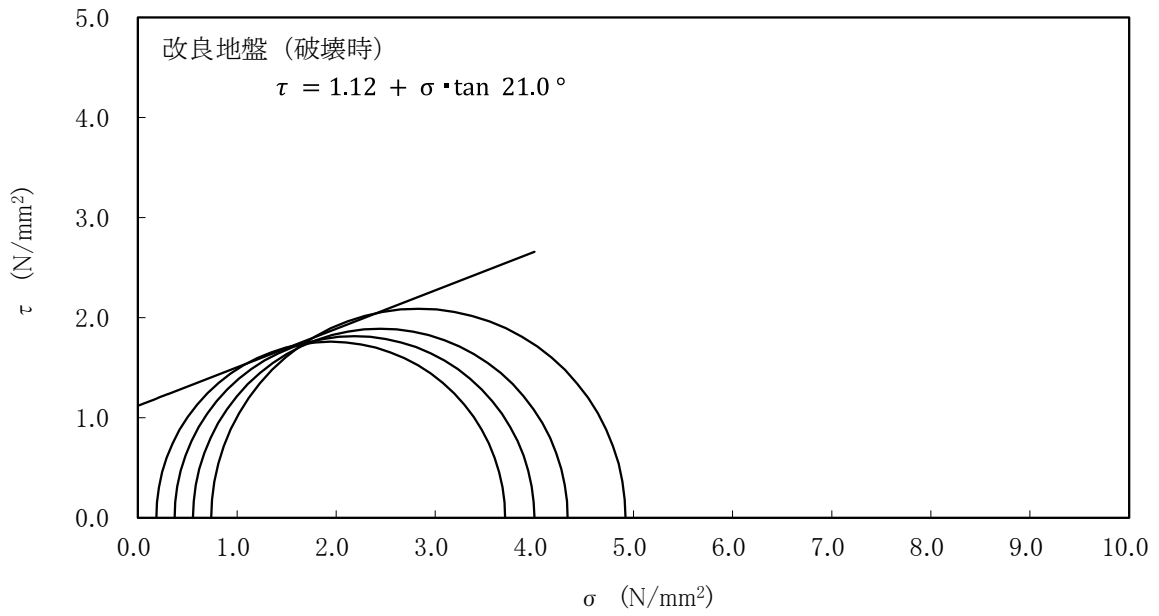


(b) 減衰特性

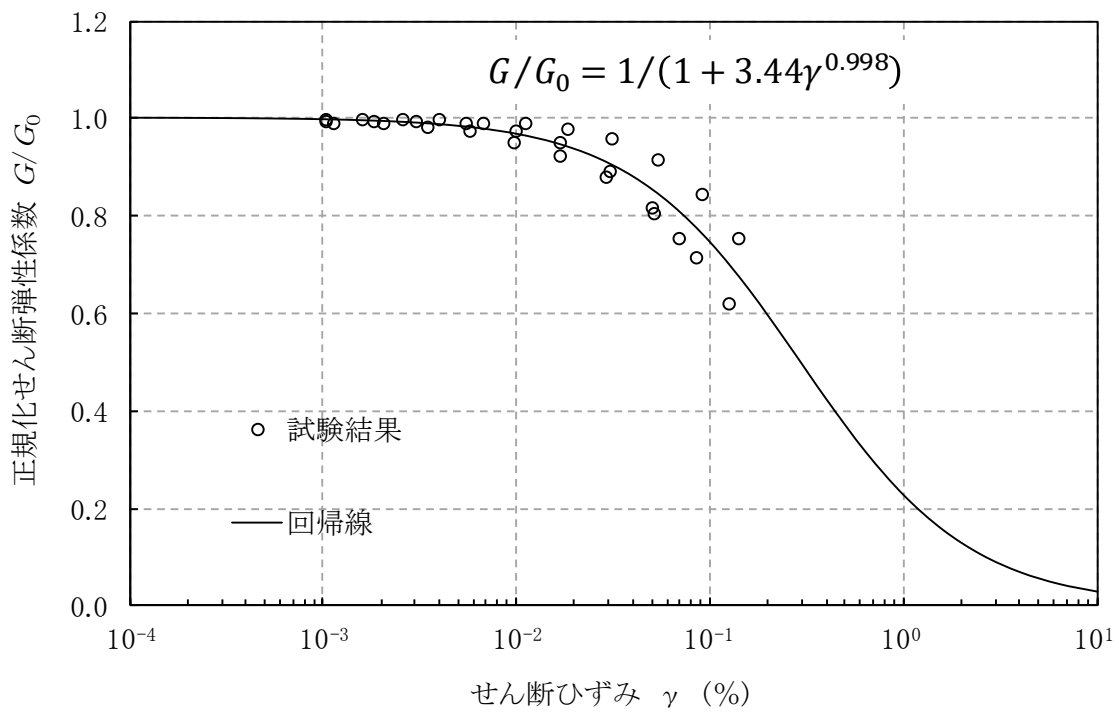
第 3.5.25 図(13) 動的変形試験結果 (I_S-S₃層)



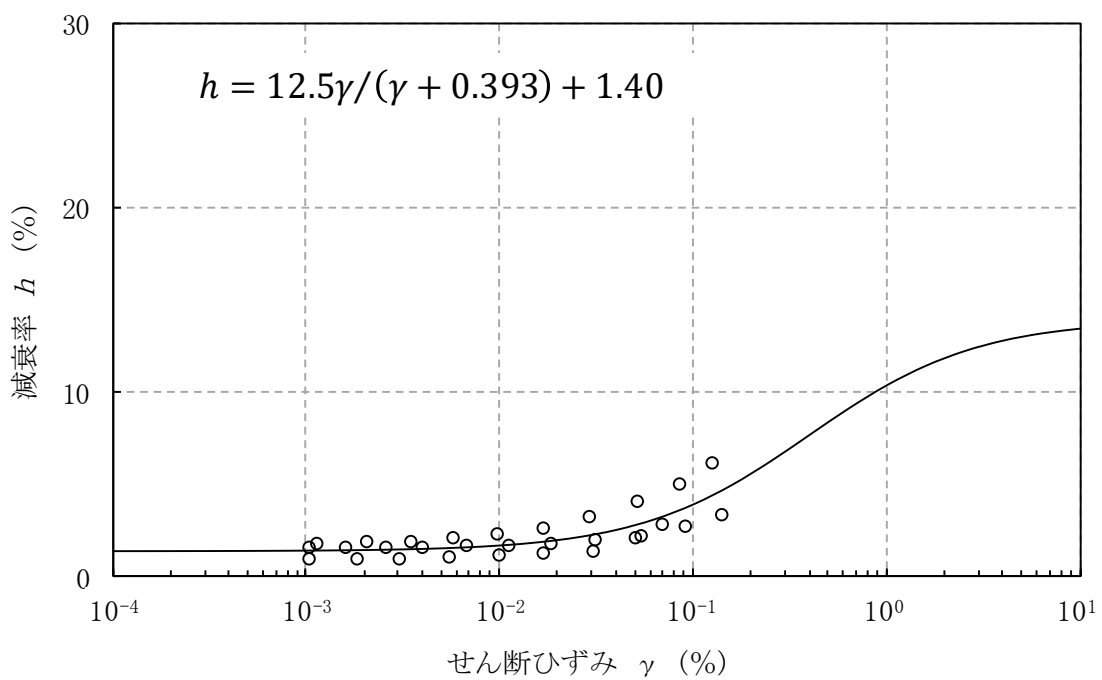
第 3. 5. 26 図 引張強さ試験の結果 (改良地盤)



第 3. 5. 27 図 三軸圧縮試験の破壊応力円 (UU 条件) (改良地盤)

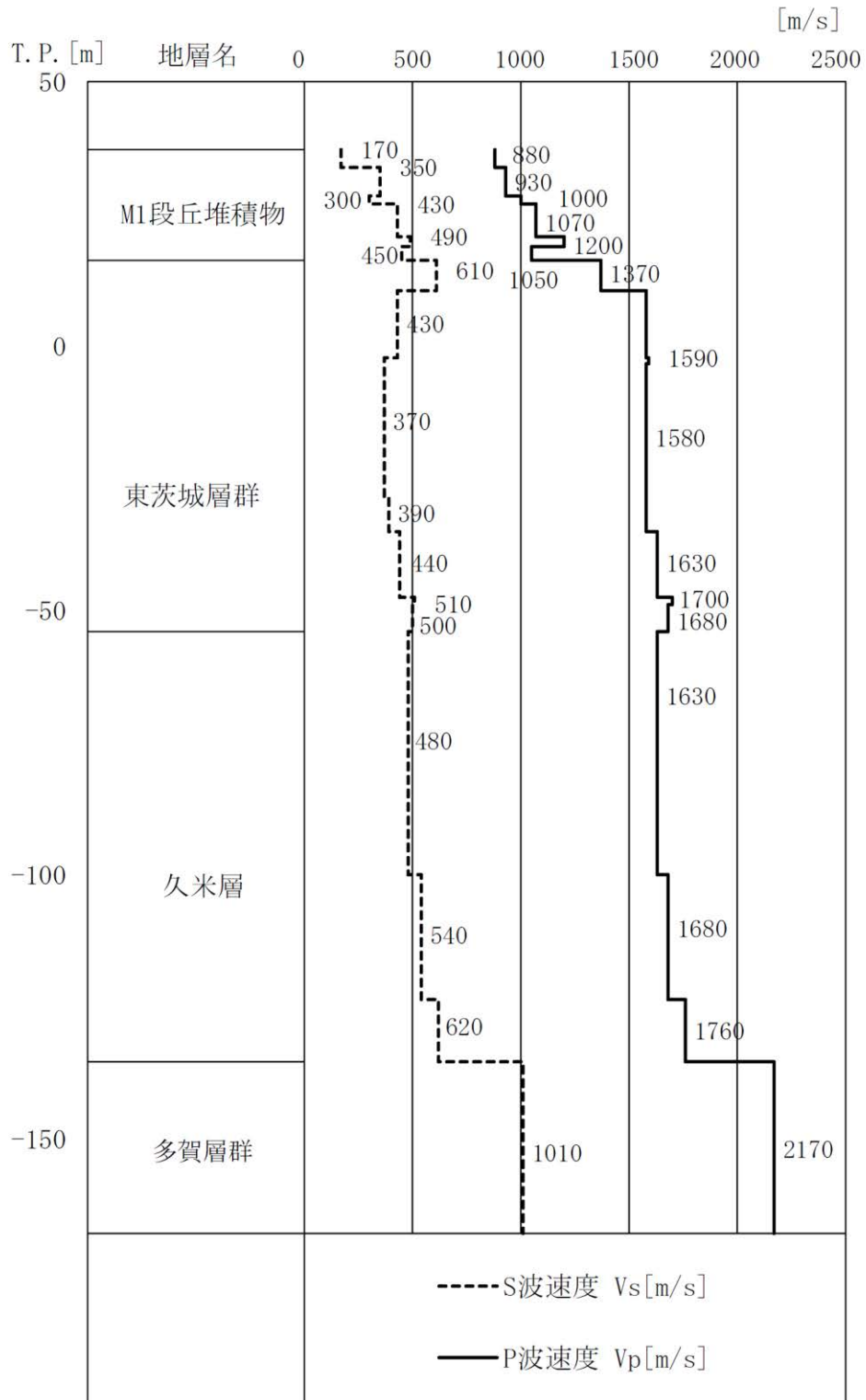


(a) 動の変形特性



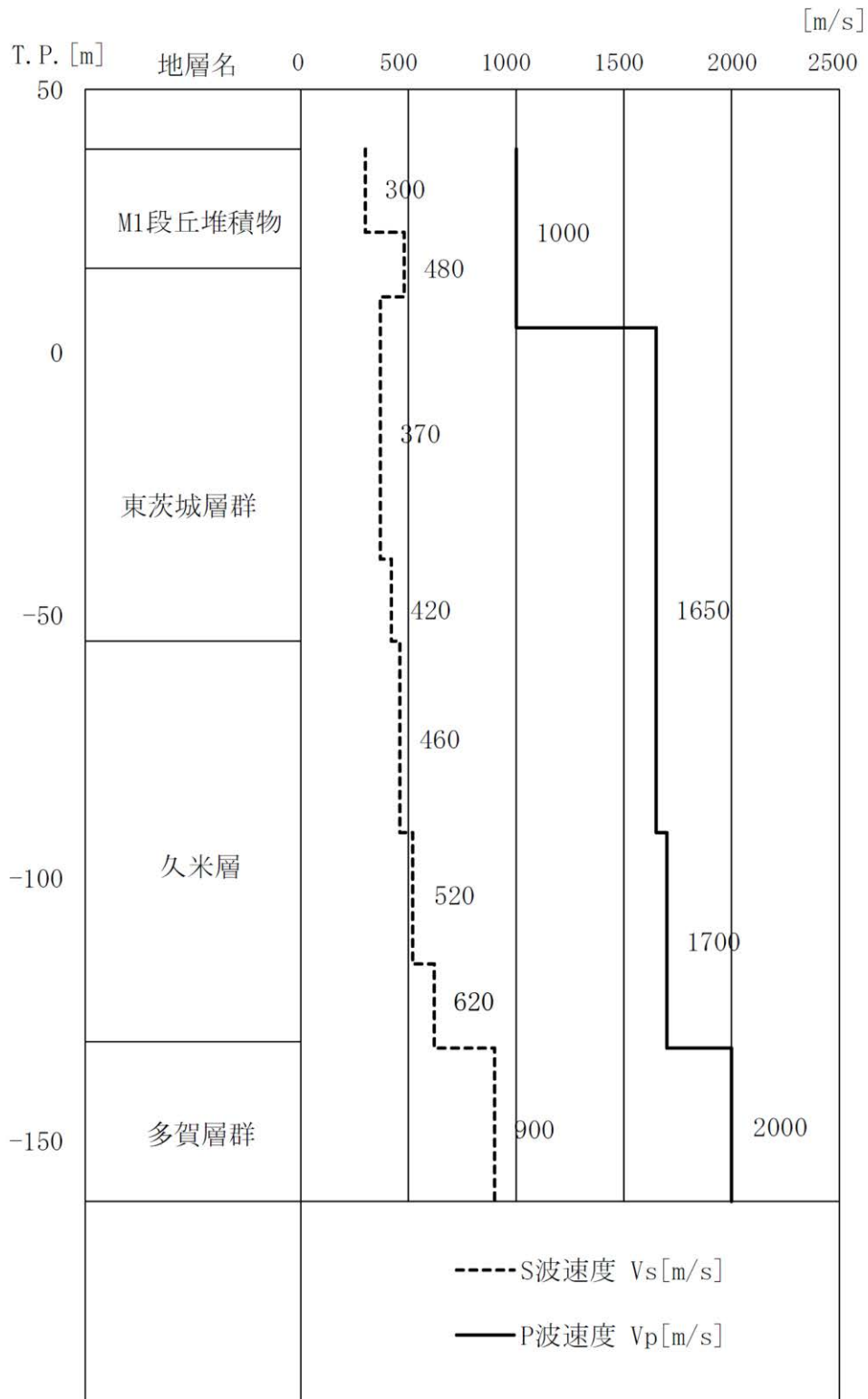
(b) 減衰特性

第 3.5.28 図 繰り返し三軸試験結果 (改良地盤)



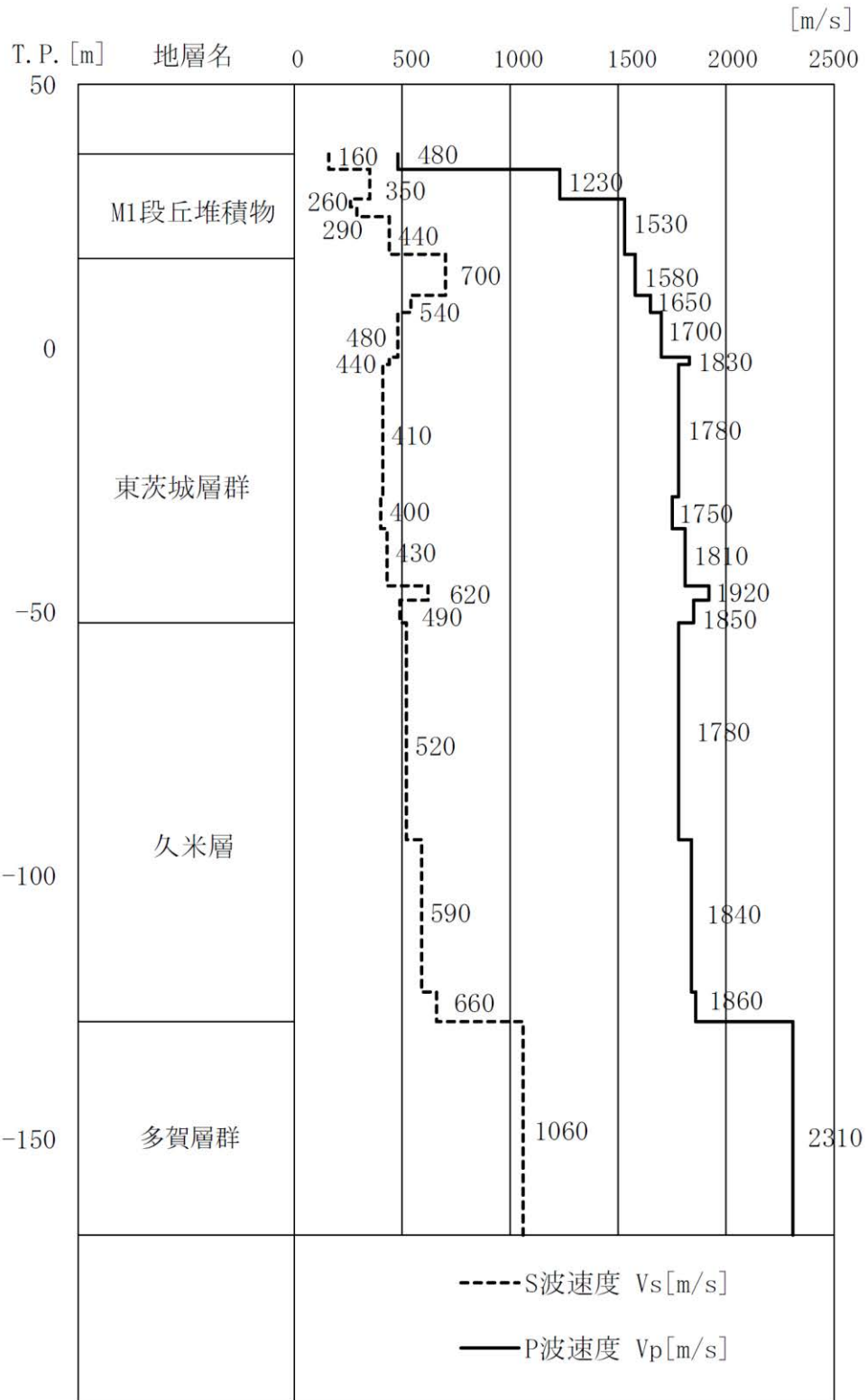
※：HTTR 建家周辺における No. 1～9 の PS 検層結果の平均値。地震動評価における解放基盤表面の設定に用いる。

第 3.5.29 図(1) PS 検層結果 (No. 1～9)

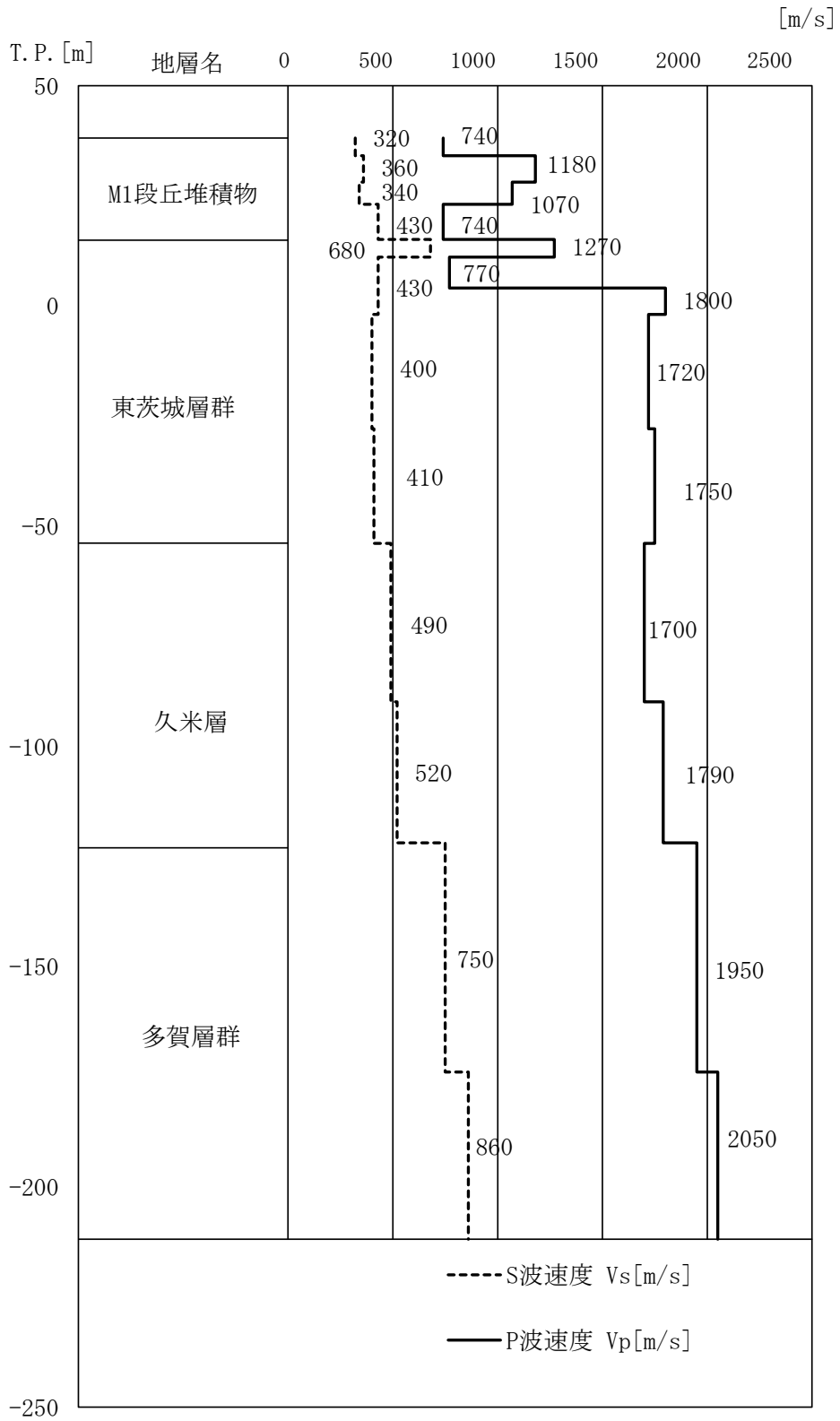


※：基礎地盤の安定性評価における解析用物性値の設定に用いる。

第 3. 5. 29 図(2) PS 検層結果 (No. 11)

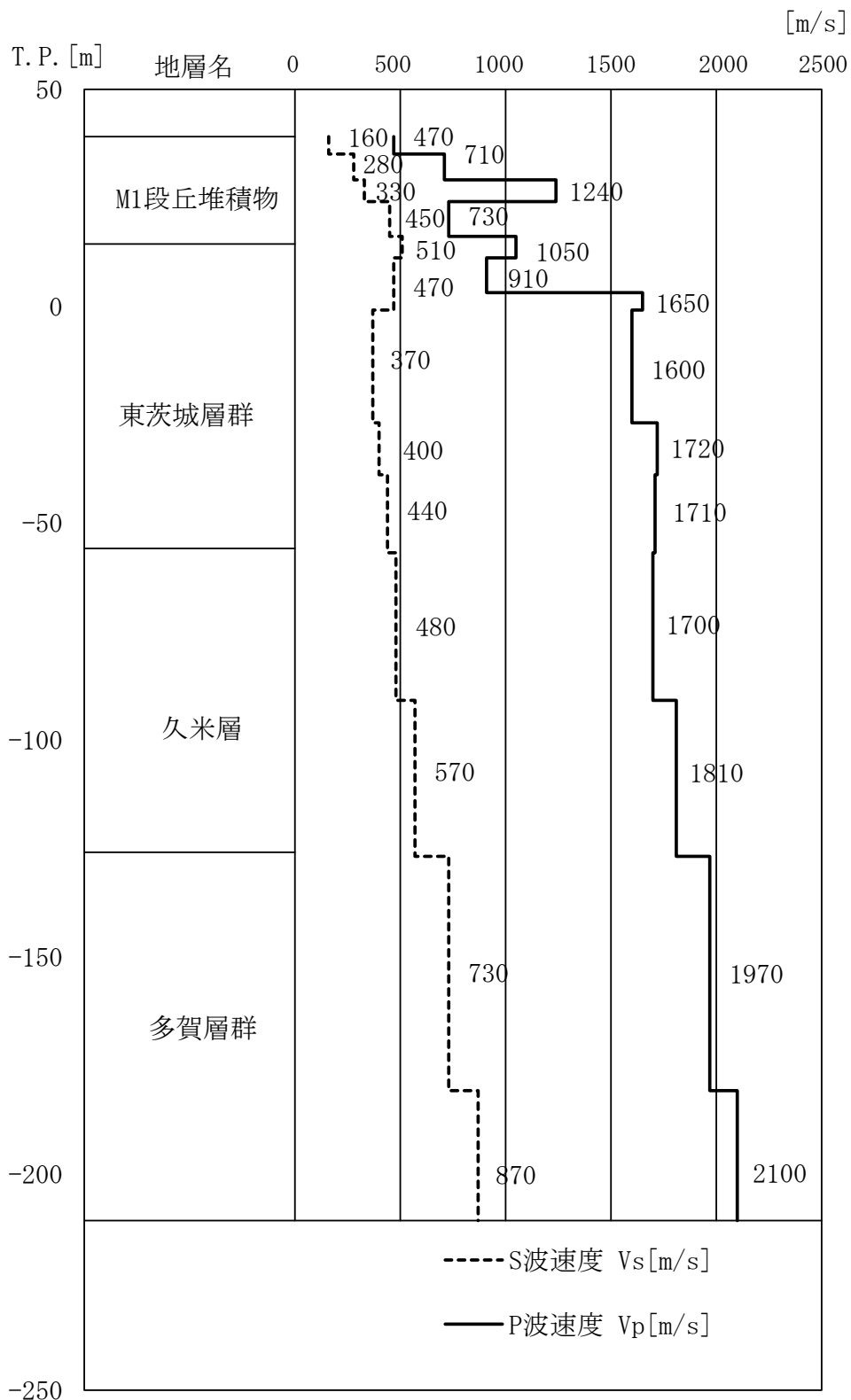


第 3. 5. 29 図(3) PS 検層結果 (No. 94)



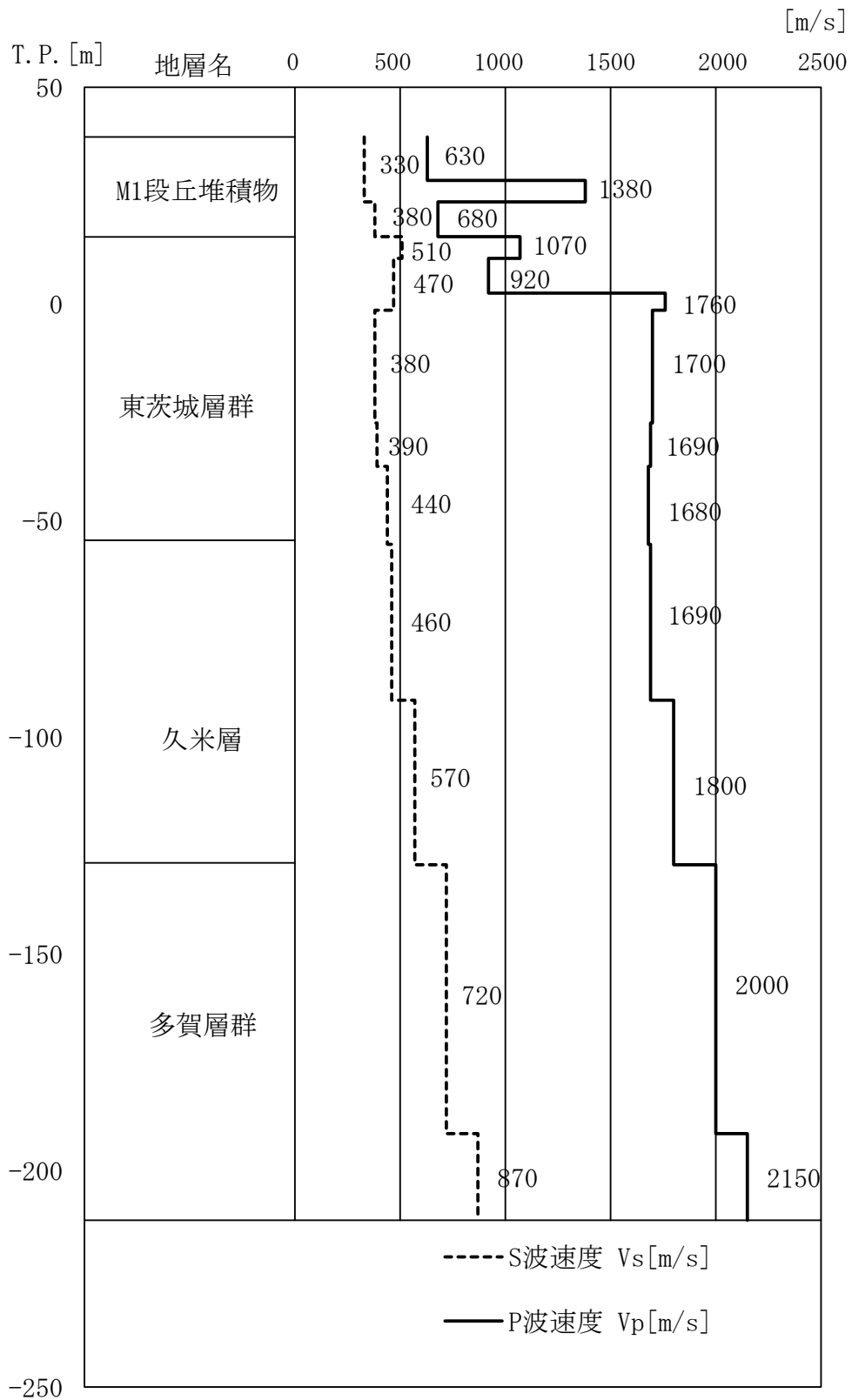
※：基礎地盤の安定性評価における解析用物性値の設定に用いる。

第 3.5.29 図(4) PS 検層結果 (No. 113)



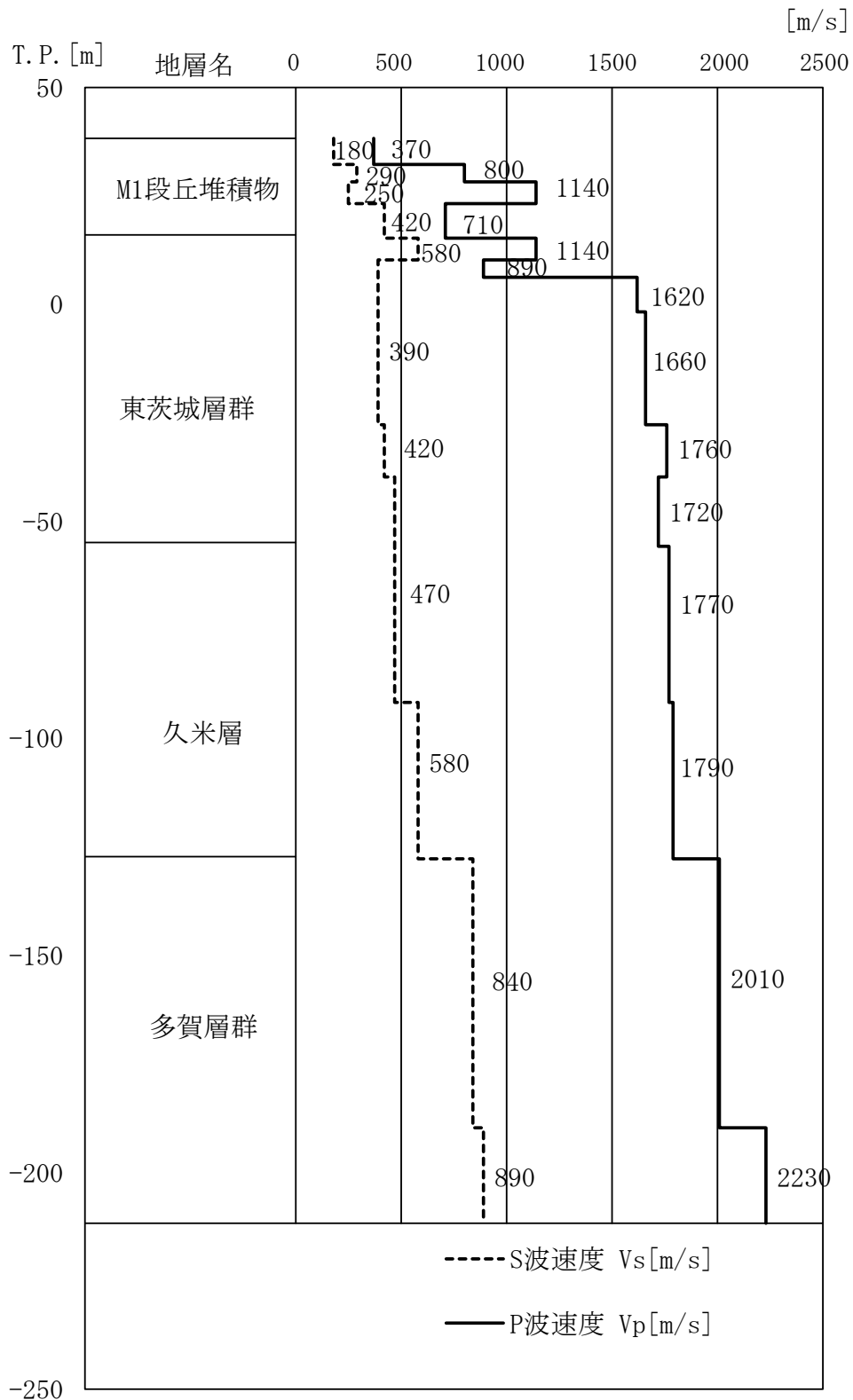
※：基礎地盤の安定性評価における解析用物性値の設定に用いる。

第 3. 5. 29 図(5) PS 検層結果 (No. 114)



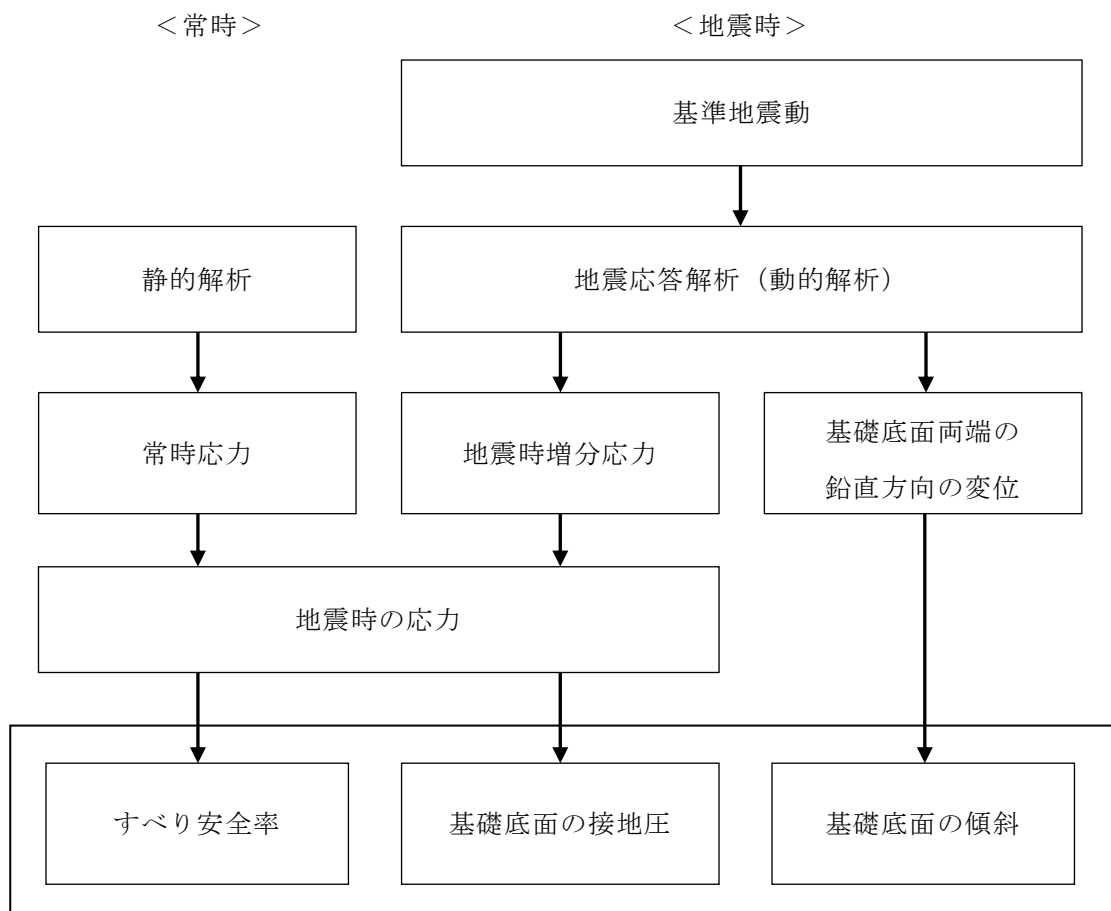
※：基礎地盤の安定性評価における解析用物性値の設定に用いる。

第 3.5.29 図(6) PS 検層結果 (No. 115)

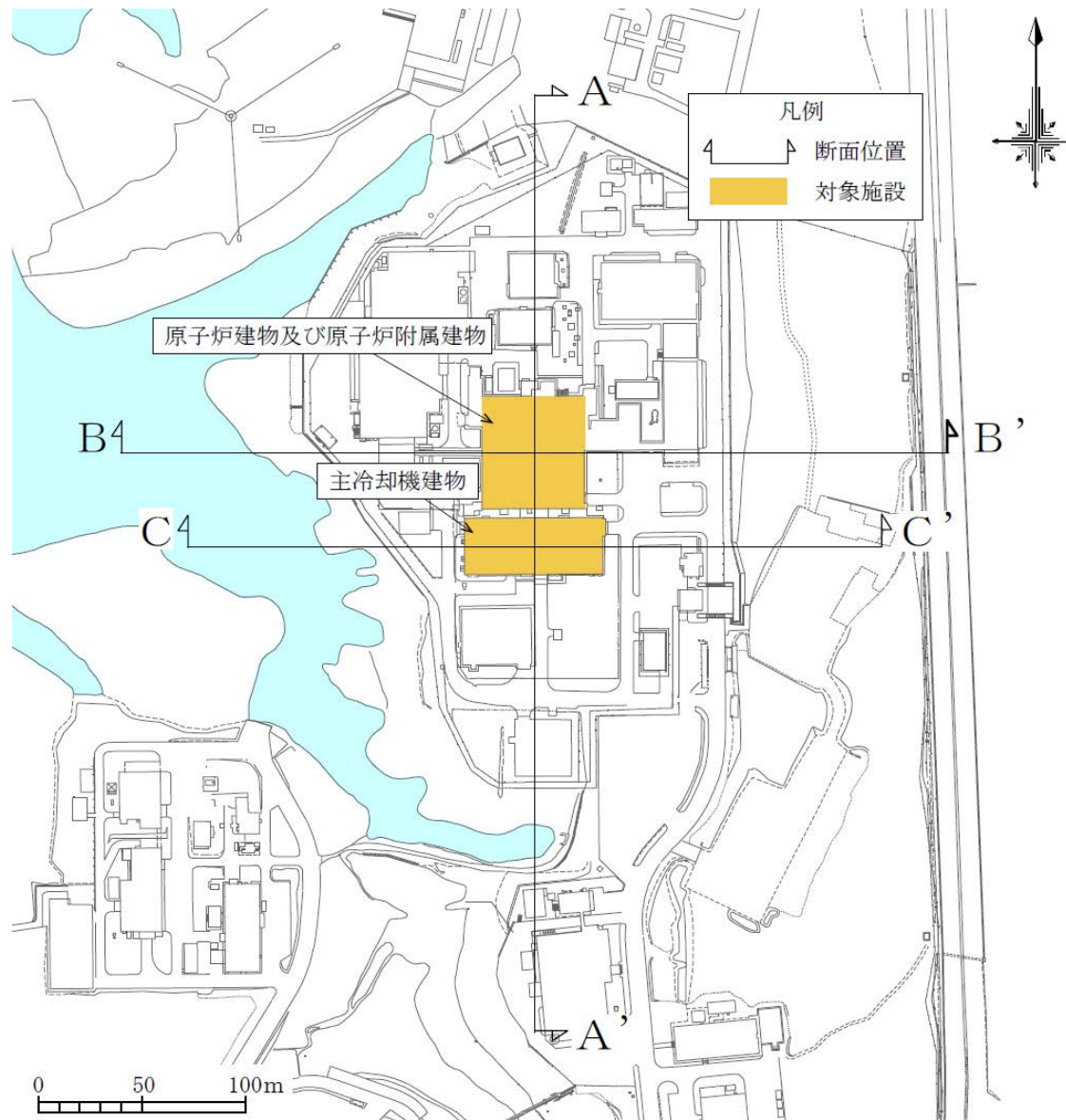


※：基礎地盤の安定性評価における解析用物性値の設定に用いる。

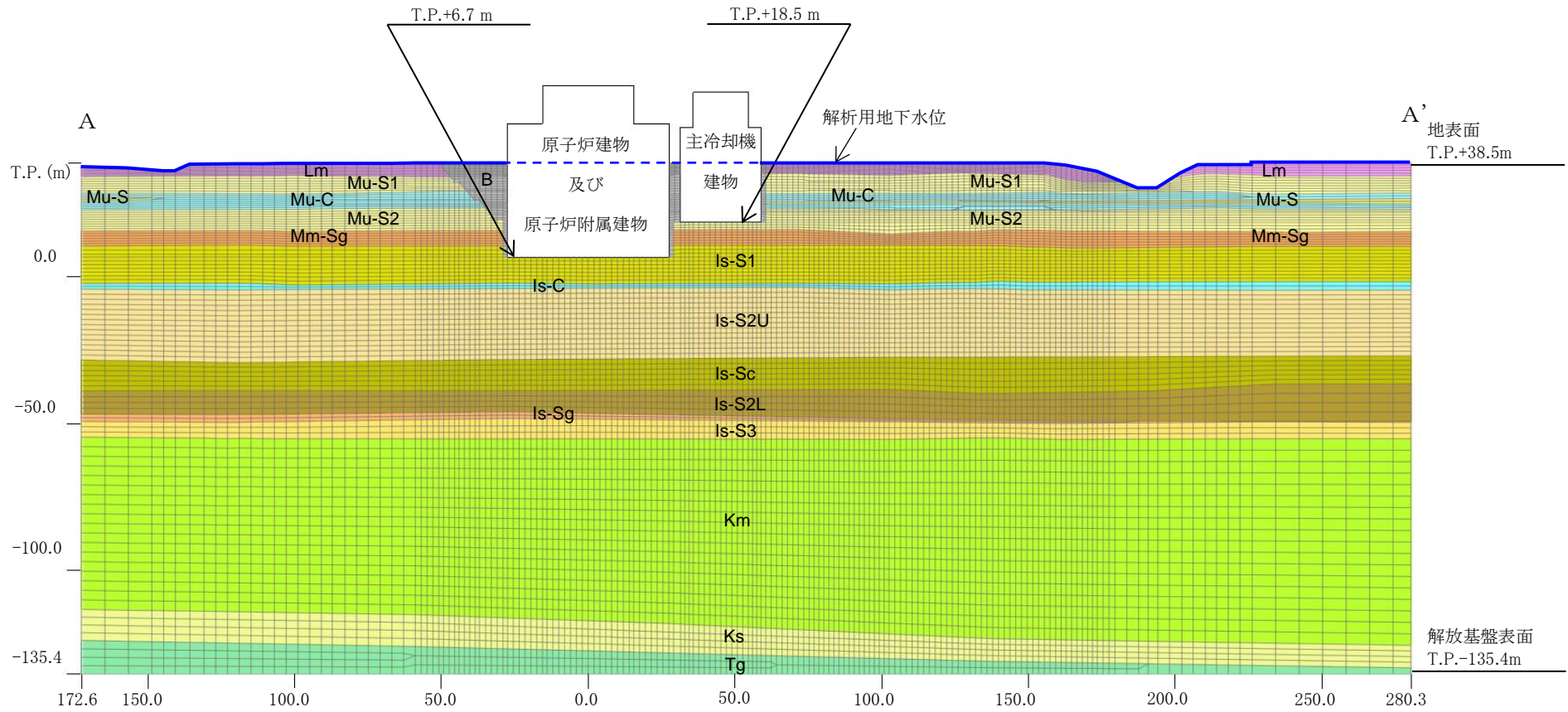
第 3.5.29 図(7) PS 検層結果 (No. 116)



第 3.6.1 図 基礎地盤の安定性評価フロー

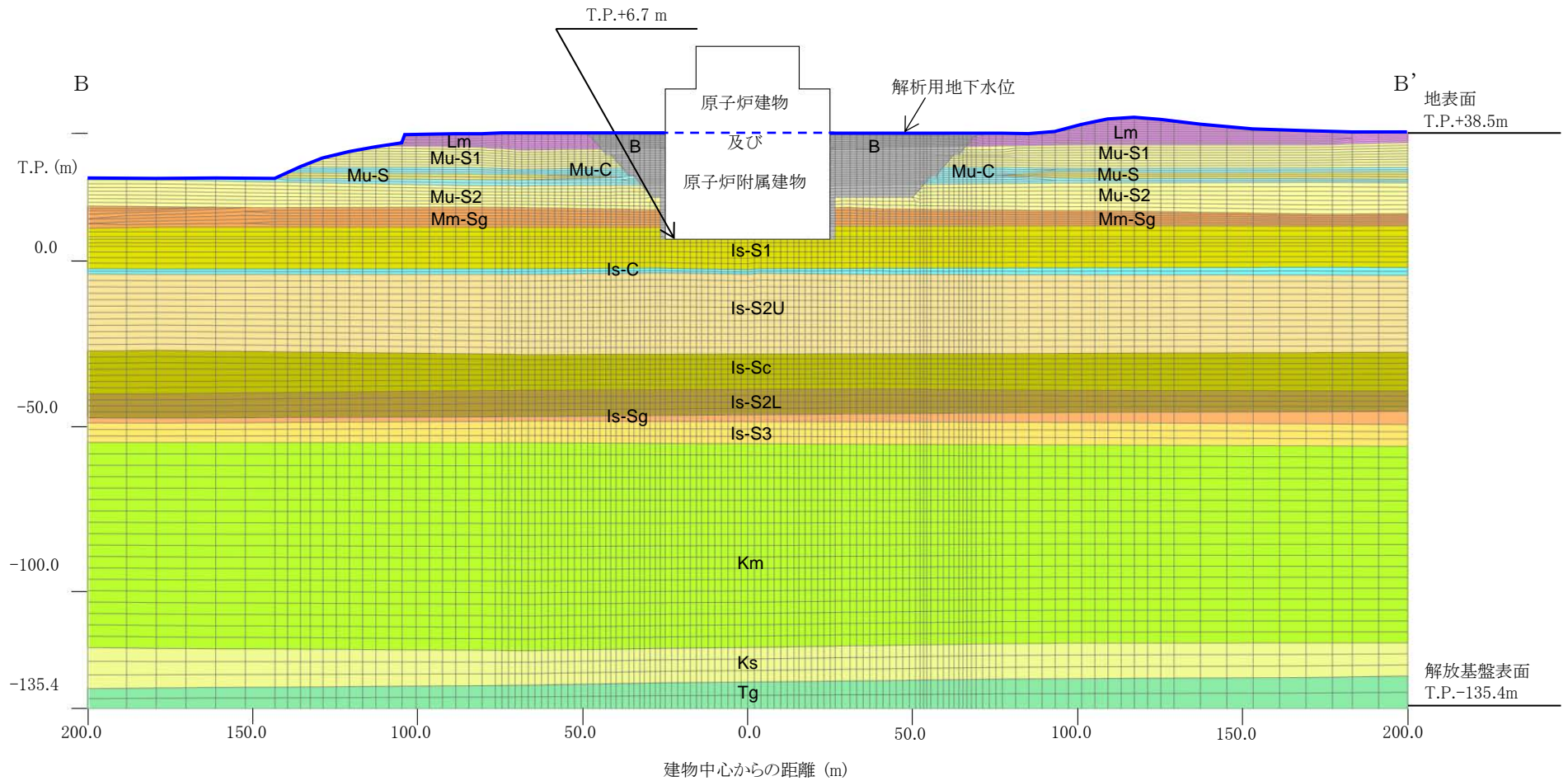


第 3.6.2 図 解析断面位置図

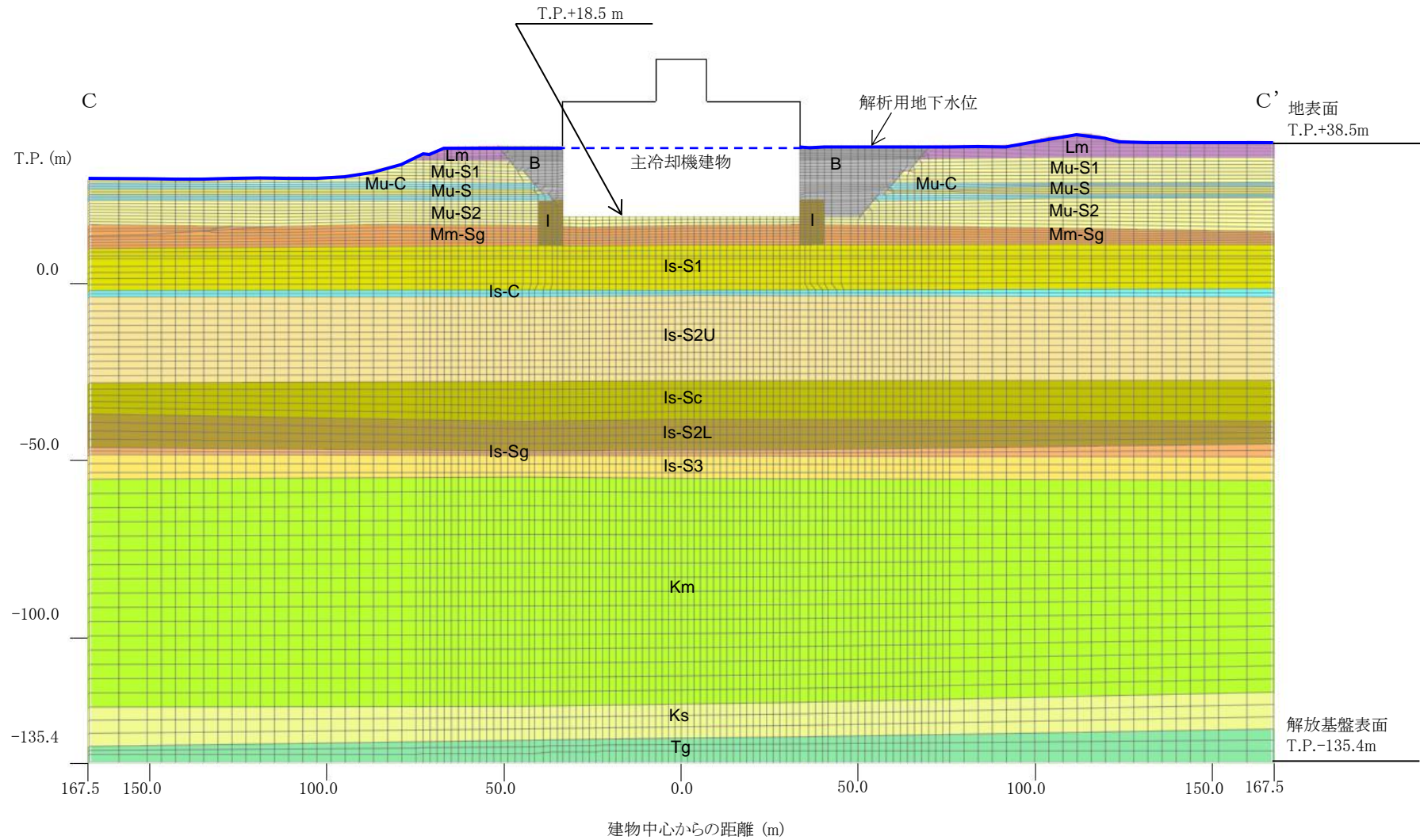


原子炉建物及び原子炉附属建物中心からの距離 (m)

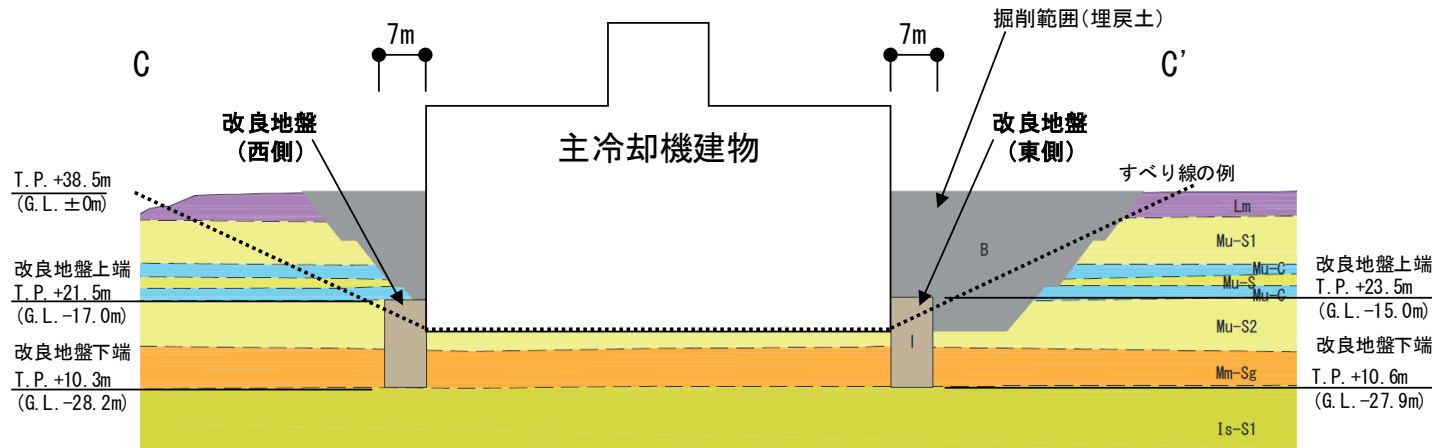
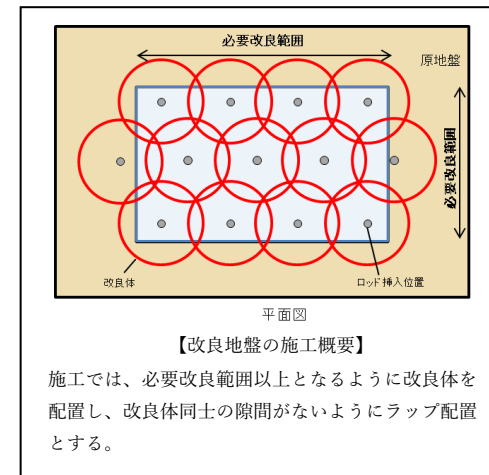
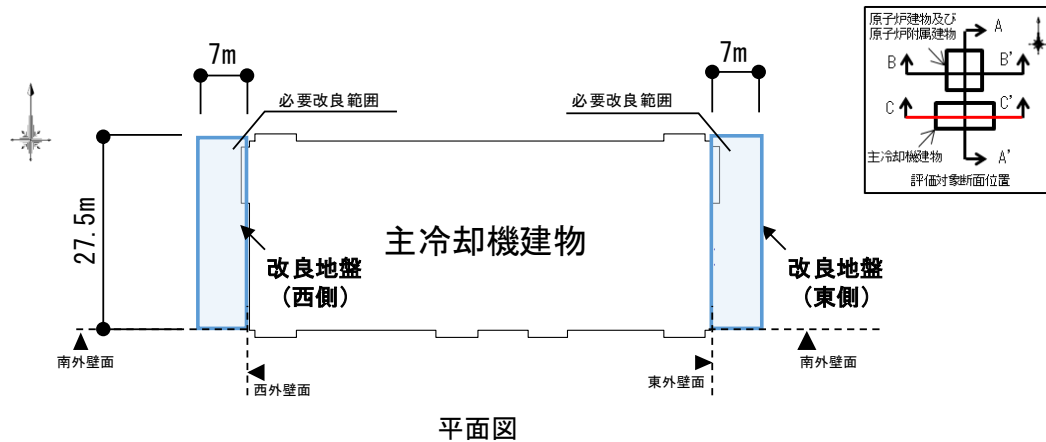
第3.6.3図(1) 解析モデル (A-A'断面)



第3.6.3図(2) 解析モデル (B-B'断面)

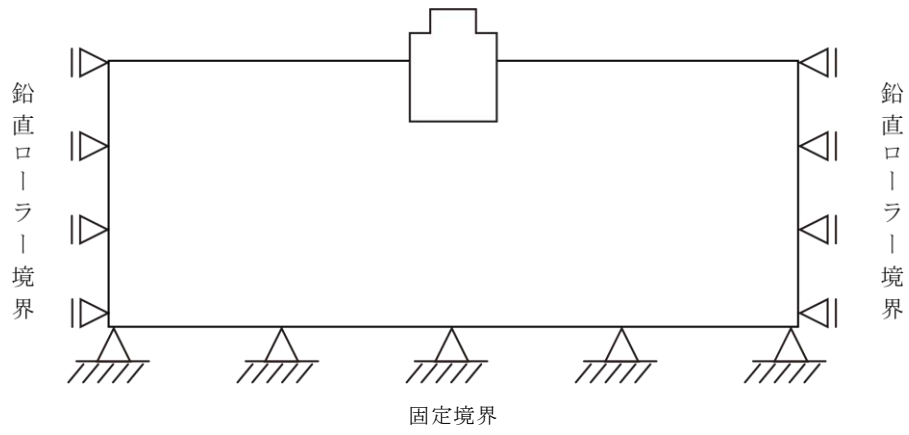


第 3.6.3 図(3) 解析モデル (C-C' 断面)

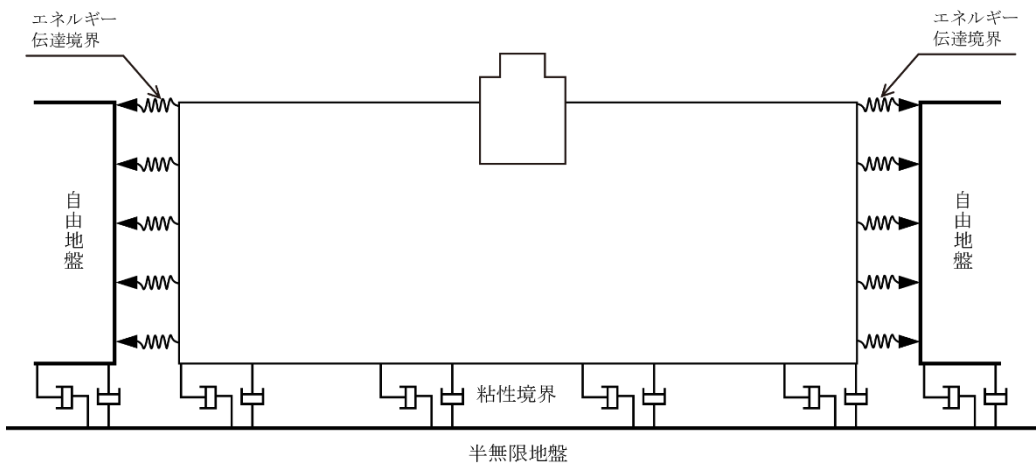


断面図 (東西(C-C')断面)

第 3. 6. 3 図(4) 改良地盤の範囲



(a) 静的解析



(b) 動的解析

第 3.6.4 図 境界条件